

Handwritten signature or mark at the top right corner.

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可  
昭和十一年九月廿七日設

# 同盟旬報

(No. 9) 號九第 卷一第

(號旬中月九年二十和昭)

## 次目要主

支那事變	聚樂堡・蔚縣占領……………二
馬廠・青縣占領……………二	
楊行鎮占領……………六	
上海市食糧統制法施行……………七	
共產軍北上……………七	
大同・廣靈占領……………八	
遠東競馬場占領……………九	
上海市政府占領……………九	
廣西派將領南京入……………一〇	
米國武器輸送禁止……………一五	
涿州平野會戰……………一六	
涿州陷落・豐鎮占領……………一三	
蔣介石非常對策……………一〇	
支那船舶轉籍防止覺書……………一〇	
支那軍の國際信義蹂躪……………一三	
南京大爆擊……………一三	
南京爆擊通告……………一三	
國府軍政機構改組……………一七	
外紙論調……………一〇	

國民精神總動員運動……………一四	
國民精神總動員第一聲……………一四	
ソ聯・日本領事館閉鎖通告……………一四	
總務部長會議……………一四	
地方豫算編成方針……………一四	
地方債抑制通牒……………一四	
臨時資金調整委員會開設……………一四	
防空法施行令要綱……………一四	
ヒットラー總統獅子吼……………一四	
スベイン新監視案……………一四	
地中海會議……………一四	
防備協定全文……………一四	
伊・協定參加拒絕……………一四	
英佛軍艦出動……………一四	
米國平和工作……………一四	
支那紛爭提訴通告……………一四	
支那提訴附屬文書……………一四	
外務當局聲明……………一四	
廿三國委員會附託……………一四	
支那提訴と外紙論調……………一四	
聯盟總會……………一四	
聯盟理事會……………一四	
國際聯盟……………一四	

# 部門別目次

宮廷	一
支那事變	二
樞密院	四
一般政治	四
外交	四
内政	五
財政	五
國防	五
司法	五
國防	五
教育	五
産業行政	五
交通・通信・航空	五
拓殖	五
政黨	五
人事	五
社會	五
オリンピック	五
經濟	五
滿洲國	五
ドイツ	五
ソ聯邦	五
歐洲諸國	五
地中海會議	五
米國	五
國際聯盟	五
海外日本人	五

昭和十二年  
九月中旬

## 重要日誌

九月十一日

- ◇日比谷に國民精神總動員の第一聲揚る。
  - ◇平級標軍、蔚縣及び察樂堡占領。
  - ◇津浦標軍、馬廠及び青縣占領。
  - ◇隴風西日本を荒す。
  - ◇米、ハル平和聲明を國際聯盟に通告。
  - ◇ニヨンに地中海會議開催、参加十箇國防備を協定す。
- 同 十二日
- ◇東伏見愛婦總裁宮、時局に関する諭旨を賜ふ。
  - ◇上海軍、楊行鎮占領。
  - ◇上海市、倉糧統制法を施行。
- 同 十三日
- ◇秩父宮殿下、ヒットラー總統と御會見。
  - ◇政府、國民精神總動員要綱を發表。
  - ◇時局對策總務部長會議開催。
  - ◇平級標軍、大同及び廣縣占領。
  - ◇上海軍、遠東競馬場及び市政府占領。
  - ◇支那空軍、我病院船舶日丸を爆撃す。
  - ◇國際聯盟總會開く。
  - ◇支那、日支紛争事件を國際聯盟に提訴。
  - ◇ソ聯、オデッサ及びノヴォシリスク帝國領事館閉鎖を通告す。
  - ◇全日本司法保護事業聯盟結成。
  - ◇ヒ總統ボルシニエヴィズム排撃を叫び第九回ナチス年次大會終る。

同 十四日

- ◇平漢標軍、永定を渡り、涿州平野戰の火蓋切らる。
  - ◇ソ聯、朝鮮總督府警備船朝風丸を釋放。
  - ◇米國、政府所有船の武器輸送を禁止す。
  - ◇伊、地中海防備協定参加を拒否す。
  - ◇英佛艦隊地中海防備に出動す。
- 同 十五日
- ◇秩父宮殿下、ロンドン御到着。
  - ◇寺内壽一大將北支方面陸軍最高指揮官に松井石根大將上海方面陸軍最高指揮官に補せられし旨發表さる。
  - ◇平級標軍、懷仁占領。
  - ◇空軍、太原を爆撃。
  - ◇平漢標軍、固安占領。
  - ◇津浦標軍、南趙扶鎮占領。
  - ◇海軍、車牛山島占領。
  - ◇海軍、油頭及び廣東を再爆撃。
  - ◇靖國神社に「國威宣揚武運長久祈願祭」行はる。
  - ◇關東防空演習始まる。
- 同 十六日
- ◇平級標軍、涇源及び漆源占領。
  - ◇空軍、保定を爆撃。
  - ◇國際聯盟理事會、支那提訴を廿三國委員會に移す。
  - ◇米國務省軍備競争停止誘導訓令を公表。

同 十七日

- ◇平級標軍、豐鎮占領。
  - ◇平漢標軍、涿州占領。
  - ◇上海軍、馬橋占領。
- 同 十八日
- ◇外務省、各國に對し、支那船舶の假裝國籍移轉防止に関する覺書を通告す。
  - ◇青縣治安維持會成立。
  - ◇國民政府、官吏足止緊急令を發布。
- 同 十九日
- ◇大同治安維持會成立。
  - ◇平級標軍、興和及び綏虎口占領。
  - ◇平漢標軍、易州占領。
  - ◇海軍機大舉二回に亘り、南京大爆撃を敢行す。
  - ◇英佛兩國、スペイン近海國際監視撤廢を通告す。
- 同 廿日
- ◇本年度陸軍大演習御取止め發表さる。
  - ◇平漢標軍、徐水占領。
  - ◇長谷川長官、各國外交機關並に支那非戰員に對し南京大爆撃避難を通告す。
  - ◇海軍機、累ねて南京大爆撃を政行す。
  - ◇米國、廿三國諮問委員會にオブザーバー出席を通告す。
  - ◇國民政府、軍車、行政兩機構を改組す。



東宮殿下葉山御用邸へ

【六二二】今夏を那須御用邸に過ごされられた皇太子殿下は十二日義宮様御同伴葉山御用邸に下宿あらせられた。兩陛下には石川傳官、伊地知御養育掛以下を随へさせられ自動車にて那須御用邸御出門黒磯驛御變車山手線御經由にて午後零時五分逗子驛御着車御豫定の如く葉山御用邸に入らせられた。

愛國婦人會に御諭旨

【六二二】愛國婦人會總裁東伏見宮妃殿下には銃後の活動を續ける愛婦三百萬會員に對し十二日畏くも盛渾なる御諭旨を賜つたので恐懼した本會會長は直ちに之を全國各支部長に傳達した。

諭旨

愛國婦人會會員諸子は克く本會の主旨を體し會員の本分に從ひ熱誠奮務に盡瘁しつゝあるは深く満足する所なり近時東亞の情勢は愈々紛糾を重ね事慮益々擴大するに至れり本會が其の創立以來婦人の鞏固なる結束と統制ある訓練とに意を用ひ併せて諸般の奉仕事業に従事したる所以のものば豫め有事の日に備へむが爲にして會員たるもの今日の時局に處し心を一にし力を協せて以後の後援を全うし報國の實を擧げむことを要す

各妃殿下恤兵作業に御參加

【六二二】日本赤十字社篤志看護婦人會では同社横上で綑帶、病衣、消毒品等製作の恤兵奉仕作業を行つてゐたが畏くも總裁伏見宮妃殿下には作業御獎勵の御思召しから十三日伏見若宮、梨本宮、閑院若宮、李王、三健公、李鍋公の各妃殿下御六方と共に同社に御台臨親しく作業に御參加あらせられた。

畏し大内山の御管制

【六二二】支那事變下の防空演習に帝都を擧げて緊張した十五日より十八日に至る迄畏くも大内山、大宮御所、東宮假御所皇太子殿下御帶在中の葉山御用邸を始め各宮家、離宮、御用邸を萬全を期して防護し奉る宮内省では白根次官を統裁官として皇宮警察部を中心に近衛師團と協力防護組織を固め演習第一日から最終日に至る迄周到な防衛陣を布かれた。恐れ多くも大典御座所の窓外には微かの火影も拜されず畏くも陸陛下には御親ら管制を行はせ給ひ側近者一同恐懼感激申上けた。

暴風雨災害地に御仁慈

【六二二】天皇皇后陛下には十一日四國中國地方を襲つた暴風雨のため高知、兵庫、岡山、徳島地方に被害甚大なるを聞き召され十六日糧災民御救恤の思召を以て金一封下賜の御沙汰があつたので松平宮相は直ちに右各地方長官に對し電報にて有難き御沙汰を傳達した。

航空本部長官御巡閱

【六二二】東久邇航空本部長官殿下には山本少將等を隨へさせられ十六日午前十時卅五分參意電鐵大神宮驛御着明野飛行學校に御成り教育状況及び教育施設を御巡閱遊はされたが更に十八日は午前八時十分自動車にて八日市飛行隊に御成り御視察の後飛行機にて市場ヶ原航空支隊に成らせられ支隊各工場を御視察午後三時自動車にて名古屋に向はせられた。

閑院總長宮より御祝電

大同【六二二】〇〇は十五日閑院參謀總長宮より大岡占領の御祝電を拜受し將士一同感激し愈々勇奮一死報國の決心を堅めてゐる。

各宮殿下防空演習御視察

【六二二】防空演習については各宮様方も深く御關心を寄せられ閑院參謀總長宮殿下には十七日午後八時日本橋三國屋上より演習状況を御視察遊ばされた朝香宮殿下、李鍋公殿下には十八日午前十時隅田公園で防火團の活躍を、梨本宮殿下には十七、十八の兩日各方面に於ける防護團の活躍を御視察遊ばされた。

梨本宮、朝香宮警視廳御視察

【六二二】防空演習第四日目の十八日午後二時畏くも軍事參議官陸軍大將梨本宮守正王殿下には軍事參議官陸軍中將朝香宮鳩彦王殿下と御同清宮驛に御成り遊ばされ三階賞賞室に御休憩の後警視廳警視總監の御案内で東京府統監部の諸施設その他警視廳状況を約廿分に亘り御視察の上同廿分御歸邸遊ばされた。

地方行幸御取止め

【六二二】今秋の陸軍特別大演習は時局に鑑み廿日御取止めの旨發表されたが引續く地方行幸もあらせられざる事に御決定同日宮内省から發表された。

御禮電、御祝電、御祝電

【六二四】天皇陛下には秩父宮殿下獨國御訪問の際同國より厚遇を受けさせられたるに付きヒットラー宰相に對し十四日御鄭重なる御禮電を御發送あらせられた。

【六二五】十五日サルヴアドル國獨立日に

つき天皇陛下には同國大統領閣下に對し祝電を御發送あらせられた。

祝電を御發送あらせられた

【六二四】天皇陛下にはチエツコスロヴァキア國大統領トーマス・ゲア・マザリク博士十四日逝去の趣應し召され同國大統領閣下に對し十五日御鄭重なる御弔電を御發送あらせられた。

【六二六】天皇陛下には十六日メキシコ國獨立日につき同國大統領閣下へ御祝電を御發送遊ばされた。

【六二七】廿日は東亞の友邦暹羅國皇帝陛下御誕辰につき天皇陛下には御懇篤なる御祝電を御發送あらせられたが午前十時半赤坂臺町の同國公使館に勅使として山縣式武官を差遣はされ慶祝の意を表せしめられた。

秩父宮殿下御動靜

▲ポツダム舊離宮御成り ベルリン【六二二】ベルリン御帶在中の秩父宮殿下には十日午前十一時御宿舎アドロン・ホテルを御出發自動車にてポツダムの舊離宮に赴かれフレデリック大王の遺跡サン・シーニ宮等御參觀遊ばされた。

▲ツアイヌ本社へ御成り ベルリン【六二二】秩父宮殿下には武者小路大使以下を隨させられ十一日午前十一時半空路イェナに御着ツアイヌ本社へ御成り遊ばされツアイヌ自慢の最新精密度量衡等を御見學遊ばされた。

▲如殿下ロンドン御着 ロンドン【六二三】秩父宮妃殿下には十二日午後二時松平式部長官らに従へさせられドーヴァー御着直ちにロンドン行列車に御乗車午後四時十五分ロンドンのヴィクトリア驛に御着自動車にてハイドパーク・ホテルに御入り遊ばされた。

▲ヒ總統と御會見 ニューロンベルグ【六二四】

秩父宮妃殿下には十三日午前十時四十分バイロイトを御出發午後零時半ニューロンベルグの舊城カールベルグに御到着遊ばされ先づヒットラー總統と御握手次いで順次國代表約州數名に堅き握手を賜つた後總統と共にバルコニーに出でられ暫らちニューロンベルグ市を御眺望遊ばされた後大高閣でヒットラー總統以下日獨兩國の大高官と午餐を共に遊ばされた。次いで殿下には午後一時半自動車にてドイツ陸軍の演習御閱覽のためツエッペリン練兵場に御到着、貴賓席に御着席あらせられヒットラー總統と共にドイツ陸軍精銳の演習を御熱心に御覽遊ばされ特に機械化部隊の活躍と新式戦闘機四百五十臺の來襲機撃に御興味深げに拜された。かくて殿下には午後六時卅分ハンブルグに向け御出發遊ばされた。

▲ドイツ御退去 プレームル・ハーフェン【六二四】

十四日午後一時卅分自動車にてハンブルグからプレームル・ハーフェンに御到着午後二時ドイツ汽船プレームン號に御乗船サウザンプトンに向はせられた殿下には前後八日間亘るドイツ艦隊在中新與ドイツの躍進に御感慨を深めさせられた御様子で御離獨に先立ち左の如く御感想を御洩らし遊ばされた。

▲ロンドン御到着 ロンドン【六二五】

十五日午後零時卅分ドイツ汽船プレームン號にてプレームル・ハーフェンからサザンプトンに御到着遊ばされた。埠頭には松平式部長官以下御出迎へ申上げ殿下には直ちに臨港列車でロンドンに向はせられ午後三時卅五分ウオーター・停車場に御着妃殿下の御待ち申上げるハイド・パーク・ホテルに入らせられた。

# 支那事變

## 九月十一日

### 平綏 戰況

#### 陽高入城

陽高九二二 長谷川部隊は十日午後五時半陽高縣城に堂々入城し直ちに殘敵掃蕩を開始した

陽高九二二 陽高縣城の激戦に決死隊として敵の手榴弾を浴び四丈餘りの城壁を人梯子を踏んで登り城壁にあつた支那軍五百を突き倒し、薙ぎ倒し遂に東門を爆破して友軍の進路を開き陽高縣城一番乗りをした湯淺十川兩部隊は猪股准尉以下卅九名の戦死者、小林美文大尉、村澤淳大尉、二宮春忠中尉、齋藤富茂中尉平松孝少尉以下百六十三名の負傷者を出した

#### 聚樂堡占領

平綏線陽高九二二 我が〇〇部隊は十日陽高を出發し敵を猛追して西進し十一日午後一時四十三分聚樂堡の敵陣地を完全に占領した、我軍は引續き進走する敵を追つて大同方面に向け猛進し大同は既に卅キロに迫つた、この追撃戦に於て大生壇城砲兵大佐は遂に壯烈なる名譽の戦死を遂げた

聚樂堡九二二 十日陽高を出發聚樂堡の敵陣地に迫つた我が〇〇部隊の左右兩翼部隊は十一日拂曉聚樂堡南北山頂の堅固な陣地に據る敵の大部隊を砲撃〇〇部隊

を中心に空軍の機撃掩護を受けつゝ左右兩翼より猛烈な砲火を浴びかけ聚樂堡城壁及び山頂陣地を撃破し十一日午後一時四十三分完全に同陣地を占領した交戦實に廿六時間戦線四里に及び當方面に於ける行動開始以來の一大激戦であつた、我が精銳は更に大同方面に向つて逃走中の敵を追撃十一日午後六時大同東方四里の地點に進出した

#### 蔚縣城占領

陽高九二二 察哈爾〇〇部隊は宣化懷來攻略以來疾風迅雷の如く蔚州平野に進發白雲堡西河臺の支那軍を撃破し十一日夕刻察哈爾兩部の要衝たる蔚縣城を占領し東北兩門より堂々入城した

#### 大同を爆破

陽高九二二 我航空部隊は十一日前後十數回に亘り聚樂堡以南の敵軍陣地及大同方面を爆破し地上部隊の進出を容易ならしめ且敵に多大の損害を與へた

#### 追撃戰狀況

陽高九二二 金城鐵壁を誇つた田家灣一帶の陣地を棄てた山西軍への〇〇部隊の追撃は七八兩日に亘つて行はれた、前日陽高縣城に逃げ込んだ山西軍の一部に對しては〇〇部隊を向けてこれを包圍し更に平綏線に沿ふて羅文皂燕家堡を急追し陽高縣城に蟻居する敵軍は〇〇部隊の反撃に委ねこれを殺戮して通過山險を齎せ登り溪谷を跋渉して逃走する敗殘兵に休息する餘餘を與へず〇〇迄急追し急追を續けた、山から山を一日に十餘里も苦破した急追振だつた、小行李運搬の苦力はバタ／＼倒れ〇〇部隊長以下將兵は

全部捕のやうに疲れた餘りの急追に食糧輸送が追いつかず〇〇迄の二日間は堅パンと山林樹皮だけで飢を撃き渴すれば水を掬つて喉をうるはした、八日漸く饑寒徒に到着して民家に泊したが部落民は大槪附近の山間に姿を隠しめて食糧としては粟と馬鈴薯だけしか獲つてゐなかつた

#### 八達嶺トンネル開通

天津九二二 太行山脈中の第一難關と目される峻峰八達嶺のトンネル(長さ一キロ)は去月廿四日敵退却に際しこれを徹底的に破壊し爾來汽車不通のところ我將兵及び浦鐵社員等晝夜兼行修理作業繼續の結果十一日未明全く復舊成り初發列車は午前七時南口驛張家口に向つた

### 津浦 戰況

#### 馬廠占領

〇〇前線九二二 馬廠の堅壁に據れる敵軍は十一日午前一時頃より總退却を開始我が軍はこれを追撃して遂に馬廠を占領した

天津九二二 十日午前十一時廿分流河鎮占據により意氣軒昂の沼田、長野兩部隊は赤柴部隊と連繫して馬廠河陣地に午後四時より猛攻を浴びせかけ前進又前進、一方右翼前屯附近の一角を奪取した畑田部隊は部隊長戦死の愈い犠牲を残して友軍の戰況を有利に導き其體夜に入つたが十一日午前零時半連日の我猛攻に浮足立つた敵陣に退却の候を看破した猛突撃を敢行し遂に馬廠占據の凱歌を擧げた

趙官屯九二二 我が赤柴部隊は十一日拂曉馬廠砲及び馬廠東側一キロの演舞臺を占領し續いて南方に向ひ進撃中なり、午

前九時我軍主力は人和鎮(馬廠兵營所在地)に進入しつゝあり

趙官屯九二二 赤柴部隊主力は十一日午前八時廿分人和鎮に進入更に馬廠城に入り馬廠城頭高き感激の日章旗を掲げた

天津九二二 十日天明と共に馬廠砲攻撃の命下るや木下部隊と三田村、前田、赤木、田邊、河村、織江、中井の各〇〇部隊は馬廠敵陣地に猛烈な一齊射撃を浴びかけたが敵は馬廠河河岸に、トンネルの堅固な陣地を構へて頑強に抵抗し陥落は何時になるかと危まれたが後方に在つた〇〇陣地より射ち出す砲弾は百發百中漸く敵陣地の真只中に落下しさしもの敵陣地も我が〇〇砲隊の砲撃に敗退の色濃く敵兵は逃走し初めた、斯くて赤柴部隊は陣地を突破馬廠の町に突撃せる時は既に馬廠は空っぽで戦はずして占領することが出来た

#### 司令部發表

天津九二二 (天津軍司令 午前九時發表) 一 昨夕午後四時半頃赤柴部隊は前屯附近馬廠河陣地の一角を奪取し戰況を有利に展開しつゝ夜に入り

二 十一日午前零時半全線夜襲を執行し馬廠北方陣地に突入午前三時頃迄に流石に堅壁を誇る馬廠一帯の陣地を完全に占領し續いて沼田、長野、赤柴部隊は泥濘と濁水を物ともせず追撃中なり敵は昨日よりの猛攻により多數の死傷者を通し殆ど潰亂状態に陥り南方に向ひ退却中なり

#### 馬廠は津浦線要地

【九二二】 馬廠は天津の西南方約七十キロ津浦鐵道上の要地で其の西側の馬廠鎮は大連河の東岸に位置し清朝光緒年間初めて軍隊を駐屯せられて以來軍事上の要點となり其の後逐年發達し地方經濟上の中心地となり鐵道、道路及遼河等水陸交

運の要衝である、馬廠鎮の周圍には高さ三・四米の城壁がありその外周の東及南は沼池で圍まれ西側は大連河に臨み堅固な土地である、又馬廠北河において大連河と分れて東北の方に向つて馬廠河において白河に合し水運の便あり其の兩側の堤防は堅固であつて良好な陣地となり戰術上の一要線となしてゐる、従つて民國六年清帝復辟の際張勳に對し段祺瑞は此處より師を起したことがある、又民國十九年(昭和五年)の夏關錫山が反蔣運動を起したとき山西軍は此處を占領して去陣地線としたことがある極めて戰術戰略上重要な場所である

#### 青縣占領

趙官屯九二二 十日夜來敵は我軍の猛攻にたへかねた一ヶ月に亘つて防禦陣地を構築死守した馬廠を放棄算を防止し南方に潰走した、我前線部隊は目下之を急追中

天津九二二 十一日未明津浦線の要害馬廠を占據せる我が沼田、長野、赤柴各部隊は胸に達する泥濘を物ともせず同日午後二時頃相前後して趙官屯東西の線に進出同三時半赤柴部隊の一部は更に長驅して青縣(馬廠の南方三里)を占領した

〇〇九二二 我空軍〇〇部隊は十一日午後二時過馬廠上空を通過南下せるところ二時半青縣附近に於て潰走しつゝある敵の大部隊を發見し直ちに機首を下げて猛烈な掃射を行つた敵は混亂また混亂全く收拾すべからざる潰亂に陥り我赤柴部隊はこの機に乗じ更に急追撃をなし午後三時半迄に青縣を占領するに至つたものである

#### 姚馬渡占領

天津九二二 津浦線方面の中井部隊は十一日朝姚馬渡(唐官屯西方四里)を占據し

**支那兵に歸順勸告**  
 津浦線〇〇〇〇部隊長は支那兵歸順勸告の傳單五萬枚を印刷し十一日午後〇〇部隊長が空中から敵陣を浴び乍ら敵の全線に亘つて之を撒布した

**平漢 戰況**

**楊子南北高地攻撃**

〇〇〇〇〇〇に在つて久しく機軸の熟するを待つてゐた我〇〇〇陣地は十一日午後四時を期して一齊に砲門を開き楊子南北側高地の敵に對して猛火を浴せ砲聲は大砲連山にこだまして壯烈を極む

〇〇〇〇〇〇〇〇根拠地を發した我空軍機は地上部隊の攻撃に呼應し午後四時半楊子南北上空に飛來同北側高地の敵陣を爆撃中である

**楊子南北高地占領**

長辛店【六二】 我空機と砲聲の掩護の下に十一日午後四時四十五分中山部隊は勇躍攻撃前進を開始し楊子南北高地の峻険に突撃天險を利用して頑強に抵抗しつゝある山頂の敵陣地に斬り入り壯烈なる肉弾戰を展開した後同六時廿五分同高地を完全に占領した、敵の遺棄せる死體約二百である

**中南**

**上海 戰況**

**市街 戰**

上海【六二】 十一日午前一時卅分、敵機再び虹口上空に飛來し爆彈數個を投下したが我が軍の反撃に直に遁走した

上海【六二】 午後八時十分敵機一機虹口方面に來襲したが我が江上艦隊の高角砲の齊射に狼狽して爆彈を投下もせず遁走した

上海【六二】 十一日午後十一時四十分敵機は三度虹口上空を襲つたが我が猛烈な反撃に遭ひ狼狽無爲にして遁走した

**市政府攻撃**

上海【六二】 (第〇國際報道班午後一時廿分發表)  
 一 今朝午前五時半頃滬江大字西北方部落附近の我が依藤〇敵陣地に對し強力なる敵の遊撃ありしと交戦約卅分にして擯退敵は多數の死體(獨立第卅隊)の擯退を耐し居れり、を殘して潰走せり、我が損害は極めて僅少なり

二 海軍航空隊は浦東側並に陸戰隊及び陸軍前面の敵に對し連日猛烈に爆撃を敢行しつゝあり

上海【六二】 昨十日上海東部陸軍宅、周家宅を占領した東北部隊は今朝來勃動なる敵を掃蕩し同地區を嚴重確保してゐる

**楊行鎮攻撃**

上海【六二】 田上、石井兩部隊は昨日夕刻南北兩方面より楊行鎮の敵陣地約五百米の近距離まで肉迫したが、拂曉より更に攻撃前進を開始し朝來激戰を展開してゐる我が航空隊も陸上部隊に呼應揚行鎮西南部地區に猛烈な爆撃を加へた

吳淞【六二】 全夜に亘る敵の必死の攻撃を退け我が〇〇部隊は晝夜を分たぬ猛撃を以て全線に亘り前進を續けてゐるが十日夜田上部隊は吳家宅、莊家土を確保し

更に十一日早朝先登部隊は早くも楊行鎮に迫り一舉之を陥れんと猛烈な進撃を開始すれば友軍石井部隊は力戦蘭村の敵を粉砕して前進を續けてゐる

**上海【六二】**

一 川村部隊は直接第一線に協力する爲今朝楊行鎮並に沈家巷鎮の敵に對し爆撃を加へ敵に多大の損害を與へたり

二 田上、石井兩部隊は今朝來前に引き続き楊行鎮附近の敵を攻撃中にして午後四時石井部隊の一部は蘭村を奪取し全線これに連繫して敵前二百里の線に進入目下激戰中なり

**上海【六二】**

〇〇飛行場を發した我が陸軍機は午後七時より月浦鎮、楊行鎮附近の敵陣に猛烈な爆撃を敢行し敵に多大の損害を與へた

**太倉、嘉定方面に敵陣地構築**

上海【六二】 羅店鎮東正面の敵は我〇〇部隊の月浦鎮占領の結果後方を脅かされ漸次後退を開始した太倉、嘉定の前面に新陣地を構築中である

敵軍死者三萬負傷者二萬  
 上海【六二】 上海敵の火蓋切られて約一ヶ月の間敵の戰死傷者數は豫想外の多數に達し信すべき調査によると戰死者三萬、負傷者は約二萬と言はれる現在共同租界各病院に四千名佛租界に三千名の負傷兵が收容されて居る外南市にも相當數に上る負傷兵が收容され既に南京杭州等に後送された者も相當多數に上つてゐるが特に目立つてゐるのは退院者の少いことと負傷兵よりも戰死者の多い事である

兵の逮捕者日本軍器彈藥の鹵獲者にはそれ、莫大な賞金と與へる旨を軍長より達示し以て士氣鼓舞に狂奔してゐること

**上海【六二】**

△大戰艦五萬元△小戰艦一萬元△飛行機一千元△砲車各五百元△砲一門四千元△迫撃砲一門四千元△重機銃一挺八〇元△輕機銃一挺卅元△步兵銃各一挺五元△小銃彈一千個十元△砲彈一發五元△兵一名を捕虜とせる者廿元△間諜一名五十元△將校一名百元

支那空軍漸滅の苦惱  
 上海【六二】 敵飛行機は最近再び我が陣地に連夜々襲を試みてゐるが常に一機或は二機に止まり爆撃も大した威力を示さず我が地上部隊江上艦隊の反撃に撃退されてゐる有様だ、敵空軍は我が海軍航空隊及び地上部隊江上艦隊等の活躍により撃滅又は爆破されたもの百九十四機に達し其他格納庫諸機被破されたものも相當ある、支那空軍飛行機で第一線に活動可能なのは三百至五百五十機と推定されてゐたが既にその中三分の二以上が撃滅されたわけである、而して支那空軍は一機材が凡て外國製で且國內にその製作工場が無い爲破損の修理が出来ない

**支那軍の非人道的行爲**

上海【六二】 十一日上海より外務省着電によれば吳淞滬鎮方面の支那軍は同地方の

軍用飲料水となるべき井戸や池に細菌又は背腹加里等を投入して逃亡した形跡がある、支那軍のかゝる非人道的行爲は上海戰線のみならず北支でも同様の事實がある由である

**上海 情勢**

**上海一級狀況**  
 十一日海軍省に達した情報に依れば上海市内一般狀況は左の如くである  
 一 虹口、楊樹浦方面  
 (一) 秩序漸次回復して人心安定し敵の砲撃及夜間の空襲は尙絶へないが其の被害は少く一般に鎮靜に向つてゐる  
 (二) 佛租界方面には戾列刺が蔓延してゐるのと同方面からの出入者に對し九日からゲーデンブリッヂで嚴重な檢査を行つて之が侵入を防止すると共に在留民各自は豫防注射をなし各戶消毒を勵行する等防疫に努力してゐる  
 (三) 在留邦人九月一日現在數は(總領事館醫務調查)内地人男三七八四女七四一、鮮人男一四六、女一六六臺灣人男四、女一、合計四八四二名(軍人、軍醫、軍夫を除く)である  
 二 英醫備區域方面  
 (一) 交通制限時間殊に晝間は略平常狀態に回復し列國婦人外國水兵の上陸を散見し人力車も相當多數動いて居る  
 (二) 一時香港に避難した外人婦女で既に上海に復歸したもの多く又本日如きは青島から外人避難者約千三百名到着した  
 (三) 米穀の供給は充分で米價は略々平時と異ならないが一般必需品は約一倍半に騰貴してゐる

敵軍死者三萬負傷者二萬  
 上海【六二】 上海敵の火蓋切られて約一ヶ月の間敵の戰死傷者數は豫想外の多數に達し信すべき調査によると戰死者三萬、負傷者は約二萬と言はれる現在共同租界各病院に四千名佛租界に三千名の負傷兵が收容されて居る外南市にも相當數に上る負傷兵が收容され既に南京杭州等に後送された者も相當多數に上つてゐるが特に目立つてゐるのは退院者の少いことと負傷兵よりも戰死者の多い事である

三 佛租界方面

(一) 滬籍民の殺戮に依り居住者俄に百廿万乃至百廿萬に激増して一時混亂を呈したが工部局の努力に依つて漸く秩序回復し本日から映畫館一閉鎖し目下邦人約一〇〇、鮮人約三〇〇一名居住して居るが濫りに外出しない限り身邊の危険はない

(二) 一般物價は平時に比し約一、二割高であるが家賃及生活必需品は相當騰貴して居る

四 城内南方方面は戒嚴令施行中で午前五時から午後五時迄嚴重な檢閲をした上で交通を許可して居るが支那人以外は絶對に出入させない

南支 戰 況

韶關飛行場襲撃

香港【二三】 去る十日午後二時我が飛行機一臺は突如低空飛行を以て粵漢線韶關上空に現はれ地上偵察後飛行場から正に飛び立たんとする支那飛行機數臺を發見し直ちに機關銃の掃射に移り敵に多大の損害を與へた

赤灣再砲撃

香港【二三】 我海軍の赤灣砲撃後支那側は同地兵力を撤し我に反撃の體勢を執りつゝあるの我が軍艦一隻は十一日午前四時再度赤灣を砲撃し彼我の間に砲火が交へられたが敵は多大の損害を受けて沈没した、尙ほ實安縣政府は先頃の我が砲

擊に替えて郊外に移動した

廣九鐵道軍需品輸送開始

香港【二三】 廣九鐵道は二日の颱風で大捕鯿附近が破壊不通となつてゐたが十一日午前修理完成し午後五時九龍驛發列車より旅客の運行開始することとなつた、貨物は自動車、鐵條網その他軍需品が大部分を占め我が海上封鎖で海路廣東へ輸送不能に陥つたものである

戰時手當要求で英國船罷業

香港【二三】 昨夕刻海防に向け出港豫定の三井物産の備船英國船セイバーンレーフ(六千五百噸) 乗組英國人船員は昨日突如總罷業に出た、同船はプリストル在籍船で船員側では日本備船として働くと支那飛行機に爆撃される懼れありとし戰時手當五割の支給を要求してゐる、日支事變に關聯して外國備船が罷業したのは今回が始めて、船主船長は罷業英國人船員の行爲を不法なりとして直ちに裁判手續を取つた

聯盟に聲明書通告

上海【二三】 十日南京政府外交部は露に聯盟宛送附した二通の聲明書を附し支那領土に對して現在日本の探りつゝある行爲の重大なる影響に關する文書を聯盟に通告した、第一次聲明書要旨左の如し



八月卅日支那が聯盟に提出した第一次聲明は廣海捕鯿事件に發せる武力衝突より十三日上海の戰關勃發直後までの經過を述べたもので同盟國は廣海捕鯿事件後日本の軍事行動に依る戰關擴大は正規の外交手段による解決を日本が拒否した爲めに支那の平和的努力が失敗に歸し日本陸軍隊によつて上海に於ける武力衝突が促進され戰關の場所より遠距離にある都市が日本の爆撃の犠牲となつた

之等支那に於ける日本の軍事行動は大體全體を含む計畫を遂行せんとするもので支那は自己防衛國家生存の權利を行使し暴力を排斥する凡ゆる手段が失敗に歸した結果已むなく武力に移ざるを得ざるに至つた右の如き日本の國際聯盟規約の根本的法則より平和條約及び九ヶ國條約を侵害した事實に對し國際聯盟の注意を喚起するものである

朱、彭德懷の就任出師を通告

上海【二三】 蔣介石より國民革命軍第八路總指揮に任命された朱德、彭德懷は共産軍首領は即日(八月廿五日) 就任出師の通告を發した、唯かある筋の消息によれば北部陝西各縣に分駐せる共産軍六萬は八月末西安近郊の延安(施南) に集結を完了し南京より相當量の武器彈藥を供給を受け軍の改編を了し九月に入るや榆林經由綏遠歸化城方面に向つて主力

支那金融流通を缺く

上海【二三】 上海モラトリアム施行以來既に一ヶ月を經過したが人為的非常手段の繼續による影響は漸く重大化し通貨制度崩壞の兆々へ見受けられるに至つた、即ち國民政府はモラトリアム實施により預金の引出に極端な制限を加へてゐるがモラトリアムの不可缺條件たる金融流通の途が充分でない爲め市中には極度の紙幣拂底を生じてゐる所から浙江財閥の有力者間では財政部の認可を得て先づ來彼等の團體より紙幣類似の流通券を發行流通せしめて居り更に國貨製造工場聯合會市商會、鑛業工會等に於ても同様流通券の使用方を續々財政部に申請中である

中學生に參戰許可

上海【二三】 國民政府教育部は學生の戰時服務規則を決定十一日之を發表した、右によれば上海、南京及びその附近各地の中學校以上の學生にして満十八歳以上の者に對し隨時に參戰を許したものであるが一定の訓練を施した後後方勤務は

南京政府の排外政策

上海【二三】 上海より十一日到達せる情報によれば南京政府は最近在支邦人の總引揚に乗じ支那各地に存在する日本人所有工場その他邦人の經濟的根據地を積極的に破壊して日本の對支經濟活動を根絶せしめんと企圖してゐる模様で之に對し英米等の事業家は南京政府が之の態度を取つたために支那人が益々自負心を強化して利權回收熱に浮かされる結果やがては結局英米等の外國に對しても同様の態度に出るに至りしはせぬかを慮り南京政府の企圖を阻止すべく内密裡に極力運動してゐるといはれる、而してかゝる日本以外の列國に對する排外熱は既に早くも上海方面の支那人青年、學生間に據頭の形勢漸く顯著となりつゝありその第一着手として彼等は最近支那商店等を戸別訪問して外字新聞の購讀をボイコットせよと勸説し歩いてゐる趣である



浦東中立地帯は現地調査の上決定 【二三】 浦東一部中立地帯設置問題に關しては露に現地の英米佛伊等の海軍指揮官より我が海軍出先官感に申入れがあり同時に右諸國の在京使臣より外務當局に同様の申入れがなされたが帝國政府としては最初からこの種の取極めはその性質上先づ現地官憲間に於て研究せしむることが最も實際的であるとの見解を持してゐるので外務當局に於ては十日付の文書を以て右帝國の懸念をそれら關係國在京使臣に回答した

日比谷に國民精神動員の叫び

【二】 政府去權の一國民精神動員大演説會は十一日午後七時から日比谷公會堂で開かれた、開會時間前早くも清員になつた聴衆の大部分はサラリーマンだつたが印刷屋の労働者、番頭さん、學生等に軍人、婦人の姿も見え文字通り銃後を守る國民大衆の中であつた入場を断られた兵衆も風雨の中で大歩調を十重、二十重に垣を作つて立去らうとせず遂にマイクを支那前に掲げさせると云ふ熱心さである、風見騎長の挨拶に次いで君々代齊唱の後、長瀬をフロックコートに包んだ近衛さんは定刻草稿を片手に演壇に歩み寄ると三千の聴衆は揺ぐやうな拍手を送る、期せずして「近衛内閣萬歳」が湧き起つて暫し立往生をした近衛さん、纏て兩肘をぐつと突張つて「國民精神動員運動の開始に當り私の所信を披瀝して諸君と共にこの歴史的なる國民運動の前衛たらん事を期するのであります」と呼びかけ落着いた調子の聲はマイクを通じて全國に中絶された、東洋の永遠の平和確立の爲にやむなく一大鐵槌を加へるに至つた事情を述べ「この日本國民の歴史的な大事業は吾等の時代に於て解決する」と云ふ事は今日を享けたる國民の光榮であり使命である」と滔々と述べれば民衆は急激の機を拍手で之に應へた、次いで馬場内相、安井文相交々起つて學園一致、堅忍持久の精神を強調し聴衆は一語も聞き落すまいと椅子から立つ者もなく約一時間半、近來稀に見る有意義な演説會は午後八時半風見官長の發聲で天皇陛下萬歳を三唱して豪華な幕を閉じた

戦死傷

【十一日發表】 唐膏屯に於ける戦團の戦死傷者左の如し

▲中井部隊

△戦死

兵 一名

△戦傷

兵 一名

▲長野部隊

兵 一名

▲戦傷

兵 一名

▲赤松部隊

兵 一名

△戦死

兵 一名

▲横濱所屬

△戦死

下士官 二名

國民支援

愛國「ダヴァオ」號獻納
ダヴァオ【二】 當地の邦字紙ダヴァオ公論、日比新聞、ダヴァオ新報及び南進時報の四社共同主催になる愛國機「ダヴァオ號」獻納計畫は大いに在留同胞の血を沸かし日本人會評議員會の決議に各地青年團、婦人會、各縣人會等も續々合流獻金運動に奔走した結果總額三萬九千七百一十ペソに達したので十一日午前九時高山日本人會副會長はダヴァオ駐劄日本領事館を訪問獻納手續を了した

海外動向

宋美齡が特派員に
ハリウ【二】 蔣介石夫人宋美齡は支那事變發生以來往來航空委員會秘書長の肩書で對日抗敵計畫に狂奔自ら南京駐在外國特派員の電報機關に當つて居ると傳へられるが、十一日附「ユマニテ」紙は今回宋美齡女史が同紙特派員に就任した旨を發表した、ユマニテ紙は共產黨機關紙で今回のソ支協定の結果その紙面を共產化支那の宣傳に提供することになつたものと見られる

米政府自國船に警告

ワシントン【二】 米國政府當局はフレジデント・フーズアー號事件の直後非公式に米國商船は當分上海其他危險區域の寄港を停止するやう勸告したが國務、海軍兩省は日本海軍の支那沿岸航行遮断に鑑み十日米國商船に對し支那沿岸航行は危険なる旨フーズアー放送により警告を發したがその要旨は左の通り

「日支紛争により支那沿岸一帯は危險地帯となつたがその結果米國商船が支那近海を航行することは危険となつた日本政府は支那沿岸全部に亘つて航行遮断を宣言し一方國民政府は之に對抗して適宜の措置に出る意向である旨を聲明第三國軍艦並に商船に對しては日本艦船に近寄りす且つ夫々最上甲板に自國々旗を掲出し國籍を明示する様を請した

右警告は何等特別の手段を勸告せず對策は専ら各船船業者の判断に委せて居るが國務省當局では次の如き意向を洩した警告の意味は放逐自體が最もよく説明して居る筈だ、政府は船業者に對し必要と考へる事を通告したに過ぎぬ、この通告を如何に利用するかは全く當事者の判断に委せる、然し今回の通告は日本の支那沿岸航行遮断の技術的承認とはならぬ、かゝる承認は交戦状態の正式承認を意味し之は米國のみならず各國の差控へて來た所である

米大統領時局談
ハリウ【二】 ルーズヴェルト大統領は十一日ハイドパークの別荘に於て新聞記者團と會見し世界平和の危機が隨所に起つてあることは遺憾に堪えないと胸頭左の如き時局談を試みた

「極東並に地中海に於ける不幸なる事態の發生は皆に經濟界のみならず民主主義的各國政府始め一般家庭に甚大なる影響を與へ世界の全人類を不安の底におし沈めた、全世界は今や重大なる危機に直面してゐるが我々はあらゆる努力を拂つて米國政府並びに米國民が恐るべき戦争の中へ捲き込まれぬやう努める積りである、余の大太平洋岸への旅行は今後の國外情勢の如何により決定せられよう」

大統領は支那駐屯の米國陸、海軍が在支米國人引揚案の購果して撤退するや否やとの質問に對しては「問題は國務省の所管である」と明答を選じた

要僱の日本回答到着か

ワシントン【二】 ハル國務長官は去る八月廿六日支兩國政府に對し戰團の結果米國人の生命財産が損害を蒙つた場合兩國に於て責任をとるべき旨の通告を發したがハル長官は十日の定例會見に於て右の質問に答へ次の如く述べた

「日本政府から回答に接したかどうかは言明出來ぬ、米國政府としては日米兩國政府が相互の見解を充分に理解するに至る迄一切の發表を差し控へる方針である、個々の事態について一々言明をなすべき限りでない」

右ハル長官の言明は日本政府の回答が既に到着したこと並に回答が米國にとり充分満足すべきものでないことを暗示し認めたとの解されて居るが日本政府の回答は單に米國政府の申出を充分に考慮するといふのみで責任を執るや否やについては一切言實を與へて居ないと見られる

中立法發動の観測

ワシントン【二】 日支紛争險惡化に連れ中立法問題が再び米國各方面で議論の的になつて居るが十日AP通信社は一部份政府筋の観測として「中立法發動の場合ルーズヴェルト大統領は或はその裁量權に基き棉花小麦屠殺自動車等を輸出制限品として指定するに至るかも知れぬと見て居る」と傳へてゐる、尤も今直ちにルーズヴェルト大統領が中立法發動を

命する様子がある譯で無く若し中立法が發動したら」といふ假定に基く推測に過ぎないが上記種品は何れも對支貿易に重要關係あり、假令一部にしても政府部内にかゝる空氣の存することは注目されてゐる、一方ルーズヴェルト大統領もハル國務長官も中立法問題については引續き一切沈黙を守つてゐる

油槽船出帆延期

サンペドロ(カリフォルニア州)【二】 ノルウェー油槽船ジョーシクヌツゼン號(九千七百一噸)はデイズル油九萬五千バレルを積載十日横濱に向け出帆の豫定だったがところ乗組員一同が戰團地域航行を拒否するとして坐り込み罷業に入つたため出帆を延期した

フ號機撃は明白に改意

ホルホル【二】 支那飛行機の爆撃を受け來た國汽船「レジデント・フーズアー」號は十一日ホルホルに入港したが乗客中の比島副高等事務官P.W.リッガス氏は支那飛行機の不法爆撃を憤慨しては決して過失ではないと斷し左の如く語つた

支那飛行機は機撃前に低空で慎重な偵察飛行を行つたから米國々旗を識別し得なかつた筈はない明かに故意の爆撃だと思ふ南京政府が直ちに陳謝し損害賠償を約したからとて米國民を満足させることは出来ない

九月十二日

北支情勢

平張開列車開通
北平【二】 皇軍八連隊突破の際敵軍は八連隊のトンネル内に貨車機關車等を押し

こめて破壊し去つたので爾來張家口、康莊間及び北平西直門、青龍橋間の折り返し運轉を爲し八達嶺は徒歩連絡を續けて來たが昨日トネルの修理を完了し本日午前九時半北平西直門驛から最初の直通列車が出發した明日より正式運轉を開始し午前九時西直門驛より毎日一回運轉に決定平綏線は半ヶ月振りで開通するに至つた

**外國武官等觀線視察**

北平(九)三 平綏線西直門張家口間が半月振りに開通するに至つたので英米佛の駐在武官及び新聞記者團は平岡中佐及び今井武官の案内で十二日午前九時西直門驛列車で八達嶺を超え察哈爾の觀線視察に向つた

**平綏 戰況**

**天鎮西方堅壁奪取**  
陽高(九)二 天鎮縣城西方の堅壁に據つて頑強に抵抗しつゝあつた支那軍約二千は十二日拂曉拂部隊の包圍攻撃により覆滅され潰走した、支那軍陣地の屍體七百餘、我方の損害は極少である

**聚樂堡前面攻撃**

陽高(九)二 十二日拂曉より平綏線聚樂堡前面一帯の敵陣上空に〇〇部隊航空隊の去來頻々我が〇〇機の標音は地上部隊の砲聲と共に山野にこだまして凄愴なる光景を呈してゐる

**陽原 占領**

王官人屯(九)三 蔚縣城を占領した我軍は更に支那軍を急追して十二日午後三時陽原を占領省境を越へて山西省廣靈の堅陣に迫つた

**平漢 戰況**

**門頭溝西方山地燬棄**

〇〇(九)三 十二日午後三時半より約二時間にわたり〇〇部隊の〇〇機及び〇〇部隊の〇〇機は各〇〇機編隊にて密雲を衝いて門頭溝西方山地帯に立入り根強く抵抗を續けてゐた支那軍陣地に對し數回猛烈な爆撃を加へた

**關古庄戰死傷者**

長辛店(九)三 十二日關古庄の戰闘に於ける我方の戰死傷者は左の如し

△戰死 孫本昌次郎少尉 池田延夫准尉 丹治昌尚軍曹 岡山縣出身以下九名

△戰傷者 小野軍曹以下十八名

**中 南 支**

空 襲

眞橋飛行場襲撃

上海(九)二 海軍〇〇航空隊〇〇機は十二日早期眞橋飛行場を襲撃敵航空隊の殘敵に對し痛烈なる打撃を與へた

**上海 戰況**

**皇太后陛下御下賜**  
〇〇(九)三 皇太后陛下に於かせられては畏くも上海の我〇〇艦隊將士の勞苦を篤はせ給ふ深き御恩名を以てこの程御菓子賜はつたが將兵一同御仁慈に感激し一死奉公を誓つた

**海軍活躍**

上海(九)三 (第〇艦隊報濟班午前九時半發表)  
一 海軍航空部隊は昨日浦東方面、楊行鎮江灣鎮方面の敵軍砲陣地、江灣路旁勸大學、市政府附近の敵兵倉及び劉河警備司令部を爆撃せり  
一 海軍陸戰隊方面の戰況は昨夜半より

今曉にかけ開北地區八字橋方面北方戰線にかけ敵の砲撃及び遺棄ありし我が沈着なる艦隊により敵は多數の死傷者を殘して潰走せり右戰闘中我が砲撃は八字橋寶山鎮紙會社及び浙明公所の敵火藥庫に命中所は一たび響きと共に爆發倒潰せり、また東部梁北部隊に對しても今曉三時頃敵の夜襲ありし交戦約一時間にして撃退せり我が損害は極めて輕微なり

**楊行鎮占領**

上海(九)三 石井、田上兩部隊は空軍と協力して昨十一日來楊行鎮を猛襲中であつたが十二日午前遂に同地を占領敵軍司令部高く日章旗を掲げた

**陸軍全線進出**

上海(九)三 (午後十時軍報道部發表)  
一 楊行鎮西北の敵陣地を突破せる我が〇〇部隊は本十二日午後二時頃を以て西方約三軒、東錢橋、鎮巷宅、西張宅の線に進出し當面の敵を攻撃中なり

**海軍機活躍**

上海(九)三 (第〇艦隊報濟班午後八時廿分發表)  
海軍航空隊は本日江灣鎮、大場鎮、劉行鎮、上海市政府、附近及び浦東並に開北ボケット地帯の敵並に敵砲兵陣地に對し猛烈なる爆撃を敢行し開北ボケット地帯は大爆彈命中のため數ヶ所に亘り火災を生じ目下延焼中

**上海 情勢**

カ前面のクリークに飛込み忽ちのうちに渡渉揮一つの線體群はトーチカの側に忍びより突如威嚇を舉げて敵陣に飛び込みあつ氣にとられを占領した、これが導火線となつて我が前進部隊が突入り〇〇部隊の突進、砲兵の掩護砲撃、飛行機の空襲等凡ゆる攻道具を使用して敵陣地を痛快に破壊敵主力部隊は急退自動車隊を編成して楊行鎮方面に潰走するに至つたものである

**月浦鎮附近敵掃蕩**

〇〇(九)三 十二日午前七時五十分我が航空隊〇〇機は銀翼を連ね月浦鎮上空に現はれ我が〇〇砲の一齊砲撃と呼應し同地附近殘敵に對し猛烈な爆撃を敢行し敵陣地砲聲は今朝來全く沈黙した

**野戰郵便局開設に喜ぶ**

上海(九)三 前線將兵隊甚野戰郵便局が去る十日吳淞鎮に開かれた、郷里からの便りは兵隊さんにとってはこの上もない喜びで「俺の無いか」と詰めかける兵隊で親官局長始め五名の局員は開局以來風呂にも入らず手古舞ひをしてゐる、嬉しき手紙を手にして飛び上る者、一通も無くて情氣である者、悲喜劇がここに演ぜられてゐる

**同文書院長崎に移轉**

上海(九)三 東亞同文書院は支那側に占據されたので長崎に臨時移轉十月中旬より舊長崎師範學校を借り受け授業を開始することとなつた、目下内地に歸國してゐる學生の中四年生約六十名は通譯

上海(九)二 衆議院議員皇軍慰問團長西岡行次郎氏外十二名一行は十二日午前十一時上海九つ到着旗幟〇〇に長谷川長武官室に原田、本田兩少將、總領事館に岡本總領事を訪ひ執れも歸重なる慰問の言葉を述べた、約一週間に亘つて全線慰問を行ふ、長谷川長官に傳達した慰問文左の如し

北支事變の上海に擴大するや帝國海軍の將兵は迅速果敢我が權益の擁護に従事寡兵よく大軍を破り更に皇軍の壯烈なる爆撃と相俟つて敵に大打撃を與ふ、今又帝國陸軍は派遣され勇躍進軍するに及び陸海相協力して益々戰線を展開し向ふところ風靡せざるなし、その忠勇義烈の功績は眞に鬼神を泣かしむるものあり、これ國民の齊しく感謝措かざるところなり、我華業議院を代表して陸海兩軍勇士を慰問し國民感激の至情を傳ふ、餘後の掩護は國を擧げいよ、熱烈なり諸氏後顧の憂ひなく倍々その本分に邁進せられんことを祈る

**衆議院慰問團上海着**

衆議院慰問團上海着



として従軍を志願してゐるので近く前線に分派される筈

なほ書院校舎は八月末支那警察局長の手に移つて居り構内にあつた新建築材料を始め學生職員の寝具、机、椅子、多数のタイプライター、電話器、附屬病院の醫療器械、藥品等は悉く持ち出され支那軍第八十七師が軍用で使用し現在尙好連日多数のトラックが什器を運び出してゐる最も懸念されてゐるのは封印された書庫の十萬冊の圖書であるが之も殆んど絶望視され損害は莫大

英代理大使川越會談

上海(三) 新任の英國駐支代理大使アール・ビー・ウ氏は今朝十時半官邸に川越大使を訪問會見時餘に亘り同十一時半辭去した

日高參事官英代理大使會見

上海(三) 日高參事官は十二日夕刻フランス租界のイギリス大使館員某氏官舎においてイギリス代理大使ハッ氏と最初の會見をなし約三時間にわたつて重要會談を遂げたが席上日高參事官は日支事變の全般的情勢並に上海戦局と共同租界との關係について詳細に述べ更に日本の態度につき説明するところあつた、なほハッ氏は十四日ホールパッチ經濟顧問及びフレイザー武官を同伴南京に赴き支那側要人と會見する

上海市食糧統制法施行

上海(三) 實業家の巨頭王曉籟を主席とする上海民食調節會では上海附近に支那大軍集結の結果重大なる食糧問題に當面し之の解決方法を遂に非常手段をとり左の如き食糧統制法を設け任意協力の下に十二日より強制實施した

第一條 當市にて米、麥粉、油、雜糧工場又は商店を經營する者はその所有量

の多寡を論せず凡て本月十二日より十八日迄に在貨高を本會に登録すべし

第二條 前條に規定の食糧は各種の米類、麥類、豆類、麥粉、高粱、玉蜀黍、胡麻、落花生及び各種食用油を包含するものとす

第三條 前條に規定の各種食糧はその倉庫内に貯蔵されたと商店内に保有されあるを問はず凡ての在貨を指すものとす、但し米小賣店にて販賣中の米はその限に非ず

第四條 食糧品が擔保となり居る場合は右を保管中の銀行が所有者に代りて登記すべし

第五條 登記せられたる食糧は凡て本會に於て臨時公開の市場に於て評價交易せしむる以外絶対に私人の賣買を許さず

第六條 貯藏中の食糧を移轉せしめんとする時は先づ本會に申請許可を得たる後行ふべし

第七條 本會の臨時市場にて取引成立せる食糧は本會許可證の發給を受けたる後他に搬出し得るものとす

第八條 前記各條の規定に從はず或は期限内に登録を爲さざる者は之を戒嚴司令部に報告し、嚴罰に處す

▲食糧統制申請 上海(三) 上海民食調節會が食糧調整法を實施するに至つたのは去る八月十八日公布された戰時糧食管理條令を當地に適用したもので之によつて當地の糧食問題が如何に窮迫してゐるか、窺はれる、即ち

一 國民政府は日支關係險惡化と共に七月十六日まつ小麦粉の輸出を禁止し次いで同廿一日には穀を禁止次いで米、粟、豌豆其他豆類、高粱、玉蜀黍等一般穀物に及ぼし極力糧食の輸移出防止に努めたる事

二 その後支那軍の上海附近集結による食糧需要の激増に鐵道、トラック、車馬其他陸上交通機關は軍需險途に墮斷され一般貨物の輸送が窮乏となつた

三 我が海軍による支那船舶の交通遮斷を誇大に宣傳し日本の非を鳴してゐるが外人の負傷者は一名も無いこと判明した尙石龍の損害も之亦全く秘密にされてゐるが同地が交通の要衝とて支那側はこれが爲め更に防備を嚴にし最新式高射砲を以て備へてゐると

上海(三) 〇〇報道部十二日午後八時發表 我が軍艦〇〇は十二日香港の北方にある惠陽無線電信臺を又〇〇驅逐隊は廣東支那海軍無線電信塔を砲撃之に多大の損害を與へたり

パイアス灣攻撃 香港(三) 廣東よりの支那側情報を経合するに十二日正午過ぎ我軍艦數隻はパイアス灣に現はれ支那軍陣地に向けて砲火を集中し支那海軍根據地は忽ち黒煙に蔽はれ更に同灣の西南にある支那砲臺も火災を起し燒失したので我陸隊は同二時半驅逐トーチカに據り抵抗する數百の支那兵を潰走せしめて同地を占領し海軍兵工廠に火を放ち跡方も無く燒き拂ひ歸還した、支那側は急を聞き實安、赤灣方面に集結してゐる、右戰團に呼應して航空隊は平山、淡水等附近各地を擧撃し多大の損害を與へた、廣東軍當局は我がパイアス灣砲臺を以て同地に飛行根據を建設し度九鐵路を破壞せんとする作戦と見てゐる

南支 戰 況

察陽、石龍鎮擧撃 香港(三) 龍開するに十二日午前の惠陽附近偵察に際し〇〇機編成の我が空軍〇〇隊は同地飛行場、兵營その他に擧撃數十個を投下し多大の損害を與へ更に廣九鐵道石龍鎮に擧撃六個を投下し大損害を與へ飛び去つた、石龍鎮の損害は不明なるも同地の鐵橋が破壊されたのではないかと見られてゐる、尙石龍鎮の報告に接し廣東では空襲警報を發したが同地の擧撃は行はれなかつた

香港(三) 十二日の我惠州擧撃は同市が始めに爆彈を見舞はれたこと、市民は全く戰慄の底に叩き込まれ家財道具を放棄し戸外に逃避するもの續出し市中は極度の混亂に陥つたといはれる、又支那側軍事機關の損害甚大なるは外人側でも信じられてゐるが當局はその點極秘に附し居りたり米人經營の惠州病院に擧撃し落下し多數の死傷者を出したといふことを誇大に宣傳し日本の非を鳴してゐるが外人の負傷者は一名も無いこと判明した尙石龍の損害も之亦全く秘密にされてゐるが同地が交通の要衝とて支那側はこれが爲め更に防備を嚴にし最新式高射砲を以て備へてゐると

上海(三) 〇〇報道部十二日午後八時發表 我が軍艦〇〇は十二日香港の北方にある惠陽無線電信臺を又〇〇驅逐隊は廣東支那海軍無線電信塔を砲撃之に多大の損害を與へたり

パイアス灣攻撃 香港(三) 廣東よりの支那側情報を経合するに十二日正午過ぎ我軍艦數隻はパイアス灣に現はれ支那軍陣地に向けて砲火を集中し支那海軍根據地は忽ち黒煙に蔽はれ更に同灣の西南にある支那砲臺も火災を起し燒失したので我陸隊は同二時半驅逐トーチカに據り抵抗する數百の支那兵を潰走せしめて同地を占領し海軍兵工廠に火を放ち跡方も無く燒き拂ひ歸還した、支那側は急を聞き實安、赤灣方面に集結してゐる、右戰團に呼應して航空隊は平山、淡水等附近各地を擧撃し多大の損害を與へた、廣東軍當局は我がパイアス灣砲臺を以て同地に飛行根據を建設し度九鐵路を破壞せんとする作戦と見てゐる

【海軍省副官談】十二日午前十一時分發パイアス灣海軍砲臺を砲撃すると共に陸戰隊を揚陸し野砲二門を破壊し一門を擧撃せり、尙本砲臺により同砲臺火藥庫は火災を起し完全に破壊せられたり、同隊は更に午後六時過南海の廣東海軍無線臺をも砲撃し之を破壊せり

【馬公要港部發表】驅逐艦〇〇及び〇〇は十二日午後十二時より午後一時半にわたるパイアス灣を砲撃し守備兵を掃蕩後陸戰隊を揚陸せしめ敵の野砲二門を破壊しこれを海中に投棄し一門を捕獲トーチカ並に彈藥庫を完全に破壊せり、我方に損害なし

廣東無線電臺砲撃 【馬公要港部發表】驅逐艦〇〇及び〇〇は十二日午後六時卅分南海、欣賞の廣東海軍特設無線臺を砲撃破壊せり、命中彈十發に及び同無線臺は使用不可能となれる見込み我に損害なし

中村總領事歸國 香港(三) 中村廣東總領事は當地で殘務整理を終へ十二日午後五時郵船管轄舟で歸國の途に就いた、十六日神戸着の豫定である、尙同船で邦人百五十名が引揚けた

國民政府

▲國府共產軍を謳歌 上海 【三】 蔣介石は共產軍を國民革命軍に改編し共產軍の首領たる朱德、彭德懷を國民革命軍第八路正副總指揮に任命したが、蔣介石を始め汪精衛、閻錫山、于右任、程潛、劉峙、何鍵、吳鐵城、余漢謀、劉湘、陳儀等中央軍政界の領袖十餘名は十一日朱、彭に對しその就任を機會に祝電を發した、蔣介石の祝電は「貴軍今忠誠を以て國家民族の爲に闘はんとす、寔に欣快に堪えず、なほ希くば一致團結に困難に赴かず」と言ふ、各要人と共に共產軍の抗日統一戰線への合流を賞揚し國共兩黨の妥協符合を謳歌してゐる

▲國府共產軍を謳歌 上海 【三】 蔣介石は共產軍を國民革命軍に改編し共產軍の首領たる朱德、彭德懷を國民革命軍第八路正副總指揮に任命したが、蔣介石を始め汪精衛、閻錫山、于右任、程潛、劉峙、何鍵、吳鐵城、余漢謀、劉湘、陳儀等中央軍政界の領袖十餘名は十一日朱、彭に對しその就任を機會に祝電を發した、蔣介石の祝電は「貴軍今忠誠を以て國家民族の爲に闘はんとす、寔に欣快に堪えず、なほ希くば一致團結に困難に赴かず」と言ふ、各要人と共に共產軍の抗日統一戰線への合流を賞揚し國共兩黨の妥協符合を謳歌してゐる

▲國府共產軍を謳歌 上海 【三】 蔣介石は共產軍を國民革命軍に改編し共產軍の首領たる朱德、彭德懷を國民革命軍第八路正副總指揮に任命したが、蔣介石を始め汪精衛、閻錫山、于右任、程潛、劉峙、何鍵、吳鐵城、余漢謀、劉湘、陳儀等中央軍政界の領袖十餘名は十一日朱、彭に對しその就任を機會に祝電を發した、蔣介石の祝電は「貴軍今忠誠を以て國家民族の爲に闘はんとす、寔に欣快に堪えず、なほ希くば一致團結に困難に赴かず」と言ふ、各要人と共に共產軍の抗日統一戰線への合流を賞揚し國共兩黨の妥協符合を謳歌してゐる

▲國府共產軍を謳歌 上海 【三】 蔣介石は共產軍を國民革命軍に改編し共產軍の首領たる朱德、彭德懷を國民革命軍第八路正副總指揮に任命したが、蔣介石を始め汪精衛、閻錫山、于右任、程潛、劉峙、何鍵、吳鐵城、余漢謀、劉湘、陳儀等中央軍政界の領袖十餘名は十一日朱、彭に對しその就任を機會に祝電を發した、蔣介石の祝電は「貴軍今忠誠を以て國家民族の爲に闘はんとす、寔に欣快に堪えず、なほ希くば一致團結に困難に赴かず」と言ふ、各要人と共に共產軍の抗日統一戰線への合流を賞揚し國共兩黨の妥協符合を謳歌してゐる

▲朱德の南下北上 北平(二) 南京政府は容共方針決定と共に中國共產軍を軍事委員會管下に屬せしめたが十二日某方面よりの情報によれば其共產軍首領朱德麾下の有力部隊は最近陝西省を経て同蒲鐵道により山西省に入り太原北方の原平に下車し更に北上中と云はれるが山西省北方には既に我軍が進出しつゝあり南京政府は共產軍増援によつて同方面戰線の強化を圖る意向と見られる

▲共產軍辦事處開設 上海(二) 共產軍の國民軍第八路軍への改編に伴ひ朱德は中央側との軍事聯絡を圖る爲南京に駐京辦事處を設けしに決定し代表として軋て赤軍第一方面軍參謀長として瑞金に於て活躍勇名を馳せた自己の腹心葉劍英を駐京辦事處長に任命葉は既に南京に辦事處を開設した、なほ共產黨側の政治的代表としては周恩来が南京、西安間を頻りに往來しその聯絡に當つてゐる

▲陸軍省情報 十二日午前十時四十分陸軍省に達した情報によれば南京政府は九月十一日共產軍の首領朱德を第八路軍總指揮に又彭德懷を副總指揮に任命(實際は八月廿二日就職)せる事を發表した南京政府の容共政策については周知の事實であるが右は西安事件の際の約束を實行し共產軍を正式に支那軍の編成内に入れた事を公表したものと極めて重要視される

▲國府の容共事情 天津市(三) 陝西省を中心に逐次紅區擴大を圖りつゝあつた共產軍は紅區抗日人民救國軍總司令朱德を總大將に第八路軍として抗日戦線に参加しいよゝ山西省に進出したものゝ如くであるが、右は明らかに蔣介石との間にあらたな協定が成立した譯と見られてゐる、即ち過ぐる西安事變後の國共妥協によつて從來や

▲袁枚の傾向にあつた共產勢力は果然勢力を挽回し更に三中全會後兩者の合作工作は軌道に乗り中央紅區(陝西省を中心に寧夏、甘肅を含む)は益々勢力増大し兵員も五ヶ師に改編され凡そ六萬を有するに至つた適々七月七日盧溝橋事件の勃發するや中國共產黨は從來の主張たる「國一致對日抗戰」を國民政府をして實踐に移さしめる好機と見て朱德、毛澤東その他首腦部連名で朱哲元等宛に「第二十九軍の英雄的抗日を聞き義憤に燃ゆる我軍は隨時移動費軍に追隨して一戰を決意せり、貴軍勇躍此の通電に共鳴せよ」とアジリ一方中國共產黨書記長兼特別區(紅區)政府副主席周恩来は頻りに西安南京を往來し共產軍は悉々北支抗日戦線に南京側と協力して起つべき氣勢を示しつゝも蔣介石の企圖する動向、察哈爾の第一戰事部隊を軽く斥けて動かさ取つて南京政府内部に喰ひ入り徐に政權奪取の機を窺ひつゝあつたが戦火の南方に飛び擴大するに伴つて周恩来等の活動は活潑となつた、蔣介石も首都南京の危機迫るに及んで共產黨側の主張たる國府内部改造、共產黨員の要職起用、ソヴェト區の擴張其の他を容れる新妥協案を容れざるを得なくなり共產軍側も民衆にその實力を示す上にて從來の高見の見物から抗日實踐参加を決意するに至つたものである、かくて南京政權は完全に共產黨の魔手に操られ之が傀儡となり實質的には蔣介石政權は遂に共產化したと見るべく之が動向は今後予聯がとるべき對極東政策と關聯して極めて注目要する

帝 國

同仁會治療班を北支に派遣 日本は支那民衆を敵とするものに非ずとの我が根本精神を支那民衆に知らしめる爲外務省では對支文化事業の全面的な進出を計畫してゐるが同省文化事業部の補助機關財團法人同仁會をして戰禍の地に醫者看護婦職員等四千餘名からなる診療班を急派せしめる事に決し十二日午前九時から同會本部に於て緊急理事會を開催具體案を決定した、同會では對支一視同仁のモットーから北平、青島、漢口、濟南等に病院を経営支那民衆に廉價な診療を施したものであるが此の度の事變で北平以外の三病院は閉鎖の已むなきに至つたので今回廿萬圓を投じて北平を中心に二班の診療班を派遣し傷病に苦しむ皇軍將士は勿論のこと何國人を問はず一般民衆にも温い恵みの手を差し伸べやうと云ふので帝國の公正なる態度を汎く中外に顯現する

▲方振武歸國 香港(二) 三年餘海外にあつた方振武は十二日午前六時伊太利汽船で香港に歸來した、兩三日當地に滞在の上廣東經由南京に赴く豫定である

海外動向

ル大統領極東事情聴取 ハイドパーク(ニューヨーク)の別墅に休養中のルーズベルト大統領は十二日最近極東視察の旅から歸つた現カリフォルニア・テキサス石油會社社長で舊フレン・トラストの一人ジェームス・モフエツト氏を迎へ更に外交顧問ノーマン・デーヴィス氏を交へてハドソン河に舟遊を試みたがルーズベルト大統領は船中に於てモフエツト、デーヴィス兩氏から極東の情勢並に歐洲の危機に付き種々情報を取扱意なき意見の交換を遂げたと見られる、會談の内容についてはルーズベルト大統領もデーヴィス氏も口を緘して語らない、モフエツト氏は會談の内容には觸れず單に極東旅行の感想として次の如く語つた

▲戰死 砲兵大佐 大生 壇城  
▲戰死 去月廿二、廿三兩日の南口附近の戰死傷左の如し  
▲長野部隊 將校 一名  
▲戰死 少尉 福本 忠  
▲戰死 兵 五名

▲十二日發表 鎮守府關係の上海方面に於ける戰死傷左の如し  
▲横濱所屬 兵 一名  
▲實傷 兵 一名  
▲吳鎮所屬 將校 一名  
▲戰死 少佐 餘田 喜一

▲參謀總長官邸下御祝電 閣下には我軍の大岡占領に對し十三日夜植田關東軍司令官宛左記御祝電を發せられ關東軍將兵の成功を祝せられた

平綏戰況

大同占領 王育人屯(二) 聚樂堡より大同に向つて疾風の如く敵を擊退中であつた我〇〇軍の先陣騎兵隊は十三日午前九時五十分途に山西軍の最要地大同東門に進入し續いて〇〇隊も東門に達し一審射撃を開始するや大同城内の敵は脆くも白旗を掲げて降服せに我軍は大同を完全に占領した

▲天津大連間貨物船航路 天津、大連間航路の一般貨物輸送は事變發生以來杜絶してゐたが天津治安回復に伴ひこれが復活を望み強くなつたので大連汽船では此の程濟通丸を同航路に配し輸送を開始した、積載貨物は目下のところ食料品と印刷荷物が大部分であるが漸次一般通商貨物も出廻るものと見られる

▲廣靈占領 天津十三日發同盟(午後三時卅分天津軍司令部發表) 南口、居庸關附近の山地戰において敗退せし敵は廣靈(懷來西南方約四十里)附近において集結中のところ我が〇〇部隊はこの敵を擊滅する目的を

▲九月十三日 參謀總長官邸下御祝電 閣下には我軍の大岡占領に對し十三日夜植田關東軍司令官宛左記御祝電を發せられ關東軍將兵の成功を祝せられた

以て懸路を得て進撃中、廣靈の敵は本  
 十三日午前十時過ぎ遂に西方及び南方に  
 潰走し我が〇〇部隊はこれを占據せり、  
 察哈爾省内には敵影を認めず

天津(二) 〇〇部隊の快足に迫るま  
 られ察哈爾省の要衝廣靈を通過し十三日  
 より西南に向け潰走中の敵は山西軍の三  
 個師と共産軍の一部であること判明した

共産軍山西に移動  
 天津(二) 朱德を總指揮とする中國共  
 産軍は第八路軍として抗日戦線に参加し  
 其の先鋒部隊は既に陝西省より山西省内  
 に進出大同及び太原を結ぶ中間地區に移  
 動しつゝありと傳へらる

平綏線大勝は空前の偉業  
 緊要機(二) 我軍は去月廿日長城線を  
 攻撃以來十三日までに激戦七十餘回を交  
 (大佐部隊長の戦死を始め戦死傷〇〇餘  
 名を出した、就中湯淺、十川兩部隊の奮  
 戦自覚しく〇〇部隊の如きは備か〇〇名  
 を残すのみとなつたが士氣よく、高ま  
 り正に天を衝くの憤がある、一方支那軍  
 は六萬餘の損傷を受け部隊の全滅せるも  
 の多數に達して居り我〇〇部隊の快速な  
 る奮戦は實に世界戦史上空前の自覚さ  
 である

興濟鎮占據  
 天津(二) (軍司令部午前十時發表) 沼  
 田、長野兩部隊は十三日午後四時廿分興  
 濟鎮(青州南方十キロ)を占據せり

津浦戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

遼東競馬場占領  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

天津(二) 平綏、平漢兩線に跨り永定  
 河上流と天險を擁して我軍の側背を窺つ  
 てゐた千君臺(北平西方五十キロ)に於  
 ける中央軍二箇師の攻撃に當つた神田、  
 岡本兩部隊は去る六日同地を占領して以  
 來敵はその西方陣地に退き向も執拗に抵  
 抗しつゝあつたが連日に亘る兩部隊の猛  
 攻に堪へかね十三日遂に警備を捨て潰  
 走して平津地方に作戦する皇軍の側背脅  
 威を完全に交際したもので同日の〇〇部  
 隊大同占領と相俟つて北支那に於ける我  
 軍軍行動の特筆すべき戰果とされてゐる

遼東競馬場占領  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

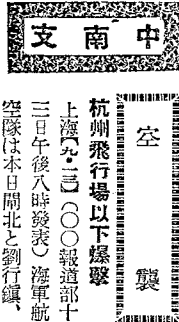
上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる



杭州飛行場以下爆撃  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

龍華飛行場爆撃  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海戦況  
 上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

陸隊部隊の浦部、佐藤、柳瀬の各  
 隊は引續き附近の殘敵を掃蕩中、目下競  
 馬場附近にある鮑家宅、姚家弄、盧家橋  
 の各部落を確保し一方蘇原陸軍部隊は陸  
 軍隊と呼應し午前十一時軍工路より西進  
 を開始した

上海(二) 敵の退却に乘じて我軍は軍  
 工路方面より猛追撃を開始し遼東競馬場  
 占領の海軍陸戦隊と緊密なる連絡をとり  
 敵を西方に駆逐正午頃までに市政府の線  
 に進出し市政府を確保し占領した

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 我軍の猛進により市政府  
 を中心とする敵軍は各所に放火して退路  
 を奪ったが午後四時市政府裏手の市社  
 會局は紅蓮の楯に包まれるに至り金にあ  
 かりて造られた市政府大廳舎は最早煩燥  
 を免れず西は江灣停車場方面まで火箱運  
 り黒煙天に沖し物凄い光景を呈してゐる

上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) (第一〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

市政府方面より潰走する敵に對し我  
 が江上艦艇は之に互砲を以て砲撃致命  
 的損傷を與へ又海軍航空隊は上空より  
 之を追撃反復徹底的爆撃を加へつゝあ  
 り

陸隊隊北方戦線本部隊の一部は東部  
 安田竹下部隊の進撃に呼應し體育會路  
 路上の敵を驅逐して戦線を進出せしめ  
 江灣鎮方面の敵を壓迫しつゝあり

上海(二) 市政府及遼東競馬場附近の  
 敵は我軍により撃退されたので軍工路の  
 不安漸く薄らぎ十三日午後二時陸隊隊  
 甲車隊は滬江大學より吳淞に向つて勇躍  
 出發砲彈に破壊された軍工路を約一時  
 間にして吳淞に到着し吳淞、上海間  
 の連絡は去る八月十三日上海事變勃發以  
 來一ヶ月にして完成された

敵の精神的打撃甚大  
 上海(二) 市政府を中心とする東西四  
 哩半南北三哩に亘る戰場内の敵は我軍の  
 東方及び西南方よりする進撃に押されて  
 今十三日朝來逐次陣地を放棄し江灣鎮及  
 び大場鎮方面に潰走蘇原部隊は大した敵  
 戦を交へる事もなく正午市政府を占據し  
 遂に市中心區は我が軍の手中に歸した、  
 これと呼應して陸隊隊北方戦線は江灣鎮  
 南方に進出して腹背より敵を脅威し陸軍  
 〇〇部隊は鐵道線路西北に向つて進撃東  
 北方より敵を睥睨する體制を整へるに至  
 り此の日のこの方面の戦局は事變以來最初  
 の大變化を示したもので之の結果は吳  
 淞上海街道の交通連絡が完成され滬甯  
 道以西の地區に敵を駆逐するに至り五千  
 萬圓の巨費と三ヶ年の年月を費して漸く  
 造り上げた市政府及び市中心區を失つた  
 敵の精神的打撃は恐らく軍事上の損害以  
 上のものがある

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

上海(二) 〇〇部隊の先頭は十三日午  
 後市政府東方一帯の敵を撃破し市中心區  
 一帯の地域を占據した、市政府は完全  
 に我手中に歸し市中心區にある市政府、圖  
 書博物館、教育館、運動場スタヂアムに  
 は何れも日旗が翻つてゐる

我軍全線推進

上海(二) 敵退却部隊の集結地點たる大場鎮、江灣鎮方面に對し我空軍は本朝本猛烈な空襲を敢行中

上海(三) 午後四時廿五分頃より我海軍航空隊(機は再び江灣鎮上空に現はれ敵陣地に猛烈な爆撃を加へた)

上海(四) 陸軍隊は本拂曉より新公園附近の陣地より一齊に砲口を開き廟行鎮方面の敵に對し猛烈な砲撃を加へた

上海(五) 陸軍隊橋本部隊の一部は十三日午後六時新公園北方油公司の最前線より行動を開始し北西約三百メートル前の杜の中の敵陣地を占據した、此の戦闘にて團兵費以下七名の負傷者を出した

上海(六) 敵は死傷甚多を遺棄して敗走した

楊行鎮(二) 十二日楊行鎮、楊家屯を確保した田上部隊は十三日早朝より潰する敵を追つて一路金家灣方面へ進出し無電線を死守する敵を攻撃劉家巷鎮へ迫ると共に陳家巷方面へ敗走しつゝある敵を追撃中である、また石井部隊は早朝より胡家屯、楊家屯、西歐屯の敵に向つて全線に亘り猛撃を續けてゐる

上海(七) 〇〇報道部十三日午後十時發表) 羅店鎮附近の〇〇部隊は本十三日朝來その左翼方面に於て當面の敵に對し攻撃を開始し浦鎮方面より前進せる〇〇部隊と確實なる連絡を確保せり

上海(八) 〇〇(十三日午後六時〇〇報道部發表) 森原部隊は虬江クワイク以北の地區より市中心區域の敵を掃蕩しその第一線部隊を以て正午頃橋本市政府西方の滬滬路の線に進出せり、我陸軍隊は虬江クワイク以南の地區より之れに連繫して西進中なり

二 我〇〇部隊は本日午後撤過鐵道に沿ふ地區より江灣西北地區に向け進撃を開始せり

三 河村部隊は本早朝空中偵察により江灣鎮附近一帶の敵の退却を察知し江灣鎮西方地區の退却部隊及大場鎮劉家巷附近の敵の要地に對し爆撃を敢行せり

四 我〇〇部隊は今朝來劉家巷、顧家宅東側の敵陣地に對し昨日に引續き砲撃を加へ本日正午頃敵前線五六百メートルに肉薄し激戦中なり

五 月浦鎮より西方に向け進撃中の〇〇部隊は今朝來更に當地の敵を撃破し正午頃概ね羅店鎮東約四キロ顧家角南北の線に進出せり

六 森重部隊は本日正午頃吳淞より軍二路を南進沈家巷鎮南方に於て敵の抵抗を排撃しつゝ南進午後一時過ぎ滬江大學に到着し吳淞方面部隊と森重部隊との連絡を完成した

支那軍大場鎮、廟行鎮に退く

上海(九) 陸軍飯田部隊の第四トーチカ確保、海軍柴北部隊の遠東競馬場進出に依り軍工、五種砲路を中心とする引翔港一帶の敵は三方より我軍の包圍體形下に陥り陣地の支持困難となり今曉第二線トーチカ陣地よりの退却兵を收容掩護射撃の下に大場鎮、廟行鎮を中心とする陣地に向け退却を開始した

上海(一〇) 楊行鎮及び軍工路の守備を突破された敵前線部隊は全面的に後退を餘儀無くされたが支那側當局でも之を認め十三日午後二時外人記者團に對し支那軍別動隊は江灣鎮、大場鎮の線に目下集中中なる旨發表した

上海(一一) 楊行鎮を放棄した敵右翼及軍工路の殘敵は大場鎮、江灣鎮に續々集結しつゝあり、新手の増援隊と合して

同地點を第三線陣地として守備陣地を固めつゝあり

上海(一二) 楊行鎮の田上部隊正面一帶の敵は九八師(兵力一萬三千)、十六師(兵力一萬)十師(兵力一萬計三萬三千)を柳家鎮より劉家巷鎮にかけて數線に亘る堅固な陣地により逆襲の機を窺ひつゝある

支那空軍又も病院船爆撃

上海(一三) 午前十一時第一艦隊報道班發表) 十二日午後八時半吳淞沖において我病院船朝日丸は再び暴虐なる支那空軍の爆撃を蒙つた、幸ひにして人命に損害はなかつたが赤十字の旗を掲げる病院船に對する支那軍の再三の非文明非人道的の行爲は許すべからざるものがある

上海商取引狀況

上海(一四) 岡本上海總領事より十三日外務省に達した公電によれば最近の上海に於ける貿易狀況は大體左の如し

商取引は市中の危險が依然として去らなため商船の出社絶し殆んど停止の狀況にあり、就中最大の打撃を受けてゐるのは支那輸出農産品で例へば桐油の如きは單體前一ピクル四十五元見當のものが現在廿五元見當に暴落而も相場はノミナルである、種子類は相場立たず操業不能に陥りストックは上海市中に於て消費された爲めに殆んど皆無となつてゐる、尙

邦人の輸出商人は内地の高警管理強化と支那側輸出禁止令とで新規契約少く打撃大ならず、又輸入時は時局悪化懸念で引取急がれ支那商人より積出要求のものあり形勢混沌のうちに変戦状態に入り未決済のまゝ経過し居るもの大部分と見られるが詳細の數字は尙不明である

文化團體在華財產沒收申請

上海(一五) 各大學教授及作家協會、職時文化建設委員會等の文化團體は日本人の在華財產全部を沒收し團匪賠償金の償還を停止する機國民政府行政院に申請した、文化團體ですら斯くの如く非文化的行動を採らんとするは護の東亞同文書院の掠奪事件と共に支那側の暴虐を遺憾なく控擲したものと云はる

南支 戰 況

虎門砲臺爆擊

香港(一六) 十三日午前四時半我海軍飛行隊(機は廈門西方上空を過ぎ同六時半珠江要害虎門砲臺の上空に現はれ大爆撃を敢行し砲臺を粉砕悠々引揚げた、支那側は高射砲を以て盛んに應戦して來たが我方損害なし

支那機を追拂ふ

上海(一七) (馬公使要部十四日午前六時發表) 十三日午前四時四十五分軍艦〇〇は萬山群島附近に於て敵のノースロップ二機が淡雲の間より攻撃したるもこれに猛反撃を加へたるため敵は倉皇として爆彈を投下廣東方面に逃去れり、爆彈は〇〇艦附近三〇〇メートル及八〇〇メートルの所に墜下し我に損害なし

廣東飛行機東沙島偵察

香港(一八) 廣東軍當局は我海軍の東沙島占領に對して實地偵察の爲め今朝二一臺の飛行機を派遣したがその結果支那側

は「同島上の建物の一に日章旗が續つて居り右占領事實を確認して無事歸來せり」と發表した

廣東電珠江を封鎖

香港(一九) 十三日午後廣東軍當局は珠江の黃埔下流六哩地點の狹隘なる水路に古船一隻と洋灰船載のハルク二を沈め船一隻辛うじて航行出来る餘地を残して珠江封鎖を行つた

廣西派將領南京入り

府政民

上海(二〇) 十二日正午漢口經由南京に入つた李濟陳銘、蔣光鼎等は十三日早朝林森、蔣介石、汪精衛等國民政府要人を訪問入京の挨拶を述べ時局に就き意見を交換した一九三三年の福建事件以來過去五ヶ年に亘り蔣介石と宿怨を結んで解けなかつた李、陳、蔣の今回の南京入りは最後迄殘された西南反蔣派の對日統一戰線への合流を意味し李、陳は蔡廷鍇、張發、翁照垣等の舊十九路軍系諸將領を率ゐる近く中央部の要職に就く管である

公債募集に狂奔

上海(二一) 事變費捻出の爲の五億元自由公債につき國民政府は今や全國民を總動員して募集に狂奔してゐるが募集委員會の發表によれば九月一日發行以來十一日までの十一日間に於ける應募額は八千二百萬元に達してゐると云はれる、この内一般民衆の應募は額面通り行はれてゐるが大銀行、有力財閥等の大引受人は何れも非常なる割引を以て行はれてゐるの實際の政府の手取はこの半額にも足りないとい見られる、十一日蔣介石が南京より電報を以て上海市商會主席王曉籟に募集準備方を懇請し來つた點より見ても應募情況は政府の豫想通りの成績を擧げて



日支衝突は米國を供給國として利用し各種物資を輸入して居るが日本の場合は特に然りである、右事變の赴く所米國をして遂に戰禍に捲込ましむる懼ある故大統領は中立法を變動すべきだ、大統領が在米米國居留民に對し出来るだけ早く交戰地帯から遠ざかる標警告したのは實に機宜を得た處置である。

**ジエフアソン 號出帆延期**

シアトル(二) シアトルの船員及び無線技師組合はダラー汽船會社に對しアレシデント・ジエフアソン號が支那水域に入るなり乗組員に對し百弗死の戰時手當を支給すべしと要求十三日に至るも交渉成立しない爲め同船は出帆延期の已むなきに至つた、會社側の言ひ分に依れば同船は神戸、香港に寄港戰禍區域を避けるといはれる。

**支那共產黨の宣言**

モスクワ(二) コミタイン機關雜誌「ミニユスト・インタナショナル」八月號は十三日一般讀者に配布されたが其中に日支事變に關する七月廿三日附の支那共產黨中央執行委員會宣言が發表されてゐる、最初の第一項は宋哲元援助に關するものだが第二項以下は主要次の通り

- 一 廿九軍を援助し對日戰爭の爲め陸海空三軍を動員し同時に日本軍占領地に抗日國民軍を送り熱河並に滿洲國にバルチザン戰法を發展せしむべし
- 一 支那の全國國民を動員する爲め結社禁止法を廢止し愛國運動を認め政治犯人を釋放し國民各層に人民戰線を結束せしむべし
- 一 抗日戰爭を徹底させる爲め日本と外交關係を斷絶し諸條約を廢棄し日貨をボイコットし支那にある日本人所有銀行、鑛山、工場その他の財産を沒收し日本大使館、領事館その他特別機關を閉鎖し支那人にして日本人の間諜、手先となつてゐる者を逮捕すべし
- 一 支那中央政府と地方政權との間の一切の障壁を除去し民衆的政治を樹立、國內各派の接近を圖り政府機關内の親日分子を放逐すべし
- 一 祖國擁護の爲め抗日戰線を強化し支那共產黨と國民黨とは即時最も緊密なる提携をなすべし
- 一 國防力増大のため行政、經濟、農業、勞働教育各方面に新政策を實行すべし
- 一 活潑なる抗日外交政策を運籌なく開始する爲め米英佛ソヴェト聯邦その他各國と支那支持のあらゆる協定を締結すべし

**九月十四日**

**平津情勢**

**支北**  
**大本大尉長城線突破**  
 を放送  
 天津(二) 冀察省境長城線突破の大激戦に倖功を樹て支那事變最初の感状を授與され十四日午後七時半より特に天津衛成病院内に設けられたマイクを通じ「長城線の突破」と題する感激の放送を行った、この放送は大場部隊の三勇士大本、藤井、上利三大尉の合作になるもので上利三大尉の口述を藤井大尉が筆をとつて記述し最重傷の大本大尉が選ばれてマイクに立つたのである。

行、鑛山、工場その他の財産を沒收し日本大使館、領事館その他特別機關を閉鎖し支那人にして日本人の間諜、手先となつてゐる者を逮捕すべし  
 一 支那中央政府と地方政權との間の一切の障壁を除去し民衆的政治を樹立、國內各派の接近を圖り政府機關内の親日分子を放逐すべし  
 一 祖國擁護の爲め抗日戰線を強化し支那共產黨と國民黨とは即時最も緊密なる提携をなすべし  
 一 國防力増大のため行政、經濟、農業、勞働教育各方面に新政策を實行すべし  
 一 活潑なる抗日外交政策を運籌なく開始する爲め米英佛ソヴェト聯邦その他各國と支那支持のあらゆる協定を締結すべし

るに悪天候續きに收穫物皆無の爲め食ふに食糧無く塗炭の苦しみを嘗めて居る唐官屯落民に對し我軍は視るに忍びず多くもない糧食より米四百俵その他を〇〇部隊長の名によつて頒ち與へた、その日の食にも困つてゐた部落民は早天に慈雨を得た様に大いに喜び十四日部落民三名を選び感謝状を持参せしめて謝意を表し來つた

**平綏戰況**

**山西軍雁門關に止まる**  
 大同(二) 十二日夜總退却を行つた大同の山西軍は目下内長城雁門關の要害一帯に陣地を構築中で邊境體制を整へつゝある

**北平大同間平綏線開通**  
 大同(二) 〇〇部隊の大同占領により北平、大同間の平綏線が我が〇〇隊の迅速なる修理により聯絡完成し十四日より我軍の手により平綏線の運轉開始された

**關東軍に感状授與**  
 大同(二) 張北附近長城線の戰闘以來疾風の如く各地に敵軍を蹴散らしつゝ赫赫たる武功を樹て大同城攻略に當つては平綏線の東南方より進軍神速果敢な攻撃を以て忽ち之を占據した〇〇部隊に對し植田關東軍司令官が作戦に於ける功績顯著なりとし十四日感状を授與されたので全軍の士氣は愈々高まつて居る

唐官屯民に米穀給與  
 唐官屯(二) 廿九軍の暴行掠奪に加ふるに惡天候續きに收穫物皆無の爲め食ふに食糧無く塗炭の苦しみを嘗めて居る唐官屯落民に對し我軍は視るに忍びず多くもない糧食より米四百俵その他を〇〇部隊長の名によつて頒ち與へた、その日の食にも困つてゐた部落民は早天に慈雨を得た様に大いに喜び十四日部落民三名を選び感謝状を持参せしめて謝意を表し來つた

**平漢戰況**

**我軍永定渡河**  
 南四岱(二) 〇〇部隊は永定河右岸の敵に對し十四日午後一時我空軍の爆撃と呼應して砲撃を開始した、長谷川部隊は

雁各莊より同本(保)部隊は北各莊より午後二時頃夫々壯烈なる敵別渡河を敢行し各部隊は西南方に響箭を打つて退却する敵を追撃しつゝ南下中である

**中部戰線北各莊(二)** 〇〇部隊の渡河作戦は敵軍主力を東北に集中せしめて西南に大迂回し永定河を一舉に突破敵の腹に突入したもので我軍の猛進に敵は算を亂し西南方に潰走し堤防上に遺棄せる死體だけでも數百を數へた

**天津(二)** (軍司令部午後五時廿分發表) 八月下旬より永定河右岸に於て陣地を構築中なりし敵は長安城(黃村南方十二キロ)楊村北頭の線より西方に退却中にして我〇〇部隊は本日正午永定河を渡河しこれを追撃中なり、また固安城にありし敵も敗走中にして目下我軍飛行機はこれを爆撃中なり

**天津(二)** (天津軍司令部午後六時四十分發表) 本日正午頃永定河を渡渉して敵を追撃中の我〇〇部隊に連繫し本日午後五時頃我〇〇部隊は永清縣の北方八キロの敵に對し攻撃を開始し同六時頃右部隊も決然起つて永定河を渡渉我飛行機の協力の下に敵に向ひ攻撃前進中なり

**天津(二)** 我〇〇部隊迫ると見るや戰はずして長安城、楊村北頭の線を棄て西方に總退却を開始した敵は萬福麟の率ゆる第五十三軍の百六十六師(師長穆澤流)百十九師(師長蕭兆麟)及び百卅師(師長朱鴻勳)の三ヶ師で此外騎兵團及び滬占海墾下の一箇師等の雜軍も一齊に浮立ち算を亂して我先きに退却中である

**空軍石家莊を爆撃**

〇〇(二) 〇〇部隊所屬の精銳〇〇機は十四日午前十時四十分頃銀翼を運んで〇〇根據地より一氣に石家莊上空に飛來し同地に在る支那軍需品倉庫其の他凡ゆる軍事機關に對し猛烈な爆撃を敢行完膚なきまでに之を粉碎し平漢線一帯に集結の廿九軍、中央軍に一大衝撃を與へた

**天津(二)** (午後二時天津軍發表) 本日午前七時我飛行部隊の〇〇機及び〇〇機合計〇〇機は銀翼を運んで敵の根據地石家莊(北平西南方七十里)を空襲數回に亘り多數の爆撃を投下敵に多大の損害を與へたり、多量の敵軍需品は火災を起し目下盛んに延焼中なり、我全力は損害なく堂々正午〇〇飛行場に歸還せり

**天津(二)** 我陸軍〇〇機の爲猛烈な空爆を被つた石家莊は太原、大同と平漢線を繋ぐ軍事輸送上及戰略上の重要地點であるが我機により石家莊停車場、機關車、軍用列車及び多量の軍需品等が徹底的に爆撃され敵兵及び軍需品を満載せる約廿列車二百餘輛は滅茶々々に破壊され

た、我機は附近のガリン・タンクに命中したらしく黒煙を天に沖してゐる様が甘キロの遠方からもなほよく認めることが出来た

### 支 南 中

#### 上海 戦 況

##### 羅店月浦線連絡成る

上海九・四 羅店鎮、月浦鎮を相次いで占領した

前線部隊は兩地間の緊密な連絡を保つべく十三日朝田中〇隊を羅店鎮東北方に進發月浦鎮の退路を絶たしめたが田中挺身隊は克くこの使命を果し敗残兵と再三交戦の後午後三時早くも東西羅店において友軍と連絡成り溝間、田中兩〇隊長の両手交された

##### 江灣鎮攻撃開始

上海九・四 海軍陸戰隊中央部隊は本朝より我砲兵陣地よりの掩護射撃の下に新女學校より江灣方面に向け總攻撃を開始した

##### 十分発表

一 海軍陸戰隊古田部隊は約一ヶ月に亘り頑強に抵抗せし愛國女塾に據る敵を攻撃砲隊の掩護射撃のもとに突撃を敢行して十四日午前九時これを占領江灣鎮方面の敵を駆逐しなり

二 海軍航空隊は江灣鎮方面の砲撃及び大場方面に後退中の敵に對し反覆砲撃を加へ又一部は浦東、開北の敵に對し砲撃を加へたる

##### 上海九・四

〇〇報道部正午發表 〇〇部隊は本朝馬橋、紀家灣、鹿家宅、家宅の線に進出し江灣附近の敵に對し攻撃中なり、細見部隊は其一部を以て敵線を突破し江灣鎮北側朱家橋及び復旦大學附

近の敵を蹂躪し更に一部を以て其退路を南進し上海北側に進出我が陸戰隊との聯絡を達成せり

##### 上海九・四

昨日午後市政府を突破進出した石井、田上兩部隊は昨夜より今朝かけ早くも江灣鎮に迫り早朝よりの空襲と砲撃の掩護下に猛攻撃を開始し午後一時敵戦線中、尙陸戰隊部隊も滬滬鐵道に沿ふて北進江灣の背面に迫つて労働大學を占領、更に猛攻撃を繼續中であるが江灣に後退集結せる敵第一線部隊は今や腹背より挾撃されつゝあり

##### 上海九・四

陸戰隊古田部隊は十四日午前十一時より靴子路方面より前進を開始し當面の敵根據地たる粵東中學に對し果敢なる攻撃を行ひ忽ちにして之を占領目下附近の殘敵を掃蕩中である

##### 上海九・四

昨日敵遺棄路及び自動車路に沿ふ江灣驛馬場附近に進出した川並部隊は左翼に於て孫原部隊と完全な聯絡をとるに至り孫原部隊は陸戰隊と連絡同朝來江灣驛馬場を東西三面より包圍逐次前進中である

##### 上海九・四

十四日夜川並部隊の小川准尉は兵三名を率ゐて敵偵察中十數名の支那兵と交戦一名を斃し一名を捉へて引揚げた、右の捕虜は南京裝甲兵團に所屬してゐるが同人の供述により川並部隊前面の敵は五十八師(師長俞濟時)及裝甲兵團と判明した

##### 上海九・四

〇〇報道部正午發表 一 海軍陸戰隊は江灣鎮にある殘敵に對し目下全砲力を擧げて猛攻撃中であるが北部古田枝隊の岡野部隊は午前十一時敵の頑強なる抵抗を排し粵東中學を占領して前線を進め引續き江灣方面の敵を駆逐しつゝあり

二 海軍航空隊は陸戰隊及び陸軍に協力砲撃の主力に對し斷雲飛ぶ江灣の上空より徹底的に砲撃を敢行しつゝあり

##### 上海九・四

愛國女塾及び粵東中學を占領し前線を進めた陸戰隊北部戰線岡野部隊は十四日午後二時より持志大學殘敵に對し攻撃を開始し秋雨降る中に陸戰隊の砲撃海軍航空隊の低空砲撃の掩護の下に猛襲中である(午後四時半)

##### 上海九・四

我飛行機〇臺は十四日午後六時頃より北部敵線羅店鎮岡野部隊前面の江灣路の持志大學附近の敵陣に向つて砲撃を開始した、尙劉家行鎮の敵陣地は頗る堅固で午後六時我陸上部隊は同所の敵と激戦中である、一方江灣鎮の防備も相當堅く我軍は空中から砲撃を加へると共に地上部隊はデリデリと同地へ肉薄して居る

##### 上海九・四

十三日の交戦により開北の敵砲兵陣地が窺見されたので我が海軍機〇機は十四日夕刻より之に對し徹底的な砲撃を加へ敵陣地を殲滅敵砲兵陣地は全く沈黙した

##### 上海九・四

江灣鎮に後退した敵は附近一帯の部落及び墓地を改築したトーチカ陣地に據つて防禦を努めて居るが我陸戰隊岡野部隊は鐵道線路南方より持志大學の線に肉薄、陸軍石井部隊は驛馬場東方の一線に進出又田上部隊は長驅鐵道線路の北方より南進し遂に敵は再び北東南方より我軍の重圍に陥つた、今夕來上江海線を中心は江灣に移つた頗がある

##### 上海九・四

楊行鎮附近廟村の攻撃に當つた〇〇部隊隊長中野副官及び梁山少尉は去る十一日廟村を占領し敵名譽の戦死を遂げた、また十四日金家宅の戦闘に於て川道部隊長、饒野少尉、野々山、

天野兩准尉は共に壯烈な戦死を遂げた敵重圍の中に十九日間

##### 羅店鎮九・四

〇〇部隊が揚子江下流に上陸し一氣に敵陣を衝いた先月廿八日劉宅の激戦地帯で戦傷を受けた四勇士が何時しか敵の真確中に取殘され乍ら大行李を死守し十九日間互つて生米と乾麵とを嚙りクリークの泥水を飲んで僅かに命を繋ぎ生き使命を全うし九月十四日友軍の手を救われたと謂ふ一死泰公の皇軍精神を遺憾なく發揮した奇蹟的生還者がある、この四勇士は和知部隊の山下友信上等兵(高知縣出身)戸銀治利春一等兵(高知縣出身)宮里藤平一等兵(高知縣出身)清水三三男一等兵(大阪府出身)の四名で八月廿七日第一線部隊に参加し廿八日拂曉の激戦にはたゞ倒れる戦友を見返る暇もなく奮戦する中四名もまた負傷して田の中に昏倒したが互に我に返つた時には友軍に昏倒し唯四名のみが劉宅近くの昌家橋クリーク北側の野原の中に取殘され五十米離れたクリークの西側には敵大部隊が集結し少しでも頭を上げると小銃の齊射を受ける危険に曝されてゐた、四勇士は互に勵まし合ひながら附近の墓場を掩護物として時を待つたが持參した水も乾麵も既に盡きて三日目に至り尙友軍の形も見えぬ爲め最も元氣な山下上等兵と宮里一等兵が夜に入るを待ち腹這ひ乍ら食を求めて附近を捜す中恒岡部隊の清水主計が敵砲を受けて響の戦死を遂げながら右手で砲口を押してゐる大行李を發見中を調べるとなんとそれは恒岡部隊の大行李數萬圓を収めた金櫃であつた蓋に重大任務を自覺した四名は何とかして重圍を切抜け貴重大行李の安全を友軍に知らされはならぬ、それまでは何としても生きてこれを嚙り援隊の來る迄絶対に此處を離れるなど誓ひ

合つた、それからの四名はあたりに名譽の戦死を遂げた戦友の跡を探しては生米乾麵を嚙り糞の濁水を飲んで僅かに飢を凌ぎ何時來るとも知れぬ友軍の救助を待つて夜となく晝となく送り迎へる凄愴な生活が續けられた、かくて十九日朝十四日朝となつた、右側に重傷を負ひ仰臥した敵の戸銀治一等兵が附近の森に日章旗の揚がるを窺見した「オイ、味方が来たぞ」といふ叫びに應じて他の三名は矢速に起ち上つて腹に巻いた日の丸の小旗を取出し根限り千切れよと許りに振つたが生憎の雨空で友軍の知る所とならなかつた許りか却つてこれが敵の標的となり小銃の亂射を浴びる始末、やむなく夜に入るを待ち宮里一等兵が疲労の身をも顧みず銃砲の雨を滑つて援を求めむべく決死の覚悟で泥田の中をいさざるように行きつ三三百米やうやう友軍に辿りついて事の始末を告げた、十四日午後十時四勇士は無事救出され直ちに衛生部に收容されたのであつた

##### 支那軍二線陣地に據る

##### 上海九・四

吳淞鐵道以東の敵は我軍の兩翼包圍に陥り殲滅を俟れ十三日朝來我が方の砲撃砲撃の追撃火を浴びつゝ大場鎮方面に潰走し十三日夜に入つてより陸戰隊北部別線部隊の進出と〇〇部隊が鐵道西側への進出により南北兩方面より側翼の脅威を受けたため後援一部隊を江灣鎮一帶に残し主力部隊は更に西方の第二線陣地に集結中である

##### 支那空軍制壓

天津九・四 當地に達した情報によれば敵航空隊は我が陸海空軍のため決定的に制壓され全く活動能力を失ひつゝあるが現在の敵空軍の状況は左の如くである

△上海方面に於ては敵機若干機並に輕

標一、二機が時々現はれ三三發の爆彈を投下するのみである

△廣東方面は極めて少數の戦闘機がある△福州、廈門方面には全く敵機なく隴海線沿線に若干機、隴海線以北には敵機全く認められない

△其の他の敵機は四川、貴州などの僻陬の地に逃走隠匿し爆彈燃料ともに非常に缺乏を告げてゐるものゝ如く今や全く消極的態度に陥り沈黙を餘儀なきとされてゐる

上海情勢

伊・米軍上海着

上海(九) 上海事變の進展に伴ひ在支イタリイ人の保護と共に共同租界の共同防衛の爲めイタリイ軍約一千名はエチオピアのマツツワを出發し本日午後三時コロンテ・リヤンコモノ號で上海に到着膠州路の兵舎に入つた、イタリイ軍の上海入りは團匪事件以來最初の事である、尙上海派遣米國マリン司令官ボート大將は新たに補充されるマリン一千六百名を引率して十九日入港の運送船シヨモン號で上海到着の豫定である、之を以て上海にある外國軍隊は一萬一千六百名に達する事となる

我工兵を外紙賣場

上海(九) 退却に際し敵が破壊した道路を修築して歩、砲兵の進撃を援け恰も其意の目的様に進軍に走るクリクに備を架ける等我が工兵隊の苦勞は並大抵ではなかつた、吳淞砲臺攻撃の際には決死隊となつて歩兵に先行手榴彈を投げながら堤防に登り砲臺を陥れし歩兵の堤防上陸を助け決死の働きをなした、今次上海戦の特徴として敵は要所々に強力な地雷を埋設我軍の進撃を阻み續けてゐる、御多分に洩れず市政府退却に際しても附近一帯の地域に無数の地雷を布設して追撃する我軍に痛手を與へんとしたが工兵隊は折柄の秋雨につぶ濡れとなつて泥濘の中を「もぐら」の様に活躍數日前より今日まで誘導爆撃に成功した地雷火が何んと五百といふ驚くべき數字だ、十四日當地外字紙は我が工兵の優秀なる技術と埋れた活躍振りを大いに賞賛する記事を掲げ人目を惹いた

南支戦況

虎門砲臺砲擊

香港(九) 十四日午前五時我軍艦〇隻は突如虎門砲臺に向け一齊に砲門を開き一時間に亘り十字砲火を浴せしめ敵に多大の損害を與へて午前六時終ち引揚げた

澎湖島(九) 十四日午後四時馬公要港部發表 本十四日黎明我軍艦〇〇及び〇〇驅逐隊は虎門砲臺に近迫し砲臺下にありたる敵巡洋艦二隻と川鼻島及び大角頭砲臺を午前六時五十分より同七時廿分に至る間攻撃し敵巡洋艦一隻は艦橋後方に大破孔を生じ傾斜の上擱坐す、尙川鼻島砲臺には多大の損害を與へ沈黙せしめたり、その間敵砲臺及び砲臺よりの射撃距離に落下せるも我に損害なし

【九】 十五日午前馬公要港部では副官談の形式を以て左の如く發表した、

最近敵のノースロップ機が南支那警報中の我が艦船の時々襲つてゐるが十四日正午大産島附近で軍艦〇〇を襲撃し高度四千米トールの高空から爆彈を投下し内一弾は〇〇艦の附近に落下したが其の破片に依つて甲板上に作業中の乗組員に五名の重傷者を出した、尙艦隊及び兵器等には何等の損害がなかつた

厦門砲擊

廈門砲擊 測天島(九) 十四日午後七時四十分馬公要港部發表 十四日午前七時我軍艦〇〇及び驅逐艦〇〇は厦門港内に進入し敵情を偵察せるに各砲臺には配員をなし或ひは附近島嶼に見張員を配し居るを認む、同艦等は之にたいして砲撃を加へ敵は反撃したるも我に損害なし

廣東海軍戰備

香港(九) 最近伊太利で建造した廣東海軍の最新鋭砲艦一隻と水雷艇五隻は十三日黃埔から虎門砲臺に下江し來り戰備準備を整へてゐるので我海軍は之に備へ珠江の封鎖警備に當つてゐる

香港邦人續々引揚ぐ

香港(九) 當地在留邦人の避難集結より早や一週間を経過した今日まで邦人の引揚げ数は凡そ八百五十名に達してゐるが十七日の郵船北野丸で約二百名の引揚げが行はれる筈であるが最後まで居残る邦人は僅かに四百名にすぎずと云ふ事になる、之れ等居残る邦人は總領事館、銀行、會社等で事務所を商業區に有しビークの安全地帯に居住してゐるが二、三十年に亘り苦心經營を重ねて來た小規模な邦人商店は顧客の邦人が引揚げ支那人との取引も杜絶し勞々居住に制限が加へられ引揚げの他なきに至つてゐる

國民政府

浙江財閥と國府の關係 上海(九) 上海戦開始以來既に滿一ヶ月を経過し國民政府財政收入の八割を占める關稅、統稅、鹽稅の三大財源は殆んど全く消滅し、尙且大なる軍費と行政費の膨脹を蒙らんとし、國民政府は致命的打撃を蒙らんとし、ある、この國民政府危急存亡の秋に當り今日まで國民政府と唇齒同車の關係を保ち來つた浙江財閥が何處まで從來の蔭介石政權擁護の態度を持ち續けるか注目されてゐるが浙江財閥の現状を見るに上海附近の所有動産の大部分は兵火にかゝり産業投資は破産され残るは證券投資のみで而も殆んど全部が政府公債に注ぎ込まれてゐる状態にある今日國民政府が倒壊すれば彼等も同様の運命に陥る懼があるこの點から見ても浙江財閥は自己保護のためにも今更に見られなかつた真剣さを以て積極的に國民政府援助の態度に出るであらう、又國民政府としても凡ゆる手段を講じて財閥権を企てるであらう、然し乍ら假令彼等が國民政府と抱き合ひ心中を覺悟の上でかゝらうとも國民經濟が望見状態にある今日彼等の資産は凍結状態に陥りその融資力は著しく減殺されて居り又自身の才に長けた彼等が北支事件勃發以來の運賃不安から國外に逃避せしめ或は隱蔽した巨額の金まで投出して素裸になつてしまふも國家の難局に當らうとするか否かは頗る疑問で結局財閥の支援に關しては大した期待を置く事は困難である、要するに此の儘で行けば財政上の行詰りは最早不可避で戦争も長延げば長延程國民經濟の打撃は到底短期間に於ける回復の見込なきまでに深刻なものとならう

帝 國

支那の聯盟提議 陸軍不介意 【九】 支那側の日支紛争に關する國際聯盟への提議に就いて陸軍當局は「支那側の常套手段なり」として一笑に附してゐるがその提議文の内容は全く虚構の事實を羅列して徒らに眞實を歪曲したものであるとしてゐる、即ちこれは既に滿洲事變當時の支那側に於て爲したところであつて今更驚くには當らない而も南口攻撃の際に外國軍教練を日本軍が拉致したとか非敵國員に對し無差別の攻撃を行つたとか云ふが如きは全く自らの非行を日本軍に押しつけんとするものであつて國際信義の何物たるかを解しない非文明的行爲である、かゝる虚構の所爲を世界輿論の裡に自ら持ち出さんとする支那側の眞意が何處にあるかを疑はざるを得ない、支那側の虚偽的宣傳については最早や世界の何處にも信用する者がない程であるからかゝる提議がなされたからといつて何等意に介する要なしとしてゐる

汽船會社に外相感謝狀

【九】 支那事變擴大に當つて支那各地の帝國居留民引揚げに献身的努力を拂つて呉れた各船會社日本郵船、近海郵船、大阪商船、日清汽船、大連汽船、原田汽船、阿波共同汽船、田中商事其他(廣田外相は十四日左の如く感謝狀を送つた) 支那事變に際し貴社の至大なる配慮と船員各位の献身的努力に依り支障なく在帝國居留民の引揚げを完了することを得たるは本大臣の深く多とする處なり、茲に深厚の謝意を表す



**戦死傷**  
 【十四日発表】〇〇方面に於ける各部隊戦死傷左の如し

▲赤柴部隊  
 △戦死 將校 二名 少尉 小幡 茂男 同 石井 米市

▲沼田部隊  
 △戦死 下士官 一名 兵 廿名

△戦傷 將校 大尉 平塚 團次 同 藤原 政吉 同 藤田 晋

▲永野部隊  
 △戦死 將校 一名 少尉 西川 長太

▲十川部隊  
 △戦傷 下士官 五名 兵 五十一名

▲安達部隊  
 △戦死 下士官 一名 兵 九十八名

▲部隊不明  
 △戦死 下士官 一名

【十四日発表】上海方面に於ける戦死傷左の如し

▲川並部隊  
 △戦死 下士官 三名 兵 十一名

△戦傷 下士官 十名 兵 五十一名

【十四日発表】鎮守府關係上海方面に於ける戦死傷左の如し

▲横須所屬 △戦死 兵 一名  
 ▲吳鎮所屬 △戦死 下士官 一名

△軍備 兵 一名  
**國民支援**

**東京府銃後連絡委員會組織**  
 東京府下に於ける銃後後援運動の統制を圖る爲に中央に東京中央銃後後援連絡委員會を、八王子市、區町村に市區町村銃後後援委員會を組織する旨十四日東京府から發表された委員は民間各種團體と協力し寄付金募集銃後後援連絡等に當る

**海外動向**

**米國、政府船の武器輸送禁止**  
 ワシントン【六・四】ルーズヴェルト大統領は十四日ハイドパークの別墅よりワシントンに歸還直ちにホワイトハウスに於てハル長官と午餐を共にしながら日支問題につき長談を遂げ、午後引續き閣議を開き聯邦海軍委員會ケネディ委員長を加へて協議の結果政府所有船舶による日支兩國向武器輸送を禁止するに決定閣議後ルーズヴェルト大統領より正式に聲明した、聲明全文左の通り

米國政府所有の船舶は追つて通告ある迄五月一日附大統領布告に記載の武器彈藥及び戰爭器材を日支兩國向に輸送することを不得、政府所有以外の船舶にして米國國旗を掲揚するものが上記物品を日支兩國向に輸送せんとするは追つて通告ある迄自己の危険に於てこれを行ふものとす、中立法變動に關する政府の政策は従前通り廿四時間制を基礎としてこれを行ふ

(註)五月一日附大統領布告記載の武器彈藥及び戰爭器材は第一カテゴリーから第七カテゴリー迄に分れてゐるがその大要は左の通り  
 第一 カテゴリー(一)小銃(二)機銃

(三)其他の砲(四)彈藥(五)擲彈類(六)戰車  
 第一 カテゴリー 軍用機  
 第三 航空機  
 第四 ビートル彈藥類  
 第五 航空機材  
 第六 化學藥品廿二種  
 第七 化學藥品十八種類

**事實上の武器禁輸**  
 ニューヨーク【六・四】ルーズヴェルト大統領は政府所有船舶の日支兩國向武器輸送を禁止し兵間船舶に對しては自己の危険に於てのみ之を行ひ得る旨聲明したが當地消息通の意見では民間の船舶所有者も自分で危険を全部引受けてまで日支兩國へ武器の輸送をなすことは欲しないだらうから大統領の聲明は結局米國船舶による武器輸出を事實上禁止したに等しいと見てゐる

**ウイテタ號委員會で討議**  
 ワシントン【六・四】米國の海軍委員會は十五日特別委員會を開きルーズヴェルト大統領の聲明を研究の上今後委員會としてとるべき對策を協議し遂にウイテタ號の處置を決定することとなつた、委員會會同は語る

委員會はウイテタ號にルーズヴェルト大統領の聲明を適用すべきや否やを協議するに決定した、現在の所極東に向つてある政府所有船舶はウイテタ號だけのやうだ、なほ大統領の聲明は政府所有船舶のみ適用され政府から補助金を貰つてゐる民間の船には適用されないことは明かである

**ウイテタ號の支那禁止止か**  
 ワシントン【六・四】ルーズヴェルト大統領は十四日米國政府所有の船舶に對し日支兩國向武器輸送を禁止する旨發表したが政府所有の船舶は目下合計廿七隻に

達し問題のウイテタ號も含まれてゐる、ウイテタ號は目下バイオニーヤ汽船會社の備船として支那向ペランカ戰艦第十九號其他軍需品を積載して航行中であるが本日の大統領聲明により恐らく十四日加州サンペドロ港に入港を機に聯邦海軍委員が干渉し支那向飛行機と軍需品を積載する限り出港を許可されないものと見られる

**米國の政策不變**  
 ワシントン【六・四】ルーズヴェルト大統領は十四日午後閣議後新聞記者と共同會見を行つたが日支問題に關する米國政府の態度は不變と前提して左の如く語つた米國政府の態度であく迄外國の紛糾にまき込まれることを避ける方針である但し商船の極東向航行に關し後刻一般的聲明を發表する筈だ中立法に對する政府の立場は今迄と變りはない

尙目下支那向ペランカ戰艦第十九號を積載して航行中のウイテタ號につき新聞記者團から質問したに對しルーズヴェルト大統領はウイテタ號は未だ米國の一港から他港に向つて航行してゐるに過ぎない」とあつさり應酬した、尙ルーズヴェルト大統領は共同會見後政府所有船舶の日支兩國向武器輸送を禁止する旨の聲明を發表した

**アドバルンで占領速報**  
 北平【六・四】北支戰線は漸く活氣つき北平武官室は十五日から〇〇軍武官を大使館前に移して天津より來平した松村少佐を中心に懸命の報道陣である、窓の外を見れば蒼く澄み渡つた秋空に「日軍占領軍」の大文字を吊したアドバルンでニュースが報せられてゐる、このアドバルンは馬廠橋の傍に於て「日軍占領馬廠」の文字を掲げて速報用に使用されたのだが後は唯地名だけを付ければよいのだ、十三日の大同占領にも今日の固安占領にも寧ろ北平を懸し市民は歡呼の聲を擧げてゐる

**平綏沿線戰況**  
 懷仁縣占領  
 大同【六・四】大同府を占領した我〇〇軍は内長城線を越え太原方面に逃走せる山西軍を急追しつゝ十四日拂曉大同西南方廿キロの口泉鎮一帶の炭田を占領し更に南進して十五日午前四時半懷仁縣城を占領し古城の望樓高く日章旗を翻へし同七時十分同城の西方にある山西軍兵營を完全に占領した

**蔚縣南方に進出**  
 大同【六・四】長谷川快足部隊は十五日午前十一時半懷仁を出發し進走する山西軍を急追〇〇方面に進撃中である

蔚縣、廣靈方面に活躍せる部隊は更に一部を以て南進し本日午後一時頃蔚縣南方八里の地點に達せり  
 閻錫山險止に傷心  
 大同【六・四】情報によると大同より敗走した山西軍は蔚縣山險を中心地として防禦陣地を構築更に内長城線に沿つて第二

**九月十五日**

**北支**  
 有田元外相天津津  
 天津【六・四】有田元外相は飛行機で承德から北平に入り十五日午後五時十五分天津常盤ホテルに入った

陣を布き激撃の體勢を齎したが十五日朝突如敢行した我が○○機の大爆撃によつて遼かに浮足立ち山西軍總帥閻錫山は前線部隊の動搖喰止めに腐心してゐると

太原兵工廠爆撃

大同【二】(○○軍午後三時發表) 十五日午前八時半より同九時半の間○○軍に屬する○○飛行隊は太原爆撃を敢行全彈兵工廠に命中し目下盛んに延焼中

大同【二】十五日朝我が○○部隊の飛行機○○機は銀翼を連ねて○○を出發山西の内長城線を越え太原の上空に現はれ午前午後互に猛烈なる爆撃を敢行した、太原市中には兵工廠其他數ヶ所に火災が起り黒煙天に押し目下盛に延焼中である、我が飛行機の攻撃は壁耳に水の急襲のことゝ市内は極度に混亂狼狽し市民は西南方榆次方面に向け續々避難中である

平漢沿線戰況

涿州平野會戰

▲大會戰展開 北平【二】平漢線では琉璃河を、中部戦線では永定河を挟んで敵と對峙中であつた阜軍各部隊は昨夕より今曉にかけて一齊に渡河進撃を開始したこの日天氣晴明にして一片の雲もなく紺碧の秋空下涿州平野に展開する一大決戦の幕は切つて落された、戦線は大房山、固安を結ぶ蜿蜒廿里、奉天戦以來の大會戰で敵軍は平漢線より固安戦線を通じ全軍總數約卅萬に達する

▲敵軍早くも浮足立つ 胡林【二】十五日拂曉待ちに待つた總攻撃の命下ると共に勇躍せる各部隊は胡林を中心とする永定河對岸の支那軍に對し猛烈なる總攻撃を開始し前進又前進敵々たる銃砲聲は

河北の野に斬し壯烈を極めつゝあり、我が前面の敵は萬福麟、馮占海の九十一、百十六、百十九、百卅、四個師、獨立騎兵一個師及び孫連仲の廿七師の一部を加へた兵力十數萬の大軍であるが長安城附近より牛駝鎮にわたる萬福麟軍は陣地を放棄して保定方面に向ひ退却を開始しつゝあり我が空陸兩軍の活潑なる作戦展開により同線西側地區の敵も既に浮足立ち平漢線方面の戦闘は着々奏効しつゝある

▲右翼軍房山占領 ○○【二】平漢線の阜軍部隊は十五日午後二時敵軍が中部最前線軍左翼の據點として不拔の堅陣を誇り二旬に亘り死守した房山を空陸相呼應する猛撃により遂に占領敵を琉璃河畔に壓迫中である

▲琉璃河渡渉 ○○【二】琉璃河を挟んで對陣する敵は無慮廿萬に及び敵戦線の左翼を衝いて之れを殲滅せしむべく攻撃を開始した我が○○部隊は十五日午前八時半から空軍の精銳○○機の爆撃と呼應し後方砲兵陣地の掩護砲撃に依つて火蓋を切つたが琉璃河北岸に聳々と迫つたわが部隊は突撃命令一下部隊長を眞先にザンブザンブと河中に躍り込み、雨と降り注ぐ銃弾を浴びてもせず銃を双手に高くさし上げて腰を沒する激流を乗り切り全身濡れ風となりながら對岸の敵陣地にワツトばかりに躍り込んだ、敵は頑強に抵抗したが勇猛兇神の如き我が將兵の肉體には敵し難く忽ちにして蜿蜒たる野原内に屍の山を築き殘餘の敵は多數の機關銃重砲野砲などを遺棄して南方に潰走した我が○○部隊は急進された架橋を渡つて次々と前進又前進長驅敵を石高嶺方面に追撃中である

▲中央部隊固安城入城 ○○【二】北支中部戦線は頓に進展し我が○○部隊は今十五日朝來固安縣城に入城し眞に着々

敵を追撃中で、當地東南方の永定河、永清縣附近の敵は早くも南方に向つて退却した

固安城【二】永定河の敵前渡河に成功した我が○○部隊の主力は十五日午前七時隊伍を固安城に入城した、固安は中部戦線における敵の前線根據地涿州平野大合戦作戦の重要な據點として敵軍が全力を盡して死守したところであるが我が飛行機砲兵隊との緊密なる連絡により我が○○部隊は進軍また進軍奮勇敵を追ひ捲り早時敵の遺棄した多數の追撃砲、輕機重機の散亂する中を堂々固安に入城日章旗を城門高く掲げた

▲天津【二】天津軍司令部午前十一時廿分發表) 今朝午前七時我が○○部隊は固安に入城し同時頃固安、雄縣道上には行軍長徑凡そ四里に亘る大縱隊が雄縣に向ひ退却中に我が飛行機部隊は之を爆撃潰走せしめたり

▲左翼部隊永清に進撃 ○○【二】永定河固安城を抜いた我が○○部隊は更に固安東南方面に向け進撃を續けたが午前九時卅分途に永清縣西北方十キロの地點紅寺を占據敵兵を掃蕩中である、敵の殘置部隊は主力の退却を援けて我が軍に對して頑強な抵抗を續け永清南方固安附近には敵の車輛十臺が集結退却中である、一方拒馬河右岸にまで進出した今田、安田兩前線部隊に續いて我が○○部隊主力は敗殘兵を蹴散らし猛進を續けて

るが東南路を取る敵敗殘部隊は雄縣へ向け大混亂のまま全長四里に亘り退却中である

▲司令部公報 天津【二】(十五日午前九時四十分天津軍司令部發表) 一 良鄉西方高地より東方寶店鎮、長安城を経て永定河右岸に亘り蜿蜒凡そ廿里の陣地を占領しありし敵は昨午午後以來我が軍攻撃のため長安城より下流永定河にある陣地より退却中にして我が○○部隊及び○○部隊は奮勇抵抗する敵を驅逐しつゝ本日午前九時頃既に永定河に敵を追撃方凡そ十數騎の線に達し鐵心し敵を追撃方にして安田部隊及び今田部隊は既に拒馬河の線に達せり

二 敵の大集團は牛駝鎮(固安南方十六里)附近に集結中にして敵大縱隊を霸縣に向ひ追撃中なり

三 平漢線方面我が○○部隊は本拂曉來敵に對し攻撃を開始せり

▲天津【二】天津駐屯軍午後一時五分發表) 一 我が○○部隊の歩兵第一線は午前十時敵を撃擯しつゝ拒馬河の線に達せり

二 我が○○部隊は午前十一時頃老君臺(永清鎮西方三村)に達し敵を西南方に追撃中なり

三 敵の大部隊は白溝河鎮(雄縣西北方凡そ十六里)に集結中我が飛行機部隊の爆撃により容城鎮(白溝河鎮の西南方十二里)に向ひ潰走中なり

四 敵の騎兵大部隊は牛駝鎮に集合中にして我が飛行機部隊は之れを爆撃せり

▲天津【二】(軍司令部午後四時卅分發表) 一 我が○○部隊は敵を追撃し午前十一時南界城固安の東南方四里の線に達す

二 平漢線方面に於ける我が○○部隊は

一 固安西方地區において渡河せる部隊は目下拒馬河右岸宮村鎮、鄭各莊、西曹莊の線に進出し渡河準備中である

二 固安南方地區において永定河を渡河せる部隊は永清の西南方約八キロ徐官營附近に進出追撃中なり

▲天津【二】(午後六時天津軍司令部發表) 本曉來平漢線方面に於て攻撃前進せる鈴木森本兩部隊は午後二時頃敵を攻撃し寶店鎮東西の線に達せり

▲天津【二】(十六日午前零時卅分駐屯軍司令部發表) 一 平漢線方面に於ける我が部隊は午後三時半天子山を占領房山西北方高地には敵何頑強に抵抗しつゝあり

二 拒馬河左岸に進出せる我が部隊は午後六時半宮村鎮南門に於て執拗なる敵の抵抗を排除して一部は既に前岸に進出せり

三 十四日午後永定河河畔の戦闘の際南關鎮上空に於て地上部隊の攻撃に協力しつゝありし白溝鎮は敵弾を受け不時着名譽の戦死を遂げた

▲涿州を完全包圍 北平【二】十四日夕刻から十五日早曉にかけて全線一帯に火蓋を切つて蜿蜒廿里に亘る中部戦線の我が軍總攻撃により敵軍は全線を通じて

一たまりもなく潰亂状態に陥つたが總攻撃開始後僅か七時間にして敵軍左翼據點房山、中央據點固安、右翼據點永清等悉く我が手中に歸し永定河を渡河せる。○兩部隊の進出及び○部隊の突進により涿州は我が軍の包圍體形の中に陥るに至つた

▲挺身隊前線に進出 天津(六)西 十四日午後永定河を渡河した○及び○兩部隊の構態は疾風迅雷の勢を以て涿州平野を馬蹄にかけ進攻しつゝあり、既に挺身隊はその伏足にまかせて息もつかせず敗走する敵を追ひ瀾縣、新城、定興の線に迫りつゝあり

▲敵主力逃往度 天津(六)西 十四日以來開始せられた涿州平野に於ける○部隊及び○部隊の迅速果敢なる行動展開により定興、徐水、保定等平漢線方面の敵主力は大動搖を來し早くも多數の列車を集結退却準備を整へてゐるといはる

空軍の活躍

▲陸軍進撃を掩護 ○(六)西 今十五日朝來總攻撃を開始した我が地上部隊に協力する我が空軍部隊の活動は目撃し難いものがある、中部戦線では退却中の敵に對し地上低く降下して掃射を加へ平漢線に於ては敵軍が退却の準備のため機関火を入れ黒煙をあげてゐる敵列車に爆撃を加へ午前九時定興に於て二列車を物の見事に粉砕した、目下我が空軍は高碑店、二列車、涿州の數個列車に對し勇猛なる爆撃を行ひ多大の損害を與へつゝある

北平(六)西 平漢線の○部隊は楊子崗の敵に對して十五日午前九時を期して一齊に砲門を開き猛攻撃に移つたが敵は堅固なる陣地に據り頑強に抵抗してゐる、一方涿州南方十五キロの地點にある高碑店驛北方附近に敵の列車の黒煙を吐きつゝ

とあるを見、我軍は十五日早朝より盛んに空襲を試みこれらの敵を粉砕した

○(六)西 ○○部隊の○機は本日午前平漢線定興を空襲し同地停車場を爆撃軍用列車及び鐵道線路は黒煙とともにフツ飛ひ完全に爆破された

○(六)西 永定河を渡河して猛前進中の地上部隊に協力し十五日朝來大活躍した我空軍秋田部隊の○機は同日午後三時齊藤部隊の○機は同日四時、何れも根據地を出發し容城、徐水、白溝鎮、新城方面に退却中の敵兵に機關銃の猛射を浴びせると共に爆撃を敢行軍隊輸送自動車十五、六輛、空軍車輛を爆破し甚大の損害を與へ何れも同日六時無事根據地に歸還す

天津(六)西 軍司令部午後五時五分發表 我が航空部隊の○機は本日午後四時卅分瀾縣及び容城上空に於て退却せる敵の充滿したるを發見し之れに徹底的爆撃を加へ甚大なる損害を與へたり

▲長驅洛陽を爆撃 ○(六)西 我が空軍○部隊は本日午前十時頃北支の平原を突破長驅河南省洛陽飛行場爆撃を敢行した

▲海州戦況 海州戦況 淡く海州灣に映える黎明を破つて我が第○驅逐隊は今曉來動搖の色あり、その一部は大場鎮に向け移動を開始するものゝ如く海軍○砲隊はこれらの敵に拂曉の制壓射撃を加へた

津浦戦況

▲南趙扶鎮占領 青縣(六)西 津浦線に於て滄州に向け潰走せる本隊と別個に鐵道線路西側子牙河

に沿ふ南趙扶鎮の堅固なる陣地によつて頑強に抵抗を續けつゝあつた支那軍に對し我が○部隊は十五日拂曉より砲撃を開始し彼を終に潰走せしめた

天津(六)西 午後二時五十分天津軍司令部發表 津浦線方面は本朝午前六時四十分頃我が飛行部隊が南趙扶鎮(馬廠西方十一キロ)の敵を爆撃し我が中井及び野田兩部隊の一部は近距離に於て之を攻撃中

天津(六)西 津浦線方面に於ける我が軍は馬廠の陥落後破竹の勢ひで南趙扶鎮を占據したが支那側ではこれ等の敗殘兵を滄州に集結し再度抵抗を試みんとしてゐるが既に我が軍の猛威の前に戰意を喪失して居り滄州陥落も一兩日を出でないと觀られてゐる

▲馬廠河敵陣占領 青縣(六)西 十五日早朝我が○部隊の猛撃による南趙扶鎮方面の敵陣地潰滅により支那軍の生命線と傳へられた馬廠河任邱方面に向け構築せる堅固なる馬廠陣地線は全く我が軍の手に歸した

▲全線攻撃續行 岡野部隊進出 上海(六)西 陸戰隊野部隊は昨日四日夜來特志大學の敵前線陣地を突破し、屈家橋楊家宅に進出し我が第一線陣地を進め前面の敵と對峙中であるが三面包圍に陥つた江灣の敵陣營は今曉來動搖の色あり、その一部は大場鎮に向け移動を開始するものゝ如く海軍○砲隊はこれらの敵に拂曉の制壓射撃を加へた

▲飯田部隊進出 上海(六)西 飯田部隊の一部は本早朝より行動を起し江灣驛馬場に接近せる盛家宅、唐家宅、陸家谷の線に進出した

▲澗開和知兩部隊進出 上海(六)西 月浦鎮を攻略した○澗開兩隊は和知部隊と呼應して今早朝來猛雨を衝いて果敢なる

突貫し一名の死傷者もなく苦もなく占領した、車牛山島は海州岸の重要地點として我が軍の海上遮斷宣言以來燈臺の光はびたりと消され洋上の航行者は不便を感じてゐた我が海軍の占領によつて再び點火されるに至つた

▲黃杰野砲擲棄 上海(六)西 海州に根據を置く隴海橋東段の稅關團長黃杰は膠東方面に配置せる麾下の第五團を青島に入れ治安維持に協力すると名目の下にあつた沈鴻烈が市長を追い出し青島乘取の企を進めてゐた我が第○艦隊の海州の海上遮斷や我が空軍の爆撃に遭ひ近くは車牛山島に對する我が○驅逐艦の果敢なる行動に麾下の士氣全く沮喪せるを見山東に對する自己の野望を抛棄し青島近郷に配置せる部隊を撤收し于學忠麾下の軍隊と交代を開始した模様である

▲田上石井部隊奮戰 上海(六)西 田上、石井兩部隊は折からの暴雨と膝を溼する泥濘を厚し十五日朝來羅店鎮、大場鎮をつなぐ道路上の要害顧家宅及び劉家行を痛撃敵中、右兩部隊を失ふ事は羅店鎮大場鎮間の連絡を遮斷される事となるので敵は必死の防戦を行つてゐる

▲上海戦況 全線攻撃續行 岡野部隊進出 上海(六)西 陸戰隊野部隊は昨日四日夜來特志大學の敵前線陣地を突破し、屈家橋楊家宅に進出し我が第一線陣地を進め前面の敵と對峙中であるが三面包圍に陥つた江灣の敵陣營は今曉來動搖の色あり、その一部は大場鎮に向け移動を開始するものゝ如く海軍○砲隊はこれらの敵に拂曉の制壓射撃を加へた

▲飯田部隊進出 上海(六)西 飯田部隊の一部は本早朝より行動を起し江灣驛馬場に接近せる盛家宅、唐家宅、陸家谷の線に進出した

▲澗開和知兩部隊進出 上海(六)西 月浦鎮を攻略した○澗開兩隊は和知部隊と呼應して今早朝來猛雨を衝いて果敢なる

▲澗開和知兩部隊進出 上海(六)西 月浦鎮を攻略した○澗開兩隊は和知部隊と呼應して今早朝來猛雨を衝いて果敢なる

る攻撃前進を開始し正午前後には早くも五年前上海事變の古戰場たる南甯、北甯を奪取し○砲の猛烈な掃射の下に西方に向け敗走する敵大部隊に對し多大の損害を與へた、敵は羅店鎮北方家宅の○陣地を放棄し算を亂して嘉定方面に潰走中である

▲田上石井部隊奮戰 上海(六)西 田上、石井兩部隊は折からの暴雨と膝を溼する泥濘を厚し十五日朝來羅店鎮、大場鎮をつなぐ道路上の要害顧家宅及び劉家行を痛撃敵中、右兩部隊を失ふ事は羅店鎮大場鎮間の連絡を遮斷される事となるので敵は必死の防戦を行つてゐる

▲上海戦況 全線攻撃續行 岡野部隊進出 上海(六)西 陸戰隊野部隊は昨日四日夜來特志大學の敵前線陣地を突破し、屈家橋楊家宅に進出し我が第一線陣地を進め前面の敵と對峙中であるが三面包圍に陥つた江灣の敵陣營は今曉來動搖の色あり、その一部は大場鎮に向け移動を開始するものゝ如く海軍○砲隊はこれらの敵に拂曉の制壓射撃を加へた

▲飯田部隊進出 上海(六)西 飯田部隊の一部は本早朝より行動を起し江灣驛馬場に接近せる盛家宅、唐家宅、陸家谷の線に進出した

▲澗開和知兩部隊進出 上海(六)西 月浦鎮を攻略した○澗開兩隊は和知部隊と呼應して今早朝來猛雨を衝いて果敢なる

▲澗開和知兩部隊進出 上海(六)西 月浦鎮を攻略した○澗開兩隊は和知部隊と呼應して今早朝來猛雨を衝いて果敢なる

▲報道部発表 上海(二) (〇〇報道部午後八時発表)

一 崇徳女學校、粵東僑華團の線に進入せる陸軍隊は昨夜來數度に互る敵の逆襲を撃退して士氣愈々旺盛にして砲陣の猛烈なる砲撃及び江上艦艇よりする艦砲射撃と相俟つて江甯鎮方面の敵を壓迫中なり

一 海軍航空隊は浦東及び江甯鎮に陸軍部隊正面の敵に對し反覆砲撃を加へつゝあり

一 本日正午我が病院船朝日丸は浦東西濱附近より又も支那軍の爲め不法射撃を被りたるが附近にありしが艦艇は直ちに此の敵に對し猛射を浴せ沈黙せしめたり

上海(二) (〇〇報道部午後十時発表)

一 劉家行、顧永宅東方の頑強なる敵陣地に對し我が〇〇部隊は前日來猛烈なる砲撃を實施中に於て本日午後二時川並部隊は敵陣地の最要點楊木橋を奪取更に前面の敵に對し猛擊中

一 垣内部隊はその北方地區敵艦隊に向ひ猛擊中に於て本日午後北濱附近敵陣地の要點を奪取更に前面の敵を砲撃中なり、この戰鬪に於て垣内部隊長は身に數彈を受けたるも屈せず第一線に立つて指揮し居り士氣頗る旺盛なり

一 石井部隊は吳淞クリーク北側李家宅東方地區の艦隊に向ひ攻撃中に於て本日午後三時頃敵陣に肉迫し目下敵戰中本戰鬪に於て砲兵兩戸部隊長は〇〇部隊の先頭に直接協力自ら敵の猛火を浴びて第一線に進出歩兵の猛攻に膚接しつゝ前面の敵に大打撃を與へたり

一 江甯北側に進出せる我が〇〇部隊は本日正午頃より當面の敵に對し猛擊を開始し敵戰中

上海情勢

各國司令官申入

上海(二) 米國アジア艦隊司令官ヤネル提督以下英佛伊和各國艦隊司令官は十五日午後一時連名を以て日支兩當局に對し

蘇州河以南の共同租界及び佛租界に高射砲彈落下し非戰鬥員の死傷者を出したる事實あり、之等の脅威を除去する爲め日支兩軍飛行機は租界上空の飛翔を避け併せて租界内に高射砲彈の落下せざるやうせられ度い

旨の勸告的申入れを爲した

松井大將一詩

上海(二) 我が陸海軍協力の猛擊に敵は脆くも敗退して昨日我が軍が市政府を占領したのを詠んで松井軍司令官は長谷川司令長官に左の一詩を寄せた

偶感  
月浦揚行既陷落  
市政樓上地匪揚  
妖雲一過懸雨來  
淞滬風物皆欲蘇

紡績工失業四十萬人  
上海(二) 上海附近の機業界楊樹浦、浦東、開北等の工場地帯が日支兩軍の交戦區域となつた結果各工場とも完全に操業を停止し僅に比較的戰禍の輕微な西部工場地帯に於て小規模の華商機工場が數戸操業してゐるに過ぎない状態である

爲め四十萬の支那人職工は失業してゐるそのうち約十五萬は上海を去つて郷里その他地方へ移動したが殊に大失業者群は南方面の街頭に溢れ重大なる社會問題化せんとしてゐる

南支戰況

汕頭砲擊  
香港(二) 廣東よりの來電によれば我が軍艦は十五日朝再度汕頭を襲撃し約一時間に亘り埠頭及びその附近の軍事施設防衛隊放哨に對し猛擊を加へ大損害を與へた

澎湖島(二) (十五日午後四時馬公港部発表) 汕頭港外に於て本日午前九時廿五分より同十時に至る間敵のノースロップ型攻撃機六機は我艦逐艦〇〇に襲來前後五回に亘り高度約千五百米にて爆彈廿四箇を投下す、驅逐艦〇〇は之を反擊西方に避退せしめたり、我に損害なし

香港(二) 廣東來電に據れば汕頭港外にある燈臺一名「喜喜峰」は十五日午後我が軍艦〇〇の齊射を被り敵の軍事施設は完全に破壊された

汕頭砲臺と化す  
香港(二) 最近の汕頭狀況に關し當地に達したところによると約一週間に亘る連續的な我空襲と砲撃とで市政府、警察署公安局、兵舎その他主なる建物は悉く破壊と化し市中到る處の防空施設も破壊せられ残つた大小の店舗は皆閉鎖し門を閉ざして人の住む氣配もない、人口は七割方減少し残りの三割は市内の治安維持に當つてゐる、軍備は嚴重となり十三日には潮汕防空司令を嶺東防空司令と改稱して第六十四師長李漢魂が司令を兼任して防空監視所を増設し防衛團の訓練救護班の増加を急いでゐる、外人は大部分避難し終つたが支那稅關勤務の英國人や少數の外人醫師が未だ留置つて負傷者の救護に當つて居り港の口には英米兩國の軍艦各一隻が碇泊してゐる

廣東再爆擊  
香港(二) 十五日午後十時半我が航空隊は月明を利用して廣東を再度空襲した

一隊は虎門要塞、他の一隊は石龍上空を飛び次いで廣東市に現はれ郊外の省政府機關や軍事施設のある地點に大爆撃を加へたが支那側は人心の動搖を懼れ秘秘に付してゐる

國民政府

英代理大使外交部長  
會見  
上海(二) 昨十四日南京入りした英國代理大使ハリス氏は今十五日午前外交部長王寵惠を訪問挨拶の後ヒューゲッセン大使病氣中代理大使としての事務を執る旨傳へ會見は可成りの長時間に亘つた

胡適香港言  
香港(二) 米國朝野の同情を買ふべく國民政府より派遣せられた遺米使節胡適博士は十四日香港着十六日當地發のクリツパー機で渡米の途に就く

破壊飛行機二百七機  
上海(二) 我が海軍航空隊の活躍により十五日までに破壊された敵機は二百七機中、空中戦により撃墜されたもの九十七機、地上射撃及び爆撃によつて破壊されたもの百廿機に上つてゐる

ラ子才真相を放送  
天津(二) 當地着情報によれば事變勃發以來我皇軍の疾風迅雷の攻撃に支那側は日に潰滅の色濃くなり従來南京政府の重要通信機關として支那軍大勝利の虚報を放送してゐた長沙無線臺はこれ等支那軍敗退の事實を蔽ひ難しと見てか十三日以来俄然支那全軍に高まる金線將士の内紛、民衆の疾弊困憊、將兵の不満など悲觀的の放送をなすに至つた、即ち十三日外國電報として「日本軍は揚行鎮に據る支那軍を破りその勢ひに乗じて總攻

帝國

寺内、松井兩司令官  
發表  
(十五日午後一時卅分陸軍省發表) 大命に依り陸軍大將伯時寺内壽一は北支方面に派遣せられたる陸軍部隊の最高指揮官に補せられ既に夫々現地に到着し其の指揮を執りつゝあり

戰死傷  
【十五日發表】 姚馬廠方面に於ける戰死者左の如し  
▲中井部隊  
▲戰死  
將校 一名  
少尉 岩宮 繁

【十五日發表】馬廠政變に於ける各部隊戦死傷者左の如し

▲赤染部隊  
▲戦死 兵 四名  
▲戦傷 將校 少佐 末永 光夫 三名  
少尉 岡崎 順一 一名  
同 江口 薫 一名  
下士官 三名  
兵 卅一名

▲武内部隊  
▲戦傷 兵 一名  
▲戦死 將校 兵 一名

▲長野部隊  
▲戦死 將校 兵 一名

▲重田部隊  
▲戦傷 兵 八名

▲和知部隊  
▲戦死 將校 兵 一名

▲山内部隊  
▲戦死 下士官 一名

▲浅間部隊  
▲戦傷 將校 兵 一名

▲永津部隊  
▲戦死 將校 兵 一名

▲戦死 將校 兵 一名

▲戦死 將校 兵 一名

▲戦死 將校 兵 一名

▲戦死 將校 兵 一名

▲山ノ内部隊  
▲戦死 少尉 富谷 忠昌 一名  
▲戦傷 兵 廿四名

▲吳鎮所屬  
▲戦死 兵 三名  
▲戦傷 兵 一名

▲重傷 兵 一名

▲佐鎮所屬  
▲戦死 下士官 二名  
▲戦傷 兵 三名

▲戦傷 兵 一名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

▲戦傷 兵 五名

米内海相は海の聖體に名譽の辱傷を負つた傷兵達を慰問すべく十五日午後二時横須賀驛に到着軍需部に立寄つて岩村參謀長等と共に同二時廿分海軍病院に至り傷病兵を慰問一々そのベツトに傷状と戦闘の際に負傷した状況等を問ひ慰らうに慰めて病床にある海軍の勇士達を感激させた

國民支援

「東京市教育號」獻納  
東京市小學兒童が九月一日から五日間に亘つて第二回愛國勤儉日に得た金額は九萬一千六百四十一圓でこれに第一回分の八萬二千四百六十六圓を合して合計十七萬一千八百四十六圓六十錢となつたので陸海軍へ愛國飛行機「東京市教育號」として獻納することとなり十五日午前十一時兩省代表片岡教育局庶務課長外二名出頭し獻納手續を執つた

布哇の銃後熱高まる  
ホルルル【カニ】邦人銃後の熱意は日と共に高まり自發的獻金廿萬圓臺に近づいた、漁業界に活躍の邦人三團體も日布時事を通し三千圓獻金し藝者組合も二百圓を寄託し同社及びの獻金は七萬圓を突破する有様である、佛教婦人會も慰問袋五千を募集し製造を急いでゐる

海外動向

米大統領領空問題協議  
ワシントン【カニ】ルーズヴェルト大統領は十五日午後六時ワイトハウスにハル國務長官、外交顧問ノーマン・デーヴィス氏を招致し刻下の國際情勢に付き前後二時間に亘り協議を遂げた、會談の内容は一切發表されないが日支紛争並に地中海問題につき意見交換を行ひ今後の對策を協議したものと見られる

米大統領聲明は最大の措置  
ワシントン【カニ】米國政府所有船舶に對し日支兩國武器輸送を禁止した十四日のルーズヴェルト大統領聲明は中立法發動の一步前の行動だとこれが發動時期を近からしめたと思はれるものも多い様だが真相は却て反對で米國の意圖は中立法發動の必要を無くするため從來の不干渉政策の下に於て執り得る最大限の處置に出たものと見るべきであらう、更に注目すべきは右聲明に依り國際聯盟との熾き關係に先手を打つたことで米國としては聯盟から働き掛けられるのを好まず聯盟が各種決議を爲すに先立ち米國としては別個独自の政策を以て善處する旨を明かにしたものと見られる、従つて十五日發の上海電報はルーズヴェルト大統領の聲明に對し支那當局の失望を報じてゐる

九月十六日

我軍北支制空權を握る  
○【カニ】地上部隊と協力して北支の空を席捲しつつある我が無敵空軍に對し敵空軍は保定、鄭州、徐州の各飛行場には敵の機影を見ず僅かに洛陽に敵戦闘機が待機してゐるのみで北支の空は全線に亘り完全に我が空軍が制空權を掌握してゐる

平緩戰況

總長官御祝電に感激  
大同【カニ】○は十五日開院參謀總長宮より大同占領の御祝電を拜受し將士一同感激し愈々勇奮一死報國の決心を堅めてゐる

大同偵察機遠走  
大同【カニ】十六日午前十一時廿五分敵の偵察飛行機三機は翼を連ねて太原から飛來大同を上空から襲撃せんとしたが我が飛行機は直ちに之を撃退した

後援部隊の偉功  
大同【カニ】我が○部隊の後援部隊は急進の爲め食糧の缺乏を來し馬鈴薯と西瓜とを嚙りつゝ一日子十里餘の強行軍を敢行して逃走する山

海相傷病兵慰問  
海相は海軍の勇士達を感激させた





想は海南島の主要港海口を砲撃し支那側も砲臺より反撃し來り交戦約一時間にして埠頭其他軍用施設に多大の損害を與へて引揚げた

江西紅軍廣東軍に編入

香港(ハ) 過去四ヶ年間瑞金階級後も廣東、福建省境地方にあつて暴威を振いつゝあつた張鼎丞の率ふる共産軍約一萬は今向厦門駐屯の廣東軍百五十七師長黃濬の麾下に入ることに内定した、且下向軍は福建省長汀運城、龍巖方面にあつて中央の出動命令を待ちつゝあるがそのうち三千は完全に近代裝備を有してや山岳地方の戦闘は下手のもの云はれる彼等は出動命令一下と同時に海岸地方に進出してその警備に當る筈である

國民政府

國民政府 國民政府が我軍に有利に進展するにつれ支那側は益々長期抗戦を呼號することによつて自國軍の敗戦をカモフラージュし資産階級及中小市民を強制して五億元の公債に應募せしむべく躍起になつてゐるが第二線陣地の總退却によつてその大敗退は蔽ひ難く一般民衆は勿論軍隊心理に多大の動搖を與へてゐる、即ち陸戦と海上遮斷で經濟界は完全に運轉を停止せしめられ且つ上海を中心に集中投下されて居る不動産が兵火によつて烏有に歸しつゝある資産階級階級間には早くも戦争回避の氣運動き救國公債の大量押賣を恐れて身邊を晦ますものが續出した、一方我が軍に對し頑強に抵抗を續けた前線部隊の損害は死者一萬、負傷三萬と豫想され租界及び租界接續地は之等負傷兵で充満して居る、就中蔣介石直屬の八十七師は殆ん

ど全滅し卅六、八十八の各師も兵力過半を喪失して親手部隊と交替したがその一半は雜色分子より成るため統制紊れがちで且つ財政の窮乏と輸送能力の貧弱から上海近在に集結された廿萬の大軍に對し軍費軍需の支給滞り勝なるため雜色軍にも戰意を缺くものあり更に後方部隊で出線の出動を避るものがあるため中央黨部は来る九・一八記念日を契機に各省市黨部に命じ一齊に左記スローガンを掲げて無理矢理に民衆と軍隊を長期作戰に驅り立てることとなつた

一 抗敵期間内にあり力あつて力を致さず金あつて金を致さざるものは中華民族國人たる事を否認し國民と共に之を捨ててゐる

二 抗敵期間内にあり凡そ中華民國軍隊にして參戰を肯せざるもの及び參戰せざるも奮闘努力せざるものは中華民國軍隊たる事を否認し國民と共に之を捨ててゐる

三 抗敵期間内にあり民族の對日統一戰線を破壞するものは漢奸と認めて俱に天を戴かず

帝 國

南支方面航行遮斷狀況 某所着情報を綜合するに南支方面に於ける海面航行遮斷の狀況は左の如くである

一 航行遮斷實施以來南支一帶の海面において航行を遮斷した支那ジャンク船の数は相當數に達してゐるがこれらの乗組員は全部これを放逐してゐる、その内には機銃小銃を以て我に抵抗したのもあり或もは夜陰に乗じてジャンク船の奪取を企てたものもある、これ等は南支方面の海上に出没してゐた所謂海賊の類と見られてゐる

二 目下航行遮斷狀況は頗る良好の成績

を擧げつゝあるが現在でも時々ジャンク船が沿岸に姿を現すこともある、然し支那汽船の如きは今現在では全くその影を見せないが時々〇〇國の國旗を掲げた奇怪な汽船が出没して居り恰も〇〇において支那軍需工場が〇〇國の國旗を偽揚してゐたと同一筆法と見られて居る

三 この密着なる航行遮斷の結果南支各地共に物資の不足は著しく困窮疲弊に至らざるなしといふ有様でこれを起因として支那の内面的抗争が惹起するのではないかと見られてゐる

陸軍發表戰況

【十六日午後一時半發表】

一 北支方面に於ける作戰は有利に進歩しつゝあり、即ち察南方面に行動しある部隊は十四日既に懷仁(大同西南四十里)及廣靈(蔚州西南卅里)西南地區に進出し平漢線方面に於ては十五日朝來流瀾河附近の敵陣地を攻撃中なり又其東方に於ても我部隊は十四日永定河を渡河し十五日夕々々固安及永清南方地區に進出し當面の敵を攻撃中にして津浦線方面の戰況は其後大なる變化なし

二 北支方面に活動中なる飛行部隊は第一線の戰團に密接に協力し多大の効果を收め又遠く敵線背後に對しても十四日石家莊、十五日太原(山西省)保定等に攻撃を加へたり

三 上海方面大なる變化なし

海軍發表戰況

【午後七時廿分海軍省副官談】

一 我が〇〇海軍航空部隊の〇〇機は昨十六日午後七時頃廣東天河飛行場を空襲し折柄の悪天候にも拘らず極めて有効なる爆撃を敢行し大型格納庫三棟及び兵舎を爆破し同格納庫に火災を起さ

しめたり、尙ほ他の〇〇機は揚揚及び潮州を空襲し其の軍事施設を爆撃し之に多大の損害を與へたり

二 我が〇〇海軍航空部隊は上海方面陸上部隊に協力し敵砲兵陣地及び密集部隊に對し連日殲滅的爆撃を加へつゝあるが昨十六日午後一時半頃揚行鎮南四方敵陣地爆撃の際一機は敵防禦砲火の爲め火災を起し壯烈なる最後を遂げたり

戰死 傷

【十六日發表】 〇〇方面に於ける戰死傷左の如し

田邊部隊

△戰死 兵 四名  
△戰傷 將校 二名  
少尉 矢野 晴次郎  
同 中川 隆晴  
下士官 一名

十川部隊

△戰死 兵 二名  
△戰傷 部隊 九名

湯淺部隊

△戰死 兵 九名  
△戰傷 將校 一名  
少尉 林 保

長野谷部隊

△戰死 將校 一名  
少尉 林 保

川並部隊

△戰死 將校 四名  
中尉 萩原 重雄  
少尉 加藤 義次  
同 古田 信三  
同 高木 健二  
下士官 十二名  
兵 六十名

△戰傷

將校 一名  
少尉 九岡 滋  
下士官 九名

▲所屬部隊不明 兵 七十八名  
▲戰死 將校 一名  
少尉 長野 滿雄

【十六日發表】 永嘉堡の戰團より大同北方高地占領までの戰死傷左の如し  
▲後藤部隊  
△戰死 將校 二名  
少尉 上妻 利記  
同 庄司 裕二  
下士官 一名  
兵 十六名

遞信統後援會組織

廿四萬の大家族を擁する遞信省は既に部内から相當の應召者もあり又野戰郵便その他通信關係の軍屬として戰線に活躍する人々の家族を慰問し統後の完きを計るため先には應召中の俸給支給、凱旋後の復職等を決定したが更に從軍應召者に後顧の憂なからしめるため家族慰問事業を行ふことになり平澤次官を會長に官房各課長、本省各局長を委員に「遞信部内統後援會」を組織し部内職員者から俸給月額額の二百分の一を醵金し先づ應召者の家族に對しては職員を派して家庭の事情や希望を聽取すると共にその希望をかなへ從業員慰安會、催物等には必ず家族を招待することになつた、なほ名譽の戰死者及び負傷病氣送還等の場合は次の如く慰問金を贈る

戰死者 卅慰金三百圓、花覆又は之に代るべきもの廿圓  
戰傷に因り送還者 卅慰問金百圓  
重病に因り送還者 卅慰問金五十圓

刀匠協會戰地へ出發

北支及び上海方面に奮戦する皇軍將兵の軍力の及ばぬ柄被損の應急修理のため大日本刀匠協會で組織した皇軍慰問現地奉仕團第一班團長栗原彦三郎元代議士



以下副團長梶原政美、今野昭宗、石井昭房、竹田忠三郎、山田長司の一行六氏は各自刀剣研修修理用具一式を携へ、擲ひの團服に刀を帶びた姿も噂々しく十六日朝宮城及び明神宮を参拜午後三時東京驛發特急當主號で出發した、なほ更に十一日群馬縣富岡町の刀匠桐淵兼友氏等六名の第二班が北支へ續いて第三班が上海へ赴き第一班と交代する

**青學生六團一錢獻金**

秋雨の十六日午後陸軍省に涙ぐましい國防獻金の手紙が届けられ流石に剛毅な將校連を泣かしてゐる、贈り主は東京市小石川區雜司ヶ谷の東京盲學校中等部一年生一同で六團一錢の小爲替と共に現はれた手紙には點字で

金六團一錢を國防獻金いたします、此のお金は私共が休み中の御小遣の残りを集めたものであります、私共どもは銃後の一員である以上奉公の赤誠には變りありません少々ですが何か御役に立て、下さるやう御願ひしますとあつた、係官一同は不幸な兒童等の赤心にはいたく心を動かされた

**シヤム前經濟相獻金**

目下來朝中のシヤム國前經濟相サラサス氏は十五日外務省に石射東忠局長を訪れ今次事變に勇戦する皇軍將士の「植兵金の一部」と金百圓を差し出したのに石射局長も感激してこれを受け當局へ傳達することになつた

**棉花は禁制品外**

ワシントン【ハニニ】十四日ルーズヴェルト大統領が宣言した政府所有船による日支兩國向け武器輸出禁止は目下の越五月一日の大統領宣言に基き純然たる戦争用具に限られて

**海外動向**

宣言に基き純然たる戦争用具に限られて

めるが大統領は其の裁量によつて禁制品の範圍を擴大し得る事となつてゐるので一部では將來屑鐵や棉花が禁制品に入られはしないかとの懸測が行はれてゐる、然し屑鐵は兎に角として棉花の方は本年は昨年より四百萬俵近くの増収が豫想され處分に苦しんでゐる状態だから全然問題にならないと見られる、ある方面では

**棉花の輸出を禁止するなどいふ噂は棉花の値段を引上げ買込まうとする故意の宣傳だ**

と皮肉つてゐる

**ウイチタ號陸揚開始**

サンペドロ(カリフォルニア州)【ハニニ】支那向けベランカ戰艦機十九隻を搭載してゐる問題のウイチタ號は十六日サンペドロに入港沖合に碇泊したが同船を政府の海軍委員會から借用してゐるパイオニア汽船會社はルーズヴェルト大統領の宣言に従つてベランカ機を陸揚けするに決定波止場八夫十二名は三百噸の艇でウイチタ號に至り飛行機の陸揚け作業を開始した、飛行機の處分法は不明だが支那は米國の民間船舶若しくは外國船に積換へるだらうと言はれる、露にウイチタ號はベランカ機の外屑鐵や機銃も積んでゐると言はれたが會社側ではベランカ機以外は「普通の積物」だと説明した、尙同船は當初の豫定を變更十六日夜マニラへ向ふこととなつたので船員の特別手當問題は解消したもの見られる

**ベランカ機外國船へ積換か**

ワシントン【ハニニ】ワシントンの支那大使館訪はウイチタ號が問題の戰艦機を陸揚けしたとの報に對し之をどう處分するか何等意向を表明してゐないが結局民間の船舶又は外國船に積換へるやうな手段を講ずると見られる

**ジエフアンン號出帆**

シアトル【ハニニ】ダラー汽船アレジデント・ジエフアンン號乗組船員一同は同船が日支戰關の危險地帯へ向ふの理由に過般來會社側に對し特別手當を要求してゐたが十六日に至り會社側と妥協成立し豫定より三日遅れて十六日午後三時出帆することとなつた、妥協案次の通り

- 一 ジエフアンン船が國務省の命令で上海その他危險地帯に寄港する場合會社は政府から船員に對し特別手當を支給して貰ふやう斡旋する
- 一 ジエフアンン號が射撃された場合責任の所在に従つて日本或は支那政府から充分なる賠償金を要求し被害船員に交付する

同船は船客四十一名、貨物八千トンを積んでゐるが香港にのみ寄港して上海その他支那海港には原則として寄港しない旨會社當局は言明してゐる

**九月十七日**

**北支 平津情勢**

天津教育機關復舊 天津【ハニニ】天津治安維持委員會では天津事變以來閉鎖中の小學校開校につき教育局長沈同午氏に命じ鋭意開校準備を進めてゐたが去る十五日から在天津の小學校四十二校は全部開校を見私立校も大部分開校兒童教育の開始を見るに至り開校小學校教員の俸給も八月分は十六日全部支拂を終り中學校も十月一日より開校予定の運となり教育機關は大部分従来の通り整備された、又支那街に於ける輔治會(日本の町内會に相當するもの)も既に

**察哈爾騎兵救濟**

張家口【ハニニ】過般植田團長軍司令官より察哈爾省騎兵に贈られた救濟費一萬圓及び小麥は日察兩當局合議の結果左の如く使用することに決定した

- 一 醫藥治療費 五百圓
- 一 冬衣支給費 三千圓
- 一 失業救濟費 三千圓
- 一 食糧救濟費 三千圓
- 一 其他 五百圓

なほ小麥二千袋は張家口に八百袋、萬全宣化、懷柔、懷安、赤城、龍關に夫々二百袋配給された

**平綏戰況**

豐鎮占領 大同【ハニニ】中央長城線を越えて北方に進軍中の〇〇軍千田部隊は十七日午後一時頑強に抵抗する敵を擊滅豐鎮を完全に占領した、豐鎮は平綏線中部の要地で綏遠第一要衝たる平地線の前線基地である 天津【ハニニ】(軍司令部十時發表) 一 十七日午前十一時千田部隊は長驅大同北方五十キロの豐鎮を占據した 一 上海方面より達せる支那側の報道によれば劉汝明軍の被れる損害は戦死師長一、團長一、營長五、負傷、師長一團長二、計死傷五千以上といはる、劉汝明自身も負傷したと言はる

**平漢戰況**

涿州陷落 ▲軍司令部公報 天津【ハニニ】(天津軍司令部午前九時發表) 一 今朝我が石黒及び坂西兩部隊は涿州を占領せり 二 平漢線方面の敵は目下退却中なり 天津【ハニニ】平漢線の要地涿州は今朝石黒及び坂西兩部隊によつて占據されたが同地は曾て山西の傅作義が自己軍隊を率ゐて張學良第三、四方方面軍の精銳に包圍せられて約一ヶ月に亘つて籠城抵抗し遂に奮奮天軍をして匙を授けさせた有名な堅固な古戰場であるが我皇軍の進軍の前には一たまりもなく攻撃數時間にして脆くも陥落してしまつた 天津【ハニニ】(軍司令部午前九時發表) 一 房山附近の我部隊は今朝午前六時過密接なる歩砲共同の下に石樓村敵陣地に砲撃を開始七時十分同地を占領せり 二 昨拂曉一部を以て拒馬河右岸に進出せる我部隊は午後二時涿州渡河を完了し引續き追撃に移り前進中の所本十七日未明涿州南方に於て平漢線を遮断せり 三 我が飛行隊は昨夕午後七時より八時の間に於て保定の夜間爆撃を敢行し敵に多大の損害を與へたり 北平【ハニニ】(軍司令部午前九時五十分發表) 固安東方地區を南下せし我が部隊は敵の頑強なる抵抗を排除し惡路と戦ひつゝ前進その主力を以て牛院頭、王起堂の線を通過西南進せり 北平【ハニニ】(軍司令部午前十時發表) 一 拒馬河を渡河せる我が第一線部隊は午前八時石黒、坂西兩部隊を以て松林店(涿州南方凡そ八キロ)附近の平漢線に森田部隊は北三家店(涿州南方凡そ十二キロ)に進出しつゝあり 二 涿水縣には堅固なる陣地ありその西方地區には敵兵の集中しあるを見る

(午後三時四十分國軍自發表) 平漢線沿線に於ける戰況は今朝來極めて有利に進展しつゝあり、即ち〇〇部隊は今拂曉涿縣を、續いて午前八時松林店(涿縣南方平漢線上)を占領せるを以て北方より前進せる我が部隊の攻撃と相俟つて流瀾河附近にありし孫連仲の約三ヶ師及中央直系の約二ヶ師は其の本來の退路を遮断せられ我が軍の包圍圈内に壓縮せられつゝあり

北平【九・七】(軍司令部午前十時廿分發表) 平漢線東方地區に於ては本朝我遠山部隊は碼頭鎮を占領該方面の敵を西南方に向け駆迫しつゝあり

北平【九・七】 平漢線方面の敵陣中最も精悍を以て鳴りその堅陣を誇つてゐた山中央軍孫連仲軍は十七日未明來猛攻に堪えかねて遂に潰走したが我司令部では十七日午後零時五分左の如く發表した

軍司令部發表 平漢線西側地區の部隊は概ね正午前後流瀾河、西曹(流瀾河西方約四キロ)の線に進出し西南方に向け進軍中

北平【九・七】(軍司令部午後三時廿五分發表)

一 涿州平野の會戰において大打撃を受けた敵は多數の武器、彈藥、諸材料、死體等を戰場に遺棄し支離破綻となり平漢線西方の敵は西南方に向つて退却中なり、敵の死傷は平漢線においても三千をを下らず

二 平漢線高碑店において敵列車頭覆し涿州東方は火災を起し目下大混亂

三 固城鎮驛には貨車卅輛、徐州驛には一列車あり

一線に出動涿州より涿水縣一帶に亘り潰走中の敵部隊に對し地上部隊に協力して猛烈な地上掃射を加へた、敵は混亂状態に陥り無数の死體を遺棄して山地へ逃げ込んだ

〇〇部隊の平漢線突破により致命的打撃を受けた敵は總崩れとなり西方に潰走中との情報に接した真谷部隊の〇〇機〇〇機及び〇〇機〇〇機は午前十時相前後して根據地を出發高碑店西北方の涿縣を急襲し同部落に密集せる敵を部逐請共潰滅せしめると共に附近一帯の山麓を易縣方面に潰走中の敵に物獲し擲彈を見舞ひ完全に敵の退路を絶つたことが爲め敵は平漢線方面後方より破竹の勢ひをもつて急追中の地上部隊のため絶滅されんとしてゐる

▲十七日の戰況

天津【九・七】 十七日中の涿州平野に於ける我が軍の包圍作戰狀況は左の如くである

前日に引續き各方面とも頑強なる敵の抵抗を排除しつゝ漸次に包圍圈を縮小し

△右翼部隊に於ては昨夜來より右樓村を奪取し敵を西南方に追撃地形上困難なる流瀾河も渡渉午後に至り趙各庄、律中村の線に進出更に前進を繼續し遠山部隊は張村(碼頭鎮西凡そ二里)を占據した

△中央方面では拒馬河を渡り遮一無一東方に進撃し下辛店、松林店附近に進出右翼部隊と連撃しつゝ敵攻撃の態勢をとつて前方及び兩側三方面よりする執拗なる敵の前進阻止に痛烈なる打撃を與へこれを壓迫した

△左翼部隊は牛駝鎮方面より敗走する敵を猛追しつゝ馬廠附近に至る泥濘濕地の悪路を冒し更に所々に出沒する敗殘兵の妨害を排除しつゝ十七日夕刻梁溝鎮、黃谷の線に進出した

以上三方面に亘り作戰開始以來四日間の苦闘にも拘らず將兵の士氣軒昂で敵潰滅の意氣に燃えて奮進を續けてゐる、又我が精銳部隊は地上部隊と協力敵陣地並に後方兵站線の擧撃を續行し地上部隊の前進を容易ならしめてゐる

▲房山攻略戰死傷報告

馬各庄【九・七】 十七日朝迄に判明した十五、十六の兩日に亘る房山方面攻略戰に於ける〇〇部隊名譽の戰死傷者は左の如くである

△戰死者

軍醫大尉小川喜一郎、岡本少尉、渡邊准尉、田中大尉、大谷中尉、吉部准尉 少佐高橋武夫

△戰傷者

大佐馬場英夫、少佐藤山松次郎、少尉古部幹、大尉富浦嘉八、少尉牧尾好美 同里國盛、同松下成生、准尉鈴木丈一 同小田嘉太郎、岡谷一等兵、同平松武夫 以下八十九名

保定第三次擧撃

〇〇【九・七】 十七日午前五時〇〇根據地に待機中の我空襲部隊に第三次保定擧撃の命下り精銳機は折柄の朝霧を衝いて爆音勇しく南下した、今朝の擧撃には〇〇部隊長自ら編隊の陣頭に立ち第一線にあつて擧撃に向つたので將兵の意氣は彌が

上に上り保定潰滅を目指す數十機は北支の空を蔽つて旋風の如く保定を襲撃昨夜の夜間擧撃の痕も尙明瞭に識別される保定城門及各停車場がけて爆彈を投下完全に擧撃の効果を収め午前七時頃一機の損傷もなく凱歌を擧げて原隊に歸還した

津浦戰況

牛新店占據 青縣【九・七】 前線にて連日奮戦した我が

神田部隊は青縣より側面南方に進撃前進しつゝ水びたしとなり惡戦を續けてゐたが十七日眞瀾鎮西方牛新店に據る敵に對し猛撃を加へ午後四時四十分に至り遂に之を占據し我軍の作戰を有利ならしめた

渤海海岸線にトーチカ

〇〇【九・七】 山東方面よりの最近の情報によると中央軍が大舉して臨海線東方に進出し韓復榘軍と提携して日夜山東半島の防備配置に全力を傾倒し渤海沿岸線に沿つてトーチカや無数の塹壕を構築し坦々たる軍用道路は殆んど完成するなど晝夜兼行の活動を續けてゐる

支南中

上海戰況

▲盛家宅逆襲軍擊退 上海【九・七】 十七日午後二時頃約三百の敵は我が蘇原部隊の盛家宅附近に猛烈に逆襲し來つたが我が軍は之れに徹底的反撃を加へ交戦約二時間餘にして之れを完全に沈黙せしめ敵は死體數子を遺棄して江灣鎮方面に遁走した

▲那須部隊南進 上海【九・七】 十六日吳淞上陸を終えた新銳那須部隊は十七日午前八時進發歩武堂軍工路を南進〇〇に向つた

▲揚行鎮前面軍を撃退 上海【九・七】 揚行鎮前面の敵は十六日朝來野砲數十門を吳淞クリークの線に進出せしめ揚行鎮橋家宅方面に向け十字火を浴せ來り更に夜半十二時より我が〇〇部隊を全線に亘り大逆襲を敢行し來つた、流石支那軍中に於て鐵軍を誇る胡宗本の第一師だけにそ

の逆襲振りも侮り難いものがあつたが我が田上、石井兩部隊の果敢なる反撃に依り今曉に至り多大の打撃を受けて遂に退却した

▲馬橋占領 羅店鎮【九・七】

〇〇部隊前線の〇〇、和知兩部隊は十六日朝來細雨を冒して行動を開始し激戦十二時間の後前面の敵最重要陣地たる馬橋(羅店鎮の東南)を奪取した

羅店鎮【九・七】 十六日敵戰線の重要根據地馬橋を攻略せる〇〇和知兩部隊は日章旗を掲げる連もなく得意の進撃を敢行し巽家宅、筈家宅を相次いで下し斯くて二時間後の午後八時過ぎには月浦鎮と羅店鎮をつなぐ地點まで記録的な猛進を遂げた、兩部隊は更に一步躍進〇〇〇〇に向つゝ蜘蛛の子を散らすが如く敗走する三千の敵に猛射を浴せ多大の損害を與へた

羅店鎮【九・七】 〇〇及和知兩部隊が十三時間の激戦により奪取り馬橋は去る廿三日の〇〇部隊が敵前上陸を敢行した日より前線根據地として敵が十晝夜を費して建造した堅固な陣地に四里四方を一覽に眺め得る大砲塔を中心に分解式火砲をめぐらし過ぐる二旬の間我が軍を捕まし續けてゐたものである

▲劉家行前線に猛撃 上海【九・七】 我〇〇部隊は十六日以來劉家行、顧家宅の前線陣地に猛烈なる攻撃を開始した、敵も頑強執拗な抵抗を試みたが田上部隊は十六日夕刻金家溝、楊家宅を占據し石井部隊も又十七日朝王宅陳宅の敵を撃退して之れを奪取した、更に田上部隊は敵の有力なる據點某地を攻略すべく進出中、石井部隊は前面顧家宅の敵に對しチリチリと肉迫し脅威を與へてゐる、雨あがりの空は冷気を含み全軍將士は敵陣地を睨んで意氣軒昂

上海(七) 露店鎮から南進を開始した  
 強知、永津兩部隊の一部は今朝來更に頑  
 強に抵抗する敵を撃破し揚行鎮から西進  
 の田上、淺間、石井各部隊と相呼應して  
 劉家行附近の敵を漸次駆逐してあり同  
 方面一帯に激戦が展開されてゐる

空軍瀏河、嘉定を爆撃

上海(七) 我が陸軍航空隊〇機は本日  
 午前九時及午後一時の二回に亘り瀏河鎮  
 及嘉定の爆撃を行ひ敵の強固なる陣地に  
 徹底的損害を與へた

上海(七) 我が陸軍航空隊少年航空兵  
 川上徳男君は愛機を操縦して今朝八時五  
 十分僚機と共に嘉定、瀏河鎮の爆撃に向  
 ふ途中羅店鎮南方附近にて敵の主力部隊  
 が我が軍に砲撃を加へてゐるのを發見直  
 ちに急降下し敵陣近くの高射砲團の猛烈  
 なる齊射の中をもとせすこれに爆撃  
 を加へ多大の損害を與へ偉功を奏して引  
 揚げた

上海(七) 我空軍は十七日朝來雨を肩  
 して上海周圍の敵各陣地に果敢なる低空  
 爆撃を續け多大の損害を與へたが支那側  
 の報ずる所に依れば十七日午前中に揚州  
 浦第十號碼頭對岸浦東の支那軍は我が機  
 銃の掃射を浴びた外真茹方面では敵司令  
 部の附近に爆彈落下炸裂して何れも莫大  
 の損害を與へた

上海(七) (第三艦隊報道班発表)  
 一 陸軍戦闘に協力せる海軍航空隊の一  
 部は十七日羅店鎮西方方面に退却中の  
 敵密集部隊に對し猛烈なる爆撃を反覆  
 散行しこれに大打撃を與へ又劉家行方  
 面の敵陣地を爆撃せり

上海(七) (第三艦隊報道班午後八時發  
 表) 海軍航空隊は本日嘉定、劉家行、大  
 場鎮、江橋鎮、浦東、開北方面の敵陣地  
 を爆撃せり

上海(七) (第三艦隊報道班発表)  
 一 陸軍戦闘に協力せる海軍航空隊の一  
 部は十七日羅店鎮西方方面に退却中の  
 敵密集部隊に對し猛烈なる爆撃を反覆  
 散行しこれに大打撃を與へ又劉家行方  
 面の敵陣地を爆撃せり

上海(七) (第三艦隊報道班発表)  
 一 陸軍戦闘に協力せる海軍航空隊の一  
 部は十七日羅店鎮西方方面に退却中の  
 敵密集部隊に對し猛烈なる爆撃を反覆  
 散行しこれに大打撃を與へ又劉家行方  
 面の敵陣地を爆撃せり

二 我水上偵察機四機は十七日午後四時  
 頃降雨中敵カーチスホーク戦闘機群と  
 遭遇し空中戦闘の後敵に多大の損害を  
 與へてこれを撃退せり

支那軍第二線陣地構築

上海(七) 我が航空隊の調査によれば  
 敵は江橋鎮一帯並に大場鎮より劉家行  
 鎮を連ぬる線上に、いづれも數線に亘る堅  
 固な陣地を構築殊に大場鎮、劉家行鎮間  
 は東面並に北面の陣地が數線に布かれ陣  
 地帯ともいふべき堅固さである、或る箇  
 所の如きは三キロに亘つて蟻の這ひ出  
 る隙もない程に陣地線を連ねてゐる

上海市街との交通確保に腐心  
 上海(七) 我軍の全面的進出に對し支  
 那側では第一線と上海との聯絡を切斷さ  
 れることを恐れ數日來共同租界北西鐵路  
 と支那街との境界北停車場附近其他共同  
 租界と市街間の主交通線陣地強増を  
 圖りつゝあり、最近夜間敵が四川路方面  
 に砲火を集中してゐるのもこの増強工事  
 掩護の爲と見られてゐる

支那軍開北同志討  
 上海(七) 今朝五時半頃赫司令克而路租  
 界境界線近くの開北敵陣地は百餘の炸裂  
 したのを模倣として猛烈なる同志討ちが  
 行はれ銃聲は約卅分間に至つて轟々と鳴  
 り響き流弾は虹口方面に無數に飛んだ、  
 開北の敵は最近新手の軍隊が配備され地  
 理不案内と内部的不和のため屢々同志討  
 をやつてゐる

支那軍掠奪を始め  
 上海(七) 敵線の擴大發展と共に支那  
 軍の給與は益々不良となし上級幹部の志  
 氣衰へつゝある模様で十三日以來全面的  
 退却後はその度益々甚しく秩序紊亂その  
 極に達してゐる、その一例として十五日

夜露店鎮附近にあつた卅六師の一部隊が  
 給與不足を口實に掠奪を開始したるに端  
 を發しこの風潮は後方戦線熱熱、江陰方  
 面の部隊にも漸次波及し目下民家の掠奪  
 焼き拂ひ等が盛に行はれてゐる

支那ジャンク影を絶つ  
 〇〇(七) 帝國軍艦の支那沿岸交通遮  
 斷を宣言して以來海上には支那艦船の影  
 も見えず支那情勢を乗せて港より港へ支那  
 人民の生命を運んできたジャンクも今は  
 全くその跡を絶ち辛ふたて第三國の船舶  
 により支那は海外から物資の供給を受け  
 てゐる有様である、然し支那に船籍を有  
 する日本人所有船六十八隻、滿人所有の  
 四十八隻は置籍船の名稱の下に僅かに航  
 行を許されてゐる

伊軍司令官岡本總領事訪問  
 上海(七) 去る十五日アジス・アベバ  
 より到着したイタリヤ擲彈兵司令官アン  
 ドレーニ中佐は十七日午前十一時半我が  
 總領事館に岡本總領事を訪問來往の挨拶  
 を交した後今次來支の目的を述べ我が西  
 部小學校を兵舎に提供されたるに對し厚  
 意を謝した、之に對し岡本總領事はイタ  
 リヤ醫備區域内にある我が西部工場地帯  
 の警戒に當るイタリヤ軍の勞苦を謝し卅  
 分間にして會見を終了した

上海情勢

二 邦字新聞は三社共活字版二枚刷とな  
 り面目を一新して報道戦陣に活躍して  
 居る、英字紙は依然チヤイナプレス  
 以外は公正な態度を持して居り漢字紙  
 も最近從來の如き戦陣の虚報にのみ備  
 した態度を更め一部改戦をも報道する  
 に至つた

三 支那側は救國公債は募集成績思はし  
 くない爲南京政黨要人は勿論地方に於  
 ても新聞ラヂオ等凡ゆる手段を講じて  
 一般民衆の應募を勸誘して居る、又各  
 種の小團體學生し戦線慰問等銃後熱を  
 高唱し漢奸取締りを益々嚴重にし依然  
 抗敵氣勢を煽つて居る

四 英佛租界内電車バス等交通機關は平  
 常に復し支那避難民の整理も着々進歩  
 して居るが食糧其の他漸次缺乏して來  
 たものゝ如く工部局食糧委員會は揚州  
 浦方面の倉庫内に貯蔵してあるものを  
 搬出せんと努めて居る、目下英佛租界  
 内には支那軍負傷兵約八千名收容せら  
 れて居り支那軍幹部の出入頻繁で邦人  
 の往來は依然危險である

五 西部工場帯日本以外の工場十一ヶ所  
 は操業を繼續して居る就業工人數は約  
 一萬であるが時局に依る失業工人約廿  
 五萬に達し之が救濟を叫ばれて居る

上海一般情勢 (海軍省)  
 一 敵局我軍に有利に展開し虹口方面は  
 敵の砲撃を受けざることに數日に  
 及びのみで在留民は頗る生氣爽快飲  
 食店雜貨店等開店するもの日々増加し  
 邦人街は漸次明朗化するもの居る

膠湖變(七) 當地警情報による南支方  
 面情況左の如し  
 一 支那側は新聞その他の方法を以て旺  
 んに遊宣傳を行ひ支那軍優勢なりとの  
 虚報を連發して一般民衆を欺瞞し後方  
 人心の動搖を防止せんとしてゐる、民  
 衆は支那が到底日本の敵に非ざること  
 を認識してゐるが若し之を口外するのそ  
 直に所謂奸悪として銃殺されるのでそ  
 れを怖れて虚報と知りつゝも表面之を

南支情勢  
 一 支那側は新聞その他の方法を以て旺  
 んに遊宣傳を行ひ支那軍優勢なりとの  
 虚報を連發して一般民衆を欺瞞し後方  
 人心の動搖を防止せんとしてゐる、民  
 衆は支那が到底日本の敵に非ざること  
 を認識してゐるが若し之を口外するのそ  
 直に所謂奸悪として銃殺されるのでそ  
 れを怖れて虚報と知りつゝも表面之を

府政民國

信する態度に出でゐる  
 一 支那海軍は我が艦艇なる海軍に壓へ  
 られて全く沈黙を守りその存在をすら  
 疑はれる状態にあるのと同海軍に對す  
 る非難攻撃は相當強いものがある  
 二 嚴密周到なる我が航行遮斷の効目は  
 支那側にとって日一日と深刻に響き各  
 地において物資缺乏による内紛を惹起  
 し又は惹起せんとしてゐる

許大使に引揚命令説  
 上海(七) 支那側報道に  
 よれば國民政府外交部は駐  
 日大使許世英氏に對し十七  
 日歸國を致命したので許世  
 英氏は大使館員及び日本に  
 在る國民政府並に黨部關係者一同百餘名  
 と共に近日外國船で日本發着港經由歸國  
 するに決定したと傳へられてゐる

官吏軍人層に不満昂る  
 【七】 十七日確かな方面への情報に依  
 れば南京政府は財政收入の大宗たる關稅  
 關稅收入が我が航行遮斷實施により殆ん  
 ど杜絶した爲め極端な財政難に陥り長期  
 抗日のスローガンも漸く空虚な宣傳たる  
 の事實を暴露しつゝある、即ち南京政府  
 が窮餘の一策として採用した俸給の大削  
 減により官吏、軍人層に漸く不満の聲昂  
 まり給料不渡の軍隊間には敗戦につき敗  
 戦と相俟つて今や自暴自棄となり士官の  
 命を賭かぬ不穩な分子が全国的に擡頭し  
 中央政府の威令漸く地に墜ちんとしてゐ  
 る有様である、また浙江財閥の事變に依  
 る痛手は豫想外に深刻なるものあり上海  
 南市方面の比較的戦禍を直接蒙らざる地  
 域に在る各種工場も悪條件の累積に四苦  
 八苦の態で卓豐製粉工場のように争議頻發  
 遂に流血の慘を見るに至り虹橋自動車工  
 場従業員も工資半減に不穩の色あり、製  
 糖會社等も動搖甚しく生産能率は著しく

低下するに至つてゐる、かくの如く經濟的不安深刻なる上に北支、上海方面戰線の敗色漸く濃厚なるものであるので南京政府の地方軍閥に對する威令は漸次衰へその命脈も戰爭に依る徹底的打撃と共に著しき萎微するを免れない模様である

外債支拂能力今月限り

【十七日】支那事變の長引くと共に南京政府の財政状態は日一日と悪化の一踏を辿つてゐるが就中我が海軍の支那沿海航行遮斷以來支那側の主要な財源たる海關收入が激減した結果は南京政府の財政に一大打撃を與へつゝある事實は敵ふべくもなく十七日達した情報によれば支那財政當局もこれが爲め南京政府の海關擔保内外債支拂能力はせいと九月一杯で來月に入れば收入激減のため到底支拂實行困難となる懼るる旨を自認してゐる由である

陸軍省發來戰況



一 山西方面に行動しある〇〇部隊は連日に亘る險難なる地形を迫り來る寒冷粗惡なる給養を克服し

つゝ數倍の敵軍に對し最も神速なる策戰を敢行し攻撃又急迫昨十六日早朝山西省渾源(蔚州西方約八十軒)を又正午頃河北省の多源(蔚州南方約五十軒)を占領し敵の決死の損害を與へたり

二 平漢線方面にありては昨十六日依然琉璃河附近の敵陣地を攻撃中にして固安方面より前進せる〇〇部隊は十五日夜拒馬河を渡り昨十六日涿州附近の敵を攻撃中なり、當方面の敵は新に其兵力を増加し頑強なる抵抗を試みつゝあり、又〇〇部隊は十六日拂曉牛頭鎮(固安南方約二十軒)を占領し敵を急追中なり

三 津浦線方面は大なる變化なし  
四 上海方面大なる變化なきも羅店鎮及揚行鎮附近に於ける戰況は有利に進歩しつゝあり

の戦死傷者左の如し  
▲和知部隊  
▲戦死  
▲戦傷

- 將校 片山 國雄 五名  
中尉 水口 甫夫  
少尉 宮本 武雄  
同 岩井 實  
同 安岡 茂雄  
同 正岡 一虎  
同 藤原 茂  
兵 百十五名

▲永津部隊

- 將校 恒岡小文吾 七名  
大尉 竹内 德憲  
同 鷗素 茂雄  
少尉 北村 政喜  
同 岩森 和夫  
同 近藤 三男  
同 光富順一郎  
准尉 松崎 末猪  
同 篠原久壽海  
同 梅原 豊治  
同 太田 順一  
兵 二百四十一名

▲淡間部隊

- 將校 山崎 善勝 二名  
大尉 關本 房義  
少尉 關本 房義  
下士官兵 五十二名  
將校 下士官兵 十四名

▲川並部隊

- 將校 杉村 謹三 二名  
大尉 加藤 英徳  
准尉 川口 孝徳  
同 鹿島 善十  
同 花井 孫一  
下士官 十六名  
兵 百一十一名

▲石井部隊

- 將校 飯田 七郎 六名  
少佐 飯田 七郎  
大尉 中林 清七  
少尉 山本 芳雄  
同 梅田 定雄  
同 森田 岩夫

▲赤柴部隊

- 將校 早瀬 一浩 一名  
少尉 早瀬 一浩  
准尉 葛原 一  
下士官兵 五十五名  
同 池田 新  
同 若狭 毅  
下士官兵 百四十五名

▲中井部隊

- 下士官兵 四名  
下士官兵 十八名  
兵 五名  
階級不明 六名  
下士官兵 七名

中村廣東總領事歸朝  
廣東總領事館中村總領事、早崎副領事は幹事二名と共に御眞影を奉じて十七日午後三時四十分神戸入港の郵船富崎丸で歸朝同八時五十分三宮の宮驛發列車で東上したが中村廣東總領事は左の如く語つた廣東在留六百の邦人を引揚げさせたので最後に私達は總領事館の國旗を降して香港に逃れたのは先月十七日でした由來廣東は支那全土中でも排日抗日のひどいところ得名で廣東の排日抗日のことは支那の排日が收まつた時だとはいはれてゐます、それに南京政府は拍車をかけて抗日の一途へ人心を驅り立てゝゐることから引揚當時の空氣は險惡を極め日本人は兵糧攻めの危險に瀕したので引揚けたのです、しかし廣東民の受けつゝある打撃は深刻で二千五

支那情勢  
十七日の關聯に於て支那情況につき左の如き報告があつた  
▲南京に於けるフランス、イタリヤ兩大使館は揚子江の船上に移された  
▲南京政府では官吏に對し二割乃至五割の減俸を行ふと共に本俸の半額に達する軍事公債の強制購入をなさしめてゐる  
▲青島の空氣は極めて平穩で邦人もまた十名ばかり残つてゐる

▲戦死  
▲戦傷

- 將校 小田島 薰 四名  
少佐 齋藤 勳  
大尉 高木 佃  
同 小池 春政  
准尉 福岡 淺夫  
同 阿部 運義  
同 橋本 竹馬  
同 渡邊 茂一  
同 石原 實  
下士官 百八名  
將校 十名  
大尉 山本 恒正  
同 久保 節一  
同 志度 茂好

百萬の救國公債を強制されてゐる外我が艦隊の沿岸遊離により食糧缺乏を來し反將分子に蠢動の時機を與へてゐます、殊に共産分子が華變前に同地方にバラ撒いた排日パンフレットは三十七種に上り日本國內分裂を狙つてゐることは重大視せられねばならぬ

**軍馬食糧は恤兵品として受領**

事變以來第一線にある物言はぬ戰士軍馬の慰問品として大麥、燕麥、干草、蹄鐵の獻納を申出でる者多數に上るので陸軍では之等の品を正式に恤兵品の一として受領滿洲支那に奮闘する皇軍前線の馬匹食糧に充當するに決定し十七日各軍師團に此の旨通牒を發した、獻納受付は各軍師團司令部(第一師管、第七師管では陸軍糧秣廠、朝鮮滿洲では陸軍倉庫)で行はれる

**寄附募集を統制**

内務省では去る一日全國府縣當局に寄附金募集統一に關する通牒を發したので東京府でも府市及び商工會議所三者間で具體案を考究の結果

寄附金募集行爲及計畫は各市町村關係團體で細微する市區町村統後援連絡委員會に於て統一的行ひ更に之を東京中央統後援連絡委員會で統一すること(但し帝國軍人後援會、愛國婦人會は例外とする)

ことに決定したので醫調廳では此の要項に基き十七日左の通牒を各署に發した

- 一 東京中央統後援會で特に決定したものを
- 二 市區町村委員會で行ふ計畫にして中央委員會で許可意見を列申したものを
- 三 各居町會に於て當該町會員のための統後援をなすものにして市區委員會で許可意見を列申したもの

四 區内を單位として職團團體等に於て當該團體員のための統後援をなすもので市區委員會が許可意見を列申したものを

- 五 帝國軍人後援會
- 六 愛國婦人會

**國民支援**

**三井合名社百萬圓の慰問袋**

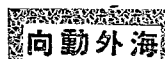
三井合名社社長三井高公氏は出征陸海軍將士に對して約一百万圓の豫算を以て慰問品を製作寄贈するに決し關係會社から一日百數十人の従業員を動員三井の三井別邸並に麻布町の三井集會所に事務所を設けて慰問袋を製作出征將兵全部に洩れなく贈ることとなつた

**基督教聯盟の慰問**

日本基督教聯盟では事變勃發と共に全國基督教關係機關を動員して慰問袋の製作に努めてゐるが今回北支皇軍慰問使として聯總幹事海老塚亮、メソジスト教會社會局長眞鍋賴一兩氏が選ばれ十七日午後三時東京驛發富士號で出發した

**在加同胞の獻金廿六萬圓**

サンフランシスコ(九・七) 支那事變勃發以來在米同胞は統後の恤兵獻金や慰問袋募集等によつて熱烈な祖國愛を示してゐるが在サンフランシスコ帝國總領事館が十七日まで受付けた獻金額は實に廿六萬六千圓の巨額に上つた



**海外動向**

王大使ハル長官に抗議  
ワシントン(九・七) ワシントン駐劄支那大使王正廷氏は十七日正午國務省にハル國務長官を訪問政府船の極東回武裝輸送禁止に關する大統領宣言に對し口頭を以て抗議した、

確聞するに王大使は明かに興奮の色を示しながら

支那政府は大統領今回の宣言に對し失望を禁し得ない、日本は武器を自給出來るのに反し支那はその大部分を外國に仰がねばならぬ、従つて今回の宣言は支那に對し相當打撃である

と述べたのに對しハル國務長官は、米國政府の態度は宣言それ自體に明らかである

と言葉短かに答へ米國政府は既定方針に變更を加へる意向は無い旨明かにした

ニューヨーク(九・七) 南京十六日發同盟A.P.電報によれば支那政府は米國政府船舶に日支兩國同武裝輸送を禁止せる十四日のルーズヴェルト大統領の宣言は支那に對し不公平なりとして米國政府に抗議したと傳へられる

**ウイチヂア號マニラに向ふ**

サンペドロ(カリフォルニア州)(九・七) 支那向ベランカ軍用機十九臺を載せて十六日サンペドロに入港した問題の汽船ウイチヂア號は政府船の極東回武裝輸送に關する大統領宣言に觸れ飛行機其他軍需品を陸揚した上十六日夜マニラに向け出帆した、陸揚した支那向飛行機其他軍需品の處分法は未だ決定しない

**武器禁輸宣言に反對**

ワシントン(九・七) ニューヨーク州選出共和黨下院議員、ミルトン・フィッツシェ氏はルーズヴェルト大統領の政府船武裝輸送禁止宣言に反對を表明し十五日次の如き意見を發表した

この際大統領が日支兩國に對し中立法を發動すれば米國は完全に紛争の圈外に立ち得るに拘らずかういふ生半可な宣言を發して全國の家庭に戦争恐怖を起させてしまつた、大統領の宣言は中立法を無視して議會の意思に公然違ふ

ものである、要するに宣言の目的は平和團體の御機嫌をとるための生半可な方案に過ぎぬ

**フ號爆撃は支那機と断定**

サンフランシスコ(九・七) 上海に於て支那空軍の不法爆撃を受け船客乗組員に多數重傷者を出したブレデンド・フォーアード號は十五日サンフランシスコに入港したが米國海軍局支部では十七日事件の査問會を開催した、此日日支兩國領事も熱心に傍聴し注目を惹いたがハリソン一等運轉士審問に答へ爆撃の三機は支那機だと斷言しヤードレー船長も飛行士が米國船と知りながら爆撃を投じたに疑ひないと陳述した

**九月十八日**

**青縣治安維持會成立**

青縣(九・七) 第廿九軍の掠奪暴行に一時四散してゐた青縣住民達は我が〇〇部隊の占據以來皇軍の軍規嚴肅なるに安堵と歡喜に溢れて

毎日毎日數百人づゝ久し振りに我が家に歸つて來て居る、既に治安維持會も結成されて城内外の治安に協力し各戸毎に日の丸の旗が掲げられて天主教會内には法騎班長以下〇〇名から成る〇〇班と部隊の看護兵などの手に依つて救濟所が設けられてゐる

**平綏戰況**

**支那軍内長城線に據る**

懷仁(九・七) 内長城線に退却した山西軍を急追し懷仁縣城を中心に左雲小村の線に前進した〇〇軍は十七日午前十時廣靈

より渾源に進撃した南軍〇〇軍と完全に聯絡を取つたが我が軍前面の山西軍は十四日以來懷仁の東南方四十キロの應州を最右翼とし山陰、馬邑、朔州の線に大部隊を派し有史以來外敵の攻略を聞かぬ内長城線の雁門關を中心陣地とし之に沿ふ、天險に堅固なる陣地を構築し山西軍主力全部隊を集中して我が南北〇〇軍を邀撃せんとする體勢を執りつゝある

**平漢戰況**

**皇軍涿州入城**

北平(九・七) 涿州平野の會戦に見事雲霞の如き敵の大軍を撃破し追撃又追撃退却する敵を一撃に殲滅せんとし包圍陣形を次第にせばめた皇軍先頭部隊は既に涿水の東方六軒の十里鋪及び王村に達したが敵の本據たりし涿州城は昨十七日夜來既に敵影なく十八日午前我が遠山部隊は恣々入城城内高く日章旗を揚げた

北平(九・七) 涿州を中心に平漢線一帯に立錫つた孫連仲麾下の敵の大軍は我軍の攻撃に抗し得ず退却に次ぐに退却を重ねつゝ本日正午遂に涿水及び西南高地にまで壓迫され保定方面に萬一の生路を求むべく必死の退却掩護陣地を構築し最後のあがきを續けてゐるに過ぎぬが涿州平野の大會戦が九月十八日も云ふ記憶すべき日に一段落を告げたのも奇しきことと言はねばならない、未嘗有る殲滅戰場となつた涿州平野は既に敵影なく到るところに敵屍が累々として横ばり姿を極めてゐる

▲敵戦死六千に上る 北平(九・七) 十四日夜より一齊に開始された涿涇平原に於ける戰闘で我軍が敵に與へたる損害は房山方面の〇〇部隊による死者大凡三千、涿州南方に於て平漢線の鐵道遮断を行つ

た〇〇部隊によるもの大凡二千、永清方面より西進中の〇〇部隊によるもの大凡一千、合計六千の多数に上るが我軍の損害は總數僅かに〇〇名に過ぎぬ

拒馬河兩岸 西方地區に進出せり  
北平(九)〇〇 (軍司令部午後三時發表) 十八日午前十時頃に於ける戦況左の如し  
一 涿州西方前進中の部隊は概ね拒馬河の線に達せり  
二 平漢線を横斷せる部隊は楊康(松林南西方八キロ)附近に進出し尙ほ此の南方に於ては滯留中(高碑店北方五キロ)附近の敵を攻撃中なり

追擊戰公報  
(十八日午後五時卅分陸軍部發表) 平漢沿線涿州附近に於ける奮戦は有利に進歩し十八日早朝概ね涿州西方より松林店西方地區に進出し續て敵を攻撃中なり

北平(九)〇〇 (軍司令部午後四時發表) 一 涿州西方地區を南下中の我が部隊は正午過拒馬河を渡河し午後二時前後小林部隊の先頭は西亭(拒馬河の西方六料)に、鯉登部隊の先頭は孫家莊(楊康西方六料)に達せり  
二 平漢線を横斷せる我部隊は正午頃十里舖及び王村(共に涑水東方六、七料)の線に進出せり  
三 敵は混亂して西南方と南方に退却しつゝあるものゝ如し、一部の敵兵は涑水の西北方高地に槍聲として陣地を構築中なり

天津(九)〇〇 (十八日午前十時半軍發表) 十八日朝までに於ける涿州作戦の状況左の如し  
一 右翼部隊は今朝七時頃、涿州西方七里南上梁、東李池の線に達し、打撃を與へ敵を西南方に追撃中である  
一 左翼部隊は例の如く泥濘濕地を虜し所在の殲兵を驅逐して今朝七時孟良營辛橋に於て拒馬河を渡渉し敵を西方に急追中である  
一 十七日までの戦闘で敵に與へた損害不詳であるが尠くとも五六千を下らず  
一 平漢線上に於て〇〇部隊は裝甲列車一、軍用列車四、五を擧獲した模様である

天津(九)〇〇 (軍司令部午前十時發表) 十八日朝までに於ける我が部隊は本朝午前八時頃關利莊(涿州西南方約十六キロ西部は潰走する敵を三方より包圍追撃中であるが十八日早朝我が〇〇部隊は敵の裝甲車を奪つて敵中を奪進平漢線附近に群る敵に對し多大の損害を與へつゝ敵戦線の重要據點高碑店に突つ込み美事に一番乘りの凱歌をあげた、これより先敵は退却に際し琉璃河鐵橋を破壊し我が裝甲列車の進撃を拒んだが勇敢なる我が〇〇部隊は勇躍琉璃河を涉つて敵軍の裝甲列車を奪取りこれを運轉して南進群がる敗殘兵を殲滅しつゝ奮進涿州を右に見て交通上の要衝高碑店一番乗り成功したものである、これがため敵は易縣方面への退路絶たれた

空軍活躍 〇〇(九)〇〇 我が空軍部隊は前線の我が軍と協力し且つ退却中の敵を攻撃のため十八日午前午後數回に亘り倉村部隊、笹尾部隊は霸縣及び白溝河鎮の附近の敵を爆撃した、敵は我が軍の空壓に呼應しての猛烈なる攻撃により全く混亂状態に陥つてゐる

〇〇(九)〇〇 十八日正午頃敵兵を滿載した四箇列車が保定から望都方面に向け退却中なるを認め島田部隊の雷砲〇〇機〇〇臺は直ちに出動午後二時四十分頃これに果敢なる爆撃を加へ木屑微塵に粉碎して引揚けた

津浦戰況  
津浦線支那軍が最後の頼みである滄州において是目前支那軍が附近部居民を徵發し一日十鐘といふ僅少の資金で醜使滄州、石家莊をつなぐ滄石鐵道豫定線に砂利を運びし陣地構築に大重となつて居る、この滄州陣地に向つて中央軍の大部隊がドンドン輸送されてゐるとの情報があつた

天津(九)〇〇 (軍司令部午後四時發表) 一 涿州西方地區を南下中の我が部隊は正午過拒馬河を渡河し午後二時前後小林部隊の先頭は西亭(拒馬河の西方六料)に、鯉登部隊の先頭は孫家莊(楊康西方六料)に達せり  
二 平漢線を横斷せる我部隊は正午頃十里舖及び王村(共に涑水東方六、七料)の線に進出せり  
三 敵は混亂して西南方と南方に退却しつゝあるものゝ如し、一部の敵兵は涑水の西北方高地に槍聲として陣地を構築中なり

天津(九)〇〇 (十八日午前十時半軍發表) 十八日朝までに於ける涿州作戦の状況左の如し  
一 右翼部隊は今朝七時頃、涿州西方七里南上梁、東李池の線に達し、打撃を與へ敵を西南方に追撃中である  
一 左翼部隊は例の如く泥濘濕地を虜し所在の殲兵を驅逐して今朝七時孟良營辛橋に於て拒馬河を渡渉し敵を西方に急追中である  
一 十七日までの戦闘で敵に與へた損害不詳であるが尠くとも五六千を下らず  
一 平漢線上に於て〇〇部隊は裝甲列車一、軍用列車四、五を擧獲した模様である

天津(九)〇〇 (軍司令部午前十時發表) 十八日朝までに於ける我が部隊は本朝午前八時頃關利莊(涿州西南方約十六キロ西部は潰走する敵を三方より包圍追撃中であるが十八日早朝我が〇〇部隊は敵の裝甲車を奪つて敵中を奪進平漢線附近に群る敵に對し多大の損害を與へつゝ敵戦線の重要據點高碑店に突つ込み美事に一番乘りの凱歌をあげた、これより先敵は退却に際し琉璃河鐵橋を破壊し我が裝甲列車の進撃を拒んだが勇敢なる我が〇〇部隊は勇躍琉璃河を涉つて敵軍の裝甲列車を奪取りこれを運轉して南進群がる敗殘兵を殲滅しつゝ奮進涿州を右に見て交通上の要衝高碑店一番乗り成功したものである、これがため敵は易縣方面への退路絶たれた

空軍活躍 〇〇(九)〇〇 我が空軍部隊は前線の我が軍と協力し且つ退却中の敵を攻撃のため十八日午前午後數回に亘り倉村部隊、笹尾部隊は霸縣及び白溝河鎮の附近の敵を爆撃した、敵は我が軍の空壓に呼應しての猛烈なる攻撃により全く混亂状態に陥つてゐる

上海戰況  
九・一八逆襲  
▲開北軍暴動 上海(九)〇〇 湖北の敵は九・一八記念日たる本拂曉四時半頃より陸戦隊本部方面に向けて猛烈な砲撃を加へ來つたが我が陸戦隊砲隊は之に痛烈なる反撃を加へ約一時間の應戦の後敵を沈黙せしめた

天津(九)〇〇 (軍司令部午後四時發表) 一 涿州西方地區を南下中の我が部隊は正午過拒馬河を渡河し午後二時前後小林部隊の先頭は西亭(拒馬河の西方六料)に、鯉登部隊の先頭は孫家莊(楊康西方六料)に達せり  
二 平漢線を横斷せる我部隊は正午頃十里舖及び王村(共に涑水東方六、七料)の線に進出せり  
三 敵は混亂して西南方と南方に退却しつゝあるものゝ如し、一部の敵兵は涑水の西北方高地に槍聲として陣地を構築中なり

天津(九)〇〇 (十八日午前十時半軍發表) 十八日朝までに於ける涿州作戦の状況左の如し  
一 右翼部隊は今朝七時頃、涿州西方七里南上梁、東李池の線に達し、打撃を與へ敵を西南方に追撃中である  
一 左翼部隊は例の如く泥濘濕地を虜し所在の殲兵を驅逐して今朝七時孟良營辛橋に於て拒馬河を渡渉し敵を西方に急追中である  
一 十七日までの戦闘で敵に與へた損害不詳であるが尠くとも五六千を下らず  
一 平漢線上に於て〇〇部隊は裝甲列車一、軍用列車四、五を擧獲した模様である

天津(九)〇〇 (軍司令部午前十時發表) 十八日朝までに於ける我が部隊は本朝午前八時頃關利莊(涿州西南方約十六キロ西部は潰走する敵を三方より包圍追撃中であるが十八日早朝我が〇〇部隊は敵の裝甲車を奪つて敵中を奪進平漢線附近に群る敵に對し多大の損害を與へつゝ敵戦線の重要據點高碑店に突つ込み美事に一番乘りの凱歌をあげた、これより先敵は退却に際し琉璃河鐵橋を破壊し我が裝甲列車の進撃を拒んだが勇敢なる我が〇〇部隊は勇躍琉璃河を涉つて敵軍の裝甲列車を奪取りこれを運轉して南進群がる敗殘兵を殲滅しつゝ奮進涿州を右に見て交通上の要衝高碑店一番乗り成功したものである、これがため敵は易縣方面への退路絶たれた

空軍活躍 〇〇(九)〇〇 我が空軍部隊は前線の我が軍と協力し且つ退却中の敵を攻撃のため十八日午前午後數回に亘り倉村部隊、笹尾部隊は霸縣及び白溝河鎮の附近の敵を爆撃した、敵は我が軍の空壓に呼應しての猛烈なる攻撃により全く混亂状態に陥つてゐる

津浦戰況  
津浦線支那軍が最後の頼みである滄州において是目前支那軍が附近部居民を徵發し一日十鐘といふ僅少の資金で醜使滄州、石家莊をつなぐ滄石鐵道豫定線に砂利を運びし陣地構築に大重となつて居る、この滄州陣地に向つて中央軍の大部隊がドンドン輸送されてゐるとの情報があつた

天津(九)〇〇 (軍司令部午後四時發表) 一 涿州西方地區を南下中の我が部隊は正午過拒馬河を渡河し午後二時前後小林部隊の先頭は西亭(拒馬河の西方六料)に、鯉登部隊の先頭は孫家莊(楊康西方六料)に達せり  
二 平漢線を横斷せる我部隊は正午頃十里舖及び王村(共に涑水東方六、七料)の線に進出せり  
三 敵は混亂して西南方と南方に退却しつゝあるものゝ如し、一部の敵兵は涑水の西北方高地に槍聲として陣地を構築中なり

天津(九)〇〇 (十八日午前十時半軍發表) 十八日朝までに於ける涿州作戦の状況左の如し  
一 右翼部隊は今朝七時頃、涿州西方七里南上梁、東李池の線に達し、打撃を與へ敵を西南方に追撃中である  
一 左翼部隊は例の如く泥濘濕地を虜し所在の殲兵を驅逐して今朝七時孟良營辛橋に於て拒馬河を渡渉し敵を西方に急追中である  
一 十七日までの戦闘で敵に與へた損害不詳であるが尠くとも五六千を下らず  
一 平漢線上に於て〇〇部隊は裝甲列車一、軍用列車四、五を擧獲した模様である

天津(九)〇〇 (軍司令部午前十時發表) 十八日朝までに於ける我が部隊は本朝午前八時頃關利莊(涿州西南方約十六キロ西部は潰走する敵を三方より包圍追撃中であるが十八日早朝我が〇〇部隊は敵の裝甲車を奪つて敵中を奪進平漢線附近に群る敵に對し多大の損害を與へつゝ敵戦線の重要據點高碑店に突つ込み美事に一番乘りの凱歌をあげた、これより先敵は退却に際し琉璃河鐵橋を破壊し我が裝甲列車の進撃を拒んだが勇敢なる我が〇〇部隊は勇躍琉璃河を涉つて敵軍の裝甲列車を奪取りこれを運轉して南進群がる敗殘兵を殲滅しつゝ奮進涿州を右に見て交通上の要衝高碑店一番乗り成功したものである、これがため敵は易縣方面への退路絶たれた

空軍活躍 〇〇(九)〇〇 我が空軍部隊は前線の我が軍と協力し且つ退却中の敵を攻撃のため十八日午前午後數回に亘り倉村部隊、笹尾部隊は霸縣及び白溝河鎮の附近の敵を爆撃した、敵は我が軍の空壓に呼應しての猛烈なる攻撃により全く混亂状態に陥つてゐる

津浦戰況  
津浦線支那軍が最後の頼みである滄州において是目前支那軍が附近部居民を徵發し一日十鐘といふ僅少の資金で醜使滄州、石家莊をつなぐ滄石鐵道豫定線に砂利を運びし陣地構築に大重となつて居る、この滄州陣地に向つて中央軍の大部隊がドンドン輸送されてゐるとの情報があつた

上海(六) 我方の射撃によつて楊樹浦大連碼頭に隣接する申新紡績第七工場敷地内に撃墜された敵機はカーチスホーク三型戦闘機と判明した

▲機翼を投下 上海(六) 午後九時四十分敵機は再び來襲し爆彈數個を東部方面に投下した

上海(六) 午後十時半敵機は三度來襲し我軍艦からの砲撃物凄く砲聲は暗の上海を壓してゐる、なほ敵機の投下した焼夷彈により楊樹浦招商局碼頭に火災起り火焔は熾烈となつてゐる

上海(六) (陸軍報道部發表)  
一 海軍航空隊は十八日虹橋飛行場を爆撃せり

一 十八日夜敵機は上海上空を空襲して楊樹浦地域に焼夷彈を投下したるが我が防空砲火によりその内一機を撃墜せり

▲地上部隊呼應 上海(六) 敵が豫て計畫の九・一八逆襲は夜陰に入つて敵機數回の空襲をきつかけに地上敵部隊が江灣方面の我が陸軍隊戦線に向つて銃砲火を浴せかけ我が方も之を激撃目下猛烈に交戦中である

江灣包圍縮小  
上海(六) 江灣包圍の松本部隊は十七日夜雷雨を衝いて江灣北方沿瀕道に沿へる吳巷の敵陣地を占據した、かくて我軍の包圍陣は逐次縮小され極めて有力の體勢をとりつゝある

上海(六) 十八日午後二時廿分我が海軍機〇機は密雲を衝いて閘北、北停車場の敵陣地に爆撃を加へた、この爆撃により敵陣の一部に火災を起し黒煙天に押し上つた

上海(六) 我が海軍機〇機は午後五時廿分江灣上空より敵陣に對し爆撃を加へ

た、又陸軍機〇機は午後一時瀕河鎮及び嘉定上空より昨日に引續き敵主力に對し爆撃を敢行した

上海(六) (〇〇報道部午後九時發表)  
一 蘆店鎮方面の〇〇部隊左翼方面に於ては本朝來馬家宅、蔡家宅に對し攻撃中なりしが正午頃之を奪取せり

一 楊行鎮西方地區に於て本朝來全線に亘り劉家行東方地區の敵陣地に對し攻撃中なりしが數日來の降雨のため各クリックともに氾濫し相當の難進を見たるも正午頃田上部隊は金家灣及びその南北の諸村落を奪取せり、當面の敵は金家宅附近に對し再三逆襲を試みたるも悉く之を撃退せり

一 又右井部隊は田上部隊に連繫し同時刻頃迄に王九房附近の線に進出せり、尙右井部隊長は一昨十六日の戦闘に於て左腕に貫通銃創を受けたるも元氣旺盛依然部隊の指揮を執り更に當面の敵に對し攻撃を續行中なり

▲四將校戦死 上海(六) 十三日楊行鎮西方小宅、五家巷、楊宅附近の各戦線の白兵戦で田上部隊の白石鎗大尉、神林鎮一中尉、中野正少尉は何れも壯烈なる戦死を遂げた、殊に〇隊長白石大尉は五家巷の激戦に自ら軍刀を揮つて敵陣に斬込み敵十數名を斬り殞し奮戦中敵陣に胸部を射貫かれとうと倒れたが「進め進め」と絶叫しつゝ悲壯な最期を遂げた、また和知部隊の〇隊〇〇近藤少尉は十五日連絡命令を受け饒澤曹長以下兵二名と共に午後四時近く敵陣を横きり彼我の猛烈なる銃砲火を巧みに浴り乍ら遂に隣間部隊と前線部隊との連絡を完了したが歸途近藤少尉は敵陣のため名譽の戦死を遂げた

上海貿易半額以下に減少  
上海(六) 上海海關發表によれば八月の中上海貿易は華變の發展により輸出とも七月に比し半額以下に激減し輸入は二千八百十六萬二千元と七月より四千九百四十八萬三千元(六割四分減)輸出二千三百七十五萬七千元と七月より二千九百三十三萬四千元減(五割五分減)を示してゐる、金銀塊は輸入皆無輸出は金塊百二萬元、銀塊百四十一萬九千元に達してゐる、尙右は當地に戦闘開始された八月十三日までには行はれなものでその以後は輸出入とも完全に停止してゐる

上海抗日デモ  
上海(六) 支那側は滿洲事變勃發當時たる本十八日を期して戦線全部に亘つて攻撃に轉ずると共に後方に於ても上海全市に一齊抗日デモを行ひ氣勢を揚ぐべく計畫したが敵ふべくもない前線の頽勢は市民の意氣を沮喪せしめ租界當局、伊太利警備軍を始め各國警備隊の嚴重なる警戒に手も足も出ず支那官公衛警社銀行商店等も我が空軍の爆撃を懼れてか黨部より命令された半旗掲揚すら行はず極めて蕭々たる有様である

宋美齡上海へ  
上海(六) 蔣介石夫人宋美齡は十八日午前十一時南京より上海に到着し佛祖界の自邸に入つた、前線將士激勵慰問の爲と言はれる

上海(六) 宋美齡が本日突如上海に現れた理由については巷間種々取沙汰されてゐるが最も信すべき筋の確報に依ると宋美齡が航空委員會議議長としての立場から米國に註文した軍用機が同國大統領の武器禁輸宣言の結果取消となり飛行機註文の唯一の望みが絶たれたので潰滅に瀕した支那の空軍の更生再建を圖るべく更に米國以外の海外註文を取極めるにあ

と解されて居る  
【六】 十八日某方面に達した情報によれば蔣介石夫人宋美齡は最近の便船を待つて渡米するにこなつたと傳へられてゐる、事變勃發以來同女史の抗日活動は南京政府内部においてすら騒々してゐるほどで先頃のラヂオ放送の如き列國の同情にすがらんとし却つて物笑ひの種となつたが列國の輿論の動向が次第に支那側の空宣傳に乗せられぬ形勢となりつゝあるところから米國の知己を頼つて同國輿論を自國に有利に轉換するやう暗躍泣訴を試みるべく今回渡米を企圖するに至つたものと見られてゐる

樟木上空で空中戦  
香港(六) 十八日午後七時四十分我が飛行機〇機はパイアス灣頭上空を過ぎ廣九鐵道樟木頭上空に現はれ支那空軍と約五分間空中戦を行つた同十一時五十分我飛行機〇機は又も廣九沿線深圳上空を飛んだが樟木頭は惠州に至る要地である圳は英支領の境にある交通の要地である

虎門に水雷敷設  
香港(六) 我海軍の虎門攻撃に多大の脅威を感じた廣東軍當局は十八日日本軍艦の出入を阻止する爲虎門砲臺附近に多數の水雷を敷設した旨發表し同時に香港海關事務所に於いてもこの旨を廣東行一般船舶に通達した、蓋し廣東省政府は物資輸送のため萬已むを得ず廣東に出入する船舶のみはその指令するランチにて右危険區域を誘導するものと見られる

廣東上海間交通路開通  
上海(六) 支那事變により鐵道交通に

大隈首相來たした國民政府は窮餘の一策として滬杭浦線、玉萍線を繋ぎ更に湖南省株州に於て粵漢線に連絡する新交通路を廿日より開通する旨發表した、右により廣東上海間の鐵道連絡成り印度支那方面より廣東に輸送する武器の大半並に西南方面の軍隊輸送に充てられるものと見られる

官吏足留緊急令發布  
上海(六) 國民政府は十八日左の緊急取締令を發布文武官の動搖を防阻することとなつた

一 抗戰期間中前線並に後方を問はず濫りにその職を放棄すべからず

二 冠婚葬祭のため已むを得ず休暇を必要とする者は豫め許可を受くべし

三 病氣のためその職に堪えざる際は醫師の診斷書を添附し請假願を提出すべし

右は全國文武官に適用され違反者は嚴罰に處すべし

孔祥熙に歸國命令  
上海(六) 國民政府はこの程蔣介石の名をもつて目下歐米に滯歐中の孔祥熙に對し至急歸國方を發命したの孔祥熙は九月中に歐國方を出發歸國の途に就くことに決定した、孔祥熙の歸國は今後の對外借款に見限りをつけた事を意味するものであるが歸國の上は戰時最高會議の財政部主任委員に就任し宋子文等と協力支那財政の戦時體制化に専念するものと見られる

蔣介石の非常對策  
ニューヨーク(六) 全戦線に亘る支那軍の敗退と國內的危機切迫の爲支那政府は目下緊急對策に焦慮して居ると傳へら

上海情勢

上海(六) 支那側は滿洲事變勃發當時たる本十八日を期して戦線全部に亘つて攻撃に轉ずると共に後方に於ても上海全市に一齊抗日デモを行ひ氣勢を揚ぐべく計畫したが敵ふべくもない前線の頽勢は市民の意氣を沮喪せしめ租界當局、伊太利警備軍を始め各國警備隊の嚴重なる警戒に手も足も出ず支那官公衛警社銀行商店等も我が空軍の爆撃を懼れてか黨部より命令された半旗掲揚すら行はず極めて蕭々たる有様である





て教育した抗日思想の普及は恐るべきものだ、この前の上海事變當時とは隔世の観がある

支那側の國際信義踐踏

【支】上海方面に於ける我當局の調査に依れば今次事變勃發以來支那側の國際法規、國際信義の無視踐踏は數ふるに違ないが其二、三の例を挙げれば左の如くである

(イ)日本國旗の濫用

一 七月十三日午後三時頃津浦線靜海附近に於て我偵察機は日の丸を附せる敵機を認め

二 八月廿八日の丸を描ける敵飛行機二基揚子江上に飛來し我艦船を爆撃せり

三 八月廿九日吳淞方面の戰艦に於て我陸軍の一部隊は前方陣地に日の丸を懸るを見て友軍に依り占據せられたる陣地と信じ近接せるに該陣地支那軍より不意打を受けたり

(ロ)第三國國旗の濫用

一 上海附近に於て支那側は支那人所有工場建築物に第三國國旗時に英國國旗を掲揚し之を據點とし我飛行機を射撃せり、聞北江方面に於ては支那軍(特に便衣隊)が第三國國旗を濫用せる例甚だ多く枚擧に遑あらず

二 八月廿八日我方は支那軍の第三國國旗濫用に觸し領事團の注意を喚起したるが英國は浦東に於て正當に英國國旗掲揚の建物を圖表し來れり其の結果英國人に關係なき英國旗掲揚の浦東酒糟工場を支那軍が占據し居ることを証明し九月十三日我は之を爆撃せり、然れども支那側の第三國國旗濫用止まざるを以て十四日再び領事團の注意を喚起せり

三 支那軍は米國所有建築物たる楊樹浦三育大學(ミツション)を軍事據點として利用せるを以て我軍は八月廿二日を占領せり

(ハ)支那軍の突撃

一 九月三日浦東支那軍は黃浦江上我艦船並に總領事館を砲撃せるが二、三十度備彈蘇州河以首租界内に落下多數の支那人を殺傷せり、支那軍飛行機の八月十四日「カセイホテル」等爆撃先施公司(南京路爆撃と好一對なり

二 病院船に對する射撃

一 八月廿九日傷病兵を載せて黃浦江を下江中の病院船朝日丸は午前十一時四十分頃吳淞砲臺より砲撃を受け看護兵三名負傷せり

2 九月十日上海郵船碼頭に警留中の病院船亞米利加丸は午後零時半頃浦東の支那軍陣地より迫撃砲の射撃を受けたり

3 九月十二日午後八時廿分頃揚子江川沙鎮沖に於て病院船朝日丸は支那飛行機の爲爆撃を受け爆撃は右舷側至近の距離に落下幸に乗員に死傷はなかりしも右舷主機械復水器に損傷を生じたり

(ニ)其他

一 北支に於て八月末日迄に我軍の鹵獲せる「ダムダム」彈は二萬發に達す尙上海に於て負傷者體內より拔出せるもの數件ありて上海方面に於ても使用されあることを確實なり

二 最近支那は歐洲方面より多量の化學兵器並に防毒具を輸入し既に、聯軍より一部輸入せりと傳へらるる支那側は近く化學兵器使用の企圖なりと思はる

三 支那軍は退却に際し井水に病菌、毒藥を投入せる疑濃厚なり北支支那各軍には細菌工作班なるものあり、八月廿五、六日頃平漢線良鄉附近戰艦に於ける捕虜並に土民の言に徴するに支那軍は退却に際し土民をして井水糞尿等に細菌を撒布せしめたりと云はる

四 支那側は租界内支那人を煽動し食糧暴動其他擾亂工作を行はしめ八月十七、八日頃支那暴民の料理店米穀店等の襲撃頻發し租界當局の手を焼かしめ居れり

五 南京政府の容共人民戰線以來共產黨の上海に於ける暗躍盛となり外國の租界放棄を餘儀なくせしめんと目論みつゝあり

國民支援

官廳職員の慰問

各官廳職員は派遣皇軍將兵、軍醫、警察官、戰歿者遺族慰問のため慰問金の醸金をしてゐたが十八日迄に合計七萬六千八百十七錢に上つたので内閣で取纏め風見書記官長から内務省大村社會局長官に傳達方を依頼した、内務省では早速適當な方法で傳達することになつた

愛國慶北號獻納

半島の愛國翁文明崎氏を生んだ慶尚北道では今次事變勃發後の活動にも官民一致協力して愛國慶北號の獻納運動を行つてゐたが此程海軍飛行機二臺(七萬五千圓)を獻納總督府海軍御用係東郷中佐は右に對し深甚の謝意を表し十八日獻納の手續完了した

海軍省へ日本刀獻納

福島縣石城郡内郷村白水杉山炭鑛杉山朝光、茂光の兄弟は亡父の遺訓を繼いで太

刀を蒐集所藏してゐたが今困苦心算集した百十八口を其儘海軍省に獻納して來た

海外動向

支那大使米大總統訪問  
ワシントン【九】ワシントン駐劄支那大使王正廷氏は十八日正午過ぎホワイト・ハウスにルーズヴェルト大總統を訪問した、王大使は大統領と會見後何時もの報告に似ず一切語ることを避けたが政府所有船による武器禁輸につき直接大統領に泣きを入れると共に聯盟の諮問委員會に米國の参加を要請したものと信ぜられる、最近支那側は相續く敗戦の報に極度に狼狽してゐる様子で米國の引入れに狂奔してゐるが米國政府は支那事變に關しては飽く迄獨自の立場を堅持する方針だから王大使の大統領訪問は却て米國側の反感を招くに過ぎなかつたやうである

九月十九日

北支情勢

支北

大同治安維持會成立  
大同【九】大同地方の治安恢復及び人民福利増進を目的とする大同地方治安維持會は十九日午前十一時商務會に於て成立式を舉行委員長馬永魁、副委員長古稀雲以下八選も決定した

三氏歸國

天津【九】北支皇軍慰問と視察のため來津中の有田八郎氏は今朝天津發午後塘沽から天津丸で大連を経て歸國の途についた

天津【九】新しき北支に對處すべく産業金融事業調査のため八月初旬以來天津に滞在したつた對清事務局次長青木一男氏は今朝六時天津發滿洲經由陸路歸京した

天津【九】天津で病臥中であつた輿中公司社長十河信二氏は東京で加療すべく本日天津丸で大連に向ひ廿三日同地發の熱河丸で歸國の筈

平綏戰況

輿和占領  
大同【九】十九日午後九時〇〇單發表)十九日午前十時半川村部隊は蒙古高原の要地たる輿和の敵を撃破して完全に同地を占領せり

殺虎口占據

豐鎮【九】大同西方廿里の右玉より進撃した田中部隊は十九日午後七時發邊軍が唯一の恃みとした太原への退路殺虎口を完全に占領し仲秋の清月に淡く浮かぶ關門の望樓に日章旗を翻した、險峻屹々たる大青山脈から我が陣營に吹きおろす秋風は我が勇士等の襟元を冷たく掠め早や酷寒の襲來近きを思はせる

太原爆撃

大同【九】(〇〇部隊午前十一時發表)〇〇飛行隊は十九日拂曉敵の新鋭超爆、戰闘兩隊の七機を一擧に撃墜し太原方面の敵飛行部隊を撃滅し我方の損害皆無大同【九】(〇〇部隊午前十一時發表)廣瀨、赤城兩中尉の指揮する〇〇機〇機は十九日午前六時四十五分内長城線を越えて大同に襲來せんとした支那軍〇機機〇機を懷仁縣城(大同南方卅六キロ)上空に於て邀撃し壯烈なる空中戦を演じ午前七時卅五分專事に敵機三機を撃墜更

に逃走する敵六機を追撃して太原上空に追ひ詰めた、敵は戦闘機を増し我に四倍する精銳を以て逆襲し來たり太原上空真只中で彼我の兩空軍入り亂れて壯烈なる空中戦を展開し更に敵輕機二機を撃墜し四散する敵を追ひ詰めて太原飛行場に至り折柄離せんとする敵の精銳ボーイング戦闘機二機をも撃破し敵機を一掃して午前九時半太原の制空權を完全に把握し空中戦の初陣を飾り敵地上部隊の撃ち出す砲彈を物ともせず獲物を狙ふ驚愕の如く太原上空を目下(午前十四時四十分)悠々旋回中、今次の戦闘に於ける我が空軍の損傷皆無

▲廿日午後零時半(陸軍省發表) 我が飛行隊は十九日午前八時太原(山西省首府)を空襲し同地に在りし敵飛行隊の主力に殲滅的打撃を與へたり、尙この戦闘に於て我は一機を失へり

大同(二) 十九日わが空襲隊の太原飛行場爆撃による敵の損害はその後の報告によると格納庫一棟は灰燼に歸し飛行場に行機中の戦闘機八機を粉砕したことが判明した

ダム／＼彈雨獲 豐鎮(二) 豐鎮攻略の我が千田部隊は約二萬發のダムダム彈を國産したがこれにより敵は戦闘中弾薬を國際法上許すべからざるダムダム彈を使用してゐた事が明確になつた、敵の主力は馬畔春の率ゐる綏遠國民軍第一旅で一般から強制的に徵兵した兵卒ばかりで軍閥の稅政を歎いてゐる

平漢 戰況

涿州平野追撃戰 ▲司令部六報 天津(二) 天津軍司令部午前十一時發表

一 平漢線西方地區の敵は西南方に向ひ潰走中なり  
一 我第一線部隊は午前八時過ぎ概ね涿水縣西方高地より涿水を経て高碑店附近の線に進出敵を急追中なり  
一 涿州城は昨十八日朝遠山部隊が進入し正午頃殘敵の掃蕩を終了せるものゝ如し

北平(一) 軍司令部十九日午前十一時半發表 牛乾鎮東方より西方に向ひ前進中の我が部隊は惡路を侵しつゝ午前十時頃新城(涿州の南方八里) 北方地區に進出せり

北平(二) 軍司令部十九日午後六時發表 我が〇〇部隊第一線部隊は本日午後四時頃概ね臥虎山(易州の東北方約八キロ) 定興縣の線に進出せり、續いて西南方に進撃中

▲易州占領 北平(三) 軍司令部十九日午後八時十五分發表 我が第一線部隊は本日午後五時半易州城に入城せり

北平(四) 易州一番乗の榮譽をかち得た岡崎部隊は昨十八日午後一時頃西部拒馬河の濁水を一氣に押し渡り鎮江營において敵軍約三百に遭遇交戦二時間の後敵五十を殲し機關銃重要書類その他多數を鹵獲殲滅的打撃を與へ續いて涿水の陣地に據る敵を蹴散らしつゝ暮進し昨夜來の霖雨に附近一帶は泥濘と化してゐたが泥海の中を大強行軍を執行十九日午後四時臥虎山の要地を抜きなほ易州附近高地の孫連仲部隊を猛襲遂に午後五時半日章旗を先頭に勇躍入城したものである

北平(五) 我軍は易州城入城に際し同城西方にある清朝の西院に對してその尊嚴を汚さざるやう布達すると共に一糸余れざる軍規の下にさすが日本軍の名に背かず天晴れ見事な統制振を示したので易

州城内の民衆は双手を舉げて皇軍の入城を歡迎し敵軍去つた市内は逐時平靜を取戻した  
▲陸軍省發表戰況(廿日午後零時半發表) 平漢線沿線に作戦中なる我が軍は隨所敵の抵抗を排除しつゝ十九日夕刻易縣―定興―新城南方附近概ね易水の線に進出敵を急追中なり

二 涿縣附近の會戦に於て房山(琉璃河西方) 南方山地方面に在りし中央直系の第十四軍(第八、第八十三、第八十五師)も亦大打撃を蒙り張坊(涿水北方四里) 附近より易縣西方の山脚に沿ふ險難なる山地内を南方に潰走せり

▲涿州會戰一段落 天津(二) 涿州平原に壯絶な大會戰を展開した我皇軍の中央部隊はその異敵な進撃によつて十七日涿州の南方幹線を遮断し更に十九日には定興―臥虎山の線に進出易州城を占據して茲に我中央突破の作戦は輝かし完成

北支戰局に大なる成果を齎した、かくて我平漢線方面各部隊は敵を完全に西南方に壓迫しつゝ彼が最後と稱む保定を僅か十里餘の彼方に見て意氣軒昂たるものがある、この方面の敵は孫連仲第卅軍の三個師、萬福麟五十三軍二個師、馮治安の九軍二個師、騎兵一個師、以上各軍の殘軍及び中央軍の精銳衛立陣の第十四軍二個師の約十萬餘である

石家莊再爆撃 ○〇(一) 我が空軍は十九日早朝より饒峨、中富、島田、島谷の各部隊全員出動し退却中の敵の根據地石家莊目掛けて大爆撃を敢行し敵兵站部根據地に大損害を與へた

〇〇(二) 昨十八日の保定大爆撃により敵は大損害を蒙つて浮足立ち遂に平漢線各地より遠く保定を越えて石家莊に集結退却を開始した、この報を得て勇み立

つた我が空軍は十九日早朝全員出動、中富、倉持、島田、島谷その他各部隊の〇〇機は各々編隊で爆撃勇しく初秋の陽光に輝きを輝かせ大石家莊上空に向つた、午前七時頃先頭部隊先づ石家莊上空に達するや過日の爆撃によりすつかり脅え切つた敵兵は卑怯にも大きな〇〇旗を掲げカモフラージュして矢鱈に高射砲高射機關銃を亂射したが我が軍は悠々と爆撃を敢行停車場附近の重要建物、裝甲列車に爆彈命中大損害を與へ内一彈は油槽列車に命中忽ち大火災を起し黒煙濛々として天に沖し物凄い光景を呈した、この再度にわたる遠く敵兵站の重要地爆撃により敵の混亂は今や極度に達してゐる

支南中 空襲 南京大爆撃 ▲第一次爆撃 上海(二) 艦隊報道班午後一時發表 我が和田隊長の率ゐる海軍航空隊空襲部隊は今朝黎明大學して敵の首都南京を空襲高橋大尉及び白相大尉指揮の部隊は敵の猛烈なる防空砲火を押し退け飛行場格納庫及び各種軍備施設を標撃し敵に大損害を與へた、又山下大尉の指揮する部隊は我空襲部隊に對し健全にも挑戦し來れる敵のカーチスホーク及びブレタ戦闘機數機と壯烈なる空中戦闘を交へ敵全機を撃墜した、我が損害は極めて輕微である

上海(一) 艦隊報道班午後三時廿五分發表 本日午前九時南京を空襲せる我が海軍航空隊は敵飛行場その他に大損害を與へ敵機廿六機を撃墜せり、我が軍の損害は未だ歸還せざるもの三機にしてその他は全部無事歸還せり

未嘗有の空中戦に於て我が海軍機に撃墜された敵カーチスホーク及びブレタ戦闘機は總計廿六機なる事確實となつた、世界空中戦史上空前の大勝である

上海(二) 今朝〇時〇〇基地を勇躍出動した和田隊長の率ゐる我海軍空の勇士等は〇〇機編隊を以て秋の朝風に翼を連ね江南の上空を一踏南京に向つた、午前八時頃南京上空に達するや折柄九・一八記念日の昇奮から明けたばかりの南京城内外は我空軍の威容に驚愕紫金山上を始め各所から一齊に高射砲彈を浴せしめ我が空軍はこれを物ともせず悠々空爆開始と見るや城外光華門飛行場より飛び出した支那空軍カーチスホーク、ブレク

兩戦闘機より成る敵機廿六機は健氣にも我に挑戦して來たので直ちに山下大尉を主力として之れに反撃しつゝに彼我入亂れての壯烈なる空中戦闘が展開されたが見る間に敵機は次ぎ／＼に撃墜され火煙をはいて墜落して行く、交戦數十分遂に敵機廿六機を全部たゞき伏せて世界戦史上の記録的勝利をかち得た、この間にも高橋隊、白相隊は戦闘の間を並華門飛行場同格納庫、中華門外兵器廠等に的確なる爆撃を敢行し素晴しきチームワークと各勇士等の果敢なる戦闘に首都南京の敵を完全にたゞきのめして歸還した

▲第二次爆撃 上海(三) 艦隊報道班午後八時發表 一 和田部隊長の率ゐる海軍空襲部隊は十九日午後南京空襲を執行し敵カーチスホーク及びボーイング戦闘機五機以上を撃墜し憲兵司令部外軍事重要點を爆撃し敵に多大の損害を與へたり

上海(四) 其後判明したところによれば本日午後の南京上空の空中戦で我軍の撃破した敵機は六機と確認された

上海(五) 今朝八時南京上空に於ける

士奮々云々 海軍〇〇航空隊は凱歌を擧げる暇もなく更に午後四時和田部隊長の率ゆる〇〇機は勇躍襲を連ねて南京を空襲敵は午前猛攻に怯えてか飛びかゝつて来た敵機は七八機に過ぎなかつたが忽ち壮烈な空中戦が支那民衆の眼に於て展開された、激戦数我が軍は手練の攻撃戦法で見事敵機を射落した後對地攻撃に移り地上の軍事的目標に適確なる爆撃を執行敵陣からは最早迫り来るもの無く地上の混乱をよそに歸還の途に就いた、斯くて十九日午前午後二回に亘る歴史的南京空襲により首都を中心とする附近の敵空軍は文字通りの殲滅的打撃を受けたがこれにもまして今次の我が空襲は支那民衆の目前で展開されたものである爲め如何に國民政府が全線に亘る支那軍の勝利を宣傳しやうともこの眼前の敗敵振りには隠蔽するに由なく支那人の精神的打撃は恐らく想像以上のものがあるであらう

▲海軍省公表 十九日午後九時四十五分發表) 一〇〇方面に於ける我海軍航空部隊は本十九日午前十時前後數十機の大集團を以て大舉南京を空襲し猛烈なる敵の防禦砲火を肩して飛行場格納庫車庫外飛行機兵工廠其他の軍事施設を爆破し多大の損害を與へ又敵機廿數機と壯烈なる空中戦を交へ南京附近上空に於て其の廿一機を撃墜し更に句容上空に於て他の五機を撃墜せり本空襲に於て我軍は三機を失へり

二 本十九日午前の我空襲に依り混亂中の南京に對し我海軍航空部隊は午後五時前後に亘り再度數十機を以て壓倒的爆撃を敢行し敵に莫大の損害を加へたり本空襲に於ける成果の詳細は尙調査中

▲不時着乗組員を救助 上海(六) 午後江陰附近に不時着(塔梁者は機體を自沈したる後僚機に救助せらる)したる外我方に損害なし

▲機銃索破壊機無事歸還 上海(六) 南京空襲で能谷殿太郎一等航空兵操縦御稱敬一等航空兵同乗の我が〇〇機は空中戦中敵弾のため操縦索を破壊されたが沈着よく操縦を續け無事〇〇基地に歸還した

▲山下部隊長談 上海(六) 南京上空の空中戦で敵機廿六機を撃墜記的大勝利を博した殊勲の山下部隊長は戦況につぎ左の如く語つた

部下各機を率ゐる午前午後と二回南京空襲に参加したがこれは自分の初陣で自分の感想は只壯絶の一語に盡き、南京上空に到着する前に早くも敵機開機を發見し南京附近一帯で二、三十機の敵機と戦闘した、敵機は只逃げる一、二張で我々の機には少しも反撃して來ず空軍戰術半分位で敵空軍を完全に壓してあとは南京上空唯味方の機のみであつた、戦闘は全く彼我入亂れての短期戦闘であつたが自分の部下の機で敵一機も落ちなかつたものは殆んど居ない位で二臺落したのもある、兒島一等航空兵の如き敵機を地面近く低空まで追ひかけた爲め敵機は逃げ場を失ひ人家に撃突して自爆したと云ふ珍例もある、然しこの戦闘は日常訓練そのまゝをやつたのみでむしろ敵が弱いのので日常訓練より容易であつた

海州、徐州炸撃 (海軍省副官談) 一十九日午後〇〇方面に於ける我が艦隊所屬飛行機〇〇機は夫々海州、徐州を空襲し海州に於ては兵營及飛行場指彈所を爆破し徐州に於ては停車場、軍用列車及機關庫を爆破せり

二 十九日我が〇〇海軍航空部隊の〇〇機は南京空襲に策應し蘇州を空襲し停車場並に軍需品集積所を爆撃し之に多大の損害を與へたり

三 前記各方面を通じ我方に損害なし

伏見伯重務に御精勵 〇〇(六) 臣籍に御降下あらせられた海軍少尉伏見英伯は第〇艦隊の軍艦〇〇に航海士として御乘艦今次事變當初より北支の海上に或は上海の陸軍部隊掩護に日夜御精勵あらせられる御姿に海軍將士は感激盡忠報國を誓つてゐるが同艦の〇〇司令は左の如く語んで語つた

海軍少尉伏見英伯は尊き御身を帝國海軍に捧げ給ひ皇國のため日夜奮闘遊ばされるのを拜し我々將士は愈々一死報國を誓ふ次第である

支那機襲撃被害 上海(六) 十九日午前零時四十五分第四次の敵機襲撃あり、爆撃投下に依り共同租界東部方面に火災を起したが更に一時又も來襲何れも我が射撃に依り撃退された

上海(六) 十八日夜來襲せる敵飛行機は楊樹浦方面に爆撃數個を投下したがそのうち一彈は上海紡績第一工場に落下同所の倉庫其他を破壊したと判明損害七十八萬圓と見積られてゐる

上海(六) 十八日夜の支那空軍爆撃により損害を被つたものは主として英人財産であつて次の各建物爆撃並に焼失の損害を被つた

インペリアル・ケミカル會社倉庫、ジャードン・マゼン・紡績、パール・アンド・マスケイラン會社工場、支那行輪船會社、南洋煙草倉庫、公平・テレス・一帶の外人各住宅

▲艦隊當局談 上海(六) 昨夜敵の夜襲機が楊樹浦に燒夷彈を投下したる事實につぎ艦隊當局は今朝九時半左の當局談を發表した

昨夜空襲せる支那空軍が共同租界に燒夷彈を投じたるは發表の通りである、この燒夷彈投下の目的が共同租界市街を灰燼に歸せしめんとしたことは明瞭で幸にして我が方の適切な防衛によつて被害を局限するを得たがそもよく燒夷彈を對抗防禦以外に使用することは國際法の嚴禁に禁止するところであつて毒ガス使用と共に最も非人道的の行爲である、支那軍は露に多數市民の居住する都市の中心を爆撃して無辜の非戦闘員を殺傷し戦火を避けて安全の地を求むる婦女子を收容したる無防禦の地帯に攻撃を加へ甚だしきに至つては赤十字旗を無視して病院船に砲火

を集中するなどその無節度暴虐停止するところを知らず、然も彼等はその文明の度低き理由を以て世界各國が動々もすればその暴行を寛容する風潮があるのに狎れて逐次増長してあらゆる暴行を加速度的に累加しやうとしてゐる、今にして彼等に適當の制裁を加へその反省を促さざる時は法規の威嚴文明の正義は消滅してこの種暴行の横行を見るであらう、世界達識の人士は宜しく偏見を去つて公平無私の觀念を以て冷靜に事態を考察し文明の共同目的のために活眼を開いて暴行を決すべき秋であることを信ずる

陸海軍進出 上海(六) (第三艦隊報道班午後八時發表) 江灣鎮方面を壓迫中の陸軍隊は十九日午後一舉商學院附近に前線を進め更に新華村附近にありて頑強に抵抗せる敵を撃破せり

上海(六) 敵の據點と待む金家灣王丸兵の陣地を占據した田上、石井兩部隊の一部は今朝來行動を起し着々附近小部隊を占領劉家行の包圍體勢を完了しつゝあり、敵は陸軍橋周家宅附近に堅固なトーチカ陣地を築き頑強に抵抗を試みてゐるが我が攻撃前進頗る急にして逐次後退を餘儀なくさせてゐる

支那軍毒瓦斯使用 上海(六) 淑里浦方面より進撃せる淺間部隊は十七、八兩日の戦闘に於て淑里浦南方約キロ北塘口附近の敵陣に乘つて先鋒に侵入し移らんとした利那敵第十四師正面の陣地最尖端に當つて異様な臭氣と煙霧の如き發煙機が立ちこめ前線兵士の嚔をする者儘出がたため一時部隊の進出を阻まれるに至つたが敵は早怯にも

上海 戦況

上海(六) 十九日午前零時四十五分第四次の敵機襲撃あり、爆撃投下に依り共同租界東部方面に火災を起したが更に一時又も來襲何れも我が射撃に依り撃退された

上海(六) 十八日夜來襲せる敵飛行機は楊樹浦方面に爆撃數個を投下したがそのうち一彈は上海紡績第一工場に落下同所の倉庫其他を破壊したと判明損害七十八萬圓と見積られてゐる

上海(六) 十八日夜の支那空軍爆撃により損害を被つたものは主として英人財産であつて次の各建物爆撃並に焼失の損害を被つた

インペリアル・ケミカル會社倉庫、ジャードン・マゼン・紡績、パール・アンド・マスケイラン會社工場、支那行輪船會社、南洋煙草倉庫、公平・テレス・一帶の外人各住宅

▲艦隊當局談 上海(六) 昨夜敵の夜襲機が楊樹浦に燒夷彈を投下したる事實につぎ艦隊當局は今朝九時半左の當局談を發表した

昨夜空襲せる支那空軍が共同租界に燒夷彈を投じたるは發表の通りである、この燒夷彈投下の目的が共同租界市街を灰燼に歸せしめんとしたことは明瞭で幸にして我が方の適切な防衛によつて被害を局限するを得たがそもよく燒夷彈を對抗防禦以外に使用することは國際法の嚴禁に禁止するところであつて毒ガス使用と共に最も非人道的の行爲である、支那軍は露に多數市民の居住する都市の中心を爆撃して無辜の非戦闘員を殺傷し戦火を避けて安全の地を求むる婦女子を收容したる無防禦の地帯に攻撃を加へ甚だしきに至つては赤十字旗を無視して病院船に砲火

を集中するなどその無節度暴虐停止するところを知らず、然も彼等はその文明の度低き理由を以て世界各國が動々もすればその暴行を寛容する風潮があるのに狎れて逐次増長してあらゆる暴行を加速度的に累加しやうとしてゐる、今にして彼等に適當の制裁を加へその反省を促さざる時は法規の威嚴文明の正義は消滅してこの種暴行の横行を見るであらう、世界達識の人士は宜しく偏見を去つて公平無私の觀念を以て冷靜に事態を考察し文明の共同目的のために活眼を開いて暴行を決すべき秋であることを信ずる

陸海軍進出 上海(六) (第三艦隊報道班午後八時發表) 江灣鎮方面を壓迫中の陸軍隊は十九日午後一舉商學院附近に前線を進め更に新華村附近にありて頑強に抵抗せる敵を撃破せり

上海(六) 敵の據點と待む金家灣王丸兵の陣地を占據した田上、石井兩部隊の一部は今朝來行動を起し着々附近小部隊を占領劉家行の包圍體勢を完了しつゝあり、敵は陸軍橋周家宅附近に堅固なトーチカ陣地を築き頑強に抵抗を試みてゐるが我が攻撃前進頗る急にして逐次後退を餘儀なくさせてゐる

支那軍毒瓦斯使用 上海(六) 淑里浦方面より進撃せる淺間部隊は十七、八兩日の戦闘に於て淑里浦南方約キロ北塘口附近の敵陣に乘つて先鋒に侵入し移らんとした利那敵第十四師正面の陣地最尖端に當つて異様な臭氣と煙霧の如き發煙機が立ちこめ前線兵士の嚔をする者儘出がたため一時部隊の進出を阻まれるに至つたが敵は早怯にも

際公法を無視し遂に嘔性毒薬を使用した  
ることも明白となり我が前線部隊は異常に  
緊張し暴戻飽くなき支那軍の行爲に激憤  
してゐる

上海情勢

寶山城民軍に感謝

上海九・二〇(午後六時)〇〇報道部発表  
九月六日膠州部隊の占領せる寶山城に  
は住民約五百名残留しあるを以て同部隊  
は取敢えずこれを保護し糧食を與へて救  
助せり、十二日宮崎部隊の一部蘇州に  
入り膠州部隊は引續き綏撫を實施中、同地  
住民寶山附近戰鬪開始以來支那軍の暴虐  
と戰禍の渦中にありて恐怖の極に陥つて  
ゐたが皇軍の入城するに及んでその慈愛  
の厚さに感激し直ちに治維委員會を組織  
し皇軍に信頼して安堵の日を送りつゝあ  
り

米國マリン上海到着

上海九・二〇 ボーモント少將指揮の米國  
海兵隊一千五百名は御用船シヨウモント  
號にてサンディゴ軍港を出帆全速力で太  
平洋を横斷し本日午後上海に入港した、  
同部隊は早速四蔵路よりロビンソン路に  
至る蘇州河寄りの一帯地域の警備につく  
奥地米人海州より引揚げ  
〇〇九・二〇 支那奥地居留の米國人は十  
九日米國軍艦で海州引揚げを決定した、  
帝國海軍はアメリカ居留民引揚げに對し  
海上の萬全を期するため我が第〇艦隊の  
海空軍を以て海州方面の支那兵に對し警  
戒をなし引揚げに便宜を與へた

國民政府

我南京爆撃を誣ゆ  
【九・二〇】十八日上海發ソヴ  
イエト政府機關タス通信電  
報は南京よりの情報として  
過般南京上空で支那軍の大  
めに撃墜された日本飛行機  
から南京市内の爆撃地點を指定せる陸軍  
省發行の南京地圖を發見した右地圖に  
よると日本空軍は單に軍事施設や軍略機  
關のみならず中央大學、孔祥熙邸、ソ聯  
邦大使館等をも爆撃目標として居り南京  
政府は右地圖をソ聯、ベルギー及びフラ  
ンス各大使館に示したと報じてゐるが我  
が空軍が軍事機關及び施設以外の文化機  
關や第三國人、非戰團員を攻撃の目標と  
した事實は過去に於て一回たりともなく  
今後ともあり得ないことは今次の長谷川  
司令長官の聲明によつても明かでありか  
つたタス電報は支那側常套手段たる苦肉  
の逆宣傳に過ぎないこと明白である

帝國

戰死傷  
【十九日發表】上海〇〇附  
近に於ける各部隊の戰死傷  
者左の如し  
▲安達部隊  
△戰死 將校 二名  
中尉 武田 二郎  
少尉 小島 吉光  
下士官兵 廿七名  
▲戰傷 將校 一名  
少尉 平島 往明  
准尉 河田 勇  
同 小野 義祐  
同 宮井 義一  
同 篠原 勇

永津部隊

△戰死  
將校 一名  
少尉 竹村 通  
兵 八名

武田部隊

△戰死  
將校 一名  
中尉 關口 保司  
下士官 一名  
兵 二名  
下士官 二名  
兵 十三名  
△戰傷  
將校 一名  
少尉 彌江 麟一  
同 三宅英一郎  
下士官 一名  
兵 六名  
▲岩井部隊  
△戰死  
將校 一名  
少尉 安足 義雄  
兵 五名  
▲沼田部隊  
△戰傷  
將校 一名  
少尉 安足 義雄  
兵 五名

長野師部隊

△戰死  
將校 二名  
少尉 彌江 麟一  
同 三宅英一郎  
下士官 一名  
兵 六名  
▲岩井部隊  
△戰死  
將校 一名  
少尉 安足 義雄  
兵 五名  
▲沼田部隊  
△戰傷  
將校 一名  
少尉 安足 義雄  
兵 五名

九月二十日

北支情勢

有田前外相談  
大連(九・二〇) 九月始め來滿  
東部國境並に北支視察を終  
へた有田前外相は廿日天津  
九來連左の如く語つた

滿鐵國境線沿河、牡丹江等を視察し北  
平、天津を見て來たが近頃非常に落付  
き住民は皇軍の恩威と軍威に信頼し安  
堵して業務にいそしんでゐる

青木對滿事務局次長談

奉天(九・二〇) 三週間に亘り北支經濟金融  
情況視察中の青木對滿事務局次長は廿日  
午前六時滿支直通列車で奉天着直ちに新  
京に赴き關東軍及び滿洲國政府當局と重  
要協議を遂げたが左の如く語つた

北支經濟金融界は治安の恢復に伴ひ漸  
く安定の曙光が見えて來たが日本の北  
支經濟金融對策は充分慎重にして不動の  
對策を樹立する事が必要で未だ具體的  
に語るべき時機ではない、北支情勢の  
進展に伴ひ對滿事務局を改組擴大して  
對北支事務を包含せしむべしとの議論  
がある様だが之は今後の情勢變化如何  
に依る事で未だ具體化してゐない

諾威教會師父より感謝狀

天津(九・二〇) 我が〇〇部隊の蔚縣に入城  
するや皇軍の恩威並び行はれ支那民衆の  
悅服する所となつてゐるが當地のノール  
ウエー福音教會宣教師ウイリー・リード  
ルフ師父は教會に對する我軍の恩情に感  
激し左の如き感謝の手續を〇〇部隊長に  
寄せて來た

本日所用にて當地に参り候處〇〇は部  
隊長並にその將士がノールウエー宣教  
師並に教會に對し深甚なる御問意を寄  
せられ一方ならぬ御配慮を蒙り居る由  
小生は茲にノールウエー教會を代表し  
衷心より謝意を表し候、〇〇軍の軍紀  
肅正にして寸毫も犯さざるに對し支那  
軍の暴逆は憤激に堪へざる所、桃花堡  
に於ても過去五ヶ年間に支那兵の掠奪  
に遭ふこと再度に及び申候故に一週間  
前日本軍が當城に入城の際は全く再生  
の心地致し欣喜當歸歡迎致せし次第に

御座候、日本軍將士の行動は文明國軍  
隊の典型と申すべく我等の深く尊敬  
する所に御座候  
一九三七年九月十七日  
ノールウエー福音教會監督  
ウイリー・リードルフ

〇〇部隊長談

平級戰況  
綏遠軍封鎖  
豐鎮(九・二〇) 綏遠進撃の〇〇部隊は板倉  
千田兩部隊を先陣として平級線に沿ふて  
北上平地泉の要害陣地に迫り一方廣仁よ  
り西北長城線方面に進撃中の長谷川部隊  
主力はその快足を利用して十八日拂曉左  
玉の敵を攻撃し數刻に亘る激戦を交へ同  
地を完全に占領更に逃走する殘敵を急追  
して廿日拂曉右玉の要害を封鎖し豐鎮方  
面より進撃した〇〇軍及び内蒙軍の進撃  
に綏遠涼城、殺虎口を経て太原方面に逃  
走を企圖してあつた綏遠軍大部隊の退路  
を完全に遮斷した

豐鎮(九・二〇)

〇〇と協同作戰の内蒙古軍  
騎兵部隊主力は南部の要害に據る支那兵  
千五百を撃破し更に西南に向つて逃走す  
る敵を急追し十九日午後十一時廿分得意  
の夜襲により平地泉の東北十五里の高家  
地を占領し綏遠省内に進撃し廿日拂曉強  
行軍で勇しく〇〇に向つて進發した

豐鎮(九・二〇)

綏遠軍約五萬は平級線より  
追撃する日蒙兩軍と殺虎口方面より進撃  
した長谷川部隊の爲め三方面より攻撃を  
受けて廿日午後一時全く袋の鼠となり一  
氣滅亡の運命に押しつめられてしまつた

▲廣嶽上空で敵機襲撃 天津(二) 廿一日午後三時分頃廣嶽上空に敵飛行機三機現はれ午後四時頃廣嶽に於て我が軍の射撃に依りその一機は撃墜された

平漢戦況

▲涿州平野追撃戦續行 固城入城 北平(三) (軍司令部午前十時半発表) 一 平漢線方面の我軍は本日午前八時十分頃南易水河の線に進出せり、同地點は易水縣城の南方一里

一 同時刻頃安田部隊は平漢線固城鎮に入城せり(高碑店南七里) ▲徐水北側に進出 北平(三) (軍司令部午後八時発表) 平漢線方面の我が部隊は敗退せる敵を急追し本夕刻概ね徐水北側地區に進出せり、保定まで約五里の地點あり

▲徐水占據 天津(三) 平漢線方面の我が部隊は廿日午後十時徐水に進入平漢線最大根據地保定は僅か五里に迫つた ▲國獲品多敷 天津(三) 十三日千君嘉附近に於て敵中央二箇師に對して徹底の打撃を與へた岡本部隊の報告によれば同日の我軍の得たる國獲品は輕機七十七挺重機八挺であるが更に涿州平原戰に於て敵は周章狼狽無數の武器軍需品を捨て、潰走し我軍の得たる國獲品は砲彈六千發手榴彈五千發、ガソリン三千罐、小銃彈九十萬發その他糧秣甚大に上り敵の殘滅的打撃を物語つてゐる

石家莊再爆撃

○(二) 我が空の荒鷲部隊○機は廿日正午頃砲撃を列ね再び石家莊上空に飛來猛烈な爆撃を加へ多大の損害を與へ市中には白煙濛々を昇つてゐる

新樂爆撃

○(二) 數日來保定、石家莊の大爆撃を敢行した我が空軍部隊は更に敵の退却を絶ち後方を襲撃すべく廿日午後二時半島田部隊の○機は○機編隊にて正定の北方新樂及びその附近の鐵橋を爆撃した、この爆撃は前日に引續き浮足立つた敵の退却を絶ち後方陣地の擾亂に大成功を収めた

津浦戦況

▲大城攻撃 天津(三) 津浦線方面に於ては南趨扶鎮を占むる殘敵を掃蕩しつゝあつた我が野田部隊は廿日拂曉を期し西方の敵に向ひ我が空軍と相繼して一齊に猛撃を開始し砲聲散々と轟く中を依然たる混濁を肩して前進せる午前七時半敵前五十米の地點に迫つて猛撃を加へつゝあるが敵は西方大城を有力部隊の根據地として八房、東賈庄の線に頑強に抵抗を試みたが及ばず西方に向つて敗走中である

○(二) 廿日午前五時中富部隊は○根據地を出發同六時五十分唐官屯西方廿キロにある西賈庄を爆撃した、同地點には多數の車輛を有する敵の大部隊が我が第一線部隊と對峙してゐたが我が空軍の猛烈なる爆撃に粉碎され敵は大擾亂を受け、我が地上部隊は之に乗じ七時より總攻撃を開始し前面の敵に向つて進軍中である

天津(三) 廿日午前九時發表) 東賈庄(馬廠西方四里) 八房の線に堅固な陣地を占むる敵に對し野田部隊は飛行部隊の協力を得て攻撃中、午前七時半分には我が第一線は敵前五十米の地點に達し敵は南方及び西方に退却中なり 天津(三) (午後四時半分司令部発表)

野田部隊は東賈庄、八房の線を奪取したる後午前九時分岡家庄、陳家庄、張家頭の線に進出更に混濁を肩して西方に向ひ敵を急追しあり

南京爆撃通告



南京爆撃通告 長谷川長官 外交機關に通告 上(海)三(三) 長谷川第三艦隊司令長官は十九日附を以て列國外交機關に對し「南京は支那軍略の中心なり」との理由により廿一日正午以後爆撃を敢行すべくそれ以前各國居留民は安全地帯に避難せしめ外國艦船は下三山上流に碇泊するやう通告した、通告正文左の如し

第三國に對する通告 支那軍の敵對行動を終絶せしめて時局の迅速なる收拾を促がす事は我が軍の作戰の目的とする所に於て南京は支那軍作戦行動の中樞なりと認め我が海軍航空隊は九月廿一日正午以後南京市及び附近に於ける支那軍隊並に作戦及び軍事行動に關係ある一切の施設に對し爆撃その他加害手段を加へる事あるべし、右の場合に於ては友好國の權益及び國民の生命財產は之を尊重する意圖なる事勿論なるも支那交戦の結果萬一にも危害が及ぶ事なきを保し難き狀況なるに鑑み第三艦隊長官に於ては南京市及び附近に在任する友好國官憲及び國民に對し自發的に適時安全地域に避難の措置を執られん事を強調せざるを得ず、尙揚子江上に避難せらるゝ向き及び警備艦船は下三山上流に碇泊せられん事を希望す

支那非戦闘員にも警告 上海(三) 長谷川第三艦隊司令長官は

列國外交機關に對する通告に次いで一般支那人非戦闘員に對し本日左の如き警告を發した

帝國海軍航空隊は爾今南京市及びその附近における支那軍隊その他作戦及び軍事行動に關係ある一切の施設に對し必要と認むる行動を取ることあるべくこの際非戦闘員たる支那人に對する危害は能ふ限りこれを避けたき希望なるを以て右非戦闘員は該軍事的目標に接近せざるを可とすべくこれを敢てなすものは當該各人自身の危險においてその起る可とあるべき危害に伴ふ責任は我軍においてこれを負はざるべし 昭和十二年九月廿日 第三艦隊司令長官 長谷川 清

海軍通告と外務當局の見解 長谷川第三艦隊司令長官が十九日付を以て在支列國外交機關並に非戦闘員に對し發せる南京及びその附近からの爆撃避難通告に關し我が外務當局では左の如き見解を採つてゐる

我が空軍は從來十數回に亘る南京空襲に於て一度たりとも軍事施設及び軍略機關以外のものを目標に爆撃したる事實なくこの點は各國とも充分に認めてゐる所であるが今後とも第三國の權益及び在留國民の生命財產を尊重する方針であり又一般支那民衆を敵とせざることに何等變りなきことは今次通告によつても明瞭である、さりとて南京は支那軍略の中樞であり我が軍の作戰目的を達成するためには今後更に大規模の南京空襲を敢行するの必要に迫られるに至つた結果時に流彈等が第三國人に對し萬一の危險を與へぬとは保障出來ないためこれ等第三國人の生命を最も安全ならしめる萬全の措置として豫め鄭重なる避難通告を發するに至つたものであつて右は刻下の現實に即せる最も適宜の措置と信せられる、而して最近の情報によれば在南京各國大使館員は最近何れも大部分下關附近揚子江上の自國軍艦に避難して艦上で事務をとりつゝあり、既に事實上南京市内から移轉してゐる模様であるが我が方としては今一度正式の通告を發して萬全の措置をとり揚子江上の各國艦船と雖も下關上流の安全地帯に碇泊することを希望せるものである

岡本總領事各國に通告 上海(三) 岡本上海總領事は長谷川第三艦隊司令長官の依頼に基き十九日在上海英米、獨、佛、伊、ソ聯、白七ヶ國總領事に對し書面を以て南京及びその附近の第三國人に對する避難通告を傳達し南京各自國官民に傳達方を依頼した廿日午前外務省に公電があつた 我通告と列國の態度 上海(三) 長谷川第三艦隊司令長官の避難通告に對し南京に在る諸外國各大使館の態度は廿日夕刻までの所大體左の如き狀態である 一 米國大使館は勸告に従ひ廿一日午前中に砲艦ルソン號に乗込み南京より十一海揚子江を通航するに決し同時に米國居留民も汽船で避難せしむべく考慮中 一 ソ聯大使館は南京に踏み止まるに決し當分は移轉の意思なし 一 英國大使館は「何れにせよ我々は當分南京に留まるであらう」と言つてゐる 一 佛國大使館は本國政府からの回訓を待つてゐる 一 獨逸並びに伊太利の大使館は廿日午後協議中で廿一日朝までに兩者共に同の態度決定の旨



名も亦名譽の犠牲を遂げた、我方の敵に與ふ損害は遺棄せる死體のみで二百名を算してゐる、その他裝甲車、迫撃砲、重機銃等多数の兵機、彈薬を鹵獲敵旅團司令部所在地だけに軍用地圖その他敵の重要書類も多数押収した

▲羅店鎮前軍進出 上海(二) (〇) 〇〇 報道部午後三時發表、數日來清を持して機を待ちたる羅店鎮附近の〇〇部隊は今朝來その砲火力を最高度に發揚飛行機の活躍と相俟つて全力を以てする猛攻撃を開始せるに先月下旬以來優勢なる兵力に加ふるに頻りに新手の兵力を加へ頑強なる抵抗を持續し來れる敵前線の敵は終に我が勇猛果敢なる攻撃に堪へ兼ね午前九時一部を陣地に止め主力は西方及び西方に退却を開始せり、〇〇部隊は目下殘敵の抵抗を排除して敗退する敵を急追中なり

上海(三) (〇) 〇〇 報道部午後六時發表、我〇〇部隊は十九日羅店鎮北方地域に於て攻勢を轉じ同日夕吳家巷、沈家村の線に進出し更に本廿日朝來張家壩蘇村秦宅の線の敵陣地に對し猛攻中なり 羅店鎮(二) 十九日勇躍初陣戦を行つた〇〇部隊は廿日引續き羅店鎮西南地區の敵に猛襲を加へ華々し、戦功を樹てたが鈴木第一大隊以下十二名戦死し浦部真一(晉譯)少佐、竹内(晉譯)主計少佐、紙谷哲三准尉外廿二名の戦傷者を出した

嘉定の敵重砲陣地爆破 上海(二) 我が空軍〇〇機は嘉定の陣地より頑強なる砲撃を行つたあつた敵重砲陣地を爆撃機は完全に敵陣地に命中砲二門は空中に吹飛ばされ敵重砲陣地は完全に沈黙するに至つた

上海情勢

邦人紡績被害状況

上海(二) 東部工業地帯に在る邦人紡績は八月十四日より向ふ約一週間に敵機の空襲と浦東及び市政府方面よりの砲撃に相當の被害を蒙り其後我が軍の進出により危険状態は著しく緩和されてゐた去る十八日夜の敵機の空襲により上海紡績は再び敵機に見舞はれ又も損害を被むるに至つた、日華紡吳淞工場を始め其の他紡績工場の今日までに判明せる被害状況左の如し

一 上海紡績第一工場 九月十八日夜の空襲により燒夷彈工場の一部に命中し機械の一部及び階上倉庫に充滿せる毛糸及び棉花を燒失損害莫大の見込み

同第二工場 八月十四日翻付工場に爆彈落下一部損傷九月十八日夜爆彈二個燒夷彈一個落下精紡機、粗紡機、梳毛機の一部破壊其他スプリングラー一切断により水害の被害甚大

同第三工場 八月十四日砲彈一個精紡機工場に命中一部破壊 同第四工場 九月五日砲彈一個精紡機工場に命中スプリングラーの切断により浸水水浸しとなる

二 華紡 吳淞攻撃戦に際し敵砲彈數發工場に命中更に敵の砲火により内部に保管中の探糸機、紡機、織機類の全部及び機關室、社宅全燒

同浦東及工場 八月廿日支那兵の放火に發電所及び取場の一部を除き損害巨額に上る模様、なほ倉庫に入庫中の製品は掠奪され南方面にて投賣りされてゐる模様

東廬紡 八月廿日前後原棉倉庫一棟全燒、此の外原棉倉庫及び用品倉庫に砲彈各一發命中

四 公大紡第一工場 八月十五日爆彈二個機機工場に落下し機機二百臺破壊、

スプリングラー切断による水害相當

同第二工場 八月十七、八日機機工場に砲彈四個、製紡工場に一個命中夫々三、四百臺の機機及び精紡機破壊、更にモーター室全燒

五 同興紡 八月十七日砲彈二個原棉倉庫に命中損害輕微 大公紡 八月十四日爆彈一個及び不發彈一個機機工場に命中機機數千臺破壊スプリングラー破壊により損傷

七 裕華紡第三工場 九月十八日燒夷彈製紡機工場に落下、機機の損傷輕微 同第五工場 八月九日砲彈四發機機工場及び倉庫に命中損害比較的輕微

航行遮断情况

交通遮断の任務に邁進 軍艦〇〇(二) 全支沿岸交通遮断は帝國海軍の精銳が水も洩さぬ監視網により遮断宣言以來日尚淺いに拘り着々實効を認め今や中支沿岸洋上に支那船舶の片影を認めず監視の中心は南支海上に移つた觀がある、遮断線は即ち北は海州灣より南は海南島及び北海まで延長實に千五百五十哩の海上で此の間炎熱尙灼くが如き熱帯海面が大平を占め海南の温度百卅度以上騰し時は既に南支航海の電風たる北東貿易風の吹捲る季節に入つたことでもあり暗夜海上に強風叫び激浪甲板を洗ふの有様であるが廿日〇〇提督は左の如く語つた

遮断の任務は非常に地味な機氣仕事だその効果はすぐ眼の前に現はれるものではない、然し根氣よくジワ／＼と締めて行けば早晚參ると思ふ、宣言以來約廿日間の遮断効果は相當大なるものがある、南京政府の虚偽の自國戰勝宣傳を諷信してゐた地方の支那民衆も鹽米等の重要物資の供給不足による物價騰貴で窮乏を告ぐるに至り漸く自國の敗戦の眞にして戦勝の偽なるを知り沿岸地方の人心は甚しく動搖日敵意の喪失傾向が徐々に現ははしめて來た、然し支那は廣く地方々々によつてその對日感情異なり南方に行くに従つて抗日戰意が激烈となつてゐる、南支の抗日戰意を挫く爲め一大痛撃を加へねばならぬ、現在支那は第三國船により外國から飛行機その他戰關用資材を購入せんとして躍氣となつて居るが、第三國旗を掲げてゐる船舶でも不審な點があれば之を訊して同船舶が敵性あるものと認められる場合、作戦上必要な場合には斷然之を抑止し或は抑留せねばならないわけである

國民政府

軍政機構改組 香港(二) 當地支那側入電によると國民政府は長期抗日陣容建直しのため軍政機構改組を決定した、右新陣容の人選左の如し

- △軍事 大元帥 蔣介石 總參謀長 程潛 副總參謀長 白崇禧 平漢軍區司令 蔣介石兼任 津浦軍區司令 李宗仁 華北軍司令 閻錫山 蘇浙軍區(江蘇浙江) 馮玉祥 粵閩軍區(廣東福建) 何應欽

△行政 戰時內閣 院長 蔣介石 第一部長 黃紹雄 第二部長 熊式輝 第三部長 張群 第四部長 翁文灝 第五部長 吳鼎昌

第六部長 陳公博

北支將領を更迭

【二】 廿日午後零時半陸軍省に到達せる情報によれば 一 南口附近の戦闘以來我が軍の猛襲を受けた支那軍の總指揮湯恩伯は蔣介石に招致せられ南京に赴くもの、如し 二 閻錫山はその部下李服膺が作戦を誤り日本軍のため慘敗し逐次要地を喪失しあるを憤慨し彼を第一線より後退せしめたが如し

西安に防空施設 〇〇(二) 我空軍の長驅洛陽空襲以來同地及び西安の支那軍並に共產軍は極度に恐怖し防空施設いよ／＼嚴重になり西安行營主任蔣鼎文は最近第廿八師長董釗を西安警備司令に任命し西安の警備に當らせると共に高射砲機關銃を整備し陸軍病院を擴張する等自國空軍を頼みとすることを得ず、専ら消極的防備に陥ることとなる

支那空軍の負荷 ニューヨーク(二) 日本軍飛行機の累次の空襲により南京の支那空軍主力は壊滅したものと信せられるが廿日南京からニューヨークに達した報道によれば支那政府當局は支那空軍の無力の原因を米國からの石油輸入困難に歸し左の如く見えすいた辭解をしてゐる 支那空軍は茲三週間に餘り活動してゐないが決して一般に戦闘力を失つた譯では無く首部の防衛をはじめ専ら防禦的目的の爲餘力を貯へてゐるに過ぎない、これ迄の經驗によれば首部の防衛には高射砲よりも小型快速迫撃機による方が効果があることが判明した、然し米國からの石油輸入が非常に困難となつたので支那空軍は燃料節約の餘儀無きに至つた、ソ支不可侵條約に付て

は現在の所ソヴェト聯邦が對支物質的援助を行つてゐる事實はないが日本軍の綏遠占據に先立ちソヴェト聯邦から支那に對し綏遠經由で飛行機を空中輸送することが考慮されてゐる模様だ

帝 國

參謀總長官殿下御妻上 閑院參謀總長官殿下には廿日午後一時四十七分宮中に御參内天皇陛下に拜謁御所管事項に關して御奏上同一時五十分御退出遊ばされた

南京爆撃通告の真意

長谷川第三艦隊司令長官は我が海軍の南京空襲に際し同居居住の第三國人及支那非戦闘員に對し危険を慮りばかり豫め避難するやう通告を發したが場所が首都であるだけに各方面の多大の注目を集めつゝあり一方支那側には大動搖を與へ就中國民政府は大混亂を起してゐる模様である我が海軍が斯かる通告を爲したる真意は最近南京市は中華民國の首都としてよりも支那全軍の作戰本部と化したる實情にあり市内の各方面に亘つて各種の軍事施設軍需品の貯蔵が行はれつゝあり、我が海軍の爆撃隊は今日まで第三國人の生命及公館住宅、工場その他の財産、支那人非戦闘員の生命財産に危険を及ぼさざるためこの危険なき部分の敵軍事施設に對してのみ爆撃しつゝあつたが支那側軍事施設の中には第三國人の工場、住宅、公館を櫛にする狡猾なる手段を執つてゐるものも尠くない軍事施設に對して徹底的爆撃を敢行する爲にはそれらに對しても爆撃を行はねばならぬ情勢に立至つたので國際公法に軍事施設爆撃に關し通告の義務無く且つ今日まで空襲の豫告を爲したること無きにも拘らず敢て第三國人の生命財産保護の見地より徹底的爆撃開始を前にして通告を爲したものである

戰死 傷

【廿日發表】〇〇方面の戰闘に於ける戰死傷者左の如し

▲山内部隊

▲戰死

▲戰傷

▲永津部隊

▲戰死

▲戰傷

▲長野(鶴)部隊

▲戰死

▲桑田部隊

▲戰死

▲赤柴部隊

▲戰死

▲重田部隊

▲戰死

▲沼田部隊

▲戰死

▲爆撃部隊

▲戰死

▲大場部隊

▲戰死

▲石田部隊

▲戰死

▲野田部隊

▲戰死

▲早瀬部隊

▲戰死

▲雷傷

▲大場部隊

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死

▲戰傷

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲廿日發表

▲野田部隊

▲戰死



人の眞意を承知したく」とあつたので政治問題に關與せぬペンクラブの建前ではあるが世界各國と文化協力を圖るベンの赤十字の立場から我が知識階級の認識を傳へるべく同クラブでは廿日午後評議員會を開き協議の結果理事清澤冽氏を代表員に選出派遣することに決定した、清澤氏は廿四日横浜出帆の秩父丸で米國經由ロンドンに赴く

### 海外動向

#### 英産業聯盟極東對策

ロンドン【廿二】英國産業聯盟は來る廿九日上海地方に重要權益を有する各商社代表會議を招集最近の極東の事變就中上海地方を中心とする日支兩軍の戰鬪に鑑み各自の權益延いて一般英國の權益保護に關し共同の方針を決定することとなつた、英國産業聯盟ではロンドン、マンチエスター、ブラッドフォードの各商會會議所に対しては招請狀を發したがマンチエスター並にブラッドフォード各商業會議所からは受諾の通告を寄せて來た、會議はロンドンの支那協會と共同主催の形式をとる

#### 齋藤大使米國務省訪問

ワシントン【廿二】ワシントン駐劄帝國大使齋藤博氏は國務省の需めにより廿日午後四時國務省を訪問したハル國務長官旅行不在のため國務次官補ワオルトン・ムーア、同ヒュー・ウィルソンの兩氏と廿分餘に亘り會談南京機撃問題其他一般情勢に付き意見の交換を遂げた

#### 米大使館避難國務省談

ワシントン【廿二】米國駐支大使館員が廿一日南京引揚に決したとの報道に關し米國々務省當局は廿日左の如く語つた  
大使館員の南京引揚に關してはジョンソン大使が充分の權限を有してゐる、

國務省には本問題に付いてはまだ何等情報が入つてゐない

#### 米國南京空襲に注目

ワシントン【廿二】日本軍が愈々南京の徹底的爆撃を決意長谷川第三艦隊司令長官の名を以て南京に留各國居留民の避難撤退を勸告したことについては各紙共大々的に報道し殊に南京駐劄米國大使ネルソン・ジョンソン氏が急遽大使館を撤收大使館員一同と共に砲艦カソン號に避難したとの報道を重視してゐる、但し國務省當局は右日本軍の勸告に別段驚いた模様はなく遅かれ早かれ當然招來すべき事態が起つた迄だと冷靜な態度を保持しおり國務次官補ワオルトン・ムーア氏も廿日ボストン旅行中のハル國務長官に代り新聞記者團との會見に於て左の如く語つた

ジョンソン大使今回の措置は豫め國務省の許可を得てゐたもので訓令の趣旨と完全に一致して行動してゐる譯だ、日本軍が避難勸告に次いで如何なる舉に出るかは頗る注視されてゐるが一般に日本軍の南京空襲は反つて戰鬪の終結促進に役立つだらうと見てゐる

#### 米國駐日陸軍武官増遣

ワシントン【廿二】米國政府は支那事變の擴大に鑑み駐日大使館附陸軍武官室を臨時擴大することに決しこれが爲めハリ・クレスウェル少佐は既にサンフランシスコ出張赴任の途に在ることに判明した、クレスウェル少佐は任期満了せる現陸軍武官ウィリアム・クレイン大佐の後任に決定してゐたものであるが赴任の上當分クレイン大佐を補任する豫定である

#### 米國六平和團體決議

ワシントン【廿二】支那に於ける事態の進展と共に米國內平和主義者の中立法發

動要望は愈々激しくなつてゐるがワールド・ピース・ユニオン他六平和團體は廿日合同大會を開催米國政府の聯盟協力に反對し且つ日本の經濟的困難軽減を強調する左の如き決議文を可決發表した

米國政府が國際聯盟に協力する場合必ずや日支紛争に捲込まれる危險が生じやう、この危險を回避する爲めには米國政府は日支双方に對し即時中立法を發動せねばならぬ、世界各國にして日支問題の永久的解決を望むならば先づ日本の經濟的困難を軽減する方策を講ずる必要があらう

#### ソウエト大使館防護壁建造

ワシントン【廿二】南京からワシントンに達した報道によれば長谷川第三艦隊司令長官の避難勸告に拘らず南京駐劄ソウエト大使館は飽く迄現地に留止する意向の模様で目下コンクリートで防護壁の建造を急いでゐると云はれる

#### 蔣介石諸外國に哀訴

ワシントン【廿二】廿日のバリ・ソアール紙は同紙南京特派員ルネ・ローラン氏の蔣介石特別會見談を掲げ注目を惹いてゐる、蔣介石は右會見に於て日本にアジア征服の野心ありと中傷し諸外國に國際聯盟の干渉を哀訴して左の如く述べた

今や我々に殘された唯一の途は國家存在防護の爲め國家總動員を斷行することあるのみ、日本は獨立國家たる支那を滅茶苦茶に破壊せんとしてゐる、北支たと上海たるを問はず刻下の戰鬪は何れも日本の支那領土侵略に因を發する、支那は日本が侵略政策を斷念し支那領土から軍隊を撤收する迄は如何なることがあつても戰鬪を中止しない決心だ、余は國際聯盟に信を置くものである、聯盟が規約に基きその義務を遂行し日本に對して有効なる制裁を

講せんことを衷心期待する、日本の野心が全支那の征服にあり全世界とは云はずとも少くもアジアの唯一の主たらんとするに在るは既に過去五年間の事態に徴するも明白である、今にして諸大國が日本の侵略政策阻止の手段を躊躇するに於ては各國は當に支那に於ける自國の商業上の權益を喪失するのみならず極東及び南洋に於ける領土に重大な脅威を受けるに至らう、余は遠見ある諸國政治家が必らずや現事態の包圍する危險性を理解することを確信し且つ彼等が速かに聯盟規約の機體内に於て可能な凡ゆる手段を竭すべきを期待するものである

#### 支那米國禁輸に不平

ニューヨーク【廿二】ワシントン駐劄支那大使王正廷氏は政府船武器輸送禁止に關するルーズヴェルト大統領宣言に對し米國々務省へ抗議したと傳へらるが南京發A.P.電報によれば南京政府外交部スポークスマンはルーズヴェルト大統領の宣言に不満の意を洩し次の如く語つた  
ルーズヴェルト大統領の宣言は中立的態度かも知れないが公平でないことは確かだ、今度の様な部分的禁輸よりいづそ余般的禁輸の方が一層公平だ、米國民間船は日本へ向ふ場合何等危險はないが支那へ向ふ場合は日本海軍の封鎖を通過せねばならぬ、ルーズヴェルト大統領の宣言には失望を禁じ得ない

#### 日本へ乾肉輸出

リオデジャネイロ【廿二】ポート・アレグレよりの報道に依ればリオ・グランデ州乾肉業組合は日本政府から申込みのあつた乾肉の大量計文に應ずる事となりフイオリ組合長は澤田日本大使と取引上その他の協議を行ふため飛行機でポート・アレグレを出發した

#### 陣中所感

##### 淺間部隊長

上海上陸以來奮戦に奮戦を累ね、敵が難攻不落と恃む獅子林砲臺、月浦鎮の堅壁を抜いた淺間部隊は、更に勇躍前進を續けてゐるが、淺間部隊長は中秋の夜陣中所懷を左の詩稿に託した

江岸を登りて正に廿有餘日  
北に南に今亦西に  
彈雨を浴びざる唯だ二日  
隨處既設の敵の陣  
各處のクリーク渡るに深く  
流石に多し敵の數  
既に見ゆる五節と半  
彈の不足に乏し糧  
不眠と不休の苦しみを  
胃して進み唯々しきよ  
生死を越ゆる神の業  
惡戰苦闘は常ながら  
天佑常に我にあり  
逐次に葬むる敵の軍  
必勝の〇〇仰きつゝ  
將士の士氣いや揚る  
明日又拔かぬ敵の陣  
嗚呼愈しのその業よ  
想ふにつれて思ふなり  
されども更に振ひ立ち  
友の讐をば討たんなか  
群敵摧かん國の爲め  
陣下の赤子を失ふ  
御軫念の程を思ふだに  
恐懼の極みなり  
安らひ奉るは唯だ勝利をもつてのみ  
英靈を慰むるも亦同じく  
一層奮起せざるべけんや

外紙論調

英國

皇軍の作戦に感歎

ロンドン【六】 北支那及び上海に於ける皇軍の神速果敢なる行動は日々英國新聞紙上に特大見出しで報道され一般の注意を惹いてゐるがその卓越せる戦術と壓倒的連勝に對しては英國の軍事専門家運も新聞も一様に驚異と嘆賞の聲を擧げてゐる。北支那の戦況を最初から仔細に観察してゐる軍事専門家は十九日同盟記者に對し次の如く語つた

過去六週間に亘る戦績を顧る時日本軍の卓越せる戦略は唯々感歎の外はない勿論日本軍は大砲、飛行機、近代兵器其他裝備の點で驚くべき進歩を遂げて居り斷然支那軍を壓して居るがそれよりも日本軍が秩序整然一進又一進と前後相連絡して進撃して行く全軍の指揮策劃は全く見事なものだ  
更に十八日北平發ロイテル電報も日本軍の涿州包圍戰には外國軍事専門家も舌を卷いて居ると報し十九日の英國新聞紙上に大きく掲載されてゐる

米 國

トリビュン社説

ニューヨーク【六】 ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙は十二日の紙上に「支那の紅軍」と題する社説を掲げ左の如く論じてゐる

近來支那に於ける紅軍の動靜が注目され出したが州萬の紅軍が日本軍との抗爭に従事してゐること疑も無い、過去二年間紅軍は統一支那及び武力抗日の

宣傳に努力し蔣介石が抗日の條件さへ容れるなら紅軍も大讓歩を爲し反共黨派とも協力することを廣告して來た今春此の條件が密かに容れられて勢麗紅軍は抗日先鋒軍となり甘肅陝西兩省の共產區域を特別行政地域と改稱し且つ西安を占據し紅軍首腦部の中の一入は蔣介石の幕僚となつて南京に入り込んでゐる、此の紅軍が日本軍に對してどれだけの働きをするかは未だ不明であるが彼等が一九三四年以來南支から甘肅に移動し多くの剿匪軍と戦つて成功したゲリラ戰術は日本人も感心したほどだからその力は無視し得ないであらう

U P 報道  
ニューヨーク【六】 最近支那の對日抗戰に於ける共產黨進分子の活躍は注目されて居るが南京十七日發 U P 電報は中國共產黨副書記長秦邦憲は對日抗戰の困難さを認識し次の如く語つたと報してゐる  
支那が日本の實力を低く評價すること是最も危険だ、支那が半年乃至一年間抵抗を持續すれば日本は經濟的破綻を來すなどといふ者も有るが斯かる期待は寧ろ突止だ、日本を打倒する爲には更に長期に亘つて日本の勢力を消耗させる事が絶対に必要である

サン紙觀測  
ニューヨーク【六】 ボルチモア・サン紙は十六日の紙上に「隨機應變」と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる  
ルーズヴェルト大統領の政府所有船舶に對する對極東軍需輸送の禁止と民間船舶に對する警告とは國務百の隨機應變策の顯れである、日本の支那沿岸遮斷の法律的性質に關しては色々説も有るが兎に角米國政府は其の所有船舶が沈められたり捕獲されたりして極東の紛争に捲込まれる原因を作る事が厭なのである、中立法を適用しないのは日本の宣戰せられざる戰爭を正式に認めない氣なのであり將來に於ける行動の自由を保持しやうといふのだ、斯かる妥協的政策が成功するか否かは今の所疑問だが輿論の動向から見ると將來米國政府は極東に關する限り益々孤立政策に傾く様で結 輿論の壓力で中立法が適用されるかも知れない

ニューヨーク【六】 ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙は十九日の紙上に「支那軍の抵抗」と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる  
本紙上海特派員ウィクター・キーン氏の報道を見てみると支那軍の抵抗が相當頑強なのはその幹部の智恵によるものでなく兵卒の士氣に依るものらしい又中立の立場にある軍事觀察者の所見では上海で衝突が起つたのは蔣介石の計畫でも又日本軍部の計畫でも無く南京の過激な一派が當時上海に六、七千人しか居らぬ日本の海軍陸戰隊を陸軍が來る前に上海から追拂へたら支那は精神的に優勢となり且つ世界に支那の立場を廣告するに良いと思つて起したのだといふ、上海の衝突は支那軍隊の世界に對する廣告にはなつたが軍事行動としては支那の失敗だつた、失敗の原因に就いてはキーン氏の通信では一八四二年以來の對外戰爭の失敗原因と同じで戰線背後の組織脆弱なこと、兵及び軍需品補給計畫が未完成、機械原取扱ひの不足、醫療設備の不完備、

二紙武器禁輸を支持  
ニューヨーク【六】 ニューヨーク・タイムズ紙は十六日の紙上に「軍需品輸送禁止」に關する社説を掲げて次の如く論じてゐる  
ルーズヴェルト大統領が政府所有船舶による極東向軍需品の輸送を禁止し民間船舶による輸送は自己の危険であると警告したのは中立法採用の重大責任を避けつゝ且つ米國が捲込まれる危険を減少せしめたものである、政府のこの舉を中途半端と攻撃するのは見當違ひで中途半端なのは轉運の利かぬ中立法そのものである  
又ジャーナル・オブ・コマース紙は同問題につき社説に於て次の如く論じてゐる  
米國の政策は支那の領土主權保持を援助する希望と米國がこの紛争に捲込まれない決心との二つに依つて動かされてゐる、このうちどちらが重大かといへば後者が決定的なのだ、支那向け飛行機を積んだ船が米國領土を離れんとするとき大統領が政府所有船舶に

支那斷斷提訴に關する事項は「國際聯盟」の項參照

日本精神讚美の詩  
ナチス黨部部長ミューラー君は今大變に活躍する皇軍の意氣に感奮し日本精神を讚美する左の詩を寄せて來た  
(一) あゝ、日本よ、げになれは 燃ゆる爆彈につけ 進む魚雷に身を埋め 前敵目がけて轟進す  
(二) あゝ、日本よ、げになれは 靈思無雙のさぶらひよ 烈たる炬火の熱と意氣 勝利の榮光なれにあり  
(三) あゝ、日本の青年に 問ふことなれ何日迄と すべてを問はずさぶらひは 世界も感謝を捧ぐべし  
(四) あゝ、日本よ、げにわれも 大君仰ぎ戦ひを 共にせんとぞ願ふかな 新興ドイツの男の子らは  
(五) あゝ、日本よ、プロシヤよ 大和武夫とドイツ騎士 今ぞ誓ひぬ西東 勝利の榮冠我等にぞ

樞密院

外交、財政の経過聴取

【六・五】 政府の樞密院に對する支那事變を中心とする外交、財政に關する報告は十五日午前十時半より官中控室に於いて行はれたが先づ廣田外相より今次支那事變勃發に至つた経過につき詳しく演説に遡り兩國の外交關係につき詳細に説明し更に支那事變と英、米、佛、伊、蘇各國の態度を詳述し駐支大使ヒューゲッセン氏負傷事件とこれに對する同國政府の通牒並に外務省が第一次回答を發するに至つた経過等につき約二時間に亘つて説明し各顧問官の質問に答へ次いで賀屋藏相から支那事變擴大に伴ひ去る七十二議會に於いて更に廿億、千餘萬圓の戦費につき協賛を得るに至つた経過及び支那事變と財政上の關係を述べ

廿億、千餘萬圓の戦費は一見相當巨額のやうに感ぜられるが現在の我國力より見るならば別段大したものではない、時局が現状の如くなつた以上は物資、勞力の資源に最大の力を集中すべきである

とて非常經濟立法を制定したる理由を説明して諒解を求めこれに對し各顧問官より政府の態度を支持種々難解の質問があり午後一時廿分終了した

一般政治

閣議(情勢報告)

【六・四】 十四日の定例閣議は午前十時四十分より首相官邸に開會杉山陸相、米内海相より北支並に上海方面における戦況について報告したる後廣田外相よりも海

外一般情勢を報告し同十一時四十分散會した

資源局擴大

【六・四】 内閣資源局は臨時議會において同局擴張に關する十一萬圓餘の豫算が通過したので右擴張に關する官制改正案を立案中であり右は同局内の企画部を三部に分割し總務局と合して四部制となし資源の徹底的調査に萬端漏なきを期せんとするものである

事務次官會議

【六・五】 定例事務次官會議は十六日午後一時首相官邸に於て開かれ出征軍人軍屬及在支警察官並にその遺族等慰問のため官吏の離金は去る八月の決定を倍額して高等官は月額の百分の二、任官は百分の一とし尙有志は更に之に加へることを決定し更に已むを得ざる者の外當分の間官吏の歐米出張を見合せること並にステール・フアイバーの使用を積極的に奨励することを決定し同四時散會した

閣議(ローマ字統一)

【六・七】 十七日の定例閣議は午前十時十分より首相官邸に開會先づ官廳に於けるローマ字統一に關する内閣訓令案を決定し次で廿五、六日頃大阪中島公會堂で開かれる國民精神總動員大會に政府を代表して吉野商相が出席することに決定尙都合がつき次第その他の閣僚も出席することとし更に米内海相より中南支方面の情況について報告あり同十四時十分散會した

日本語ローマ字使用決定

【六・七】 我が國に於けるローマ字統一の必要は先年來官民の間に唱へられて來たが昭和五年臨時ローマ字調査會に於ては日本語ローマ字を主とした答申案を作成した、その後關係各省に於て協議の結果

これを採用する方針に内定してゐたが十七日の閣議に於て官廳の文書に掲載するローマ字は前記の答申に基きこれを統一することに正式決定しこれに關する内閣訓令を近く各官廳に對し發することになつた

三閣僚内閣補強協議

【六・七】 廣田外相、杉山陸相、米内海相三閣僚は十七日の閣議散會後官邸に居残り近衛首相と會見支那事變を中心に各方面の情勢を語り更に戰時體制下に於ける内閣の補強工作等について意見の交換を行つた

首相奏上

【六・八】 近衛首相は十八日午前十時半官中に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ支那事變情況並に一般政務に關して委曲奏上種々御下問に奉答の後退下した

國民精神總動員運動

國民精神總動員實施要綱

【六・三】 政府は十三日午前支那事變に處する國民精神總動員計畫の實施要綱を發表したがその内容は左の如くである

一 趣旨

▲國民精神總動員實施要綱

一 國民精神總動員實施要綱

固め之が爲に必要な國民の實踐の徹底を期するものとす

▲國民精神總動員實踐事項

實踐事項は右の目標に基き日本精神の發揚による舉國一致の體現並に非常時財政經濟に對する舉國的協力の實行を主として之を定め事態の推移並に地方の實情を考慮して適當に按排するものとす

四 實施機關

(一)本運動は情報委員會、内務省及文部省を運動主務廳とし各省總掛りにて之が實施に當ること

(二)本運動の趣旨達成を圖る爲中央に有力なる外廓團體の結成を圖ること

(三)道府縣に於ては地方長官を中心とし官民合同の地方實行委員會を組織すること

(四)市町村に於ては市町村長中心となり各種團體等を綜合的に總動員し更に部落町内又は職場を單位としてその實行に當ること

五 實施方法

(一)内閣及各省は夫々其の所管の事務及施設に關聯して實行すること

(二)廣く内閣及各省關係團體に對し夫々其の事業に關聯して適當なる協力を求めること

(三)道府縣に於ては地方實行委員會と協力して具體的實施計畫を樹立し實行すること

(四)市町村に於ては綜合的に且部落又

は町内毎に實施計畫を樹立して其の實行に努め各家庭に至る迄滲透する機務をもち

(五)諸會社、銀行、工場、商店等に於ては夫々實施計畫を樹立し且實行する機務を求めむること

(六)各種言論機關に對しては其の協力を求めること

(七)ラヂオの利用を圖ること

(八)文藝、音楽、演藝、映畫等關係者の協力を求めること

▲運動目標

日本精神の發揚

社會風潮の一刷新

堅忍持久の精神の涵養、困苦缺乏に堪ふる心身の鍛練、小我を捨て、大我に就く精神の體現、各人の職分恪守、

(實施細目)

不動の精神の鍛練、必勝の信念の堅持、對敵心構への訓練(例へば、流言に違はぬこと、國家機密を守ること、防空訓練)、勤儉力行、生活の刷新、享樂の節制

▲運動目標

銃後の後援の強化持續

出動將兵への感謝及銃後後援の普及徹底、隣保相扶の發揚、勤勞奉仕

(實施細目)

派遣軍人家族慰問、家業補助、殉國者慰靈、家族慰問、家族補助、銃後後援獻金

▲運動目標

非常時經濟政策への協力

勤勞報國、勞資協力、利益懸隔の抑制と暴利抑制、國債應募勸奨、冗費節約

貯蓄奨励、國際收支の改善、金の使用節約

(實施細目)

奉仕事業の促進、共同勞作に依る生産力の維持

▲運動目標

資源の愛護

資源の愛護

國産品使用、輸入品使用制限、國産代用品の使用、消費の抑制、代用品の使用、農産品の蒐集提供、發明創造、資源の蓄積

國防資源の蓄積

▲國民精神總動員に関する

地方實行委員要綱  
地方實行委員會設置の目的並に其の設置に關する方針

地方に於ける本運動は地方長官に於て自ら其の中心となりて之が實施に當るべきこと勿論なるも實踐上の便宜と其の効果の徹底を期せむが爲官民合同の實行委員會を組織せしめ地方廳と協力して本運動の實踐に當らしめむとす

地方實行委員會の組織に關する方針  
一 本委員會は地方長官を會長とし地方に於ける官公衛の職員、市町村長貴族兩議員、道府縣會議員、各種團體代表者、通信報道機關代表者、教育家、宗教家、社會事業家、實業家其の他民間の有力者を網羅して之を組織せしめ地方長官に於て之を委嘱し又は任命するものとす

委員の数は五十人程度を目途とし地方の事情に依り多少之を増減するも妨げなきこと

地方實行委員會の事業  
本委員會は地方長官指導の下に實踐事項の普及徹底を圖るを以て其の目的とし之が爲地方長官の諮問に應じて當該道府縣に適切なる具體的實施計畫の樹立に關し簽申を爲し又は本運動の實施に關し地方長官に對し意見を述べ若は適切なる事項を選んじ自ら實施に當るものとす、又本委員會は中央に本部を有する地方系統團體が中央の指揮に基き本運動の實踐を爲さむとする場合常に本委員會と密接なる聯絡を保持せしめ本運動の統制を圖るものとす

國民精神中央聯盟結成  
【九二七】支那事變勃發以來國民精神總動員運動は全國的に展開されつゝあるが政府は十七日の閣議散會後近衛首相、馬場

内相、安井文相協同の結果茲に内閣の外廓團體として強力なる國民精神振興中央聯盟(假稱)を結成することに方針を決定今次事變に對應して學國一致の戰時體制を更に強化すべく内務、文部兩省が主となつて來週中に發起委員會を開き中央聯盟結成の具體案を作成することになつた即ち中央聯盟の構成、目的等は左の如くである

中央聯盟はあくまで自治的團體とし一 支那事變に處する爲め國民精神總動員の實を擧ぐることを目的として講演會の開催、パンフレット、リーフレット等の配布をなすこと

一 構成は政府を初めとして全産聯、全階聯、産業組合、愛國婦人會、國防婦人會、帝國在郷軍人會、大日本聯合青年團、各政黨、中央教化聯盟其他各般の團體を網羅し會長の下に理事數名を置くこと

一 政府は中央聯盟を積極的に援助する爲め補助金を交付すること

一 中央聯盟の存続期間は事變と終始すること

東京地方實行委員會結成  
【九二八】東京府並に市では政府の國民精神總動員運動を府市民に徹底するため十五日府市をはじめ關係各種團體の外労働組合も加盟せる東京地方實行委員會を結成することに決定した、而して委員會は市長を委員長として本月中に結成し

社會風潮の一新  
一 社會風潮の一新  
一 非常時經濟協力  
一 資源愛護

精神總動員に協力要望  
【九二九】馬場内相は廿日午前十一時半内

相官邸に小泉、大隈(以上民政)松野、安藤(以上政友)藤生(社大)清瀨(國同)三浦(東方)の諸氏を招待、政府側より馬場内相、安井文相、風見書記官長、横溝情報委員會幹事長、伊藤、内ヶ崎内務次官、池崎文部參與官、勝田、廣瀬内務次官、木村内務參與官、大村社會局長、安倍醫保局長以下内務省關係各局課長出席し午餐を共にしつゝ國民精神總動員運動に就て政府の運動實施方針を説明し各派の協力を求め種々懇談した

國民精神總動員第一聲  
【九三〇】國民精神總動員運動の國民への呼掛け第一聲たる政府主催國民精神總動員大演說會は十一日午後七時十分より日比谷公會堂に於て開催、勢隨陸軍戸山學校軍樂隊、海軍々樂隊合同の演奏あつて後演說會に移り風見書記官長開會を宣し全員起立君が代の齊唱あつて國務大臣の演說に入り次の如く「時局と國民の覺悟」に就いて近衛首相の演說あり續いて馬場内相、安井文相の「國民精神總動員に就て」の演說あり全員、天皇陛下の萬歳を三唱し奉り午後八時卅分盛會裡に散會した、尙この演說會はラヂオに依り全國に中継された

近衛首相演說要旨  
▲本日國民精神總動員運動の開始に當り私の所信を披瀝して諸君と共にこの歴史的なる國民運動の前衛たらんことを期するものである、われわれの不擲大方針が支那政府の無誠意によりて顧みられず北支事變が遂に支那事變となり支那の排日分子に對して全面的且つ積極的なる應答を必要とするに至つたことは諸君已に御承知の通りである

▲云ふまでもなく吾々の眞意は東洋文化を共通する日清支三國の提携を以て東

洋安定の樞軸として之を通じて世界平和の確立に自主的に參與すると言ふ所にあることは今も昔も變りはない、東洋の平和あつて初めて東洋國家の眞の幸福があるのである、同じく東洋の二大隣國として日支提携と言ふ基礎の上に立つてあらざれば支那の國家建設は不可能であつて從つて排日を前提とするが如き支那の國家主義は斷じて支那の國家を幸福ならしむるものではないと信ずる

▲然るに支那政府の抗日的訓練はその由て來るところ遠く且つ深きものがあり十五年間抗日教育の下に成長したる支那の若き青年は自ら進んで墓穴を掘りつゝあり國民黨の排日教育に毒せられぬ素朴なる父老兄弟はこの日支相搏つの矛盾に挟まれて今や身を措くに所なき有様なのである、事變に到つては單り日本の安全からのみに止らず廣く正義人道、東洋百年の大計の爲めにこれに一大鐵槌を加へ抗日勢力の根源を破壊してその戰意を喪失せしめ東洋平和の恒久的組織を確立するにあらざれば吾々の子孫が更に大なる困難の下にいづれば日にか解決を必要とするのである

▲茲に於て吾々に課せられたる時代的使命を遂行し發展的日本の爲に一世紀元命を作ることは決して困難ではないと信じ私は尠くとも二つの方面から斯く信じて疑はぬ理由を持つて居る、その一つは吾が日本の歴史は極めて古いが國家の生活力は青年のやうに旺盛であると云ふこと、第二の點は獨り日本の主義的立場からばかりでなく世界歴史の全體から見て日本は全世界に於ける進歩的國家としての主要なる役割を働いてゐるといふ確信である、かくの如き確信の下にわれわれ全國國民が已れを空

しうして國家の最高目的の前に打つて一九となり階層が協力一致して義勇奉公の誠を盡すといふことは我が日本本來の姿で現に第七十二議會に於て尅大なる豫算が兩院とも全一致を以て一瞬の間に協賛されました一事を以てしても歴然たる事實である

▲斯の如きは日本以外の國家に於ては容易に理解し難きところであつて此の協力の依て來るところ途にわが日本國體の靈數無比なる歴史的(先天的)組織に淵源することを思ふとき私は日本臣民たることと思ふ今更の如く痛切に自覺せざるを得ないのである「國家は一つ文化的使命を有するところの協同目的體であり國民は己れの利益を追及する唯物的存在に非ずして民族國家の組織を通じて人類に寄與せんとするところの精神的存在である」斯の如きは西歐の唯物的文化に慥きたらざる人等との間に澎湃として最近湧き起てゐるところの新しい要求である、然るにこの要求は萬世一系の皇室を中心とするわが日本の國家組織に於ては先天的に具理せられて居り吾々が國家に對する自覺の深まるるところそに國家總動員は強制を俟たずして自ら成るのである

▲御承知の如く、天皇陛下に於かせられましては北支事變の發生するや直ちに葉山より還幸遊ばされ日夜軍國のことに御精勵遊ばされて居られることは私は拜誦を賜はるべくことに御精勵の御模樣を拜し恐懼感激に堪へざる次第で本月四日開院式の勅語に於て宣はせられた大御心に副ひ奉るべくわが軍隊は戰場にありて赫々たる忠勇を致し同胞は統後の經營に全力を盡くすことが我々一般國民の義務であると信ずる、東洋の道徳を經てし西洋の文明を繼とし兩者を綜合調和して新しき世界に貢獻す

ることは實に我國に課せられたる重大使命で大なる將來を持つ日本國家の行動は既に初つてゐるのである、希くは官民一致國家の目的を以て我々個人の目的としこの大業の遂行に協力せられんことを希望して已まない

▲馬場内相演說要旨

△由來我が帝國が東洋の平和の確立を以て一貫せる國意として居るにも拘らず支那は我が國の眞意を理解せずして抗日侮日を以て國策とし更に近時は赤化勢力を容れて其の暴戾許すべからざるものがある、事此處に到つては彼に徹底的打撃を加へて之を膺懲し其の反省を求め以て東洋平和の爲に基礎を固めねばならぬ

△本運動は單に教化宣傳ではなくして國民が實踐に依り日常生活の間に之を實行して本運動の目的達成に参加することを主眼とする、其の實踐事項として統後の後援の強化持續、非常時經濟政策への協力、資源の愛護等を擧げることが出来る、私共は

明治天皇の御製

國を思ふ道に二つはなかりけり 軍の場になつともたぬも  
の御心を奉體して國民精神總動員に向つて邁進せねばならぬ、國を愛するの心は力であり光であり又命である

▲安井文相演說要旨

△我國は古來幾度か難局に遭遇したのであるが決してこれに屈することなく其の都度國民の一致協力してこれに當り上御一人の御稜威の下に盡忠竭國の誠を竭して今日の隆昌を來したるのである、我々はこの祖先の遺業を顧み我が帝國の大使命たる東亞の平和を確保するの大理想の具現を期すべきである、△凡そ難局に處して克く之を打開し得るものは實に國民の一致團結の強き精神

力を措いて他にないのである、我々國民には忠勇なる祖先の血が流れその心には傳統の精神が宿つて居る偉大なる罪蹟を歴史に印せる我等の祖先に依つて我々は育まれて來たのである、今日の時局に直面した我々は先づ第一に尊嚴なる我が國體に基く忠君愛國、盡忠報國の傳統精神を振起してこれを國民生活の日常に具現せしめ國民の理實生活に浸透せしめて以て國民生活の根幹を培ふべきである

△次に國民精神の昂揚に依つて國民志氣に社會の風潮を一新して實質剛健進取の風を醸成し一段と國民生活を眞摯ならしめ布くも輕佻浮薄萎靡頹喪の風あらしめてはならぬ、時艱克服の爲には武力は固よりであるがそれを共に精神力經濟力等國力の最高限度の發揮を必要とするのである、それ故に吾々は職業の如何を問はず各自持場々々に依り職分に應じ職業を通して奉公の誠を致し相扶け相補ひ一致協力奉公の實を擧げ總動員の實を十分に示さなければならぬ、これやがて臣節を盡し國運の伸張に寄與する所以である

各地で總動員演說會開催

【九一〇】支那事變に當り國民精神總動員運動に積極的に乗出した政府は九月二十六日大阪中之島公會堂に於て關西における國民精神總動員大演說會を開催吉野商相、永井遞相、船田外務參與その他が出席するに決した、政府は右運動を更に全国的にまき起す方針で名古屋、廣島、福岡、金澤、仙臺、札幌の各地で國民精神總動員演說會を開催出来るだけ各關係が都合して演說會に出席することとしこれが準備その他は各省政務官連絡委員が當ることとなつた

物價委員會

第二小委員會

【九一〇】臨時物價第二(石炭、動力、運賃)小委員會は十四日午後三時十五分首相官邸で開會井坂委員長より石炭に關する答申案を提出物と不定期船貨物との運費の變動に及ぼす影響並に船腹の需給關係等について審議をなし更に遞信省小野警備局長より海運業に關する説明を聴取して同五時散會した

第三小委員會

【九一〇】物價對策第三(消費)小委員會は廿日午後二時より首相官邸に開會消費方面の物價對策答申案の大綱につき協議し同五時散會した

法令公布

- △十一日
  - 一 農林部内臨時職員設置制中改正の件(漁業經營費低減施設に關する事務のため事務官技師等増員)
  - 一 地方官官制中改正の件(各府縣に買物組合監督官等設置)
- △十三日
  - 一 支那事變のため從軍せる軍人及軍屬に對する租税の減免、徴收猶豫等に關する法律
  - 一 文部省直轄諸學校官制中改正の件
  - 一 文部省直轄諸學校職員定員令中改正の件
- △十五日
  - 一 高等官官等停給令中改正の件
  - 一 奏任文官特別任用令中改正の件
  - 一 關東輸出農産物検査所官制
- △十五日
  - 一 造船局官制中改正の件

一 南洋總部内臨時職員設置制中改正の件

一 大正九年勅令第三百六十七號聘用せられたる官吏及官吏待遇等に關する件改正の件

一 昭和十二年度露出豫算中第一豫備金及清洲事件第一豫備金を以て補充すべき費途の件

一 關東州實業組合令

△十六日

一 臨時資金調整委員會官制

一 産業組合中央金庫特別融通損失審査會官制

△十七日

一 帝國燃料興業株式會社法施行期日の件(九月十八日)

一 昭和十二年法律第八十九號臨時馬の移動制限に關する法律施行期日の件(九月十八日)

△十八日

一 昭和八年勅令第百十七號臨時文部省に教育調査部を設置するの件改正の件

一 地方土木職員制中改正の件

一 恩給法施行令中改正の件

一 昭和十二年法律第八十八號を朝鮮臺灣及樺太に施行するの件



英大使信任狀捧呈

【九一〇】新任駐日英國大使サー・ロバート・クレイグ氏は十一日午前十時舟分山縣支部官の迎引をうけ宮中差廻しの儀裝馬車にて近衛騎兵儀仗のもとに宮中に參内鳳凰閣に於いて天皇陛下に拜謁仰付けられ信任狀並に前任大使の信任狀を捧呈した、大使は更に夫人同伴御間に參進皇后陛下に謁見仰付られ着任の御挨拶

を言上敬意を表し奉つた

在支米人引揚げの援助懇請

【九一〇】駐日米國大使グロウ氏は十二日付公文書を以て

海州在留米人居留民に對し九月十九日、廿七日の兩回に亘つて引揚げを命じたるを以てその際驅逐艦を派遣せしむるが日本側に於ても協力と援助を希望する

旨を申出たので外務當局に於ては適宜の措置を講ずるやう出先官意に訓令した

ソ聯駐支書記官歸任

【九一〇】歸任の途にある駐支ソヴェト大使館二等書記官サラトフツフ氏は十三日さいべりや丸で教員濱、神戸上海經由南京に向つた

日伊防共協定説否定

【九一〇】最近傳へられてゐる日伊防共協定締結に關して外務省では十三日左の如く當局談を公表した

日伊防共協定締結説が唱へられてゐるが右は事實に反するものである、日伊兩國は凡ての方面に良好なる關係を持續してゐるのであるが特に共產主義防衛の立場に於て兩國が共通の利害關係を有することは本年五月イタリア議會に於てチアノ外相の闡明せる通りであつて日本政府に於ても全く同一の見解を有してゐるのである、併しながら防共協定締結に關する談合が行はれてゐないことはイタリア政府が屢に否定せる通りである、右は近頃締結さるべき通商協定に關して誤り傳へられてゐるものでないかと思惟される

ソ聯日本領事館を閉鎖

モスクワ【九一〇】ソヴェト政府は豫て日本政府に對しオデッサ及びノヴォシビルスクの日本領事館閉鎖を要求してゐたが

日本政府が右要求を拒絶した爲め九月十五日を以て一方的に當該領事館に對する承認を取消すに決定十三日タヌ通信社を通じて次の通り發表した

ソヴェト政府は一九三七年五月十一日日本政府へ通牒を送りオデッサ及びノヴォシビルスクには領事館の保護を必要とする日本人も日本の權益も存在せず従つて日本領事館が存在すべき正當なる理由なく一方一九二六年兩國間に交換された證書は領事館同數保有の原則を規定し居るに鑑み日本政府に對し右二領事館の閉鎖方を要求した、然るに日本政府はソヴェト政府の申出でに異議を唱へ將來前記兩地に於て日本臣民が居住し日本の權益が存在し且つオデッサに日本の船舶が寄港する可能性あることを主張事實上ソヴェト政府の合法的提議を完全に拒否した、ソヴェト政府は以上日本政府の態度に鑑み日本政府に對し九月十五日を以てオデッサ及びノヴォシビルスクの日本領事館が同地に於て其の職務を遂行する權利を非認するに決定せざるを得なかつた旨通告した

▲外務省見解發表 【九二〇】 在ソ聯帝國領事館二箇所閉鎖問題に關し外務省は十四日午後左の如く發表した

日ソ兩國の領事館は大正十四年莫斯科に於ける交渉の際ソ側より或は三箇所或は五箇所を主張したるに對し交渉の結果同年七月卅一日及八月四日の口上書交換による取極を爲したが之に依り双方九箇所を最大限とし夫れ迄は開設し得ることとなり日ソ兩國共に八箇所の領事館を設置した、然るにソ政府は其後長崎に在る領事館を閉鎖し更に本年六月より東京の總領事館を廢止することとなつた爲め本邦に在るソヴェト

領事館は六箇所となり彼我領事館數が不均等になつたと言ふ理由で去る五月中旬以來ソ側はオデッサ及びノヴォシビルスクの帝國領事館の閉鎖を求めて來た、之に對しソ側は一九二六年(大正十五年)の口上書交換により彼我領事館が同數であるべきだと主張して居るが如前述べた大正十四年の取極により双方九箇所以上の領事館を設置しないこととなつたのであるに拘らずソ政府が任意に其領事館を閉鎖しても我方が之に應じて同數だけ閉鎖しなければならぬ理由は全然ないのである、又ソ側はオデッサ及びノヴォシビルスク兩地には帝國在留國民なく又オデッサには寄航する船舶もないと言ふけれども我方としては將來通商航海の發展を希望するものであるが我方より此等論議の餘地ない明瞭な理由を擧げ再三ソ側の反省を促したがソ政府側は遂に九月十五日以後一方的に在オデッサ及びノヴォシビルスク兩領事館の職務執行を認めない旨我方へ通告して來た、其結果右二地に於ける領事館の職務執行は事實上不能となり遂に一時引揚の已むなき事情に立到つたのである、然し帝國政府は其主張は之を完全に留保するものである

同崎廈門總領事上海へ 【九二二】 駐米大使館二等書記官より廈門總領事に轉じた岡崎勝男氏は赴任の途次那事變に遭ひ歸國中であつたが十三日東京發十五日長崎出帆の便船で上海に向つた

英大使就任挨拶

【九二三】 英國大使クレギー氏は十五日午後六時外務省に廣出外相を訪問正式に大使就任の挨拶を述べ會談十五分にして

辭去した

英大使南京空爆質問

【九二四】 駐日英國大使クレギー氏は廿日午後二時半外務省に堀内次官を訪問長谷川第三艦隊司令長官の南京空爆に關する第三國官憲居留兵の選擧勸告に關し帝國政府の方針を質したがこれに對し堀内次官は

帝國政府としては司令長官聲明にも明記された如く南京及びその附近における軍隊、軍事施設及び軍略機關に徹底的打撃を與へて支那軍の作戦行動を出来るだけ速かに挫折せしめんとする以外に全然他意はない

日波公使館昇格打合

【九二五】 駐日ポーランド公使ロメル氏は廿日午後三時外務省に廣出外相を訪問來る十月一日より實現する日波兩國公使館の大使館昇格問題につき約三十分互り種々打合せを遂げた、尚初代駐日ポーランド大使は現ロメル公使に内定してゐるが初代駐波帝國大使は未定で伊藤運史公使が目下賜暇歸朝中のため取敢えず木村厚一書記官が代理大使に任命される筈

朝風丸事件

日ソ兩國の關係 【九二六】 去る五日朝鮮總督府警備船朝風丸が豆滿江沖合に於てソヴェト警備船の爲拿捕された事件に關してモスクワの帝國大使館は直ちにソヴェト外務人民委員部に嚴重抗議をなし其の釋放を要求折衝を重ねてゐたがソヴェト外務人民委員部は遂に我が方の要求を容れ十四日帝國大使館に對し同船を釋放する旨通

告し來つた

朝風丸歸る

【九二七】 去る五日ボセツト港外でソ聯監視艇二隻に拿捕された朝鮮總督府監視船朝風丸は十七日夜釋放され清十三日目の十八日午後二時半清津港に入港した、船長及高級船員等が清津水上署に招致され不在のため船員の語ることを聞くこと五日午後一時四十分ボセツト港外でソ聯監視艇二隻が筆の如く本船に近づくと見るや停船命令を發し數名のゲ・ベ・ウが乗込み來り船長並に取解を船員入室に監禁した、食糧は本船に積込入づゝ呼出された、食糧は本船に積込入つて來た、釋放されたのは十七日夜半で途中まで目隠しされてゐた

齋藤書記官調査

【九二八】 去る五日ソ聯官憲に不法拿捕された總督府漁業保護隊船朝風丸を初め舟餘隻に上る我が漁船の釋放方については外務省を通じて交渉中なるもソ聯側は全く誠意無き態度を示してゐるので外務省では歐亞局齋藤書記官を派遣同書記官は十五日總督府に於て外務部、植産、警務兩局其他關係方面と協議を遂行現地の状況を聽取ると共に我が方の對策につき打合せを行ふこととなつた

沿海州方面に於けるソ聯官憲の邦船不法拿捕事件に關し外務省より派遣された齋藤書記官は滿州丸にて十九日午後雄基着朝風丸が拿捕された位置について現地調査を遂行廿日午前八時半雄基に引返したが同書記官は左の如く語つた

我朝風丸が監視船であるにも拘らずこれを不法にも拿捕し然もスパイ云々の罪名を附したことは實に來れる、かりそめにも監視船を拿捕すると云ふことは日本帝國の威信にも關する問題である、近く朝風丸その他關係者より詳細なる報告があると思ふがそれと自分の調査と相俟つてソ聯に嚴重警告を發することにならう、ソ聯が朝風丸拿捕事件に關して發表した所に依ると領海侵犯と言つてゐるがそれは朝風丸を食糧攻めにして無理に押つけたもので全く國際公法を無視したやうなものである

遣外國民使節

遣米使節石井子に決定 【九二九】 支那事變は暴戾なる支那側の態度によつて遂に今日の事態にまで發展するに至つたので帝國政府は東洋平和の確立を期するため支那に於ける列國の複雜した權益關係から日本の公正なる立場に就いて動もすると誤解を招く虞れがあるので東洋の特殊的立場と我國の公正な眞意を歐米各國殊に英、米、獨、佛に徹底せしむべしとの聲が強く既に石井次郎氏は近々米國に向け國民使節として出發することになつた

遣獨使節伍堂氏に決定

【九三〇】 我國と防共締約國たる獨逸へは最も同國の國情を知る前商工大臣伍堂雄氏が國民使節として來月上旬出發に決定した、伍堂前商相は石井子と同總督府と關係なく全く國民的使節として渡獨するものである

高石氏遣米使節に決定

【九三一】 支那事變をめぐり列國の誤解一掃と我が眞意徹底を期して歐米に向ふ國民使節の一人として十八日大阪毎日新聞主筆高石眞五郎氏が決定、同使節は十月上旬米國に赴くことになつた

給木文治氏も米國へ

【九三二】 支那事變遣米使節に内定の鈴木



至りたるものは特別の事由なき限り此の際當該事業の打切、中止減額又は繰延を行ふこと

10 事業の打切、中止、減額又は繰延に因る人員の減少は能ふる限り之を行はざること、新規事業又は他の方面に於て必要なる人員あるときは右整理可能の人員をして之に就職せしむるを力むべきこと

11 今回の事態に依り召集を受けたる職員に關しては現存の他の人員に其の事務を分擔せしむることとし萬已むを得ざる職に在る者を除き之が補充の爲の經費は之を計上せざること

12 既定の各種繼續費に付ても以上の方針に依り検討を加へ可及的其の打切、中止、減額又は繰延を行ふこと

13 以上の諸方法を依り得たる餘餘は之を以て眞に已むを得ざる經費の支出に充つるの外税の輕減又は起債の減少若は繰上償還に充當すること

14 起債事業に付ては別途通牒に依り措置すること

二 歳入に關する事項

1 課税に付ては眞に已むを得ざる事情あるに非ざれば昭和十二年度の程度以下に止め之が新設又は増徴を行はざること

2 雜種税及同附加税並に戸數割以外の市町村特別税に付ては補給金を以て廢税したるものは之を計上せず、減免したるものは輕減せられたる更訂賦課率に依り計算したる税額を計上すること、而して廢税分に付ては昭和十二年度當初豫算計上額を限り減税分に付ては補給金に依り賦課率を更訂したるに因り生ずる減額を限り一應補給金を計上し置くも差支なきこと

3 道府縣地租附加税は昭和十三年一月一日より改訂せらるべき貸賃價格に基く地租見込額を基本とし其の賦課率は昭和十二年度當初賦課率以下とし當該地方團體に於ける所得稅附加税及營業收益稅附加税の賦課率と均衡を得たるものを用ふることを、而して右に依り計上し得る額が昭和十二年度當初豫算の基本となりたる地租額を基本として右課率に依り計算したる地租附加税額に比し減少する額を限り一應補給金を計上し置くも差支なきこと

市町村地租附加税は昭和十三年一月一日より改訂せらるべき貸賃價格に基く地租見込額を基本とし其の賦課率は昭和十二年度當初賦課率以下とする、而して右に依り生ずる不足額は整理節約に因る餘額及自然増收額を以て補填し已むを得ざる場合に於ては昭和十二年度當初豫算に計上したる地租附加税賦課額迄計上し置くも差支なきこと、特別地稅及同附加税に付ては右に準じ措置すること

4 昭和十二年度に於て補給金の交付に伴ひ戸數割、家屋稅若は同附加税又は營業稅若は同附加税の輕減を爲したるを計上せざること

5 補給金の交付を見越して不急の事業を計畫し又は緊要ならざる經費の計上を爲し戸數割等の増税を行ふが如きことは絕對に之を爲ざること

6 家賃貸賃價格の改訂は明年度も亦一時之を延期し得るものとすべき見込なるを以て其の旨諒知し置かるべきこと

地方債抑制通牒

【九二】 内務省は現下の時局に鑑み地方債の許可を制限して資金及物資の調査を

圖るに決し十三日內務、大藏兩次官の名で全國地方長官宛左の通り依命通牒を發した

▲地方債抑制に關する件

現下の時局に鑑み資金及物資の調査の必要あり地方債の許可に付ては當分左記方針に依り之を抑制すること、相成候條此の旨御了知遺憾なきを期せられ度尙貴官に於て許可相成べき起債並に許可を要せざる起債に付ても之に準じ措置相成度追而許可を受けたる起債及借入済のものに付ても右に準じ出來得る限り事業の打切又は繰延を爲さしむる様又物價騰貴に依り豫定通り事業の遂行を爲し得ざる時は成るべく其の執行を一時停止する様適宜御措置相成度

記

一 道路及び港湾事業は國の補助あるもの並に國防上又は時局に緊要なるものを除き原則として之を認めざること

二 巴むを得ざる橋梁の架設工事は之を認むること

三 河川改修、砂防、農林土木、荒廢林地復舊等の事業は國の補助あるもの及び緊急差し措き難きものを除き原則として之を認めざること

四 埋立及干拓事業は原則として之を認めざること

五 上水道の新設は時局に緊要なるものを除き原則として之を認めざること

六 下水道の新設擴張は原則として之を認めざること

七 電氣及瓦斯事業の新設擴張に付ては生産力擴充上必要あるものを除き原則として之を認めざること

八 軌道(踏切、地下)の敷設工事及自動車事業は原則として之を認めざること

九 諸建築物の新築擴張は國庫の補助あるものを除き原則として之を認めざること

學校の新築擴張は生徒兒童の増加等度既に已むを得ざるもの、外は原則として之を認めざること

十 諸建築物の改築は樹屋の處あるものを除き原則として之を認めざること

十一 社會事業、災害復舊工事、失業應急事業其の他前各項以外のものは大體從來の例に依ること

簡保積立金運用委員會

【九三】 本年度第三回簡易生命保險積立金運用委員會は十三日午前九時半より逋信省に開催、永井通相以下各委員、伊勢谷保險局長等出席、左記三項に互る資金運用を決定して正午散會した

一 本年度國債放棄の増額

二 公共團體貸付内定

三 有價證券引受額

四 東京市債

五 神戶市債

六 滿鐵社債券

七 合計

八 土地賃賃價格調査進捗

九 土地賃賃價格調査の基準となるべき土地賃賃價格調査は九月一杯を以て終了の線定で着々進捗してあるが十三日までに三百五十九稅務署中二百四十三稅務署、又四百八十八調查委員會中三百四十四委員會の調査終了し之によつて札幌、龍本、廣島、仙臺各稅務監督局管内は大部分調査を終了した、尙調査の遅延せる地方は滋賀、京都、福井、兵庫、埼玉、新潟、青

森等各府縣であつて調査完了の結果は地方の負擔が輕減し都會地近郊の負擔が増加することになる筈である

臨時資金調政委員會開設

【九四】 臨時資金調政委員會官制は十六日公布即日施行と同時に左の如く委員を發令された

▲臨時資金調政委員會官制

第一條 臨時資金調政委員會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ關シ關係各大臣ノ諮問ニ應ジテ資金使用ノ調整ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 委員會ハ資金使用ノ調整ニ關スル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第三條 委員會ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 委員及臨時委員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各隨高等官、貴族院議員、衆議院議員及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

第六條 委員長ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第七條 委員會議ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

▲臨時資金調政委員

資源局長官 松井 春生





内務大臣第一項の命令を發するに付ては其の時期及區域に關しては陸軍大臣又は海軍大臣の通知に依るべきこと

第六 前條の規定に依り防空の實施の開始命令あるときは防空計畫の設置者は監視及之に伴ふ通信に關しては直に之を實施し防空上必要な其の他の事項に關しては其の準備を爲し適宜之を實施すべきこと

第七 防空を實施する場合に於て航空機の來襲に關しては左の各號の區分に依り防空警報を發すること

- 一 警戒警報 航空機の來襲の虞ある場合
二 警戒警報解除 航空機の來襲の虞消失したる場合
三 空襲警報 航空機の來襲の危険確實なる場合
四 空襲警報解除 航空機の來襲の危険なきに至りたる場合

防空警報は當該區域の防衛を擔任する防衛司令官、師團長、要港司令官、鎮守府司令官長若しは要港部司令官（陸海軍司令官と稱す以下之に同じ）又は其の指定する者之を發すること

第八 防空法第十一條第一項の關係者は第二條に掲ぐる事業若しは施設又は第三條に掲ぐる特殊施設の管理者及所有者とし關係ある場所若しは之等の者の管理又は所有する土地、建物及其他の工作物とする

第九 防空法第十二條の規定に依る爆薬又は發射に要する費用は防空の實施に従事せしめたる者に於て之を給すべきこと

前項の費用の支給に關し必要な事項は地方長官又は防空法第三條第一項の規定に依る防空計畫の設置者に在りては内務大臣、市町村長に在りては地方長官の認可を受け之を定むべきこと

第十 防空法第十三條の規定に依り補償すべき損失は通常生ずべき損失に限ること

第十一 防空法第十四條の規定に依る實費負擔に關し必要な事項は地方長官又は同法第三條第一項の規定に依る防空計畫の設置者内務大臣の認可を受け之を定むべきこと

第十二 防空法第十七條の規定に依る國庫補助は支出精算額に對し之を爲すとす但し寄附金其の他の收入あるときは之を控除したる額に對し補助すること

第十三 防空法第三條及第十條の主務大臣は内務大臣、同法第十一條の主務大臣は内務大臣、陸軍大臣及海軍大臣とする

第十四 陸海軍司令官は監視網構成の概要及陸海軍の行ふ防衛の必要上使用を禁止又は制限することあるべき土地建物を防空計畫の設置者に通知すべきこと

第十五 防空計畫の認可を爲す場合に於て陸海軍の行ふ防衛に則せしむる爲に必要な事項に關しては内務大臣は陸軍大臣及海軍大臣に、地方長官は陸海軍司令官に協議すべきこと

第十六 左に掲ぐる事項に關しては内務大臣は關係各省大臣に、地方長官は關係地方官廳に協議すべきこと

一 防空計畫の認可を爲す場合に於て當該計畫中國に於て管理する土地家屋物件の使用に關する事項

二 防空計畫の認可を爲す場合に於て設備又は資材の整備又は供用にして他の法令に依り認可又は許可を要するものに關する事項

三 防空法第三條第一項の規定に依る指定及同條第二項の規定に依る認可

四 設備又は資材の整備又は供用にして他の法令に依り認可又は許可を要するものに關する防空法第五條の規定に依る命令

五 防空法第三條第一項の規定に據る防空計畫の設置者に對する同法第十條第十七條の命令

第十六 町村組合にして町村の事務の全部又は役場事務を共同處理するものは本令の適用に付ては之を一町村其の組合管理者は之を町村長と看做すこと

第十七 町村組合にして町村の事務の全部又は役場事務を共同處理するものは本令の適用に付ては之を一町村其の組合管理者は之を町村長と看做すこと

第十八 町村長に關する規定は町村長に準ずべき者に之を適用すること

官廳防空計畫を制定し又は其の監督に關する行政官廳にして必要ありと認むるものを指定し官廳防空計畫を制定せしむべきこと

内閣總理大臣又は各省大臣の設置する官廳防空計畫は内務大臣、陸軍大臣及海軍大臣に其の他の行政官廳の設置する官廳防空計畫は地方長官及防空法施行令第七條の陸海軍司令官に協議すべきこと

第二 官廳防空計畫に基き防空を實施し又は防空の實施に關し必要な設備若しは資材の整備を爲すこと

第四 内務大臣は防空法施行令第五條の規定に依り防空の實施の開始又は終止を命ずるときは同時に内閣總理大臣及各省大臣に其の旨通知すべきこと

第五 國に於て管理する施設（陸海軍に於て管理するものを除く）に關する燈火管制の實施及訓練に關しては防空法第八條及第十條第三項並に之に基き發する命令の規定を準用す但し之に據り難き事項に關しては内閣總理大臣又は各省大臣は内務大臣、陸軍大臣及海軍大臣と協議し別段の規定を設くることを得ること

第六 内閣總理大臣及各省大臣は其の監督に關する官廳防空計畫の設置者に對し防空計畫の全部又は一部に基き防空の訓練を爲すべきことを命ずることを得ること

附則 第一 本令に於て官廳防空計畫と稱するは國に於て管理する施設に關する防空の實施及之に關し必要な設備又は資材の整備に關する計畫を謂ふこと

本令は防空法施行の日より之を施行すること

關東防空演習

【二〇】帝都を中心とし關東一府六縣を包含する本年度防空演習は十五日をもつて開始、統監部は警視廳内に、東京府市練監部並に市聯合防護團本部は上野自治會館に置き東部防空司令官が一切の指揮に當つた、第一中心の演習は行ひ本格的演習は十七日午後より十九日朝に亘つて實施敵飛行機が爆彈・毒ガ弾、燒夷彈を投下これに對し防護團が活躍したもので從來の防空演習とは格段の好成績を示した、本演習における統監部の講評は左の如くである

▲演習演習講評 一般に防護團、市民共に準備も良く全力を盡して活動したがその間には一時的な演習の爲といふ糊塗前氣分が現れ持久戦に對しては極めて脆弱を思はしめ殊に各區防護團の訓練の如きは往々にして派手な芝居が、りの模様が見取され實質的、系統的、團結的訓練に遺憾の點が多かつた

▲第一日講評 非常管制 一般に屋内の漏光が多い、特に直射光を多く認める、街路燈の中で消さぬものが多い電車のスピーカーは極めて明瞭に見え、自動車のヘッドライトを非常管制の場合管制せぬのが多く見えた一般家庭については主要道路に面した方はよく管制が行はれてゐるが裏側は悪く二階からの漏光、殊に大邸宅の内部は概して管制がよろしくない

二 警戒管制 定められた街路燈を消さぬところがあ

附則 第一 非常管制 一般に屋内の漏光が多い、特に直射光を多く認める、街路燈の中で消さぬものが多い電車のスピーカーは極めて明瞭に見え、自動車のヘッドライトを非常管制の場合管制せぬのが多く見えた一般家庭については主要道路に面した方はよく管制が行はれてゐるが裏側は悪く二階からの漏光、殊に大邸宅の内部は概して管制がよろしくない

るが看做、廣告等は一般に良好である東京の北方地區は他の地區に比して非常によく行き届き又淺草仲店の警戒管制は設備もよく營業も順調に行つてゐた、上野、銀座、萬世橋等は營業を中止してゐた處が意外に多かつたのは遺憾であつた、京濱方面も大體市中と大同小異である

更に一般について注意したい事は不用意に懐中電燈、マッチ、葦等の火をつけるのが空中から非常に判然と見えることでは非常管制の場合絶対止めて欲しい。

▲第二日講評

一 午後六時四十分から約二時間帝都並にその附近の上空を飛翔觀察した結果によると警戒管制は一般に充分でなく相當の遠方から明い集團が見えて都會や町村であることが判別されれば比較的水戸方面はよく出来てゐた

一 警戒管制並に非常管制は月明でも効果が見られるもので管制のよく出来た處と出来ぬ處とは明瞭に分つた、月夜は下の方によく見えるが遠方は見えなかつた、又月の方向によつては水上と陸上とが明瞭に區別出来る時と出来ぬ時とがある、要するに警戒管制は月の集團があつたから航空燈臺の如くになつて遠方から来る飛行機の目標となるのを防ぐのであるから管制については充分注意して欲しい、大體成績は昨年と較べると非常に良かったが未だ燈火管制からのみ見れば帝都は恐らく空襲を免れなかつたであらう

一 防護團、家庭防火群の活躍については持場々々を離れて必要以上の人員が集り過ぎる傾向があり又防護團の警戒配置は表通りばかりで裏通りに手ばかりが

一 全般的に水の準備がお座なりで演習

氣分の域を脱しない 一日比谷、丸の内方面は非常管制が概して不良で屋敷町は依然として不可である

▲第三日講評

一般に演習第一日の十五日と比べると格段の差が見られ非常の好成績であつた、殊に防空監視哨の敵機發見報告の迅速になつたことは驚くばかりで本回の管制では高度千米の飛行機上から見て部置である事が不明瞭となり概して良好と認めらる

▲司令部總評

一 防空監視

概ね所望の程度に訓練せられたものと認むるも今後尚一層不斷の訓練を望む

二 燈火管制

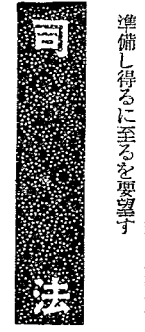
昨年度に比し大いに改善せられたるも全般的に云へば尙充分ならず特に警戒管制と非常管制との區分意義の認識並に實施不十分なり即ち警戒管制は暗きに過ぎ非常管制は未だ洩光所々に點在するのみならず警戒管制より非常管制に移行する時間は一般に長きに過ぎ尙一層迅速なるを要す

三 防火

指導者も實施者も共に熱心且眞剣に訓練せられその成果又向上せるを認むるも家庭防火群の活動、訓練はその指導と相俟ち一層これが向上を切望す

四 空襲に對する心構

空襲に對する心構、而もこれを侮るべからず、先づ精神、組織、技術、訓練この四項目に重點を置き別述の心構へを準備し得るに至るを要望す



思想實務家會同

【九三】 第十一回思想實務家會同第一日は廿日午前九時半司法部會議室に於て開會東京刑事地方吉田判事、栗谷檢事を初め全国の思想判事七十名、本省側から關野法相、池田大審院長、泉二檢事總長以下各關係官出席關野法相から別項の如き訓示があつて松阪刑事局長の注意事項指示あり更に佐藤刑事局長の注意事項保護法に關する説明及び支那事變に關する新法律に對する周知の説明があつた

▲關野法相訓示要旨

△臺に時局の急務に應ずる爲召集せられた第七十二回帝國議會の開院式に當り畏くも優渥なる勅語を賜ひ帝國の嚮ふ所を明にし國民の進むべき道を示させ給ふたことは洵に恐懼感激に堪へざる所であつて各位は克く御總旨の存する所を奉體して職務に盡瘁し以て聖旨に應へ奉らんことを期せられた

△今や我が陸海軍は暴戾なる支那軍に對し應ぜざるべき進め各地に於て連戦連捷し國威を宣揚して居る、此の際時局の重大性を認識して上下協心戮力奉公の誠を致して以て國內の治安を保持し國民生活の安定を圖り出征の將兵をして後顧の憂なからしめることは職を司法部に奉ずる者の爲すべき餘後の務であると信する、從て各位は平素に倍する熱意努力を以て事件整理の進捗を圖り日懇切にして適正なる處置を爲し各種犯罪の絶滅に力を致されたい

△刻下の思想運動情勢は今次の事變發生後の國民精神の昂揚と周密なる意識取締とに因り幸にして小康を保つて居るが、この離局に際し之に乗じて共產主義其他の煽動不逞の思想を國民大衆に宣傳浸透せしめ國內の動搖を企圖せんとする者なしとせず加之南京政府の容共政策が延て帝國の治安に影響の及ぶ虞があるから檢察の任に當る各位は深

く茲に留意し思想犯罪の發生を未然に防遏するに努力せられんことを特に冀望する

▲安井文相訓示要旨

△本年五月内閣に於て國民教化運動方策が決定せられ之に基き來る十月一日の司法記念日より向ふ五日間を遵法週間として指定せられた、國憲を重し國法に遵ふべきことは異くも教育勅語に於て明示し給ふ所であり國民として當然の義務であつて國憲國法を遵守する美風を伴ひし司法の重要性に付て廣く國民に理解せしめる爲遵法週間を設けたのであるから其の趣旨を徹底せしむるやう格段の盡力あらんことを望む



學生生徒主事會議

【九三】 文部省主権全國學生生徒主事會議第一日は十三日午前九時開會東大竹内他學生生徒主事百卅名、本省より安井文相、池崎、伊東兩次官、菊池教學局長、官等出席安井文相より別項の訓示、菊池長官より教學官の指導精神に關する口演を爲したる後議事に入り

一 國民精神總動員に關する件

一 國民精神總動員に關する件

に就ては石井思想課長より一般狀勢を説明し東京及京都より狀況報告あり、終つて參談本部の多田大尉より時局に關する講演を聴取し午後四時半散會した

▲安井文相訓示要旨

今回國民精神總動員が實施せられることになつたので各位は克く本運動の趣旨を體し夫々適切な對策を樹立し本運動をして表面的ものたらしめず眞に學生生徒の日常生活の中に浸透せしめらるやう充分なる努力を致されたい、現下内外の情勢の變化に伴つて思想問題の地位は愈々重要となり指導監督上大いに注意を要するものがあるがこの思想問題に對する指導及監督の根本は教學の刷新振興の外にない、從つて國體の本義を闡明し教學の現状を仔細に検討し以てこれが刷新と振興とを圖ることは時艱克服の根本問題であり究に急を要する重大なる問題であると確信する、平素學生生徒の指導教育の重任に當りこの方面に不斷の努力を重ねられてゐる各位に於ては克く現下我國に於ける教學の刷新振興の意義並にその重要性を充分に了察し學生生徒をして國體に關する確固たる信念を體認し國運の進展に寄與せしむるやう積極的に盡瘁し薫化啓蒙の實を擧げられんことを望む

△時局對處策協議 全國學生主事會議第二日は十四日午前九時より文部省會議室に於て開會前日に引續き協議事項

一 國體の本義に關する件

一 日本本國に關する件

一 日本本國に關する件

一 日本本國に關する件

一 日本本國に關する件

一 日本本國に關する件

一時局に關する認識を深く且つ我が事實に照して必ず勝と云ふ信念を植へつけねばならぬ

一 事變後文化の日支提携を爲さねばならぬが先づ指導者に就ては從來の歐米留學生を支那に送り現地の研究を爲さしめること北支の要地に日本大學高等專門學校を設置すること、文化人たる新聞記者の勇敢なる活躍状況を紹介すること等が必要であり、又被指導者に就ては現在の歴史的轉換期に於ける學生の自覺を促すこと、優秀なる學生を在支各學校に入學せしめること、組織活動の訓練を行ふこと等

其他意見の開陳あり午後三時より光延海軍中佐の時局に際し人的要素の重要性と題する講演を聴取し同五時散會した

督學制度刷新要綱

【一〇】 文部省は總て懸案の督學官制度の刷新を圖る事にし今回督學官及視學委員學事監督規程を改正すると共に新たに督學官室を設けて横山俊平督學官を其の主事に任命し事務を掌理せしむることとなつたが是れは從來兎角委沈滞して其の機能を充分發揮し得なかつた督學官に對し生新の氣を吹き込み教育全般の刷新振興上極めて緊要なる學事の視察、指導監督及調査研究を積極的に行はしめんとするもので其の刷新要綱左の如し

一 督學官は我が國教育の本義に基き學校教育の精神、内容、制度其他諸施設並に地方學校行政に就き視察、指導、監督及調査研究を爲すものとす、又必要に應じ社會教育施設に關し同様の視察を爲すことを得、視學委員は主として學校教育の内容、學科の教授の視察及指導を爲すものとす

二 督學官及視學委員の視察指導を爲すべき事項は我が國教育の本義の徹底、學事關係の人事、校風及校規、學校教

育の内容(知育德育及體育)學校教育の組織設備及施設、學校經濟、地方學校行政、學校法人等とす

三 督學官は教育行政に關する中央行政機關と地方行政機關並に諸學校等との一體の結合を圖るを以て本旨とす

四 督學官は人事を視察すると雖も個人的に人事の推薦を爲すことを許さず

五 督學官の視察回数に成る可くこれを多からしめ、一定の計畫の下に視察を充分ならしむるものとす

六 督學官視察を終了したる時は充分實狀況等を陳述報告するものとす

七 督學官視察の範圍は直轄學校、地方廳、公立學校其他とす

八 督學官は新に設けらるべき督學官室に關し次官の下に統轄せらるること、同時に又關係各局の重要事務を助け之に關與するものとす

文部省所管總務部長會議

【一〇】 文部省所管の全國總務部長會議は十五日午前九時文部省會議室に開會遺府縣總務部長四十七名、安井文相、内ヶ崎、伊東兩次官、菊池教務局長、池崎參與官、各局長等出席先づ安井文相より別項の訓示を爲したる後指示事項

一 國民精神總動員實施に關する件に就て指示説明を爲し眞に令達した豫算額の使途に關し質問應答意見の交換を行ひ正午散會した

文相訓示要旨

【一〇】 第七十二回帝國議會の開院式に際し長く天皇陛下に於かれましては優渥なる勅語を賜ひ帝國の嚮ふ所を明にし國民の進むべき道を示させ給ひましたことは洵に恐慚感激に堪へぬ所であり、抑々今次事變の發生は多年に亘る支那側の不法不信に基くものでありまして其の由來する所は甚だ遠く且つ深く從つてその關係する所も亦極

めて廣く且大であります、此の重大時局を拾收して東洋平和確立の大使命を達成するがためには前途尙容易ならざるものがあるものでありますから國民たるものは齊しく有難き聖旨を奉戴し不動の精神と必成の信念とを堅く持して今後来るべき如何なる艱難にも打克ち一致固結、帝國興隆の爲に邁進する覺悟を要するのであります、凡そ總局を打開し帝國の發展を圖るの道は一に我が發奮なる國體に基き盡忠報國の精神を愈々振起して之を國民の日常の業務、日常の生活に具現せしむるに在るのであります、今般國民精神總動員を實施する所以も亦實に此に存するのであります、乃ち本總動員を實施することになりまして今次事變の重大性を深く認識し舉國一致、皇國の大義を宣揚し國民の士氣を振作し堅忍持久、勤儉力行益々國力の培養を圖りまして統後の備を究りし終局の目的を達成せんとするのであります

師範教育改善意見聽取

【一〇】 安井文相は十五日午後二時より省內會議室に於て全國師範學校校長協會代表長谷川乙彦氏等より從來同協會に於て調査研究を重ねて來た師範教育改善、小學教育改善に關する意見を聴取、近く設置を見るべき教育審議會に於て全般的學制改革調査研究の資料となす事になつた

本省に考課掛新設

【一〇】 文部省は今回訓令を以て官房秘書課事務分掌規定に改正を加へて新たに考課掛を設け官更並に公立學校職員等の考課、官制服務に關する事務等を掌ることとなつたが之と同時に今後新採用に際しては從來健康狀態の調査を行はざる結果採用後疾病を發見する場合が非常に多い爲めに體育醫事相談所のレントゲン

を活用して健康診断を行ひ本省自ら體位向上の勅を示す事となつた

教育調査部擴充

【一〇】 文部省は學制の全般的改革に關する調査研究を行ふ教育審議會設置と相俟ち省内教育調査部の擴充を企圖し事務官二名、廳四名を増員する事になつてゐるが十七日の閣議に於て右増員に伴ふ文部部内臨時職員設置制中改正の件が決定を見たので近く御裁可を經に公布施行する事となつた

全國高等學校校長會議

【一〇】 全國高等學校校長會議第一日は廿日午前九時文部省會議室に開會備田一高外官公立立高等學校長、官公立大學豫科主事卅八名、安井文相、内ヶ崎、伊東兩次官、菊池教務局長、池崎參與官、山川專門外各局長出席先づ安井文相より別項の訓示あり之に對し備田一高、十時

五高、安齋弘前の各校長より一 教育の本旨からいふと今日の如く人格的接觸なき大量的教育は弊害多く甚だ遺憾である

一 制度の改革も結構であるが内容の改善も亦必要である、内容の改善に關聯して畫一打破を行ひ校長の自由裁量を十分認められたい

等の意見開陳ありて後一 國民精神總動員に關する件を議題とし運動の趣旨に就て清水成人教育課長、實施事項について有光學務課長より夫々詳細に説明し各校長より政府の方針に則り大いに協力實行に當る旨の意見を述べ次に

一 入學試験の改善に關する件を議題とし七月十二、三の兩日委員を議長にして七月十二、三の兩日委員入學者選抜方法要綱に就て討議を重ねた

▲安井文相訓示要旨

△長く天皇陛下におかれましては今回事變に就き憂念措かれず第七十二回議會開院式に當りて優渥なる勅語を賜はり帝國の嚮ふ所を明かにし國民の懼むべき道を示させ給ひ聖慮のほど定に恐慚感激に堪へざる所である、惟ふに今回の事變は東洋永遠の平和を希ふ我が國の立場よりして寔に遺憾に堪へぬ所であるが其の因つて來る所甚だ深く開關する所亦甚大であつて勿論如何なる展開を見せようとも不撓不屈論議の打開に當り皇國の發展を圖ることは固より國民の任務であり且國民のすべてが覺悟するところでこゝに我が國體の尊嚴を見ることを信する

△今回國民精神總動員實施の計畫せらるる所以も亦こゝに在るのであつて時局に對する認識を深め國體に基く國民精神を振起すると共に之を國民生活の日常に於て實踐せしめ思想的經濟的の勿論全面的に實地一致以て時弊を克服し愈々皇運を扶翼し奉らんとする一大國民運動たるに外ならぬのである、殊に教育の衝に當り將來國家の指導的地位に立ち中樞を形づくべき人材の養成に盡精を盡し、各位におかれてはこの精神を體して青年子弟をして各自その立場を自覺せしめ身心の鍛練に努めしむると共に現下の時局に對處する個人的團體的訓練を十分に徹底せしめられんことを切に希望する

△申すまでもなく教育の事業たるや國家百年の大計であつて皇運隆昌の基礎を深く培ふものであるが故に徒らに一時的熱情に驅らるゝが如きことなく臨機處置を十全ならしむると共に平生に於ける教養の趣旨を徹底することが又國家有事の際に處する最善の方法たる所以を理解せられて一層我が國體に基く教育の本義を發揮するに努められん

ことを深く期待する

△廣く教育の問題に就て見るに現下の我國教育には幾多刷新改善を要する問題があると思ふが特に近き教育審議會を設置し教育の制度及内容に關して根本的審議を行はんとして居るのも亦この故に外ならぬので教育の實際に當らるゝ各位におかれては時勢の進運と社會の動向を洞見せられて率先教育の根本的刷新に就て省慮し努力せらるべきであらんと思料する

△今次の會議に於て高等學校入學試験の問題に就て協議を願ふことになつて居るがこの問題は我が國教育の全般に亘つて影響するところ甚大なるものがあるのでこれが適正なる解決はやがて偏知的抽象的傾向に傾き動もすれば國民教育的具體性より遠きからんとする現下の教育の改善に對し重大なる意義を有するものと信するが故に各位の十分なる検討に依つて適切なる方策の樹立を圖りたい

# 産業行政

## 農 林

### 馬の移動制限法施行規則

【六二四】第七十二臨時議會を通過成立した臨時馬の移動制限に關する法律は十日公布されたが同法施行規則は左の如く制定十四日附官報を以て公布された

▲昭和十二年法律第八十九號施行規則  
第一條 本則に於て馬の移動と稱するは馬が青森市町村内に於ける飼養場所を喪失することを謂ふ

第二條 馬の賣買、交換、貸借又は其の周旋を營業と爲す者は馬の飼養場所の

在る市町村長の許可を受くるに非ざれば其の營業に關し馬の移動を生ぜしむることを得ず

第三條 前條の規定は市町村、畜産組合畜産聯合會、農會その他營利を目的とせざる法人が馬の購買の斡旋を爲す場合に之を準用す

第四條 前二條の許可を受けんとする者は様式第一號に依る申請書を市町村長に提出すべし

市町村長必要ありと認むるときは許可を爲すに當り之に期限を附する事を得

市町村長許可を爲したるときは様式第二號に依る許可書を交付すべし

第五條 地方長官は第二條及第三條の規定に依り許可することを得べき馬の頭数の限度其の他必要なる事項に付該市町村長に指示すべし

地方長官は前項の規定に依り市町村長に指示すべき馬の頭数の限度に付該市町村の關する微馬管區を管轄する師團長に協議すべし

第六條 第二條及第三條の規定は左の各號の一に該當する馬の移動に之を適用せず

- 一 明ヶ四歳以下のもの
- 二 明ヶ十八歳以上のもの
- 三 徵令第四條に掲ぐるもの
- 四 微馬管區に關せざる地域に飼養場所の在るもの

### 附 則

本令は昭和十二年法律第八十九號施行の日より之を施行す

第二條及第三條の規定は本令公布前の取引に因る馬の移動に之を適用せず

### 底曳網漁業取締改正

【六二六】農林省では沿岸漁業荒廢の因を爲す機船底曳網漁業の整理轉換を實施しつゝあるが今後益々無許可機船底曳網漁業に對する取締を強化しその縮減を期す爲め今回機船底曳網漁業取締規則及汽船「トロール」漁業取締規則を次の如く改正することを、なり右改正に關する農林省令は十八日の官報を以て公布即日實施された、此の改正に依り農林大臣及び地方長官は取締に必要ある時は無許可機船底曳網漁船の碇泊を命じ又之等無許可機船底曳網漁船に對し専ら機船底曳網漁業の用に供するものと認むる漁業具揚揚裝置等設備の撤去その他必要なる措置を命じ得ることとなる譯である

▲機船底曳網漁業取締規則中左の通知改正す

第廿四條第一項中「卅日」を「六十日」に改む

第廿五條ノ二 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは機船底曳網漁業の許可を受けずして機船底曳網漁業の操業に使用せられた事實ありと認むる漁船の碇泊を命ずることを得

前項の碇泊命令は碇泊港及び碇泊期間を指定して前項の漁船に依り漁業を營むもの又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し之を爲すべし但し碇泊期間は地方長官の爲す碇泊命令に在りては六十日を超ゆることを得ず

第廿四條第二項の規定は地方長官第一項の規定に代る處分を爲したる場合に之を準用す

第廿五條ノ三 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは機船底曳網漁業の許可を受けずして汽船トロール漁業の操業に使用せらるるものと認むる漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し期限を指定し専ら汽船トロール漁業の用に供するものと認むる漁具揚揚裝置其の他の設備の撤去その他必要なる措置を命ずることを得

第廿四條の二 左の各號の一に該當する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

一 第廿五條ノ二第一項の規定に依る碇泊命令に從はざる者

二 第廿五條ノ三の規定に依る命令に從はざる者

附 則  
本令は公布の日より之を施行す

▲汽船「トロール」漁業取締規則中左の通知改正す

「農商務大臣」を「農林大臣」に改む

第卅一條ノ二 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の操業に使用せられたる事實ありと認むる漁船の碇泊を命ずることを得

前項の碇泊港碇泊期間を指定して前項の漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し之を爲すべし但し碇泊期間は地方長官の爲す碇泊命令に在りては六十日を超ゆることを得ず

地方長官第一項の規定に依る處分を爲したるときは事由を具し遅滞なく其の旨を農林大臣に報告すべし

第卅一條ノ三 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の許可を受けずして汽船トロール漁業の操業に使用せらるるものと認むる漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し期限を指定し専ら汽船トロール漁業の用に供するものと認むる漁具揚揚裝置其の他の設備の撤去その他必要なる措置を命ずることを得

第卅四條の二 左の各號の一に該當する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

一 第卅一條の二第一項の規定に依る碇泊命令に從はざる者

二 第卅一條の三の規定に依る命令に從はざる者

附 則  
本令は公布の日より之を施行す

▲汽船「トロール」漁業取締規則中左の通知改正す

「農商務大臣」を「農林大臣」に改む

第卅一條ノ二 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の操業に使用せられたる事實ありと認むる漁船の碇泊を命ずることを得

前項の碇泊港碇泊期間を指定して前項の漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し之を爲すべし但し碇泊期間は地方長官の爲す碇泊命令に在りては六十日を超ゆることを得ず

地方長官第一項の規定に依る處分を爲したるときは事由を具し遅滞なく其の旨を農林大臣に報告すべし

第卅一條ノ三 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の許可を受けずして汽船トロール漁業の操業に使用せらるるものと認むる漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し期限を指定し専ら汽船トロール漁業の用に供するものと認むる漁具揚揚裝置其の他の設備の撤去その他必要なる措置を命ずることを得

第卅四條の二 左の各號の一に該當する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

一 第卅一條の二第一項の規定に依る碇泊命令に從はざる者

二 第卅一條の三の規定に依る命令に從はざる者

附 則  
本令は公布の日より之を施行す

▲汽船「トロール」漁業取締規則中左の通知改正す

「農商務大臣」を「農林大臣」に改む

第卅一條ノ二 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の操業に使用せられたる事實ありと認むる漁船の碇泊を命ずることを得

前項の碇泊港碇泊期間を指定して前項の漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し之を爲すべし但し碇泊期間は地方長官の爲す碇泊命令に在りては六十日を超ゆることを得ず

地方長官第一項の規定に依る處分を爲したるときは事由を具し遅滞なく其の旨を農林大臣に報告すべし

第卅一條ノ三 農林大臣又は地方長官取締に必要ありと認むるときは汽船トロール漁業の許可を受けずして汽船トロール漁業の操業に使用せらるるものと認むる漁船に依り漁業を營む者又は當該漁船の船長若し船長の職務を執る者に對し期限を指定し専ら汽船トロール漁業の用に供するものと認むる漁具揚揚裝置其の他の設備の撤去その他必要なる措置を命ずることを得

第卅四條の二 左の各號の一に該當する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

一 第卅一條の二第一項の規定に依る碇泊命令に從はざる者

二 第卅一條の三の規定に依る命令に從はざる者

附 則  
本令は公布の日より之を施行す

▲汽船「トロール」漁業取締規則中左の通知改正す

「農商務大臣」を「農林大臣」に改む

## 電力問題

### 首相通相電力案協議

【六二六】政府は電力の統制が刻下の非常時局より更に緊要不可欠からざるものなりとして早急に之が實現を圖ることになり十四日の定例閣議で種々協議した結果

日本リースクラブ大正十一年の競馬法施行直前の年度、未現在財産目録に依る資産總額より負債總額を控除したる額の大正十二年一月より昭和十二年九月迄の法定利率年五分の複利計算に依る元利合計額

△答 申  
社團日本日本リースクラブに對し保留せしむる權利義務の範圍は左記金額を標準として決定するを適當と認む

日本リースクラブ大正十一年の競馬法施行直前の年度、未現在財産目録に依る資産總額より負債總額を控除したる額の大正十二年一月より昭和十二年九月迄の法定利率年五分の複利計算に依る元利合計額

來る通常議會に右條制案を提出すること  
に方針を決定したが永井逋相は右に關し  
十六日午後四時首相官邸に近衛首相を訪  
問逋信省が國策研究會其他と連絡を執つ  
て研究立案した電力統制案の内容を説明  
種々意見の交換を行つた、而して政府は  
既に電力統制の方針を決定したのである  
が之を議會に提出其協賛を求めるとは  
は成可く各方面との摩擦を緩和し然かも  
動力の擴充とその低廉なる供給を行ふ二  
大目的を達成する案を決定したき意固で  
あり従つて逋相としては此際各方面の體  
感者を集めた官民合同の協議會を開催し  
て之に逋信省案を提呈懇談的に其の諒解  
を求めた上之を議會に提出する可とする  
意見を有してゐる

交通通信航空

交通

天津大連間貨物航送開始

【九二二】天津、大連間航路の一般貨物輸  
送は事變發生以來杜絶してゐたが天津沿  
安回復に伴ひこれが復活望が強くかつ  
たので大連汽船では此の程濟通丸を同航  
路に配し輸送を開始した

豐橋附近で列車三重衝突

【九二一】十一日午後六時五十分頃豊橋市  
花田町大字絹田内石塚塚下道附近東海  
道線に上り一三五八臨時貨物列車か差し  
かゝるや折柄細橋橋脚内に九五二貨物列  
車か停車し居り停車信號があつたのでそ  
の儘停車してゐる所へ七輛仕立ての大阪  
發靜岡行七二旅客列車が進行し來たり  
視界利かざる爲之に追突貨物列車の後部  
二輛はすくひ上げられ脱線顛覆した途端  
下り六七貨物列車が之に接觸した爲一三

五八貨物列車の數輛は又復顛覆し上下線  
共閉塞不通となり客車は窓硝子を破損し  
乗客凡そ三百五十名中には其の破片で輕  
傷を負ふたものが數名あり一三五八貨物  
列車の後部車掌當井榮(三三)は即死した  
が十二日午前三時十分復舊した

深夜の流し圓タク禁止

【九二〇】東京市内の所謂流し圓タクは  
十數年の歴史を有し現在一萬餘臺の自動  
車が早朝から深夜に至るまで街頭を疾驅  
して事故防止のため廿五日以後は東京市  
内全部に亘つて午前零時から同五時まで  
深夜五時間の流し圓タクを一切禁止する  
事となつた、此の爲乗客に不便を來すの  
を緩和する爲從來一八九ヶ所しかなくつ  
た駐車場に更に四三九ヶ所を増設計六  
二八ヶ所の駐車場としこれに約五千餘臺  
の車を收容して客の便宜を計る

通信

北支向軍事小包取扱中止

【九二二】軍事郵便物として從來取扱はれ  
て來た小包郵便物の内私用のものは來る  
九月十三日より北支那方面に對するもの  
に限り當分の内取扱を停止されることゝ  
なつた

日滿通話區域擴張

【九二七】日滿電話の滿洲側通話區域は從  
來滿鐵沿線主要都市と哈爾濱、吉林、錦  
縣等廿一ヶ所であつたが九月廿一日から  
安東、牡丹江、齊齊哈爾、山海關、大石  
橋及び甘井子が通話區域に編入されこれ  
等の地方と一通話七圓で日本全土から通  
話されることになつた

靖國丸國際通話開始

【九二〇】まことに内地との間に通話を開始  
した歐洲航路靖國丸は來る廿一日ポルト  
サイド出帆の日より對歐船船國際通話の  
取扱を開始することになつた、通話は暗  
國丸とローマ、パリ、ドイツのノルド  
グアイヒ又はロンドンとの間は無線により  
て連絡されロンドン經由では埃及、南阿  
聯邦、臺灣、印度、シリヤ、パレス、タ  
イン方面とも通話出来る、料金は船舶の  
位置、經由海岸局對手地等によつて異なる  
がローマ經由イタリアとは地中海航行中  
最初の三分間四十七圓、大西洋(英佛海  
峽)又は北海航行中は九十三圓、パリ經  
由フランスとは地中海大西洋及び北海航  
行中を通し四十七圓、ノルドグアイヒ經由  
ドイツとは北海航行中十六圓、地中海又  
は大西洋航行中四十七圓、印度洋その他  
航行中は五十六圓、又ロンドン經由英國  
へは地中海、大西洋及び北海航行中を通  
じ四十七圓である

拓殖

松岡滿鐵總裁閣僚に報告

【九二四】松岡滿鐵總裁は十四日午前十一  
時五十分首相官邸を訪問閣議散會を待つ  
て近衛首相以下各閣僚に會見午宴を共に  
して滿鐵の各種事業の現況並に滿洲の一  
般狀況を報告種々懇談した

對滿事務局の參與會議

【九二五】對滿事務局では十五日午後一時  
半同事務局に參與事務局會議を開催滿洲  
國に於ける帝國の治外法權の撤廢並に南  
滿洲鐵道附屬地行政權の移讓に關する日  
滿兩國間の條約案に就て審議を行つた、  
右は昨年六月十日調印の條約により其の  
一部の實現を見たのであるが政府の既定  
方針に基き今般之が全面的處理を行はん

とするものである  
【九二六】東拓では豫て北支工業投資  
を企圖し冀東政府との間に折衝中であつ  
たが愈々協約成立したので日支合辦の長  
城鐵道建設股份有限公司を設立するに決  
定した、同公司是資本金百五十萬元(東  
拓、冀東折半出資)で炭鐵は長城線右門  
寨北方約一里の地點にあり埋藏量五千萬  
噸と言はれ炭質は非常に良質の無煙炭で  
あるが東拓の長城炭鐵經營は日支合同の  
トップを切るものとして注目されてゐる

八角拓務次官渡臺

【九二二】八角拓務政務次官は臺灣視察の  
ため十七日午後九時四十分東京驛發十八  
日正午神戸出帆の高砂丸で渡臺した、旅  
程十日間の予定で來月四日歸京する  
七次移民指導員哈爾濱着  
哈爾濱(九二〇) 拓務省第七次滿洲國移民  
團指導員十五名は移住協會主席當永大佐  
に引率され十九日午後一時齊哈爾直ちに郊  
外の王兆屯滿蒙拓殖訓練所に赴いた

政黨

貴院各派

【九二五】貴族院の北支派遣將兵慰問團歸  
國は十五日左の如く決定した  
△研究會 鍋島直繩子、大塚惟精  
△同 成 丸山鶴吉  
△交 友 長岡隆一郎  
△同 和 松井茂  
△火 曜 西郷從儀侯  
△無所屬 田中館愛橘

【九二二】貴族院の北支將兵慰問團の  
打合會は十七日午前九時半より院内に開  
會協議の結果團長西郷從儀侯(火曜)同  
副團長田中館愛橘博士(無所屬)を決定  
次いで日程を左の如く決定して同十二時  
散會した、尚事務局から丸金警務課長、  
陸軍省より濱田中佐が隨行する  
九日廿六日午後九時四十分東京驛出發  
廿七日正午神戸出帆(大阪商船長江丸)  
十月一日天津着同二日より十日まで北  
支各地皇軍を慰問第一線の戦況及び主  
として山岳地方の飛行機の活動狀況を  
視察、同十二日天津出發大連經由歸國

研究會常務委員會

【九二〇】貴族院研究會では廿日午前十時  
より事務局に常務委員會を開き支那事變  
による陸海軍傷病兵慰問及び慰問金贈出  
の件に關し協議した結果近く各派交渉會  
を開き貴族院各派歩調を一にして右慰問  
の件を決定することゝし正午散會した

民政黨

政府委員會委員決定

【九二四】民政黨は十四日町田總裁指名に  
より左の如く政府の各委員會委員を決定  
した  
一 百貨店法 寺島 權藏  
一 貿易審議會 勝 正憲  
一 製鐵事業法 西村金三郎  
一 臨時事業調整法 櫻井兵五郎  
一 臨時事業調整法 中島鶴園次  
一 臨時事業調整法 前田房之助  
一 船舶管理法 川崎 克  
一 船政管理法 牧山 耕藏  
一 船政管理法 濱野徹太郎

政友會

幹部會

【九・四】政友會は十四日午後二時本部に幹部會を開き島田代行委員外各顧問、總務、幹事長、幹事出席松野幹事長より今次の日支事變に對して各地より多數の出征を見たのであるが之れが銃後の後援に遺憾なきや、殊に農村經濟等について地方の情況を此の際調査するの必要を感じ全國を十二班に分ち各班に二名の調査員を派遣することに決した旨報告承認を求め近く入選を了して調査を進むることに決し次いで船田外務參與官より外交について報告あり之れに對し深澤豊太郎氏より日伊協定問題につき實し船田參與官より傳へられたる内容に相違があるものであつて日伊協定そのものを否定したのではないと聲明し同三時散會

大藏辭令

大藏館一等書記官 嘉納 久一  
兼任公使館一等書記官  
ギリシヤ在勤を命ず

文部辭令

補宮城控訴院判事 廣野 伸雄  
補山形地方部長 宮城控訴院判事 江場 盛次  
補盛岡地方部長

司法辭令

依願免本官(各通) 大曾根幾之介  
△十一日 東京少年審判所長 鈴木實一郎  
任檢事 補大醫院檢事  
退職を命ず

内閣辭令

貴族院議員 鶴澤 總明  
△十三日 依願免本官(各通) 大曾根幾之介

外務辭令

△十一日 大使館二等書記官 糞田不二夫  
任公使館一等書記官  
コロンビア國在勤を命ず  
領事 齋藤輝宇良  
任大使館一等書記官  
佛國在勤を命ず  
△十三日 外務事務官 太田 一郎  
任領事  
ロサンゼルス在勤を命ず

文部辭令

補宮城控訴院判事 廣野 伸雄  
補山形地方部長 宮城控訴院判事 江場 盛次  
補盛岡地方部長

文部辭令

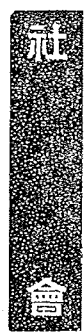
△十一日 京都帝國大學教授 平野 正雄  
補京都帝國大學工學部長  
同 濱部源次郎  
依願京都帝國大學工學部長を免す  
△十四日 臺北帝國大學學生主事補 行元 自忍  
任上田醫科專門學校生徒主事兼教授 電氣試驗所技師 仁科 存  
兼任東北帝國大學助教 補金屬材料研究所員  
(新任) 渡邊 龍雄  
任宇都宮高等農林學校教授 清水 忠治  
富山農學專門學校教授 野口 敬身  
富山農學專門學校教授 野口 敬身  
兼任富山農學專門學校生徒主事 神戶高等商船學校教授 藤森 正彦  
兼任神戶高等商船學校生徒主事 神戶高等商船學校教授 鬼束 鐵夫  
兼任神戶高等商船學校生徒主事 渡井 周介  
任東京高等商船學校校長 太田代唯六  
任高等工業學校教授 桐生高等工業學校校長 須川 邦彦  
任福井高等工業學校校長 依願免本官  
福井高等工業學校教授 坂部 保治  
福井高等工業學校校長事務取扱を免す  
△十五日 明治專門學校教授 森 祐吉

文部辭令

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職被仰付  
△十六日 內務技師 宮本武之輔  
兼任東京帝國大學教授工學部勤務を命ず  
任東京高等商船學校教授  
任簡易保險局理事簡易保險局業務長を命ず  
任簡易保險局理事 出塚 祐助  
任簡易保險局理事 生田 武夫  
任簡易保險局理事 高橋 等  
任簡易保險局書記官 高橋 等  
任簡易保險局書記官簡易保險局監理課長を命ず  
同 堀 雄一  
熊本遞信局規畫課長を命ず  
簡易保險局理事 中村 太郎  
依願免本官  
鐵道辭令  
△十一日 鐵道局技師 西村 辨造  
任鐵道技師東京電氣事務所長を命ず  
鐵道技師 長瀬元治郎  
任鐵道局技師大阪鐵道局大阪電力事務所長を命ず  
鐵道技師 西村 英一  
電氣局電力課業務を命ず  
鐵道技師 重信 四郎  
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職被仰付  
▲近衛首相學術振興會會長受諾  
【九・四】近衛首相は十四日學術振興會々長就任を受諾した

文部辭令

明開展新盟友  
【九・二】上野府美術館で開會中の明開展では十一日左の盟友及受賞者を決定した盟友 田代實哉、村川彌五郎、古淵啞草、具志堅吉古、平野氏實、重松謙吉  
院展第二賞受賞者決定  
【九・三】日本美術院は第廿四回展繪畫の部の第二賞(第一賞該當者なし)として十三日左の三名を發表した  
一 古瀨 横濱市中區大岡町七枝田一〇一八、中島清  
一 弓枝 大阪府布施町莖屋西九ノ二七四、岡茂以  
一 鮑春 京都市左京區淨土寺南田町一〇三、佐野光繼  
○三、佐野光繼  
中島、佐野の二氏は同院院友で岡氏は入選二回である、なほ彫塑の部は受賞該當者がなかつた  
司法保護事業聯盟發會式  
【九・二】非常時に於ける銃後の護りには犯罪防止からのモットーで新に結成された全日本司法保護事業聯盟の發會式は十三日午前十時半から司法省隣内刑務協會樓上大會議室で開野法相、池田大審院長、泉二橋事務總長が初め先行前檢事總長、本野愛婦會會長等關係者多数出席の上に盛大に舉行された  
白國書記官に勳章御贈與  
【九・三】畏き邊りでは此の度離任歸國する駐日白國大使館一等書記官モリス・イヴェインス・デークト氏に對し、氏が在京中日兩國親善上に盡せる功勞を



文 化

恩召され十五日左の如く勳章贈與の御沙  
汰あつた  
在本邦自義國大使館一書報告  
モリス・イウエニス・デークト  
贈與勳三等瑞寶章

コスタリコ經濟使節來朝

【六二五】 中米コスタリコ共和國よりの訪  
日經濟使節、前大藏、外務、内務大臣で  
未來の大統領と目されて居るラウル・ソ  
ウルディアン夫妻、中央銀行副總裁ラモ  
ン・マドリガル氏の一行は十五日横濱入  
港の郵船秩父丸で來朝したがソウルディ  
アン氏は船中記者團に對し  
今度の訪日は日コ兩國間の貿易の増進  
を計るのが主なる目的で併せて各方面  
の智識者と意見の交換をし兩國の親善  
を計りたいと思ふ  
とのメッセヂを發表した後左の如く語  
つた

滞在は三週間、先づ大阪へ赴き我々を  
招いて呉れた中南米輸出組合の案内で  
東京はじめ各地を歴訪する、日・コ貿  
易は現在年約五百萬圓の生糸織物をコ  
スタリコが賣つて居るが我が國は輸出  
するものがなく八月三日にペルーから  
邦人植業技師の引率する邦人農民が入  
國して今迄手を付けてゐなかつた棉の  
栽培を行つてゐるがこの棉を日本へ輸  
出して片貿易を調整したいと思ふ

▲中米經濟使節相訪問

【六二六】 目下來  
朝中の中米コスタリコ國經濟使節ラモ  
ン・マドリカル、ラウル・ソウルディアン兩氏は  
十六日午前十時半官邸に賀屋藏相を訪問  
來朝の挨拶を述べ種々懇談して同十一時  
過ぎ辭去した

ローマ字は調査會式に統一

【六二七】 十七日の閣議に於て臨時ローマ  
字調査會の答申に基いて官廳及び教科書  
のローマ字はより多く日本式を加味した

調査會式ローマ字に統一する事に決定を  
み、此所に日本式(ボン式)ローマ字との  
八年に亘るローマ字論争は漸く解決を告  
げ、日本式ローマ字に凱歌が上つた

裁判・警察

リンチ共産黨事件判決

【六二八】 リンチ共産黨事件一昭和九年春  
豊島區池袋町二九九〇のアジトに於て  
黨員大澤武男の查問を聞き死刑を宣し  
て燒火箸と金種で慘虐の刑を加へた德  
島市生れ本郷區駒込千駄木町富士谷直之  
助(三三)外本郷區かゝる治安維持法違反傷  
害不法監禁銃砲火藥類取締違反事件上告  
審は大審院刑事一部木村裁判長係りで審  
理中十三日午後上告棄却され左の通り原  
判決が確定した  
懲役六年(未決五百日通算)

富士谷直之助(三三)

懲役三年(未決八十日通算)

湯淺 猪平(二六)

懲役三年(未決三百日通算)

牧瀬 恒(三三)

美濃部博士狙撃犯人求刑

【六二九】 昨年二月廿三日美濃部達吉博士  
を府下吉祥寺の自邸に訪れ拳銃で博士を  
狙撃負傷せしめた福岡縣生れ、元大橋工  
業聯合主事兼倉庫小田十壯(三〇)にかゝる  
殺人未遂事件の第五回公判は十四日午前  
十時半東京刑事地方裁判所第四部中島裁  
判長、栗谷檢事係り、角岡、林外二名の  
辯護士立會で開廷、檢事は論告後懲役十  
年を求刑した

百萬圓詐欺事件の堀川無罪

【六二七】 關西の金融王故乾新兵衛氏との  
間に百萬圓詐欺事件を起した藤布區三軒  
家町四七味齋貸付販賣業堀川辰吉郎(四七)

かかるフィルム配給詐欺事件上告審は  
十七日大審院宇野裁判長から犯罪の證明  
不十分として懲役六月の原判決を破毀し  
改めて無罪の言渡しがあつた

日本海軍組合幹部取調

【六三〇】 神戸憲兵分隊では此の程日本海  
軍組合本部より組合長堀内長榮氏、副組  
長長米彌彌亮代議員、同調査部長宮本官  
次、同次長横山善太郎、海軍協同會主事  
吉村好治氏等を取調べてゐたが十一日宮  
本、横山、吉村の三氏は身柄不拘束のま  
ま、軍機保護法違反疑念で一件書類のみ神  
戶地方裁判所検事局に送致された、なほ  
堀内、米宮兩氏は事件に關係なき事が判  
明したが事件は全國十七支部に波及しそ  
れぞれ所轄憲兵隊の手で取調が進められ  
てゐる

社會・雜

西日本大暴れ

【六三一】 十日夜來四國中國地方を襲つた  
颱風の被害に關し十一日午後各縣知事よ  
り内務省に達せる被害状況報告の主なる  
もの左の如し  
△岡山 十日來の降雨は本日午前五時頃  
より全縣下に滲り暴風雨となり暴作物  
其他全縣下に亘り被害相當甚大の見  
込、且下判明せる被害は  
死者三、負傷二、行方不明一、家  
屋倒壊住家七〇、非住家三〇一、家  
屋半潰住家一六五、非住家二九、浸  
水家屋一一七、船舶沈没破損九七、  
汽車不通一ヶ所、橋梁流失六、道路  
流失十ヶ所、堤防缺潰三ヶ所、田浸  
甚大の見込

△宮崎 十日午後四時より暴風雨となり

最大瞬間風速廿一米、一時間最大雨量  
一九ミリ七二に達し各河川の増水三米  
乃至五米、現在判明せる被害は  
倒壊家屋六戸、半潰二、浸水家屋七  
七〇戸、死者二、道路陥壞九八ヶ所  
鐵道損壞二、橋梁流失六、一部流失  
一、堤防缺潰三、港灣缺潰一

△徳島 電信電話不通の所あり、詳細尚  
不明なるも本日午後七時聴取判明のもの

死者三、負傷者一三、家屋倒壊住家  
一全潰四二、半潰二七、非住家一全  
潰八三、半潰三七、浸水家屋(概ね  
床下)一六五、屋根破損全縣下に及  
ぶ、鐵道土讃線午前八時より山崩の  
爲不通、吉野川増水十五尺乃至二十  
尺、那賀川、勝浦川約二十尺、木材  
流失多數あり、大なる橋を除き交通  
杜絶、暴作物被害二割乃至五割の見  
込なるも目下調査中

△香川 保安課の調査による被害状況左  
の如し

死者五名、負傷者廿一、倒壊家屋住  
家四十六、非住家百卅五、學校の半  
潰四、道路の缺潰一、土砂崩壊一、  
倒壊電柱五百本、沈没及び破損漁船  
二、浸水家屋約一千戸  
△兵庫 兵庫縣下四十六警察中の十三警  
察署は十一日午後九時に至るも全然連  
絡つかず全縣下の被害状況は隨つて今  
猶ほ不明であるが縣警察部で午後九時  
までに判明した被害左の如し  
死者五名重傷者卅八名、家屋倒壊百  
廿四流失十四、浸水千五百五十一、  
船舶沈没流失廿五、橋梁流失卅九で  
あると

瞬間風速四十一米

【六三二】 高知測候所發表日風は十日夜半  
迄微弱なりしが十一日午前二時前後より  
急に強くなり三時には風速二〇・三米に

達し次第に募り、六時五十分最強に達し  
七時には平均東南方の風七・三米に達  
し瞬間風速六時五十分四十一米を觀測せ  
り

山崩れて八名生埋

【六三二】 十一日午後二時十五分日光華敷  
瀧下流四百米古川發電所傍の三百米の高  
所から豪雨のため三千坪程の大崩れあ  
り石臼の岩石に二百坪三階建赤煉瓦造  
りの發電所は、ベヤンコに潰れ發電所主  
任山崎吉(四〇)土木主任中里幸太(三〇)兩氏  
以下職工等八名生埋となつた  
大アソビナへし曲る

【六三二】 百五十キロ大電力放逐を旨指し  
日本放送協會が川口市下清水町に建設中  
であつた川口第一放送所は完成も近く殊  
に三百メートル世界一を誇る大アンテ  
ナ塔工事も着々進み既に三百メートル迄  
完成した矢先十一日午後六時頃折風の暴  
風雨のため地上二百メートル位の箇所か  
ら筋の如くへし曲つてしまつた、復舊迄  
には約一ヶ月を要する見込

青森縣農作物被害甚大

【六三三】 十一日夜來晴風圏内におかれた  
青森縣は十三日午前五時半に至り漸く氣  
象特報も解かれ平靜に復したが縣下各地  
に亘り被害は甚大で昨夜下北郡下風呂温  
泉の山津波、同下北海岸一帯二千戸の浸  
水家屋の外西洋縣郡西岸縣ヶ澤町附近は  
十二日午後六時半頃には風速廿九米を算  
し同署管内に於ける倒壊家屋十二戸に及  
び、岩崎の温泉ホテルは浴室、客室とも  
に洗ひ去られ、岩崎村役場は約十坪吹飛  
ばされたが幸ひにも人畜には死傷なかつ  
た、農作物の被害については目下調査中  
であるが林檎の被害最も甚しく本年の豫  
想收穫高七百五十萬箱の約二割百五十萬  
箱は浸没し、損害約二百萬圓と稱せられ



乃木大將銅像建つ

【二二】 今年には軍神乃木大將が殉死して廿五周年に當る、相州片瀨町では將軍が學醫院長時代生徒と共に片瀨の海濱で暮

東郷神社地鎮祭

【二四】 永遠の聖將東郷元帥を祀る東郷神社地鎮祭は十四日午前十時から澁谷區原宿三丁目東郷神社造營地において執行された、工事には間もなく着手六十萬圓の工費費をもつて實質な十坪の本殿、卅七坪の拜殿、敷居の參道等を建設昭和十五年五月に鎮座祭を執行する豫定で着々工程を進める

凌風丸襲撃成る

【二五】 文部省が世界に誇る海洋観測船凌風丸は播磨造船所で五月進水襲撃もこの程完了十三日神戸港に入港十五日横濱へ向つた、同船は今秋オホーツク海に出動初陣する

近衛公令息歸米

【二六】 米國プリンストン大學政治科に留學中の近衛首相令息文隆君(三)は暑中休暇で歸國して父首相の膝下で政治學の實際を學び或は同盟通信社長秘書などとして金額の新聞記者A.B.C.を奮ふなど多忙の一夏を送つてみたが十五日午後三時横濱出帆の郵船大洋丸で賑やかな見送りを受けて歸米した

南洋拓殖練習生歸京

【二七】 文部省の全國農業學校最高學年生徒より選ばれた南洋拓殖練習生一行卅名は去る七月廿九日横濱出帆二ヶ月に亘りサイパン、テニアン、パラオ等に於て南洋拓殖に関する現地訓練を受け熱帯農

業の技能を修得して十五日午前十時横濱に歸着した

勸彌、八重子結婚式

【二八】 青年歌舞伎の花形守田勸彌文三と水谷八重子さん三三の結婚式は十六日午前十時から飯田町大神宮で松竹社長大谷竹次郎氏夫妻の媒酌で行はれた

文部省練習船海王丸歸港

【二九】 文部省練習船海王丸(二二八三噸)は全國商船學校實習生五十一名を乗せ去る五月十五日東京出發カナダプリンストン、ロバート港およびポートアレン港を訪問、總航程一、五〇〇哩を帆走して十六日正午横濱に歸港した

第四三回實海々戰記念日

【三〇】 第四三回實海々戰記念日を迎へた十七日、芝公園文交社では異くも伏見軍令部總長宮殿下の台臨を仰ぎ盛大な祝賀會を舉げた、午前十時四十分米内會長代理山本次官以下各委員は裏庭の水交神社に參拜、同十一時五十分總長高殿下には新館賓客室で米内會長以下諸將星に謁を賜り、正午別館會場にお成り海軍々樂隊の奏する君が代に一同起立して米内會長の發聲で大元帥陛下の萬歳を三唱して記念午餐會に入り午後零時半意義深い祝賀會を終了した

園公車内で發病

【三一】 御殿場の別荘に在りし西園寺公は十七日午前九時五十二分御殿場驛發、興津坐漁莊に歸る途中沼津驛邊から蒸し暑さとタバコのみ過ぎから突然下痢を起し、午前十一時五十五分興津驛着直に同町川村醫師を招き應急手當を施し急送の擔架で坐漁莊に入り、直に東京より主治醫三浦博士を招き手當を加へた

園公の容態良好

【三二】 御殿場よりの歸途車中で發病した西園寺公は興津坐漁莊に入つて臥床靜養中である經過頗る良好で十八日はすっかり元氣を取戻した

海の特設日機帝都訪問

【三三】 去る十七日第四十三回實海々戰記念日を祝して行はれる豫定であつた横須賀鎮守府麾下の我無敵海軍航空隊の精銳日機の特設訪問飛行は天候不良のため延期となつてゐたが、霧霽りの廿日午後壯舉を執行した、この日堂々百十機にのぼる大編隊は酒卷大佐を指揮官として指揮官搭乗の大飛行艇を先頭に午後一時半基地を出發、飛行艇六機、艦上攻撃機廿三機、水上偵察機廿九機、陸上攻撃機五機、艦上戦闘機八機、艦上攻撃機十五機、その他陸上機十二機、水上機十二機が崎嶇三哩に亘る大編隊で銀翼も眩するばかり百雷の如き爆音を轟かせ横濱上空を経て午後一時四十分品川に至り新宿を通過靖國神社上空に至つて隨國の英雄に空中から參拜更に上野上空に至り午後一時半銀座に勇姿を現はして市民の歡呼の裡に羽田方面に向ひ飛行場上空で散開この意義ある訪問飛行を終つた

廣島市に眞症コレラ

【三四】 廣島市牛田町水谷岩雄妻ふくよ(七)は十七日午前六時半頃發病、久保田醫師の診察を受けた結果コレラの症狀あり廣島縣衛生課で検査中のところ十九日深夜更に眞症コレラと決定した、其他西天満町横山たま(七)他七名の疑似患者の中四名は遂に死亡した

加藤平安安神宮宮司逝去

【三五】 官幣大社平安安神宮宮司加藤直久氏はかねて膽石病のため東京附屬病院に入院加藤中十五日午前七時逝去した、享年六十三

内藤太郎氏逝去

【三六】 滿洲國警備隊司令部警備所長内藤太郎氏は十四日午後五時新京に於て腦溢血で逝去した、享年五十五

尾澤福太郎氏逝去

【三七】 片倉製糸病氣株式會社取締役尾澤福太郎氏は豫病の爲郷里長野縣岡谷市の自宅に於て療養中肺炎を併發、十七日午前十時五分逝去した、行年七十八

津下紋太郎氏逝去

【三八】 滿洲國財政部顧問、日石取締役カルピス社長津下紋太郎氏は本郷駒込上富士前町一〇四の自宅で廿日午前一時十五分腦溢血で逝去した、享年六十八

稲田男冬季競技問題報告

【三九】 ワルソー會議並びにサンモリツに於ける國際水泳總會に出席した全日本スキー聯盟顧問稲田昌植男は十一日午後滿鐵ビル内組識委員會事務總長室内で永井事務總長並びにI.O.C.委員齋納治五郎氏と會見オリンピック冬季札幌大會開催に關する諸條件及び國際スケート聯盟役員改選が全く日本側に有利な結果を招來した經過について報告した、なほ稲田男は實地調査の爲め同日午後七時上野驛發列車で直ちに札幌に向つた

組委會海外へ聲明書發表

【四〇】 東京大會組識委員會は東京大會返上問題が外國を大いに刺戟した爲これを是正す可く十一日午後東京駐在の諸外國新聞記者全員に對し永井事務總長の名を以て聲明書を發し組委會の大會開催方針に何等變更なき點を強調その態度を明示した

大會準備は最低豫算で

【四一】 組識委員會常務委員會は十五日午後二時から滿鐵ビル内事務所で開催三邊、草間(市)岩原(文部)平沼、高島(體協)等各委員と永井事務總長更に齋納國際オリンピック委員長オファバーと出席支那事務の進展に伴つて東京大會準備の上にもこの際政府補助金を當にせず最低限度の豫算を以て臨む可きであるとなし之れが資金の捻出及び具體的な豫算の編成に就き協議したが起債による市側補助金も現下の情勢では市側としても起債を出るに待たず上策として居るので結局之等の諸點から見て各種競技場の建設事業の如き大々的の事業は時局に鑑みこれが着手出来る限り延期する事に申合せ事變の見透しがつて迄當分の間は事務的準備のみを進める事となり改めてこれが豫算編成を檢討、更に市側と折衝の上確實に準備を進める事になつた

東京大會プログラムの決定

【四二】 東京大會の競技プログラムは去る六月のワルソー會議に於いて正式決定を見たが組識委員會競技部は右決定種目を十七日發行のオリンピックニュース第五號で改めて正式公告した

ボツブゴース建設技師來朝

【四三】 來る可き第五回冬季オリンピック札幌大會のボツブスレリゴースの建設設計の爲招聘した權威者トイツのステツエン・ツエニツキ夫妻は十八日午前六時横濱入港のカナダ太平洋汽船エム・ジャパン號で來朝稲田男その他關係者に迎へられて直ちに上山山王ホテルに投宿した



計



### 事變關係

#### 購賣商品の報告方違違

【九・二】 商工省は最近硫安、製糖用棉花支那産ラミー麻が暴騰の傾向あるに鑑みこの程該三商品に對し暴利取締令第二條の規定に基き報告を徴することに決定各關係方面に通過した

#### 經聯が財政經濟綱を支援

【九・三】 日本經濟聯盟會は十三日午後第一回時局對策委員會を開藤澤委員長を始め各委員出席の上財界として採るべき時局對策に就き協議した結果露に政府の聲明せる所謂財政經濟三大政綱即ち

- 一 國際收支の適合
- 二 生産力の擴充
- 三 物資供給の均衡

の實現に對し極力支援する旨を決定具體的細目例へば棉花、羊毛の輸入問題の如きに就いてはそれ／＼特別委員會を設置して各當業者の意見を聴取の上調査研究を行ふことになつた

#### 關西産聯の時局對策

【九・三】 關西産聯では廿一日東京に開催の全産聯時局對策委員會に備へるため廿日大同セルに特別委員會を開き戰時體制下の時局對策につき協議の結果次の四件を決定、片岡、小畑兩委員より全産聯委員會の議題に提出する

- 一 勞働力の補充並に擴充問題
- 右に關しては熟練工の養成はもとより婦人勞働者の採用並に勞働法規の一時の緩和等が問題となる
- 一 勞働力移動の抑制問題
- 一部特殊工業の異常な活況の結果優秀

工の引拔戦は最近頗る露骨となり他種工業に重大影響を與へつゝあるので工場主側の道徳的反省を促す必要がある

一 中小工業の衰頹防止並にこれが振興問題

一 消費の合理化問題

#### 輸入許可品三種に分類

【九・三】 商工省は輸出入品臨時措置法に基き輸入許可制となす物品を左の三種に分類し當局の輸入統制の建前を明瞭にする事になつた

- 一 輸入額の巨額に上るもの、差當つては棉花、羊毛、木材を指定する
- 二 不要不急品
- 三 買漁りの虞れあるもの例へば屑鐵の洋服生地、西洋剃刀等二百餘種のもの

然して時局の進展如何によつて許可品目を増加し第二の不要不急品は殆んど輸入禁止をなす方針をとつてゐる

#### 三相より資金調整協力要望

【九・三】 近衛首相、賀屋藏相並に結城日銀總裁は十三日全國手形交換所大會において左の如き演説をなし資金調整法運用に協力を求めた、なほ賀屋藏相、結城總裁は十四日信託協會臨時總會の席上においても同様の演説を行つた

#### ▲近衛首相演説

△現下の日支間に惹起されつゝある事態に對處する爲には財政經濟體制を根本的に整備しなければならぬ、政府は此の爲めに必要な諸要素の協賛を得て愈々實施の運びとなつてゐる、衆知の如く近代戦にあつては兵力と同時に經濟力の如何が勝敗を決することになるので今次事變に對し經濟力の方面でも難

局に打克たねばならず此の意味に於て今回の諸經濟立法は極めて必要なものと考へる、かゝる意味合から臨時資金調整法實施に際し民間の自治的統制に待つことになつたが諸君に於かれては政府の意のあるところを觀察され法律の運用に關し折角努力されんことを切望する次第である

#### ▲賀屋藏相演説

△今回の事變の進展に備へ其の成果を収むるに遺憾なきを期するが爲には軍の需要及國防に關係ある産業等時局に顧み緊要なる方面に對し其の必要とする物資、資金並に勞力の調停なる供給を圖ることが最も肝要で此の際物資及資金等の使用に付調整を加ふることが必要となつたのである、政府は諸般の緊急經濟法案を議會に於て協賛を得、また各種臨時措置に關する法律を以て輸出を抑制し臨時資金調整法に依り其の目的を達成せんとするものである、而して之が目的を達する爲には輸入品及之を原料とする製品に付國民全般に亘る消費節約を必要とするのであつて斯くの如き意味の下に臨時資金調整法に於ては會社の新設、増資並に金融機關等の社債の引受、事業設備の新設擴張資金の貸付等に付政府の許可を要することゝしたのである

△此の結果銀行等金融機關の業務上直接問題となるのは社債の引受及事業設備資金の貸付の場合である、而して今回の臨時資金調整法は一應之等の場合に金融機關等を以て政府の許可を受けしむることゝして居るが其の實際の運用については出來得る限り當業者の自治に依つ方針であつて茲に所謂資金の自治的調整の方法を認めたのである、政府としては直接金融の衝に當らるゝ方々が誠意を以て此の制度を運用せらるゝ

よならば最も克く資金調整の目的を達し得るものと考へ從て政府が直接調整の發動を必要とするが如きことなきやう衷心より希望する

△近來生産力擴充其他に伴ひ資金の需要は極めて旺盛となり、金融は兎もすれば引締りの傾向に在つたので政府は日本銀行の協力を求めて之が緩和に力めて來た、今や事變の進展に伴ひ經濟界も之に對應した態勢を探らねばならなくなつたのであるが事變勃發の初期に於ては金融は兎も引締めらるゝ傾きがあるので此の際としては一層資金の供給を圓滑ならしむる必要がある、政府に於いても今後當分の間國債の發行は原則として日本銀行の引受に依る方針を探り又臨時資金調整法に於て興業債券の發行限度が擴張せられ且資金特別會計の餘裕金を之に運用し得ることゝなつた結果此の方面からの事業資金の供給も結果は之ゝとなり當面の金融情勢に對し相當の結果があることゝ考へる、故に諸君に於ても手許資金の逼迫を過度に警戒する等のことなく必要な方面に對しては安んじて金融の疎通を圖られ度い、寧ろ警戒の必要があるのは一般が好景氣に押れて油斷を生ずる時である

△次に今回の事變の經費支辨の爲に今後相當多額の國債の追加發行を見る筈であるが現下の金融情勢を以てしては此の際之が消化を急ぐことは却つて不得策で政府資金の出廻其他に依り民間の資金が相當潤澤となるを俟つて其の消化を圖る事とするを適當と考へる、尙臨時資金調整法を以て日本勸業銀行をして割増金附貯蓄債券を發行せしむることゝしたが必ずしも之を法律に依つて許されたる限度即二億圓迄發行するの要はないのであつて銀行預金等と

#### ▲結城日銀總裁演説

△時局の關係上日本銀行として重大なる職務の一は國債の引受並に其の消化である、今後國庫支出の増加、生産資金の供給等に依り民間資金は自ら豊富となり金融機關其他一般國民の國債應募力は著しく増加する事は疑ひない所であるから國債の消化に對しては左程懸念すべきものがないと信じて居る、然し何分にも短期間に多額の國債發行を必要とするから、現下時局の重大性に鑑み各種金融機關は固より國民舉つて國債の消化に一層協力されん事を切望する

△日本銀行は時局に對處して、資金の疏通並に公債引受に當り専ら金融の圓滑を圖るに遺憾なきを期して居るが此等の方面の實行に當つては通貨價值の安定を等閑にすべからざる事が當然のことである、國庫計畫に伴ふ巨額の費用に當つては事變に依る巨額の軍費を賄つて尙且つ國際收支尻を惡化せしめず物價を暴騰せしめぬところに苦心の存するものがあるのである

△貿易の現状を觀るに年初來時局に緊切なる物資の輸入増大に加へて見越輸入等に因り入超額の増加著しきものがあり正貨の現送は既に異常の額に達して居る、而かも事變の擴大は勢ひ所要物資輸入の増大を導く状態にあるものと察せられるので此際物資供給の均衡を確保し同時に國際收支の適合を圖り爲す水準の維持を期することが緊要で之が實現は一に朝野一致の協力に依つて外はない

△臨時資金調整法の趣旨とするところは

當に不急要なる事業の計畫及び之れに要する資金等の調整に存するのみではなく寧ろ時局に緊要なる事業の充實發展を期す之が金融の疏通に便らしむるものである、従つて金融の調整は生産擴充の手段で事業の統制も亦生産擴充の手段であつて生産の爲めにする企業創意を損傷せしめぬことが肝要である、企業の創意は自主的活動に胚胎するが經濟統制は寧ろ之を助長すべく徒らに之を抑制すべきではない、唯産業全局の綜合目標に對して統制を加ふべきものと信ずる

資金調整法勅令案成る

【九・三】臨時資金調整法に關する施行勅令案は廿一日の閣議に諮り同日閣議される第一回臨時資金調整委員會に於て資金調整に關する原則的具體案が決定され次第即日公布の運びとなるが右勅令案においては臨時資金調整法第八條(株金全額拂込前)と雖も其の資本を増加することを得)及び第九條(商法第二百條の規定に依る制限を超えて社債を募集することを得、但し社債の總額は拂込みたる株金額の二倍を超ゆることを得ず)に該當する命令の定むる時局に緊急なる事業を左の十種に限定された

- 航空機製造工業、金屬工作機械製造業、兵器及び同部品製造工業、鋼船製造事業、製鐵事業、産金事業、石炭鑛業、石油工業、石油精製業、石油輸入業、貯油業務に基く場合のみに限る)

各團體資金調整に協力

▲手形交換所協力決議(九・三) 臨時全國手形交換所聯合大會は十三日午後五時半より丸の内東京銀行集會所に開催先づ左記決議を滿場一致執行決議を滿場一致執行決議を代表して挨拶を執行次第で近衛首相賀屋藏相及び結城日銀總裁より夫々復説

あり午後八時過ぎ散會した

△決議

手形交換所所屬銀行は臨時資金調整法の趣旨に従ひ日本銀行と協力して圓滑なる自治的調整をなし以て時局に善處せんことを期す

右決議す

▲信託協會協力決議(九・三) 信託協會臨時總會は十四日東京會館に開催臨時資金調整法に對する協力申合せに決議を行ひ次いで賀屋藏相、結城日銀總裁より十三日手形交換所聯合大會に於て爲したと同様の演説を行つた

▲産組金融統制團組織(九・三) 臨時資金調整法の實施に當り産業組合中央金庫及道府縣信用組合聯合會は十四日午後二時より有樂町中金ゼルに道府縣信託協會長會議を開催協議の結果、臨時資金調整法の趣旨を體し兩團體共同して「産業組合金融統制團」を組織し以て同法第三條の資金運用に關する自治的調整を爲すことに決定した

- 一 臨時資金調整法の趣旨に基き資金使用の自治的調整を萬全ならしむるに必要なる事業を爲すこと
- 二 産業組合金融の整備擴充に必要な事業を爲すこと(同團規約第三條)を目的として居るが將來は之を恒久的統制機關たらしめる方針である
- ▲産組事業公債買入(九・三) 産業組合中央金庫と道府縣信託との産組金融統制團組織に關する協議會第二回は十五日午前開催先づ自治調整の具體の方策を協議の後事業公債二、三千萬圓を第一回分として日銀より買入れることに決定した

▲地方銀行協會自整決議(九・三) 全國地方銀行協會では十六日午前十時より丸の内銀行集會所に總會に代るべき理事、監事會を開き臨時資金調整法に協力方を表示し左の決議文を大藏省に提示した

△決議

全國地方銀行協會加盟銀行は臨時資金調整法の趣旨に遵ひ日本銀行本支店を中心として自治的調整を遂行し協力一致時局に善處せんことを期す

右決議す

▲生保、火保協會自整決議(九・三) 大藏商工兩省では十六日丸の内生保協會に生保協會並に火保協會加盟の生保、損保各社代表を招致して協議會を開催當局側より臨時資金調整法の内容並にその運用方針に關し説明を行ひ兩協會の資金運用に關する自主的調整の實行を求めたるに對し兩協會共政府の方針に協力する旨決議並に申合せを滿場一致可決した

▲資金自整銀行團組織(九・三) 日銀本店所管區域に本店を有する普通銀行六十五行は十七日午後銀行集會所に理事會を開催日銀の轉換によつて「東京地方資金自治調整銀行團」を結成政府の調整法實施の主旨を體して之に協力する旨の上申書した、なほ日銀大阪支店管轄區域内廿五行の各銀行代表者は十七日、日銀大阪支店に參集、協議の結果大阪地方資金自治調整銀行團の設立を決定した

▲貯銀協會も自整決議(九・三) 貯銀協會では臨時資金調整法の運用に關し協議の爲め十七日銀行集會所に總會に代るべき理事監事會を開催左記の決議を滿場一致可決した

△決議

臨時資金調整法の實施せらるるに當り全國貯蓄銀行協會各員銀行は政府の施設に順應し立法の本旨に則り一致協力自治的に調整を遂行し以て時局に對處せんことを期す

金融

日銀米券七千萬圓買戻

【九・三】五毛臺の安値を出現して變動的緩慢情態にある短資市場の現情に鑑み日銀では十三日晝に預金部へ賣却した米券二億國中七千萬圓を買戻し市中の買求めに應じた結果市場の遊資は競つて米券に買向ひ約五千萬圓の賣行を見せるに至つた、然して右五千萬圓近くの資金が市場から引上げられたに拘られ當日の市場は協定資金の需要が若干見られた程度で依然協定外資金によつて賄はれ氣配軟調を辿つてゐるので十五日の第一回北支事變公債の拂込約四千五百萬圓も容易に消化される見透しがづくに至つた尚預金部が米券賣却によつて得た七千萬圓は與銀を通じて軍需工業方面に撒布され一方政府の支拂も順調に進行してゐる

日本銀行週報(一)

【九・三】日本銀行調査九月五日より十一日に至る兌換券發行高平均左の如し(單位千圓)

發行高	一、四七、九六	前週
正負準備	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇
保證準備	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇

日本銀行週報(二)

【九・三】九月十一日現在日銀營業報告左の如し(單位千圓)

負債の部	一、〇七、〇〇〇	前週末
資本金	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇
積立金及損益金	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇
發行兌換銀行券	一、〇七、〇〇〇	一、〇七、〇〇〇

政府預金	三、七、七六	三、七、七六
政府當座	三、七、七六	三、七、七六
其 他	一、〇、〇三	一、〇、〇三
一般預金	一、四、一八	一、四、一八
小額紙幣準備寄託金	一、〇、六五	一、〇、六五
其 他	四、八、二〇	四、八、二〇
合計	二、六、九六	二、六、九六

△資産の部		
拂込未済資本金	一、五、〇〇〇	一、五、〇〇〇
現金及地金	八、八、七〇	八、八、七〇
金貨及地金	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇
其 他	四、一、一〇	四、一、一〇
割引手形	五、三、四〇	五、三、四〇
一時貸金	三、三、七六	三、三、七六
貸付金	二、七、四四	二、七、四四
外國爲替	二、三、三六	二、三、三六
公 債	五、六、三〇	五、六、三〇
代理店勘定	一、六、三六	一、六、三六
政府勘定	一、六、三六	一、六、三六
特殊現金	一、六、三六	一、六、三六
小額紙幣準備保管金	一、〇、六五	一、〇、六五
其 他	三、三、六六	三、三、六六
合計	二、六、九六	二、六、九六

政府預金一般預金増加 【九・三】十一日現在の日銀週報に於ける主要變化左の如し

△負債側定 一 政府當座は前週比千五百六十四萬三千圓を増加して二億二千三百七十五萬四千圓となつたがこれは前週末日銀が預金部へ賣却した米券七千萬圓を肩替りし同額の政府預金増となつたが一方軍需工業關係方面への政府支拂進行し差引如上の増加となつたものである

一 一般預金は政府日銀の緩和對策に平靜化した短資市場を反映して七千四百

三十九萬八千圓を増加して一億四千百廿五萬圓となつた

一 割引手形は市場軟化を映じて一般には返却進行しつゝあるが一方與銀を通じて行はれた時局産業への社債前貸金が引續いて行はれたため差引前週比二千六百十九萬七千圓の増加となり五億三千三百四十四萬圓となつた

一 外國爲替貸金は爲替銀行筋のコール吸収が依然行はれず資金を専ら外爲資金に仰いでゐるため千六百廿四萬四千圓を増加して一億三千三百卅七萬八千圓となつた

一 公債は前週比四千三百卅四萬一千圓を減少して五億九千六百廿九萬圓となつたがこれは預金部よりした米券が市中に賣却され一方三分半公債が官廳筋へ若干の賣行を見せたためである

中金貸出歩合攝盛

【九四】産業組合中央金庫では十四日午前十時有樂町中金ビルに評議員會を開催昭和十二年後半期貸出最高歩合の件(前期據置)を左の如く可決した

- 一 定期貸付
(イ) 證據貸付 年 五分八厘以内
(ロ) 手形貸付 日歩一錢五厘以内
二 年賦貸付 年 五分九厘以内
三 手形割引 日歩一錢五厘以内
四 當座預金貸越 日歩一錢六厘以内
五 短期貸付 日歩一錢六厘以内

郵貯卅六億圓突破

【九五】逓信省發表表に郵貯は昨年來順に増勢を加へ同年中に於て二億四千五萬餘圓を増し本年に入つても益々増加の好調を測りその結果本年六月十九日に至り已に早くも卅五億圓突破の旺んな勢を呈したのであつたが其後僅々三ヶ月を出でずして今又更に一億を加へ十六日卅六億圓

突破の新記録を作るに至つた、而して本年に入つてからの増加の顯著であることは一月以降九月十六日に於ける昨年と今年と同期間の増加額を比較すれば明瞭である、即ち

五圓増
本年 二億四千七百四十七萬九千六百五十六圓増

【九六】本年は昨年よりも一千八百五十二萬四千四百五十一圓多い、斯く増勢の顯著なるは近時に於ける工業界の活況を呈せることもさることながら昨年に於ける米商の好況が郵貯に反映し殊に本年に於ける春闘の一層好調であつたことは最近の郵貯増力に拍車をかけたものと思はれるが尙この外に非常時局に對する一般人心の緊張味も看過せぬ原因の一つかと思はれる

八月末現在信託財産

【九七】信託協會調査日八月末現在に於ける全國信託會社信託財産調査の如し(單位千圓、△印減)

Table with columns for investment types (e.g., 投資有價證券, 諸貸附金) and values for August and previous month.

興銀鮮内金融緩和乘出

【九八】朝鮮における時局産業資金需要増加に依る金融緩和策打開策に就いては去る十四日大藏省、鮮銀、殖産、東拓、對滿事務局各首脳部協議の結果積極的緩和作業實施に關し意見の一致を見た、よつて之が具體的方法として鮮銀は島内の米

穀資金を中心とする短期貸付に對しては積極的支援の方針を決めたが他面殖産、東拓等の社債引受けに依る長期金融に就いては發券銀行としての立場上難色のある處から興銀を通じて之が融資の途を講ずることに決定した

鮮滿拓殖シシケル成立

【九九】興銀ではかねて鮮滿拓殖會社に對する社債引受シシケルの結成を鮮銀、第一、三井、住友各銀行に對し德澤中であつたが十七日に興銀を加へた前記各行で別にシシケルを結成第一四分として一千萬圓を社債前貸の形式で貸付けることに決定を見た

滿炭シシケル結成

【一〇〇】對滿投資統制機關設置の要望は豫てより各方面の議に上つてあつたが支那の意味から急速に具體化し興銀では先づ第一に滿洲五ヶ年計畫の核心をなす滿洲炭礦會社に對するシシケル結成を幹旋すべく十七日午後二時滿炭シシケル(興銀、正金、鮮銀、第一、三井、三井、安田、第一、住友、三井、野村各銀行、三井、三井、住友、安田各信託)各代表者の參集を求め目下京中の清炭理事長河本大作氏より同社の現況、將來の資金計畫等につき説明を求め意見交換の結果滿炭シシケルと同一メンバーで滿炭のシシケルを結成することに決定した、同社に對する第一回融資は先づ本年度專業資金一千萬圓を社債前貸の形式で來月初旬實行されるが右割當は興銀三百萬圓、其他十行、四信託各五十萬圓宛合計七百萬圓、利子は日歩一錢二厘五毛見當と決定した、尙ほ今後の計畫に要する資金四千萬圓についてもシシケルに必要に應じ隨時融資する旨を表明した、而して興銀としては今後とも對滿投資統制の

見地より在滿洲の有力會社については右と同様のシシケル結成を幹旋し滿洲に於ける産業開發に積極的援助をなす方針を持してゐるので從來兎角濫濫勝勝であつた對滿投資もこれを契機として今後急速に進捗するものと期待せられるに至つた

八月末全國組合銀行動定

【一〇一】東京手形交換所調査日本八月末全國組合銀行諸動定左の如し(單位千圓△印減)

Table with columns for financial indicators (e.g., 預金, 當座, 特當, 定期, 通知, 諸預, 合計) and values for August and previous month.

日銀利下げ

【一〇二】日銀は廿日左の如く利下げを發表した

當座貸越及コルレスボンデンス貸越利率日歩一厘引下げの一錢一厘以上とし九月廿一日より實施
日銀當局談 日銀は疊に國債擔保貸付最低利率を日歩九厘にまた當座貸越及コルレスボンデンス貸越利率を日歩一錢二厘に引下げ去る七月十五日より實

施したがその結果右兩利率の引きは三厘となつてゐた、然るに當座貸越及コルレスボンデンス貸越は同じく國債を擔保とするものであり、従つて兩者の引き三厘は多きに過ぎるので今回當座貸越及コルレスボンデンス貸越利率の日歩一厘方再引下げを實行して兩者の開きを二厘に縮小したものである

日銀當座貸越限度擴張

【一〇三】日銀では廿一日から當座貸越利率の引下げを行ふが更に從來の貸越限度を市中銀行の希望に應じ擴張することに各取引銀行に右の旨を傳達した、而して既に右希望を申出でてゐた向に對しては貸越限度の擴張を認めその額は從來の五倍に達するものもあつた、これは單に利下げに止まらず貸越限度を擴張することにより從來利用の少なかつた當座貸越を通じて日銀が積極的に市中銀行との關聯緊密化に乘出したものとして注目してゐる

産 業

米七十萬石買換

【一〇四】農林省では去る八月廿一日の米穀統制委員會で承認を得た政府所有米百五十萬石買換の内今左記の要綱により米穀の買換を行ふことに決定發表した

- 一 賣却豫定數量約七十萬石
一 賣却米並に昭和八年産の朝鮮米
一 賣却の時期九月廿日
石炭増産計畫成る
【一〇五】商工省では石炭の増産計畫に關し當業者に諮問して原案作成中であつたがこのほど成案を得た、同案によれば五ヶ年後に内地、朝鮮、樺太合計して年産七千五百萬噸(現在約四千萬噸)に達せ

しめんとするもので補助金等による奨励策は採らない方針であるが、業者側の協力によつて充分實現の見込みありとなしてゐる

關東鋼材建値掲置

【九二】關東鋼材では十一日理事會を開き十月十一月渡し建値に就き協議の結果丸鋼ベース物種當り百九十五圓据置引受數量は六千噸と決定した

全購聯倍額増資

【九二】全購聯では来る廿四日開催予定の第十五回通常總代會を来る廿九日に延期同總會に定款變更の件を上げ懸案の倍額増資を斷行することとなつた、即ち右の増資案は出資一口五百圓(定款第十一條)を倍額の一千圓として現在出資金四百五十萬圓(内拂込三百廿萬圓)を倍額増資すると共に餘裕ある所屬聯合會及所屬組合に對しては増口を求め一千萬圓以上に増資せんとするものである

一日現在米穀現在高

【九三】農林省發表昭和十二年九月一日現在内地に於ける米穀現在高は總數量一千六百十萬一千七百三十二石にして之を前年同期の一千五百七十一萬一千五百六十四石に比すれば卅九萬六千八百八十八石即ち約二分の増加を示せり(單位石△印は減)

Table with 2 columns: Location (e.g., 内地米, 朝鮮米, 臺灣米) and Price/Change (e.g., 一五三.三六, 一五三.三六)

Table with 3 columns: Location (e.g., 埼玉, 新潟, 石川), Price, and Change (e.g., 三六.八二, △二.三六)

Table with 3 columns: Location (e.g., 鳥取, 島根, 廣島), Price, and Change (e.g., 一四.四三, △七.九)

八月中米穀需給實績

【九三】九月一日現在における内地米穀現在高を基礎として八月中における需給實績を見れば左の如く消費高六百三十八萬六千石に上り前年同期に比し廿萬六千石の増加を示し、例年の消費減退期にかく同期間の新記録を實現するに至つたのは事變關係と府米の拂込に基くものと觀測される(單位千石)

Table with 3 columns: Category (e.g., 八月一日現在, 輸入, 輸出), Price, and Change (e.g., 二二, 七四四, 三三八)

端増期過剩米皆無
【九三】農林省發表九月一日の米穀現在高を基礎として本米穀年度中(九月、十月)の需給推算を行へば十月末に於ける端増期持越高は八百三十六萬石となり理想持越高を八百萬石と押へれば過剩米殆ど皆無となる、從つて明年度の米穀事情は一に今後の天候如何と軍用米買入によ

Table with 3 columns: Category (e.g., 合計, 輸入, 輸出), Price, and Change (e.g., 一六, 一〇二, 六, 三三八)

る政府の臨時應急措置法の運用如何とに懸つて居る(單位千石)

Table with 3 columns: Category (e.g., 朝鮮より, 臺灣より), Price, and Change (e.g., 一, 〇〇〇, 九七〇)

夏秋蠶繭稼立減少

【九三】農林省發表昭和十二年九月一日現在に於ける夏秋蠶繭稼立數量は總數七千六百九十一萬七百七グラム

Table with 3 columns: Category (e.g., 百種, 七種), Price, and Change (e.g., 七千六百八十三萬五千七グラム)

生糸標準價格の規準
【九三】四月一日實施の糸價安定施設法による生糸標準賣價價格及標準買入價格を決定するため農林省では来る十八日第一回糸價安定委員會を開催するがこの標準價格は決定の日より明年五月卅一日迄同法運用の基準となるべきもので大體左の如き方法に準據して決定される

Table with 3 columns: Year (e.g., 昭和七年, 昭和八年), Price, and Change (e.g., 八八, 九二三, 四四)

鋼材半製品共販創立
【九三】豫てより設立計畫中の鋼材半製品共販組合は十三日午後一時丸の内會館で創立總會を開き創立に關する手續を完了したる後左の諸項を決定した

洋灰限産率二分擴張
【九三】洋灰聯合會では十六日の定例理事會で次期十、十一月の限産率につき協議した結果現行率六割を更に二分擴張し六割二分と決定引續き總會を開きこれを正式決定した、擴張理由は冬期の季節的需給關係と時局關係から建築、土木事業が停頓し最近セメントの出荷減速せることによるもので昨年十二月一日本年二月の限産率六割三分を頂點とし其の後漸次緩和されてきたセメント限産率は此處に再び奮勵に遊戻りした

Table with 3 columns: Item (e.g., 役員は理事長として), Price, and Change (e.g., 一役員は理事長として)

倍数は委員會で決定)を基礎として爲替相場及運送費を參酌して一定の價格を算出する

二 次に本年二月より七月までの平均物價參酌値八百廿二圓廿四錢の上値三割(千六百八十八圓九十一錢)と上値四割(千七百五十一圓十四錢)の範圍内で農林大臣が適當と認むる價格を決定する

三 然る後この一と二の兩價格の範圍内で委員會が標準買入價格を決定する

△買入價格  
買入價格の公定は異常なる匯率價の低落から養蠶業者を破局に陥れるが如き事態を防止するため

一 先づ繭生産費中現金支出額に自給費の一定割合の金額を加へて算出した價格を定める

二 次に前記物價參酌値の下値三割(五百七十五圓五十七錢)と下値四割(四百九十三圓卅四錢)の間で農林大臣の適當と認むる價格を定める

三 然る後この一と二の兩價格の範圍内で委員會が標準買入價格を決定する

尙ほ標準價格は百十四円D格の生糸に付公定されるものである

代用品獎勵官民協議會

【九・七】輸入制限を受ける物資の代用品獎勵に關する商工省主催官民協議會は十七日開催商工省、陸海軍、農林、逓信各省關係官、民間側各専門家等出席する代用品として

- 一 ステープルファイバー(棉花、羊毛の代用品)
- 二 再生ゴム(生ゴムの代用品)
- 三 硝酸アンモン(硫酸の代用品)
- 四 擬革、水産動物の皮革(皮革の代用品)

品)  
五 アルミニウム(鋼の代用品)  
六 合成油(純縁油の代用品)  
等を探り上げ價格、品質、製造方法の改善策並に政府の獎勵方法等に關して種々協議を行つた、而して商工省ではこの協議を機として今後代用品の品質改善や工業化に積極的に乗出す方針であるがその具體案としては

一 代用品の研究團體に助成金を交付する  
二 既に相當工業化せるものについては免稅などの方法を講ずる  
三 必要があれば半官半民の新會社を設立し之に相當の補助を行ふ  
等の方法を行ふべく各品目について研究を進める方針である

世界製船噸數激減  
【九・七】日本船主協會調査による八月十日現在世界製船噸數は世界的船腹不足と集荷激増の影響を如實に反映し遂に二百萬噸を割り百七十三萬三千噸となつた、即ち前月(七月十日現在)に比較すれば四十三萬三千噸減少し各國別によればアメリカ三十一萬四千噸、イギリス四萬噸、スウェーデン二萬三千噸、フランス四千噸、オランダ二千噸その他諸國五萬噸減少を示してゐる、各國製船噸數左の如し(單位千總噸)

イギリス	九七
アメリカ	一一、二一四
日本	一四
ノルウェー	八
ドイツ	四二
イタリ	三二
フランス	一一一
オランダ	〇
關領印度	一
スウェーデン	一七

ギリシヤ 一〇三  
デンマーク 五  
その他諸國 五〇  
合計 一七三三  
臺灣在米高  
【九・八】總督府殖産局發表に九月一日臺灣米穀現在高は總數百六十四萬四千三百五十四石なり

十一月度重要産額  
【九・八】商工省發表昭和十一年産額及價格左の如し(單位千五、千圓△印減)

産種	昭和十一年	前年度
鐵	數量 昭十一年 比較増減	價格 昭十一年 比較増減
金	三、二九	七、七〇
銅	七、九七	六、七〇
錫	一、八七	一、四〇
亜鉛	一、八七	一、四〇
洗鐵	一、八七	一、四〇
鐵合金	一、八七	一、四〇
鋼	一、八七	一、四〇
鋼鐵	一、八七	一、四〇
硫化鐵	一、八七	一、四〇
鐵	一、八七	一、四〇
石炭	一、八七	一、四〇
石油	一、八七	一、四〇
瓦斯(百立方米)	一、八七	一、四〇
硫磺	一、八七	一、四〇
硫酸	一、八七	一、四〇
硫酸銅	一、八七	一、四〇

人絹布滞荷対策

【九・八】人絹工聯では十八日理事、監事統制委員の合同協議會を開催人絹布滞荷対策を左の如く決定した

- 一 十月割當分より減産したるものに對し各品種一率に一匹當り六十錢の補償料を支給すること
- 一 但し休機或は轉機により比率更改期

たる七月以降現在迄織布せざるものに對しては支給せず  
一 右補償金は人絹工聯の剩餘金より十五萬圓(五十萬反分の豫算を以て支出するものであるが、若し豫定數量に達せざる場合はその殘餘額を十一月分に對して振向けること

なほ合同協議會後統制委員會を開き十二月分割當につき協議の結果十一月分同様二百廿萬三千反と決定した

生糸標準價格決定  
【九・八】糸價安定施設法による最高、最低價格を決定す可き糸價安定委員會は十八日午前十一時より農相官邸に開催左記事項を答申決定した

一 昭和十二年生糸年度に於ける標準賣渡價格は「九五〇圓」及標準買入價格は「五二〇圓」を決定せり

二 標準賣渡價格の決定に用ふ可き競争織維の一定倍數は之を三倍とすること  
三 標準買入價格の決定に用ふ可き繭生産費中に於ける自給費の割合は之を五割とする

▲標準價格決定事情(九・八) 糸價安定委員會會後田淵製糸局長は標準價格の算出基礎に關し左の如く説明した

繭生産費は昭和八年に於て實施したる養蠶費調査中の繭生産費に基き現在の購買率に依り算出することとし自給費の五割に相當する金額を現金支出額に加算したる金額は三圓十二錢七厘となり、又生糸の製造販賣費は製糸業法に依り提出せられたる昭和十年生糸年度の事業概況書中の生糸の製造販賣費に基き現在の購買率に依り算出し之を百廿九圓九十五錢とせり、而して之に基きて算出したる生糸の價格五百二圓卅一錢と物價參酌値八百廿二圓廿四錢の下値三割五分の五百卅四圓四十六錢と

を參酌して標準買入價格を五百廿圓と決定せり、次に標準賣渡價格は人造絹糸の三倍に相當する價格八百卅六圓五十八錢と物價參酌値の上値三割千六百八十八圓九十一錢とを參酌して之を九百五十八圓と決定せり

綿製品價格を自治統制  
【九・三】棉花の輸入制限に伴ひ綿糸、綿織物、綿雜品等綿製品全般に亘つて價格昂騰を來す懼れがあるので商工省では其の對策に苦慮してゐるが廿日吉野商相は綿工聯の三輪理事長外各理事、メリヤス工業組合聯合會、タオル工業組合聯合會の代表者を商相官邸に招致し綿製品の價格抑制案につき協議を行つた、即ち吉野商相より綿製品は重要輸出品であり價格が暴騰する如きことがあれば輸出に悪影響を及ぼすから業者各自に於て抑制し重要品目については抑值段の最高價格を決定する等の方法を探られたいと希望し之に對して業者側は政府の方針に協力し自主的統制を行ふことを約した

通商貿易

棉花輸入制限具體化  
【九・四】商工省では近日中に輸出入品臨時措置法に關する省令を公布して棉花、羊毛、木材等の輸入制限を實施するが吉野商相は先づ棉花の輸入制限につき業者側の意見聴診のため十四日午後四時紡聯並に棉花同業會代表を商相官邸に招致し輸入制限の止むなきに至つた事情を説明し業者側に於て事情を考慮の上明年二月以降一年間の棉花需要數量見積及び輸入棉花の配給方法等につき具體案を作成し答申された旨要請した

八月中对滿支貿易  
【九・四】大藏省發表に八月中の滿洲國、

關東州、中華民國及香港貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出	八月	前年同期
輸入	八月	前年同期
合計	八月	前年同期

尙一月以降累計左の如し(單位千圓)

輸出	本年	前年
輸入	本年	前年
合計	本年	前年

重要品輸出入額

【九・三】大藏省發表九月中旬に於ける重要品輸出入額左の如し(單位千圓、△印減)

輸出	九月中旬	前月對比
輸入	九月中旬	前月對比

地方別内譯

關東州	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期

△輸出

滿洲國	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期

△輸入

滿洲國	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期
關東州	八月	前年同期

中甸對外貿易

【九・三】大藏省發表九月中旬對外貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出	九月中旬	前月
輸入	九月中旬	前月

油類

小麥	八月	前月
砂糖	八月	前月
其他	八月	前月

輸出入三品發表取止め

【九・三】大藏省は茲に九月上旬貿易旬報より重要輸出入品中輸出四品、輸入四品計八品目の各内譯金額發表を取止めたが之に續いて更に二十日發表の九月中旬貿易旬報から

棉花新規買入の停止解除

【九・三】紡績聯合會と棉花同業會との申合により棉花の新規買入は去る十日より二十日まで停止されてゐたが五千萬圓の輸入許可棉花(九月横一千萬圓十月横三千万圓十一月横一千万圓)の處分方法も目安がついたのでこれを打ち切り買入の程度双方届け出る事となつた

日蒙通商不振

【九・三】昨年末成立を見た日蒙通商取極めは本年一月より實施されたが其後最近までの實績は七月末迄は蒙毛買付量か約卅萬條に達したるに對して我が綿布、人絹布の對蒙輸出は頗る不振を示し左の如く本年末迄に至る第一期輸出割當量の半ば

北支向け輸出貨物動向

【九・三】支那事變勃發により中絶状態にあつた對支貿易は最近事變の進展に伴ふ北支各地の秩序回復に依り俄然好轉の曙光を見せ最近においては戰禍による杜絶物資の補給及び經濟機構の再建設に伴ふ諸物資をトランプとして俄然急速な荷動きを見せるに至つた、即ち神戸税關調査によれば今月中旬頃より對支貿易は再び復活昨今に至つて一日當り平均約七八萬圓程度の輸出ありこれが常態の約廿萬圓に比すればその半額に接近した譯であるが

八月の内外卸賣物價

【九・三】日銀調査本年八月中の内外卸賣物價指數(巴里のみは七月)左の如し(大正三年七月基準)△印低落

東京小賣物價續騰

【九・三】日本銀行調査前月九厘方騰賣した東京小賣物價指數は本月一七・六と更に二分一厘方の顯著なる騰勢を示した、前年同月に比較すると一割一分一厘方の昂騰である、商品別に本月の騰漲状態を觀るに小麦粉、小豆、蠶葉等が低落を示したが野菜、魚類等が入荷薄の爲め昂騰したるをはじめ服飾品類、酸炭等亦卸賣に追隨騰調を呈した、調査品目自品中騰漲品目並に類別指數は次の如くである(大正三年七月基準)

類別	九月	前月比	前年同月比
食料品	一九・七	二・九	一九・〇
(四二品)	一九・七	二・九	一九・〇
燃料	一九・七	二・九	一九・〇
日用品	一九・七	二・九	一九・〇
服飾品	一九・七	二・九	一九・〇
其他	一九・七	二・九	一九・〇
(三三品)	一九・七	二・九	一九・〇
總平均	一九・七	二・九	一九・〇
(一〇〇品)	一九・七	二・九	一九・〇

商況

棉花清算取引を自制

【九二〇】紡績聯合會及び棉花同業會では棉花五千萬圓の輸入爲替許可に對する政府の示せる條件に基きこれを三品市場に緊くことを自制する方針を決定なほ更に左の如き申合せをなしこれが完璧を期することとなつた

一 紡績聯合會及び棉花同業會では三品取引所の棉花を引取らないこと  
一 第三者にして市中において棉花を買ふ場合には右兩國國の承認を得ること

日伊防共協定説に株式活況

【九二一】生保筋及び投資會社の買出動と政府の金融對策に依つて漸次買込みの修正を爲しつゝあつた矢先休日明け十三日の市場は日伊防共協定成立近きを傳へられる一方戰況の益々有利展開から戰勝相場出現期待の人氣も可成濃化して第二段の踏み上げ相場を現はし主力株短期新東三圓方以下様變り商狀となり人氣硬化した

勸業債券友誼

【九二二】關東債券現物團定例交換會は十四日立會つたが戰勝氣分から環壇諸市場が一齊好轉したので一齊に昂騰し三五十線方の値上りを見た、但し四分利物のみは線上方値違物が二、三十錢高乍らその他は前回の協定値より三、四十錢方下廻り十圓臺を割込むに至つた

堂島の當限解合成立

【九二三】堂島市場の買方馬鹿を中心とする東京筋と賣方潮光、潮政、木村(以上地場)谷上(正米筋)信州筋(來客大手)との間で十四日夜來折衝中であつた當限の合意解合成は堂米取引員組合委員の斡

旋で十五日前成立を見た、解合總石數は七萬石で解合値段は内二萬石は馬鹿一本で十四日前後相場平均値卅四圓九錢、五萬石は馬鹿と東京筋の聯合玉で卅四圓卅錢である

九月初有價證券時價總額

【九二四】東株取引所調査員九月初現在の全國有價證券時價總額は左の如し(單位百萬圓)

株式	二二,〇四一
債券	一九,九六六
内 債	九,四六四
國 債	二,三三六
地方債	五,〇五五
社 債	三,一一一
外 債	四三,〇〇七
合 計	四三,〇〇七

尙當月現在に於ける株式拂込金額及債券未償還額を標準として次の各期との値上り値下り額を推定すれば左の如し

昭和三年七月に比し	減 七一一
同 五年十月	増 一一,一七四
同 六年十一月	増 一一,七五五
同 九年四月	減 二,四二六
同 十一年三月	減 六九〇
同 十二年八月	減 三,〇八六

東株短期證據金引下

【九二五】東株短期取引員組合では十六日委員會を開き短期相場銘柄新東以下十六種の委託本證據金定率を(國防新舊は十六圓)二圓乃至四圓方引下げに決定十八日より實施した

長期委託證據金引下

【九二六】東株長期取引員組合では十七日委員會を開き東株外八十二種の長期委託本證據金定率を二圓乃至十二圓方引下げ來る廿日より實施した

鋼建値新安値

【九二七】産鋼水曜會では十七日鋼建値を百キロにつき三圓十錢方大中引下げ百十九圓四十錢と百廿圓臺を割込む本年二月以來の安値に改訂した、右は同日入電のニューヨーク鋼輸出相場が生産の漸増に需要伴はざるため四十ポインツ方暴落して十三仙廿五を報じたためである

棉花四月限も立會停止

【九二八】大阪三品取引所では廿日午前十一時から各部聯合商議會を開き協議の結果果現下の情勢に鑑み棉花清算四月限立會中止を決定した

人事

日銀人事異動

【九二九】日本銀行では十七日附を以て株式局長安倍四郎氏停年退職に伴ふ人事異動を左の如く發表した

- 株式局長 安倍 四郎
- 停年退職 審査部長 杉浦 晴作
- 特別調通整理部長兼務 命 特別調通整理部長 柏木 純一
- 命 株式局長 島居氏日銀理事に選任

島居氏日銀理事に選任

【九三〇】日本銀行は廿日午後臨時株主總會を開き補選に選任した堀越理事の補缺の爲め理事候補者二名の選挙を行つた結果島居庄藏及菊池恭三の兩氏當選した、尙右理事候補者二名中現營業局長島居庄藏氏が理事に近く任命を見、後任營業局長は現名古屋支店長武井理三郎氏が就任に内定した

◎各國の戰爭自給資源

【ワシントン發同盟郵便】米國陸軍豫備主計大佐 J.A.ワグナー氏は「主計評論誌」上に世界列強が戰爭の際に自給し得る主要金屬資源廿四種を次の如く計算發表して居る

米 國	一三,二五〇〇
ドイツ	六,一〇〇
フランス	五,三三七
ソヴェト聯邦	四,四九五
英 國	四,五〇〇
日 本	一,九二一
日 本	一,七七

一 然して各國ともマンガンを充分に貯蔵しなければならぬが米國は少くとも百五十萬噸を保障する必要がある

一 米國は他國の援助無しに一國のみで戰爭を行ふに耐へる資源を有してゐる、然も一旦戰爭のある場合に自給に南米の豊富な資源に頼る事が出来る

◎ソ聯の大學卒業生

【モスクワ發同盟郵便】ソヴェト政府はその社會主義建設計畫の有能な指導者を多數養成するため教育の普及に力を盡してゐるが一九三七年度の大學卒業生は九萬人以上に達した

これを一九三五年の七萬五千人、一九三四年度の三萬八千人に比較すればその異常な躍進進歩が肯かされる、尙此のうちに礦物學、化學、電氣學、建築學等を専攻した技術家系統の卒業生が二萬二千百廿人上つてゐるのを見てソヴェト政府の教育方針が奈邊に在るか判る

◎ガンヂー衰弱加はる

【ボンベイ發同盟郵便】「消極的抵抗」なる武器を掲げて印度民衆のため

めに英國政府と執拗な抗爭を續けた「聖雄」ガンヂー氏は昨年運動の第一線から引退後ゼヤワハラル、ネールに引退して昨今は側面から印度國民運動の援助を試みて居たが最近頗る衰弱が加はり主治醫から「絶対靜養」を勧告された、主治醫の語る所によると最近數週間ガンヂーの血壓は非常に高く然も依然として粗食に甘んじて居るため榮養も充分でなく老衰の加はり方が甚しいといふ

◎殺された世界の探検

【ワシントン發同盟郵便】アリゾナ州のグラント・キヤニオン國立公園内に墜立する空中の島探検隊が組織され、目下その準備に忙殺されて居る

空中島は海拔約七千呎のジヴア臺地の頂點に位する部分の呼稱であるがその名の如く八方が高き數百呎の切り立つた岩壁を以て圍まれ、恰も窓のない塵埃の如く、從來全く人類の近づくを許さなかつた處女地である

頂上は縱横約一哩の臺地で、飛行機から望んだ所によると鬱蒼たる樹木を以て覆はれてゐることだけは認められるが、果して動物が生存するや否やは明かでない

探検の目的は若し動物が棲息する場所、數千年に亘つて他の世界に於て彼等が如何なる進化の跡を示してゐるかを探究する爲で、探検成功の暁、或は現代には全く知られてゐない新動物が発見されるかも知れないといはれる





記念祝賀

滿洲國承認記念祝賀

滿洲國承認記念祝賀
新東京(三) 滿洲國承認記念祝賀會
は十五日正午より宮中に於て取行はれた

賜餐場に臨まれ御會宴後優渥なる御言葉
を賜はつた、之に對し盟邦を代表して植

△本使は去る六月三十日着任以來正義
本の雄々しき姿に直面して感激の裡に

△本使は去る六月三十日着任以來正義
本の雄々しき姿に直面して感激の裡に

き晴の式典場たる大同公園には植田全權
大使張國務總理以下この曠古の盛典に參

岩井、潤敏兩氏御歸滿
大連(三) 千葉歩兵學校並に習志野騎

陸日大使館祝賀

陸日大使館祝賀(九二) 昭和七年九
月十五日友邦滿洲國を承認して以來早

△出征兵士を送らるゝ歡呼の聲を耳にす
る時去る昭和六年滿洲事變に於ける皇

△出征兵士を送らるゝ歡呼の聲を耳にす
る時去る昭和六年滿洲事變に於ける皇

△出征兵士を送らるゝ歡呼の聲を耳にす
る時去る昭和六年滿洲事變に於ける皇

地方行政改革要綱
新東京(二) 滿洲國政府では七月一日を

國都建設記念式

國都建設記念式
新東京(二) 建設省が五年(世紀の驚異)

△本使は去る六月三十日着任以來正義
本の雄々しき姿に直面して感激の裡に

△本使は去る六月三十日着任以來正義
本の雄々しき姿に直面して感激の裡に

△本使は去る六月三十日着任以來正義
本の雄々しき姿に直面して感激の裡に

地方行政改革要綱
新東京(二) 滿洲國政府では七月一日を

して地方行政機構を急速に改革する必要に迫られ目下著々これが準備を進め關係諸法規も既に法制當局の手で審議中近く國務院會議に附議決定の上參議府の諮問を経て十一月頃實施の豫定である、而して各級行政機構改革の要綱は左の如くである。

一 省機構 地方機關の有機的な綜合能力を發揮する爲め地方的中樞機關たるしむに下級行政機構育成の重要機關たるしむこの爲省區劃を合理化し省制、省官制の一歩改正を行ふ。

一 縣機構 現在の暫行辦法による制度を改め縣制、縣官制を初め諸法規を新たに制定する、即ち治外法權撤廢に伴ひ地方制度を確立し特に縣參事官に對し法制上の地位を明確に定める、交通産業の發達と經濟的中心の變動に伴ひ改廢を要すべき縣の設置分合を行ふ。

一 特別市及び普通市機構 特別市は國部のみとし既に實施せられてあるがこれに伴ひ新特別市制を制定す、普通市は附屬地移讓の時は市としての諸條件を具備せる都邑も多數あり、附屬地外主要都市と共に安東、撫順、營口、鞍山、四平街、遼陽、鐵嶺、牡丹江、錦州、佳木斯等に對し新市政を布く、其他興安各省の省並に旗制についても夫々立案し政府は之等實施案の作成に當つては彈力性と伸張性を持たしめ國家經濟と行政との調和に考慮を拂ひ行政の上に當つては飽く迄民意を尊重し地方的漸進主義を以て進む方針である。

郵務關係官渡日  
【九三〇】滿洲國哈爾濱道外郵便局長孔憲剛氏はじめ同國各地郵政官十氏は新京郵政管理局監督處長の案内でわが郵務行政視察の爲廿日午後入京した、廿五日迄東京地方、廿六日以後名古屋大阪廣島の各地を視察の上來月下旬歸國する。

◆ ◆ ◆  
特産取引統制案

大連(九二〇) 滿洲特産の對日輸出は日滿經濟一體の見地からその制限も緩かであるが現在では一部に於て爲替の許可申請を獨占し不當の利益を得んとするものが現はれてゐるのでこれを除去すべく滿洲重要物産組合書記長照井長次郎氏はは理事に該案を遂行し内地特産商の意向を確めんとしてゐる、右は從來の自由競争經濟より急轉回して統制經濟の領域に踏み込んだものとして實現の時は日滿貿易に劃期的な特産取引が行はれることとなり内地側の態度は大いに期待をかけられてゐる。

◆ ◆ ◆  
鮮農入植計畫

奉天(九二〇) 滿鮮拓殖實社では明春を期し安東開島兩省に鮮農移民約一萬戸を入植せしむる事となり目下入植地の選定その他諸般の準備を進めつつあるが来る十月新東京に於て開催の委員會議に於て右に關する具體案を決定した上取り敢へず先遣隊として約一千戸を本年中に前記兩省に入植させる方針である。

◆ ◆ ◆  
ペスト新京に迫る

新京(九二〇) 全滿のペストは一時下火となつた様に見えたが廿日に入り又もや京白線(新京、白城子間)郭爾羅斯前旗、十家子に六名、農安縣一青山屯に十一名の新患者發生し漸次國都新京に迫りつつある、これが爲民政部保健司ではこれが防止のため新京の次驛小合隆送列車乗客の制限區域となし列車内に検疫官を乗せて防疫の萬全を期すこととなつた、尙廿日現在の全滿ペスト患者は百九十八名である。

◆ ◆ ◆  
事變關係

滿洲國政府員等戰死

承德(九二〇) 冀東地區の道路視察を了へ歸國の途にあつた滿洲國交通部道路司地方工事課長江蘇保平、熱河省公署土木課長山岸岸一、同技士佐々木銀根、廣井團湯山西方十二軒の地味で突如約八十名の敗殘兵に襲撃され佐々木、廣井兩氏は他日北平の西北方小湯山の西方山岳地帯に於て江蘇課長一行を襲撃した支那敗殘兵約七百と衝突激戦の結果敵軍は多數の死體を遺棄して大幸營方面に逃走した、國軍は敗殘兵の殲滅を期し急追中である。

小湯山西方の激戦掃蕩

承德(九二〇) 滿洲國軍の〇〇部隊は十一日北平の西北方小湯山の西方山岳地帯に於て江蘇課長一行を襲撃した支那敗殘兵約七百と衝突激戦の結果敵軍は多數の死體を遺棄して大幸營方面に逃走した、國軍は敗殘兵の殲滅を期し急追中である。

懷柔附近激戦掃蕩

新京(九二〇) 滿洲國治安部隊は熱河省境方面に出動しつゝある滿洲國軍步兵第〇團部隊は十二日拂曉懷柔西南方に有力なる敗殘兵侵入しあるを偵知し直ちに出動午前八時頃上庄(懷柔西北約廿キロ)附近において約五六百の敗殘兵を急襲し激戦五時間にして敵に殲滅的打撃を與へこれを西方に潰走せしめたり、本團に於て我が方損害なく鹵獲品多數を得たり敵の戦場に遺棄せる死體約五十

◆ ◆ ◆  
抄を述べた

滿洲里會議停頓

滿洲里(九二〇) 第三次滿蒙滿洲里會議は開會後大體順調に進捗して居たが外蒙首席代表サンボト以下は會議經過の中間報告のため約一ヶ月の豫定で歸國する事となり十四日午前十一時滿洲里發ウランバートルに向つた、從つて會議は約一月休會十月中旬再開の豫定である。

◆ ◆ ◆  
第三次滿洲里會議は外蒙國

主席代表サンボト氏以下委員も十四日引揚げるに至り滿洲國側烏爾圖村兩代表もそれぞれ歸任することとなつたが外蒙側の會議打切りはソ聯の外蒙政策を中心として次第に尖鋭化した外蒙國內の紛争に原因するものと見られ極めて注目されてゐる、即ち同會議に於ける外蒙側代表の態度によるも明瞭である如く現在の外蒙事情に不満を抱いた國內反ソ分子は最近頃にしてその勢力を増し曩にシベリア鐵道内で急死したテムツド陸相もこれ等反ソ分子に暗殺されたものと見られる節ありその他ソ派軍隊の大官の身邊にも危険が迫りつつありと云はれサンボト代表もこれ等親ソ派の一頭目であり彼の歸國は健康上の理由とか又中間報告のためとかいふ表面的理由は兎も角ソ聯當局がサンボト氏を起用して時局の收拾に當らせよといふ肚らしく執れにせよ會議は一ヶ月後に再開されるか否か全く不明で茲許一個挫を來すに至つた。

◆ ◆ ◆  
大谷光昭法主皇軍慰問

齊々哈爾濱(九二〇) 滿支皇軍慰問の西本願寺法主大谷光昭師は牡丹江慰問を終了し十二日午後五時四十五分齊々哈爾濱十三日〇〇本部及び齊々哈爾濱屯各部を歴訪午後四時より西本願寺に於て戰歿將士慰靈祭を執行した。

◆ ◆ ◆  
北滿及び北支第一線の皇軍慰問の旅を終へた西本願寺法主大谷光昭師は十四日新京より奉天に到着した、奉天二泊の上十六日午前八時二十分發日滿連絡機で歸朝する。

◆ ◆ ◆  
衆議院代表 皇軍慰問

團門(九二〇) 衆議院皇軍慰問團一行十二名は北鮮鐵基より十五日午後團門着泊した上、綏芬河、東寧黑河、齊々哈爾濱を視察の上ハルビンに引返して南下新京に向ふ。

◆ ◆ ◆  
衆議院慰問團一行は牡丹江に駐屯各部隊の慰問を終へ十六日夕東部國境綏芬河に到着同地機關長の案内で國境警備狀況を視察しプロコロフの街の灯の明滅するのを展覧しそれより十七日自動車で東寧に至り各機關を訪問して夫夫統後の熱誠を傳へトチカで堅められた蘇聯陣地を指呼の間に穿みその物々しい防備振りを具さに視察した、一行は十八日同日で建國祭式典に參列後再び綏芬河に戻つて一泊十九日牡丹江を経て佳木斯に至り更に黑河方面の皇軍慰問に向ふ。

◆ ◆ ◆  
支那官憲邦人を選捕

大連(九二〇) 神戸藤井商會所有貨物船萬幸號(六〇〇噸) 船長乗石繁太郎(四〇)氏は去る八月十三日朝揚子江沿岸蕪湖を出發十四日朝鎮江に赴く途中に於て支那官憲に軍事探偵として引致されたが嫌疑漸く辨れ辛くも虎口を脱して津浦線經由五日青島に歸着同日よりイギリス汽船早生號に乗船十一日午前大連に辿り着いた。

◆ ◆ ◆  
外 交

ソ聯領事哈爾濱駐在被命

哈爾濱(九二〇) ソ聯綏芬河領事館閉鎖により哈爾濱に引き揚げたカルズオ館領事は駐哈總領事館駐在を命ぜられ十四日午後三時日本總領事館を訪問して新任の挨拶を述べた。

◆ ◆ ◆  
日 滿 關 係

協和會日本軍に感謝文

新京(九二〇) 協和會では十三日支那事變に對する日本陸海軍の活動に就き長文の感謝文を日本帝國國內閣連理大臣、陸海軍大臣、關東州駐滿海軍部に送付した。



ナチス大會

食糧農業成功を謳歌

ニュルンベルク【二〇】 ドイツ食糧農業相ワルター・ダレ氏は十日午前ナチス黨大會に於てナチス農業政策の成功を謳歌次の如く述べた

我がドイツは所謂空間の無い國であるをそれにも拘らずナチスの農業政策によつて一見不可能にさへ見える困難な事業を成就しドイツ國民を自らの土地によつて給養し得るに至つた、一九二七年には國民食糧の内僅か六十五パーセントしか自給出来なかつたが一九三七年には實に八十乃至八十五パーセント迄自給自足を確保するに至つた

ヒトラー記者團と會見

ニュルンベルク【二〇】 ヒトラー總統はナチス黨大會に出席連日熱帯を揮つて居るが十二日宿舎ニュンベルグ城に於て外國新聞記者團を引見した、褐色の黨服を身につけたヒトラー總統は頗る上機軸で出席者と一々握手を交し「八日間十一回の演説は相當善よ」と冗談を交へながら次から次へと出る記者團の質問に快く應答した

先づ記者團から「ムツツリー首相のドイツを訪問する目的はベルリン、ローマ樞軸の再確認にあるか、或はそれ以上の意味を有するか」との質問が出たが總統は「フアシズムをそれ自體が確證にすべてを物語らう」と逃げた後ドイツの「要求」に關し次の如く述べた

我々は嘗ては各種の意圖を持つて居たが今は全く平靜だ、我々は何人から何物も取らうと欲しない、我々は彼を支配せんと欲しない、今日ドイツが過去十四年に於けるが如く中欧の「空間」でなくなつたことは疑ひがない、蓋しドイツが均等權を獲得してこの「空間」に立派に埋められたからだ、その結果歐洲不安の要因は消失した、今や我々はすべての努力を我々の主要課題に捧げるこゝが出来、我々には多くの僞すべき事業があり食料問題の如きその一例だ、ドイツの食料は今尚全人口の需要を充たすに十パーセント乃至十二パーセント不足して居る、即ち七百萬の人口に對する食料供給の問題が残つてゐる譯だ、食料問題はドイツに植民地が與へられる時に於てのみ満足に解決されやう、問題は平和か戦争かの問題ではなく理性の問題だ、余は理性が結局に於て勝利を得ることを確信する」

次で英人記者から「若しドイツが舊植民地の返還を受けた場合これを海軍根據地として使用するやとの質問が出たに對しヒトラー總統は微笑を以て答へて曰く「さうする爲にはドイツはそれを爲し得るだけの艦隊が必要である大戦前に於てさへドイツは自國植民地を單に商業的に利用し何等の作戦的考慮を拂はなかつた、遼陽の地にある植民地保護の爲軍隊を駐屯させることは曾に破滅を意味するのみでなく結局損なことだ更にドイツは何故植民地問題を對外貿易によつて解決を圖らなかつたかの質問に對しては

外國でドイツ商品を出來るだけ買つて貰ひたいさうすればドイツも出來るだけ各國品を輸入するだらう、然しこの問題は單に商業的性質のものでなく同時に名譽の問題である今日のドイツ人は本國を離れて外國領土で生活することを欲しないドイツ國民はドイツの商業的進出に従ふだけなくドイツ國旗に従つて行くのである我々の要求するのは舊ドイツ植民地の返還で他國領土の奪取ではない」と答へ少數民族問題に關しては「ドイツは何等帝國主義的意圖を掲ぐものでない、我々は少數民族の公正安當な處理を要求するものだ、ユーゴスラヴィアに居住する七八十萬のドイツ人の如くこの公正なる處理の下に何等不満なく平穩に生活してゐる所さへあるのだ

最後にヒトラー總統はドイツ國內に於ける各種公共事業計畫其他一九四五年に於て大萬國博覽會開會の計畫ある旨を發表し

若し世界各國がドイツの如く各々偉大なる計畫の下に二三十年乃至廿年間果高なる努力を續けるならば世界平和の招來は期して待つべきである

ヒトラー總統獅子吼

ニュルンベルク【二〇】 ヒトラー總統は第九回ナチス黨年次大會の最終日に當り左の如き大獅子吼を試みて參會者數十萬の割れるやうな大喝采を博した

世界は今や國際的病患に犯されてゐるがこの病患と戰つてゐるのはドイツである、卒直に言へばボルシェヴィズムは世界革命の性質を充分に具備して居り日々その世界革命の意圖を明らかにしつつある、我々國家社會主義者は世界不安の原因は總べてモスクワに於けるボルシェヴィズムの獨裁から發せられるものであることを確信してゐるスペインに於てもボルシェヴィズムは

民主主義を打破して革命へ導いた、英佛がスペインに於て親獨伊の政權の確立を望まない如くドイツも亦スペインに赤色政權の確立を欲しない、世界は嘗てドイツ軍隊が如何に優秀なる軍隊であつたかを忘れ果てた様だ、現在のドイツ軍隊は更に優秀化されてゐることを知るべきだ、我々は我々の主義を他人に押付ける積りはないが同時に我々は他國就中ソヴェトが彼等の主義を我々に押付けやうとする如きは斷乎として排撃するドイツ國民が今日程團結した時代はないのだ

大會終了

ニュルンベルク【二〇】 第九回ナチス黨年次大會は十三日一週間の日程を終了華々しい大會の幕を閉ぢた

日獨無線電送寫眞計畫

ベルリン【二〇】 ドイツ遞相オーネツルグ氏は十六日ドイツ遞信省の活動狀態に關する報告書を發表したが其の中で目下ドイツと日本、シヤム、閩領印度との間の無線電送寫眞を計畫してゐると述べてゐる



モスクワ軍管區演習

モスクワ【一九】 極東の情勢緊迫化と共にソヴェト赤軍の動向が世界の注目となつてゐる折柄ソヴェト國防人民委員ワラシコフ元帥は十一日幕僚を従へモスクワ軍管區赤軍の演習を參觀し同軍管區司令官フジョノヌイ元帥の案内で終日さうに操縦を檢閲した

ワラシコフ元帥は十五日モスクワ軍管區の大演習終了に際し大要次の如く述べ、赤軍を謳歌した

赤軍は労働者農民の軍隊であり労働者農民の幸福のために存在するから全世界に赤軍程民衆から敬愛される軍隊はない赤軍は實に農民労働者の血であり肉である、ソヴェト聯邦は近く革命廿週年を迎へソヴェト最高會議の選舉を執行するが此の重大時機の前に赤軍の責任は愈々重大である、今次の演習は大成功裡に終了したが赤軍の各將兵は組織的努力を以て今後益々軍事的研究を積まねばならぬ

國際青年デー

モスクワ【一九】 第廿三回「國際青年デー」は十二日モスクワに於て例年通り囂物入りで開催された、全國から集つた青少年代表は赤色廣場に參集スターリン書記長、モロトフ人民委員會議長臨席の下に各代表交々起つてフアシズム打倒、スペイン並に支那民衆との連帯性を強調する演説を試み氣勢を擧げた

南京政府容共報道

【一九】 十一日重光大使より外務省に達した公電によれば最近のソヴェト各紙は支那に於ける共產主義政治犯の釋放に關し上海發タス電報として左の如く報してゐる

政治犯人の釋放は支那の救國運動の一要素である、南京政府はこの程救國會首領七名を釋放したが最近に至り更に南京に於て約六百名の囚人が釋放されその大多數は政治犯であつた、又蘇州監獄よりも百卅八名の政治犯が釋放され彼等は何れも南京政府の指導下に委員會を組織して救國々防事業に當ること

とになった

肅正 工作

司法人民委員罷免
モスクワ【ワシントン】 ロシア社會主義共和國
中央執行委員會は十六日附を以て司法人民委員ニコライ・クルイレンコ氏を罷免しアントノフ・オウセジエンコ氏を後任に任命した、クルイレンコ氏はソヴェト聯邦の司法人民委員を兼ねウリツヒ氏

蒙古にも手入
モスクワ【ワシントン】 共産黨機關ブラウグ紙
は八月以來引續き邊境地方殊に西部及び極東に於ける反革命分子清掃運動に躍起となつてゐたが十七日ブリヤート蒙古共和國の中央文化研究所長バザロフ氏が某國間諜罪で逮捕されたと報じてゐる、逮捕の眞因は同研究所がレーニン主義文獻翻譯に當つて汎蒙古主義を是認共産主義と佛教は同一であるとの理論を採用し喇嘛教を支持した爲めといはれる

樞東鐵道從業員處刑
モスクワ【ワシントン】 十九日ハバロフスクからの報道によれば同地太平洋の星紙は最近又々極東鐵道從業員廿名が反革命陰謀の罪で處刑された旨を傳へてゐる、犯人中には朝鮮人も含み某國間諜の先手となつてサボタージュ及び破壊行為を計畫したといはれる

歐洲諸國

佛黨相放送

パリ【ワシントン】 ボンネ閣相は廿日夜ラヂオを通じ全國民に對しフラン貨の危機に對處すべきフランス政府の方針を闡明したボンネ閣相は先づ英米佛三國通貨協定の維持を確言次いでフラン貨の安定には人爲的の手段に非ずして國內經濟活動の回復が必要なので強調調内閣の如く述べたフランス政府は一九三六年九月の三國通貨協定に従つて英米兩國と協調を續け金融的孤立は極力避ける方針である然し通貨の安定には金融操作を自己體だけでは不十分で國內經濟力回復が相伴はねばならぬ、一九三八年度豫算案は來週議會へ提出される筈であるがこの豫算案によると六十億フランの剰餘金を計上してをりその一部を減債基金に充當する豫定である、フランス政府は入爲的にパリテイを維持せんか爲めの諸政策例へば國家の安全に不可欠なるフランス銀行準備金の流用乃至單に眞實を陰蔽するに過ぎない爲替管理の如きは政府の極力排撃するところである、政府は現在投機を制限するに充分な平衡資金は所有してゐるがそれと同時に生産の擴充こそフラン貨に對する凡ゆるの危険を除去し得る唯一の方策であることを強調し度い

オランダ外相決定

ハーグ【ワシントン】 オランダ首相コライン氏は現在外相を兼帯してゐるがブリュッセル駐劄公使ジェー・パティン氏が十月一日附を以て専ら任外相に任命される

スペイン監視制

國際監視撤廢

ロンドン【ワシントン】 不干渉委員會は地中海醫備に關するニヨン會議の結末を待つて次々に延期されてゐたが不干渉委員會會長フリマ卿は十七日突如書面を參加各國代表に送り英佛兩國政府はスペイン近海の國際監視を撤廢する旨通告した、右通告は單に「情勢の變化に鑑み監視を撤廢する」とのみあり理由を明示しないが消息通の意見によれば地中海協定に不参加の獨伊兩國は不干渉委員會へ地中海不安問題を出さうとする氣勢を示してゐるので英佛兩國はこれに先手を打つて突然スペイン近海の國際監視を撤廢するに至つたと見られる

新監視案作成

ロンドン【ワシントン】 不干渉委員會の國際監視隊本部長ヴァン・ドールム提督(オランダ)が不干渉委員會の委囑を受けて作成した新監視案は既に關係各國へ提示されたが内容は左の通りと解される
一 スペイン海港監視は實効性乏しき故中止する
一 スペイン向たる否とを問はず各國海港に於ける船舶の動きを委員會へ報告する
一 スペイン向たる否とを問はず歐洲各國を中航する船舶には不干渉監視員を乗組ませる
一 右監視員は到着港に碇泊中の船舶、貨物其他の海港へ報告する
一 各國はその海港に碇泊中のスペイン船舶に就き委員會へ報告する
一 各中立國に對し其のスペイン向船舶の動靜につき報告を求め
一 ビレネー國境を通過する飛行機の嚴重なる統制を行ふ
一 陸上監視體制は維持する

地中海會議

地中海會議開會

ニヨン【ワシントン】 英佛兩國政府の招請に基き地中海會議は十日午後四時五十分ジュネウグ近郊ニヨン公會堂に於て獨、伊、アルバニア三國を除き關係九ヶ國代表出席の下に開會、先づイーデン英國外相の提言に基きフランス外相イヴォン・デルボス氏を議長一致議長に推し議事に入つた、劈頭デルボス議長は會議の目的を闡明次ぎの如く述べた
地中海の情勢は今や堪へ得ない程に不安を加へるに至つたが會議の目的はこの不安を除去する爲め適當な手段を探求決定し地中海の航行に關する國際法を強化するにある、地中海に於ける海賊行為の類發は我々の斷じて默視し得ぬ所である、獨伊兩國政府は會議參加を拒否しその代りニヨン以外の地に於て問題を審議すべきことを提議したが我々としては兩國の提議に同意し得なかつた、蓋し問題は迅速且つ適切な處理を要するからである、元來地中海關係國はすべて地中海に於て自由に貿易を行ひ得る權利があるが就中地中海航行の安全問題は本會議出席諸國にとつて切實な問題である、余は會議が「海賊行為」の根絶と現在の緊迫緩和のために速かに協定に到達せんことを切望する

代表イーデン外相は會議の經過を獨伊兩國政府に通告すべきことを提言「兩國が會議の決定に参加することを希望する」と述べた、斯くて午後五時半一先づ公開議事を終了、續いて非公開の専門家委員會に入り地中海航行安全保障に關する英佛兩國代表の共同提案を審議した結果次ぎの諸點に付き原則的諒解に到達したと言はれる

- 一 各締約國は夫々自國領海の醫備に當する
- 一 ソヴェト政府は特に黑海の醫備を擔當す
- 一 英佛兩國は全地中海水面の醫備を擔當す
- 一 國旗を掲げず或は一九三六年十一月六日潜水艇使用制限に關するロンドン議定書の規定に反する潜水艇は之を海賊と看做す
- 一 潜水艇が右議定書の規定に準據して行動した場合に於ても攻撃を受けた船舶と同國籍の軍艦は右潜水艇を擊沈することを得
- 一 潜水艇が議定書の規定に違反し商船の乗組員救助の手段を講ぜざる場合には締約國の軍艦は擊沈することを得

地中海協定調印式

ニヨン【ワシントン】 地中海會議は十四日午前英國代表イーデン外相、フランス代表デルボス外相を迎へ直ちに秘密會に入つた後午後零時卅分公開新聞記者、カメラマンの包圍の裡に地中海協定の調印式を舉行した、議長デルボス外相先づ協定に調印すれば次いで英國代表イーデン外相が調印し續いてアルガリア、エヂプト、ギリシャ、ルーマニア、トルコ、ソヴェト聯邦、ユーゴスラヴィア各國代表が夫々調印を了した、調印終るや議長フランス代表デルボス外相は新協定の重要性を指摘次の如く述べた

次いでソヴェト代表リトヴィノフ外務人民委員起ち獨伊兩國政府が参加を拒否した事實並にスペイン兩政權を招請しなかつた事實に對し皮膚肉安らで遺憾の意を表明した後「地中海の安全はソヴェト聯邦を初め黑海沿岸諸國にとつて特に重大な問題である」と強調した、續いて英國

防備協定の成立の結果地中海に於ける「海賊問題」は遂に解決するを得やう、余は各代表が地中海に於ける人命の保護、航行安全の保障並びに國際道義の擁護のため本協定を欣然且つ迅速に成立せしめられたことを衷心多とす、本協定に規定される有効な手段は直ちに實施されるべく一方潜水艦以外の方法による襲撃行為については之を斷固總會に於て審議される筈である、我々は當初イタリア政府の参加を招請したが遂に會議に出席するに至らなかつた、然し我々は飽望イタリア政府が協定に協力するを希望する、今回の會議が集團的安全保障の原則並に國際連帯の精神が依然有効に國際關係を律し得る所以を闡明した事は特に欣快に堪えない

地中海防備協全文

ニヨン・ドイツ 地中海防備協定は十四日成立したその要旨次の通り  
△前文  
地中海防備協定締約國はスペイン兩交戰當事者に對し交戰團體の地位を承認せず、又如何に海軍法規を遵守するにせよ公海に於ける商船の航行干渉を許容せず

△本文  
一 スペイン兩交戰當事者に所屬せざる潜水艦にして國際法に反する方法により地中海航行中の商船を襲撃するものは出來るだけ之を擧げしめる  
一 英佛兩國艦隊は西部地中海並に領海の警備を擔當、其他關係各國海軍は東部地中海の各自領海の警備を擔當し公海は英佛兩國海軍が警備の任に當る

一 各參加國の使用する潜水艦は水上を航行する義務を有し且つ水上艦を隨航すべきものとする  
一 各國潜水艦の所在については參加各

國相互間に通報すべし  
一 イタリア政府は本協定に参加し得る協定に對する各國の態度  
△伊消息筋不滿  
ローマ【二】ニヨン會議に於て成立した地中海協定に對しイタリア政府は默然を守つてゐるがローマ消息筋はイタリア政府の態度につき大要左の如き觀測を下してゐる  
イタリア政府は實に地中海協定をホイコトするのみでなく若し右協定がイタリアとなつたら不干渉委員會さへ脱退するだらう、地中海協定にソヴェト聯邦が關係してゐる限りイタリア政府の警備参加の如きは到底望むべくもない

▲獨、實効を疑ふ  
ベルリン【二】ドイツ政府は地中海協定に對し極めて冷淡な態度を示し批評を避けてゐるが官邊の意向を綜合すれば次の通り  
締約國が全部忠實に協定を履行すれば充足な成果を得やうが締約國中に裏切者がゐるから到底うまくは行かない、而も潜水艦は船舶を魚雷で撃沈した後直ちに姿を消す事が出来るから今回の協定は不充分でソヴェト海軍は今後も「海賊行為」を續けるだらう

▲バルカン協商國支援  
ニヨン【二】地中海會議に引續きギリシヤ、ルーマニア、トルコ、ユーゴスラヴィア各國代表は十一日午後バルカン協商國會議を開きデルボス議長に對し「斯くも多數の困難を斯くも速かに解決した」ことに對し謝意を決議し次のコミュニケを發表した  
ギリシヤ、ルーマニア、トルコ、ユーゴスラヴィア各國代表は十一日午後會合同日一般會議で採擇された地中海協定案に付検討を加へた後左の如く申合せた

一 アルカン協商國は夫々自國領海内の警備に任すると共に相互に協力を容めぬ  
一 更に地中海協定の條項により地中海内國際航路の警備には英佛兩國軍隊に依頼す  
一 バルカン協商國は地中海會議に招請を受けた各國が會議出席の有無を問はず地中海協定に参加せんことを希望す  
一 アルガリア代表は以上四國の聲明を支持する旨表明した  
▲トルコ政府承認  
アンカラ【二】トルコ政府は十三日ニヨン會議で成立した地中海防備協定を承認海軍當局に對し即時必要な手段をとるやう命令した

▲葡、招請漏りに不滿  
リスボン【二】ポルトガル政府は十二日英國外務省に對し次の如く不滿を表明した  
ポルトガル政府は本國植民地間の通路として地中海に重要關係を有し且スペイン内亂にも重大關心を有するがニヨン會議開催に當つてその招請に漏れ却て利害關係薄き各國が招請されたことはポルトガル政府の諒解に苦しむ所である  
リスボン【二】ポルトガル政府は地中海會議に招請を受けなかつたが十二日ニヨン發行の「デイアリオ・デ・ノチシアス」紙は不招請に對するポルトガル政府の驚きを表明すると共に會議士權國の差別待遇に不服を鳴らした

が右提言に對しチアノ伯は回答を留保し左の如く述べたと云はれる  
イタリアは態度決定に先立ち協定の内容を十分検討し殊に警戒區域を明確にしたいと思ふ、ムツソリーニ首相は地中海をイタリアの生命線としてゐるからイタリア政府は若し協定を受諾するとしても警戒分擔區域を擴大して實はねばなるまい、何れにせよイタリア政府は今回の協定に關聯し

一 イタリア警備區域がチレニア海に限定され二等國扱ひにされたこと  
二 ニヨン會議の決定がイタリア政府に正式に通達される前に發表されたことに對し頗る不滿を抱いてゐる様子が目下ドイツ政府と頻りに協議を重ねてゐる模樣であり最後の態度を決定する前には英國政府とも折衝を重ねると見られる

▲獨政府に通達  
ベルリン【二】ベルリン駐劄英國大使サー・ネヴィル・ヘンダソン氏並びにフランス大使アンドレ・フランソア・ボンセ氏は十三日午後ドイツ外務省を訪問ニヨン會議に於て成立した地中海協定正文を手交した  
イタリア協定参加を拒否  
ローマ【二】イタリア政府は十三日ローマ駐劄英佛兩國大使を通じ地中海防備協定の通達を受けて以來ドイツ政府とも連絡統意内容の検討を續けてゐるが十四日參加各國との完全な均等地位が獲得されぬ限り協定参加を拒否するに決定夫々英佛兩國政府に其の旨通達すると共に左の公式コミュニケを發表した

イタリア政府は協定内容を仔細に検討したがイタリア政府が参加を受諾した場合はイタリア海軍の擔當すべき警備區域はチレニア海水域に過ぎず、一方英佛兩國海軍は事實上全地中海海域の警備を擔當することになる、斯かる事態はイタリア政府の到底受諾し得ないものである、イタリア政府が地中海に重大な利害關係を有し且つイタリア交通線に沿つて極めて活潑な商船の航行が行はれてゐる事實に鑑みイタリア政府は全地中海海域に亘り協定參加各國と絕對に均等地位を確保する必要があると思惟する  
ドイツ伊を支持  
ベルリン【二】ドイツ政府は地中海協定に對するイタリア政府の態度を全面的に支持してゐる模樣であるがドイツ政府の觀測を綜合すれば次の通り  
一 地中海會議に關しては獨伊兩國政府は極めて密接なる連絡をとりつゝありイタリア政府が地中海協定不参加を表明したの同時ドイツ政府の意向をも代表して居る  
一 ニヨン會議は決して純粹な技術的問題を討議したに止らず地中海協定には他國の主權を侵犯する如き箇所あるより見ても重大な政治的性質を帯びて居ることは自ら明らかであらう、かゝる見地からイタリアの不参加は當然でありまた全的に支持するべきである  
一 ソヴェト聯邦が右協定に欣然参加したことは協定が果して平和と安全保障とを所期するものであるかを疑はしめる、ソヴェト政府は新協定の結果公然とスペイン赤色政權と援助出來ることゝなるらう

地中海協定細目決定  
ジュネーヴ【二】地中海會議專門家委員會は十五日午後一時からジュネーヴに於てフランス代表ゴドフロア提督司會の下に開催、地中海協定の附屬細目即ち商船の航路各國潜水艦の活動區域等につき協議の結果草案の起草を完了した、一方英佛兩國專門委員は今回の潜水艦に關



グロリアス

△驅逐艦 卅七隻

△防衛網敷設艦 七隻

△修繕船 四隻

△護送船 一隻

△病院船 一隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

△曳船 五隻

は十八日午前マルタ島から旗艦パーハム  
號(三二〇〇噸)に坐乗してジブラル  
タルに到着十九日入港する豫定の英國軍  
艦二十隻の到着を待つてゐる

ジブラルタル(三二〇) 地中海協定に基き  
英佛兩國軍艦は續々地中海に集結してゐ  
るが英國地中海艦隊旗艦パーハム號(三  
一、二〇〇噸)は司令長官サー・ダッドレ  
ー・パウンド提督坐乗の下に廿日午後ジ  
ブラルタルを抜錨特務艦リ・ゾース號(三  
三、三〇〇噸)を従へて海岸アルジェのオ  
ランに向つた、パーハム號にはフランス  
海軍の連絡士官も同乗しておりフランス  
艦隊と協力地中海艦隊の任に就く豫定で  
ある一方フランス地中海艦隊の一部もエ  
ステラヴァ提督指揮の下に地中海艦隊を  
擔當驅逐艦ケパール號(二、四三六噸)同  
ヴェルダン號(二、四三六噸)は航空母艦  
コマダン・テスト號(二、〇〇〇噸)

と共に廿日午後ツロン軍港を抜錨中  
海水域に向つたがバルセロナに碇船中  
の驅逐艦ヴァルミー號(二、四三六噸)も  
同じく抜錨艦隊の位置に就いた、フラン  
ス海軍は今更重大事態が発生した場合更  
に警備艦隊を増強する意向といはれる

英十三航路を指定

ロンドン(三二〇) 英國政府は廿日夜協定  
に基き英國商船が地中海航行の際執る  
べき十三航路を指定した。但しイタリア  
近海のテレニア海及びアドリア海に於て  
は「通常の航路を航行すべき」旨を勸告  
した

平和工作

ル大統領平和強調  
ワシントン(三二〇) 米國憲法制定百五十  
年記念祭は十七日ワシントンに於て盛大  
に舉行されたがルーズヴェルト大統領は  
ボトマック河畔高く中空に響ゆるウジン  
三記念塔に於て行はれた記念大会上に  
出席現下の混沌たる國際情勢に言及更に  
國內社會改革を高唱して次の如き獅子吼  
を試みた

米國憲法が制定された當時新政府に敵  
對的な事態は謂はれず數千哩も離れて存  
在して居たが今日に於ては情勢は全く  
一變した、今日我々の行動は歐洲諸國  
に對してのみならず南米大陸並に極東  
に對し直ちに且つ甚大なる影響を與へ  
又世界のいづれの部分に起る事件も必  
ずや直ちに我々に影響を及ぼすであら  
う、現政府の社會改革政策を獨裁的と  
非難する議論を聞くが假令共產主義獨  
裁或は軍閥主義獨裁と呼稱しやうとも  
以上の議論は容易に否定されるであら  
う、先づ第一に現代人たる米國男女は  
自分等の政府の運用を一人の人間又は  
一個の團體に永久に委ねるを欲しない  
からであり第二に世界情勢は現に文明  
によつて齟らされた世界情勢は現に文  
明を脅かしてあるではないか、軍備と  
赤字は相伴つて膨脹する、愈々通商障  
壁が増大して商船は公海上ですら脅威  
を受くるに至る、侵略の恐怖侵入の恐  
怖、革命の恐怖、死の恐怖等幾多の恐  
怖は世界を蔽ふ有様だ此の間に在つて  
米國民は刻々と増大する脅威を我等の  
海岸に寄せ付けぬことを決意したのであ



平和工作

ハル聲明を聯盟に逼達  
ワシントン(三二〇) ハル國務長官は去る  
七月十六日米國政府の一般平和外交政策  
を闡明して他國の内政不干渉主義並びに  
國際條約の遵守を強調世界五十餘ヶ國政  
府亦賛意を表明したがハル長官はベルリ  
ン駐劄ハリソン米國公使に對し右聲明に  
五十餘ヶ國の回答を添付し聯盟事務總長  
ジョーゼフ・アヴノール氏の許へ提出す  
る様命令した以上國務省の措置に關しワ  
シントン消息通信は左の如き觀測を下して  
ゐる

一 ハル長官は國際關係の處理が公正な  
手段方法によらねばならぬとの米國  
の平和政策に對し世界の輿論を喚起し  
度い意向で過般の聲明を聯盟に提出し  
たのだらう

一 平和回復を目的とする如何なる組織  
の努力に對しても米國政府は常に深甚  
な同情を抱く旨を聯盟に表明した

一 米國政府は在外使節を對し聯盟總會  
の議事に進行を注視せしめ刻々情報  
をワシントンに報告させる方針と見られ  
るが聯盟との關係には一定の線を劃し  
餘り深入りしない意向と見られる

ポルトガルから逆撻

ワシントン(三二〇) 去る七月十六日のハ  
ル國務長官の平和聲明に對しては五十餘  
ヶ國より賛成の回答あり、ハル長官は十  
一日此等の文書を總めて國際聯盟へ運達  
したが十六日國務省へ到達したポルトガ  
ル政府の回答はハル聲明を自し「餘り  
に理想家的」なりと痛烈にこき下し國務  
省の役人連をアツト言はせた、ポルトガ  
ル政府回答要旨左の通り

世界各國國民は誤つた觀念に促はれ重大  
な國內問題を漠然たる公式や矛盾せる  
諸原則によつて解決せんとする癖があ  
る、平和の諸原則は或程度の道義的壓  
力を持つことは事實だが原則だけから  
重要な結果を得やうと期待したら誤り  
である、若し現に戦争の場合乃至實際  
の戦争が存在する場合に當事國の軍備  
を縮小せしめやうとするのは無益だ、  
同様國際間問題の解決に重大な不正が  
存在し如何なる平和的手段もこの不正  
を消滅せしめる望みが無い場合に被  
害犠牲國に公正の道理を説くのは無益  
である

軍備競争防止誘導

ワシントン(三二〇) 米國國務省は在外使  
節に對する訓令内容を定期的に公表して  
ゐるが十六日の公表によりハル國務長官  
が最近在外使節に同文訓令を發し「米國  
政府は協定成立の見込みがある場合何時  
にても軍備競争停止運動の指導を分擔す  
る用意ある」旨各國政府に表明方を命じ  
た事實が判明した、ハル國務長官の訓令  
要旨左の通り

一 各國政府に對し米國の求償通商政策  
を十分説明し同様の政策をとるやう勸  
奨すること

一 最近軍需品品の取引が増加し世界平和  
に暗害を投じてゐるが米國政府は外交  
政策の獨立性が毀損されぬ限り戦争の  
慘禍を未然に防止するため凡ゆる手段  
を用ひて軍需競争を防止する意向であ  
り協定成立の見込みがある場合には何  
時にも進んで指導的任務を分擔する  
用意があることを説明すること

ハル長官平和と經濟協力強調

ワシントン(三二〇) ハル國務長官は十  
九日午後四時ニューヨークで開演された



全國平和會議に臨み「世界平和と經濟的協力」と題する一場の演説を試みた、ハル長官の演説は時節柄頗る注目を惹き全米は勿論歐洲へも中絶放逐された、演説要旨左の通り

平和確保の方法は極端な孤立主義でもなければ又武力による侵略でもない、勿論他國間の戰爭に介入し又はこれに捲き込まれる危険を回避せんとする米國政府の根本方針には變化もあるべきでないがこの政策には補強工作が必要だ、蓋し平和の基礎條件實現の爲何等かの貢獻を拂ひねばならぬとの各國の良心が地を拂ひ世界が無政府状態に陥る場合米國政府が獨り憂如たり得ないことは明白だからである

一 國際的忍耐と自己抑制

二 國策遂行のため武力を使用せざる

三 他國の内政不干渉

四 平和的手段による紛争解決

五 條約の遵守と相互的諒解並に秩序的方法による必要なる條約の修正

六 過大軍備の縮少

七 經濟方面に於ける協力と交易

の諸點に要約される、就中最後の經濟的協力こそ世界各國民の生活向上を可能ならしめる最重要の條件である、今日混沌たる世界にあつて米國は幸ひ戰爭の脅威から遠く離れて存在する、米國は宜しく平和運動の指導者として全力を盡すべきである

▲ハル放逐と英紙論調

ロンドン【六三】ハル國務長官の放逐演説に關し廿日のロンドン各紙は次の如き論評を加へてゐる  
△デイリー・テレグラフ紙(保守黨系) 國內問題に没頭する今日の米國民にとつては孤立政策は人氣があるかも知れぬがハル國務長官其他の政治家も結局

これを不能と認めるに至るだらう、又假令孤立を求めても全世界に亘る政治的思想の衝突は米國をして何れに組みよべきかを決定せざるにはやむまい、これは畢竟免れ得ぬ運命だ  
△ニューズウオッチャー紙(自由黨系) 本演説が歐洲から三千哩も離れ且つ資源を豊富に恵まれた米國政治家の言なるに思ひ及べば歐洲の門戸にある英國の孤立外交の非實際的な所以を明かにしてゐる、但しハル長官は米國外交の變化を暗示したこの協力的精神を経済協定により育くむのは吾人の義務だ

國際通商協定を主張

ボストン【六三】米國國務長官コーデル・ハル氏は廿日ボストンに於て新聞記者團と會見、歐洲の前途に重大懸念を表明左の如く述べた

歐洲各國は今後二三年以内に經濟的再調整をするに非ざれば經濟的、軍事的崩壊に直面しやう、然し米國政府は如何なる戰爭にも決して捲込まれぬ確信がある、歐洲諸國に於ける軍需品工場

の労働者が再び失業に追込まれた時歐洲には極めて重大な問題が起るであらう、歐洲諸國は各々孤立政策を固執してゐる結果甚大な餘剰品の捌口を國境を越へて他國に求めることは出来ず自ら希望する商品の交換も出来ない、有様だ、この危機を救ふ最善の手段は國際通商協定を締結することをおいて他にない

軍備工業に警告

ボストン【マサチューセツツ州】【六三】ハル國務長官は廿日午後一時ボストンに於ける配給業者大會に臨み現下世界經濟の孤立化傾向を警告左の如き演説を試みた  
多數商業國の經濟には次第に危険且つ

不健全な徴候が現れて來た、軍備擴張計畫によりこれら諸國の失業者は急速に軍事工業に吸収され得るが各國が孤立自給政策を追究し非生産的工業に全力を注ぐに於ては必ず生活水準の低下を招来しやう現下世界政治的緊張國際不安戰爭の危険の増大等は何れも斯る孤立自給政策の結果に他ならぬ

大統領太平洋岸へ

ワシントン【六三】ルーズヴェルト大統領は豫ねての希望より太平洋沿岸地方へ旅行することとなつたが大統領は十八日夜ホワイトハウスを出發、ハイダーバードの自邸に向つた、來る廿二日途同地に滯在不測の重要事態さへ勃發しなければ同日太平洋沿岸視察の途に執く豫定である

ルーズヴェルト大統領の太平洋航行には米國海軍の誇る快速驅逐艦「フェルブス號(一、八五〇噸)」が使用され驅逐艦「ポーター號(一、八五〇噸)」が護衛の任に當る筈である

政府層金輸出調査を勧告

ワシントン【六三】最近各國の軍備擴張工作の爲米國から夥だしい金物類が輸出されてゐる現状に鑑み米國陸海内務商務四省は共同で上院陸軍委員會に對し米國の房金物類就中厚鐵鋼類の輸出激増の結果招來される國內的影響を調査する機を告した、ハル國務長官は右勧告に關しあまり熱意は示してゐないが政府部内の秘密書類を陸軍委員會に提示することには反對しなかつたと言はれる、之に關し陸軍委員會長テキサス州選出民主黨議員モリス・シユエパード氏は語る

金國類輸出による國內供給不足防止を目的とするシユエレンバツト法案は陸、海軍兩當局も支持する所であり休會明け議會の公聴會で改めて審議されることとなり、委員會の手許には最

近日英伊各國向房金國類の輸出激増の結果國內で非常な枯渴を來してゐるとの報告が多數集まつてゐる  
駐日領事異動  
ワシントン【六三】米國國務省は十一日午後左の如き人事異動を發表した  
大連駐在領事  
ステニアート・E・グラモン  
任在モスクワ大使館二等書記官  
東京駐在領事  
アーサー・F・タワ

飛行船建造を提案

任長崎駐在領事

サンノーゼ(カリフォルニア州)【六三】カリフォルニア州選出民主黨下院議員ジョン・マクグラス氏は十五日次期議會に新海軍飛行船建造案を提出する意向なる旨發表した、同案の内容は今後十年間に總額二千萬ドルの費用を投じて以前のメロン號及びアクロン號より小型ではあるがより多くの戦闘機を搭載し得る數隻の飛行船を建造し内若干隻をカリフォルニア州のモフェツト空港に、残りを大西洋岸のレックハースト空港に配備するに在り、同案に付きマクグラス氏は左の如く語つた

本建造案の議會通過は極めて好望だと思ふ、余はレックハースト空港のローゼンダール司令官とも協力してモフェツト空港を再び昔日の如く有力ならしめることに努力するつもりである

太平洋を隔て日米競射會

シカゴ【六三】米國では近年弓術熱が俄然勃興し最近同好の士の間には古來より武士を表看板とする日本の同好の士と一戦を交へてとの希望が強くなつた結果兩國同好者の競射となり來る十月十日を期し太平洋を隔て、同時に競射會を取行ふこととなつた、此の計畫は米國弓術俱

樂部聯盟會長パウラ・クロツプステツグ氏の肝煎に成りニューヨーク州のロングアイランド弓術俱樂部から卅名、東京の弓心會から卅名の選手を動員し夫々ヒツクマン氏、伊藤祐義氏(横濱正金)を主將に太平洋を隔て、ニューヨーク、東京で同時に競射會々命中率を電報で報告し合つて勝負を決する譯である今回の試みに就きクロツプステツグ氏はシカゴの自宅で語る

現在アメリカ弓術聯盟は三百人の會員を擁してゐるが何れも一騎當千の士で今回の競射會に参加を望んでゐる、今回は最初の試みでもあり準備の都合もあるの米國東部主としてニューヨーク州の會員に限つたが今後益々隆盛にし日米兩國親善の一助にもし度いと思つてゐる

ヘレン、ケラー女史手術  
ロツチエスター(ミネソタ州)【六三】三重善の聖女(ヘレン、ケラー女史は十六日ミネソタ州ロツチエスターの病院で腹部の大手術を受けたが経過良好である、醫師は語る「手術後の経過もよく安靜におやすみだから茲三日で危険を脱するだらう」



支那提訴上程

支那提訴を通告  
ジュネーヴ【六三】支那首席代表顧維鈞氏は十三日午前聯盟事務總長ジョセフ・アヴノール氏に宛て南京政府は聯盟規約第七、十一、十七條を適用し日支兩國間の紛争を聯盟へ提訴する旨通告した、通告文の内容次の通り





た冷血行爲を擧ぐべきであらう

當時負傷者救護に従事中の支那野戰病院隊員四十三名は日本軍のために包圍されたが日本兵は赤十字章を剥ぎ取つた上野戰病院隊員を坐らせ之に發砲した、醫師一名、看護婦四名は即死、看護婦三名が幸じて難を逃れたが残り卅五名は今尙行方不明で恐らく殺害されたと思はれる、難を免れた看護婦三名中一名は脱走中發砲され重傷を負ひ翌廿四日遂に死亡した斯くして日本軍の暴虐行爲は赤十字作業を最も困難ならしめつゝある、現在では後方戰線の作業は一切死の危険に曝されることの少ない夜間に行はれてゐる有様である

日本軍は右赤十字隊が軍需品を運搬中であつたと辯解してゐるがそれは全然根據が無い、支那赤十字協會は赤十字章使用に當つて細心の注意を拂つてゐる、全部で卅五の赤十字病院車は共同租界並にフランス租界通過の許可證を有し且つ戰闘區域へ出發前に數重な檢閲を受けてゐる、従つて傷病者運搬車に加へた日本軍の爆撃には絶対に辯解の餘地がない

四 非戰闘員に対する無差別の攻撃  
日本軍飛行機の非戰闘員無差別爆撃の例は數限りがない、然し茲に悲惨な例を三舉げて極悪非道の犯罪行爲を例證しよう

八月十七日日本軍飛行機〇〇臺が上海西方八十哩の南昌上空に飛來、同地の米人教會經營の病院目がけて六箇の爆弾を投下した、その中一彈は病院本館に命中、本館は火災を起し燒失した、多數の支那人醫師及び看護婦三名慘死、數十名に達する負傷者の中には米國人看護婦二名も交つてゐた

又八月廿八日〇〇臺の日本軍飛行機が上海の密集地域南市を襲撃した同市に

は支那軍陣地皆無なるに拘らず南停車場附近に爆撃投下、爲めに無辜の市民二百餘名慘死、五百名は負傷した、被害者の大部分は安全地帯へ避難する爲列車の到着を待つてゐた避難民でありその中には多數の婦女が含まれてゐた

八月卅一日日本軍飛行機が吳淞西方數哩の大場バス停留所を爆撃した際の如き二百餘名の傷兵並に避難民が殺戮された、同日天津を去る南方約七十哩の滄州でも同様の慘事起りその際數百の支那民衆は日本軍飛行機の爆撃で或は殺され或は負傷した

九月五日早朝日本軍飛行機〇〇臺は當時未だ戰闘の行はれてゐない上海共同租界の西端にある北鎮を爆撃多數の家屋を破壊村民の死傷亦夥だしい數に上つた、尙右飛行機は更に多數の避難民を乗せて蘇州クリーク航行中のジャンク二隻を認め直ちに二隻に爆撃を加へて死者四十名、負傷者六十名を出し其他の避難民を恐怖のドン底に陥れ他の一隻は機關銃の掃射を行ひこれ亦多數の死傷者を出した

五 教育、文化機關の無法破壊  
日支兩國間の敵對行爲開始以來教育、文化機關は日本軍の無法破壊行爲の好目標となつた

日本軍の天津占領後最初にやつたことの二つは有名な南開大學及び附屬中學校を多量の石油に點火して燒却した日本軍飛行機の爆撃により多數の大學及び學校は一部若しくは全部破壊されたが、此の中には江西のポールドウ電

女學校、南昌の農業研究所及び師範學校、南京の中央大學、附屬高等學校小學校、吳淞の同濟大學等がある、空爆を受けた之等の學校は同濟大學を除いてはいつれも戰闘區域より百哩も離

れてゐることは注目すべき事實である而も同濟大學と雖も空爆の當時は實際の戰闘區域内に無く支那軍も占據してゐなかつた

以上の如く日本軍が過去數週間に亘り支那領土内に於て行つた行動は支那の政治機構を破壊し支那國民の文化を絶滅し以て豫てよりの大陸征服の夢を實現する爲に支那全土に侵略の手を伸ばさんとする日本の決意を明かに示して居る

更に前記の如き日本軍の支那領土侵略は國際法の凡ゆる原則、國際條約の凡ゆる規定及び人道の凡ゆる條理を全く無視せることを示すに外ならぬ、今や法律と道徳は暴力と無政府状態によつて代位された、侵略國日本は征服の食欲に酔ひしれて僥倖なき虐殺と無法な破壊に全力を傾倒してゐる、斯くて支那四億五千萬民衆の生命は危険に曝され全世界の文明と安全は重大危機に直面してゐる

【六・五】南京政府の聯盟に提訴したのに關し外務省は十五日午後零時平河相情報部長談の形式を以て左の如く聲明した

我外務省聲明發表

一 日本は非聯盟國で政治問題については聯盟と協力しない建前を採り來つてゐるから支那事變が支那政府により聯盟に提訴されたところで聯盟に於ける論議に關與すべき立場に居ない

二 支那政府のステートメント及び提訴文は未だ全文を入手しないから今茲に正確な意見を表示することは差違へるが今迄判明せるところでは多量に隨分事實を曲げて日本を誣ひてゐる聯盟が東盟の事態を明かに認識せず支那の一方的宣傳文書を其礎にして日支問題に介入するが如きは却つて問題を悪化し聯

盟の所期に反する結果を招來するのみとなることは既に滿洲事變によつて充分立證されたところである、支那は例へば非聯盟國員に對する日本軍の攻撃を云々としてゐるが日本軍は非戰闘員を目標として攻撃を加へたやうなことは絶対に無いし又今後有り得ない事である、支那軍こそ虹口方面の外國人に對し退去を要請し日本居留民だけをそのまゝ残して置いて砲撃、爆撃を加へるの舉業に出た、之は明かに日本非戰闘員のみを目標とした不法攻撃であることは辯解の理が無いであらう支那こそ國際法の規定に反して非戰闘員に對し不法攻撃を加へるものである、又八月十四日の佛租界及び共同租界の支那飛行機による空爆の如き更に其の後に於けるフーパー號爆撃の如き外國人非戰闘員を攻撃して多數の死傷者を出したことは今更述べてゐるまでもない、教育機關、文化機關等が攻撃の目的物から國際法上除外されてゐることは言ふまでもない、さりながら支那軍に於て之等を占據し戰闘の基とした場合には國際法上當然その不可侵性を喪失するに至ることは申すまでもない、日本陸海軍は戰闘員並に敵性を有する人及び物のみを戰闘行爲の目標とするものであることは勿論である、日本は又支那の政治機構を破壊し支那の統一を妨害せんとするものであると誹謗してゐるが之は日本の眞意を解せざること甚しきものである、日本は世界の平和機構確立の前提としての支那の統一を希望するものであるが唯この統一が正しい力により成就さるべきものであるとの信念を有するものである

三 今次事變に對する帝國政府の方針は飽くまで支那の反省を求め誤れる排日政策を放棄せしめ以て日支兩國の國家

を根本的に調整せんとするにある、今次の事變動勢するや帝國政府は現地解決、事態不擴大の方針に基いて時局拾収に均し努力をして來たことは世界の均して承認するところである、然るの南京政府は毫も誠意を示さず益々中央軍を北支に集中して我が方に挑戦し來つたと同時に揚子江流域及び爾餘の各地に於ては險險極まる排日を行つて我が在留民の平和的活動を脅かしその生存をも危殆ならしめた、帝國が斯くの如き國家に對し其の反省を求むる行爲に出たことは正義人道のため又自衛のため極めて當然のことである、只日支問題については日支兩國間に於てのみ現實に即した最も公正な解決方法が發見されるものと確信する

支那の提訴上程に決定

ジュネーヴ【六・四】聯盟理事會は十四日午後スベイン共和國首相ホアン・ネグリ氏司會の下に開會傍頭支那事變に關する支那の提訴につき討論の結果理事會に上程するに決した

支那代表總會に哀訴

ジュネーヴ【六・三】聯盟總會第三日は十五日午前十一時開會印度代表アガ・カン議長司會の下に日程に入つたがイラン代表エニイトラ・サミー氏の簡單な演説の後支那首席代表羅維鈞氏が起ち嘘八百を並べて聯盟の介入を哀訴して次の如く述べた

二ヶ月以前より中國は再び日本の武力侵略を蒙つてゐるが最も重大な此の極東の一時局に就き各國代表の注意を喚起したい、日本は中國の政治的支配と領土征服とを目標に陸海空の大軍を派し北支那を占領し上海を攻め不法な封鎖を施行した、支那は止むを得ず抵抗し目下各地に激戦が展開されて居るが

人命財産に對する組織的破壊は驚く可きものあり天津の支那海、上海南停車場及び首都南京は假借なき爆撃を受けた、南開大學を初め學校、病院、赤十字機關の爆撃を受けたこと殆ど枚擧に遑かない、殊に日本軍が上海共同租界を炸撃基地として居る爲め外國人に對しても甚大な損害を與へ、友邦英國の大使は遂に負傷するに至つた、更に不法な封鎖の結果外國船の正當な通商も影響を受けやう、威海衛事件が發生した後北支那に於ける中國の地方當局は平和的解決を期して努力したにも拘らず日本代表は益々無理な要求を提出して遂に平津地方を占領し更に南北各地に向つて侵略の歩を進めつつあり、更に日本は南京政府を屈服させる目的を以て上海の攻略に取掛つてゐるではないか大山中尉事件其他屢次の事件を通じて日本政府は専ら大陸侵略を目標に武力を行使して居る、滿洲事變に際し日本政府は口實として「生命線」確保の必要を説いたが其後右生命線は北支那の奥地にまで延長された、又日本政府は他の口實として入口の過剰を擧げて居るが臺灣、朝鮮併合以來此らの地方に居住する日本人の人口は餘り増加した様子が無い、原料資源を保有しない事も侵略の口實とならぬのは勿論だが日本は重要原料品は遠く歐米各國南洋等から仰いでゐるではないか、中國は常に日本との親善協力を希望して居るが右希望は常に日本政府の恫喝政策の前に無爲に歸した、日本は今や好戦分子の支配下に在り、所謂東洋の平和とは日本の好むが如き平和に過ぎず、右事態が繼續する場合には東洋に於ける歐米各國の權益は悉く蝕奪されて了はう、中國が必死となつて日本軍の侵略に抵抗して居るのは一つには以上外國の權益

をも擁護する爲めである、此の際全世界は起つて武力侵略による國際法と國際條約との蹂躪行為を摘發し不法封鎖を排撃し中國人並に外人非戦闘員に對する爆撃を排撃せねばならぬ、平和は憲に不可分である、歐洲が輪局に立て居るの理由由極東の事件を等閑に附してはならぬ、聯盟規約の文言は死文でなく現實に適用せねばならぬ、若し聯盟が今次事變に善處するならば歐洲問題に對しても好影響を與へやう、刻下極東の時局は最も重大である、中國は聯盟が即時行動せんことを希望し規約第十條、第十一條及び第十七條をあげて本件を正式に理事會に提訴した、理事會が自ら審議し行動するや若しくは總會に移譲するや將又一九三三年の諮問委員會に附託するやは全く理事會の決定に俟つ

**天羽公使記者團に聲明**

ジュネーヴ(六) 聯盟總會第三日は支那代表顧維鈞の哀訴的演説を以つて一先づ散會したが同演説に耳を傾けてゐた各國新聞記者團は更に日本の言分を聞かうと新聞記者控へ至り帝國公使天羽英二氏を包圍し所見を叩いた、これに對し天羽公使は帝國政府の態度を堂々次の如く闡明した

東洋の平和は日本には死活の問題だが南京政府及び國民黨は國策として排日抗日政策を採用し日本打倒の準備を強行して東洋の平和を擾亂した、更に共產黨の暗躍挑撥は最近殊に甚だしく滿洲國を燒き日本を燒かうとする新を準備して居る國民黨に油を注ぎ舉に出でその結果が蘆溝橋及び上海に於ける事件となり支那全體が全面的抗日政勢に轉じた、かくて日本は止むなく在留十萬の同胞の生命財産と東亞の平和安定

とのため自衛手段に出るの止むなきに至つた、日本は支那が反省して日本と共存共榮の途を取ることを衷心より希望してゐる、然るに支那國民黨は共產黨と握手して火事に油を注ぎ舉に出でゐる、日本は共產黨に對しては東亞平和のため極力闘はねばならぬ、聯盟は先づ日本が東亞安定のため生死の苦闘を續けてゐる事を認識せねばならぬ、その認識があれば此の際聯盟が日支紛争に干渉するは何等効果無く却つて事態を紛糾させることが自ら明かであらう、支那政府の陳述は捏造又は一方的所論に過ぎない、聯盟は正確な事實を大所高所から遠觀する必要がある

**天羽公使反駁文記布**

ジュネーヴ(六) ベルン駐劄帝國公使天羽英二氏は聯盟に於ける支那代表の暗躍監視のため數日前ジュネーヴに乘込み形勢の推移を注視してゐるが十五日夜支那事變の眞因に關する帝國政府の見解を披露した報告書を各國代表に手交した、右報告書は十五日午前總會に於ける支那代表顧維鈞氏の演説を徹底的に反駁し帝國の公正な立場を闡明し更に去る九月五日廣田外相の議會演説を引用して最後に支那の挑戰的態度が遂に日本をしてその權益擁護の爲適切な手段を執るの已むなきに至らしめたと結論して居る

**天羽公使波外相と會見**

ジュネーヴ(六) スイス駐劄帝國公使天羽英二氏は十六日ポランド外相ジョゼフ・ベック氏と會見し種々懇談した

**理事會提訴を上程**

ジュネーヴ(六) 聯盟理事會は十六日午後四時半スペイン首相ホアン・ネグリン博士司會の下に非公開を以て開會南京政府の提訴を上程し審議を開始した、劈頭支那代表顧維鈞氏は左の如く述べた

支那政府は規約第十、第十一並に第十七條を援用して日支問題を聯盟へ提訴した、日本の侵略は支那の領土保全及び獨立を脅威して居るのみならず實に世界の平和を脅してゐる、支那は聯盟が聲明且つ有効な措置を講ずることを要求するが余は理事會が支那政府の提訴を檢討し適當なる手段を選ぶを確信する

これに對しネグリン議長は一九三三年設置された廿三ヶ國委員會の任務を闡明廿三ヶ國諮問委員會は極東の情勢を檢討して聯盟の使命達成に資すると同時に聯盟國と非聯盟國が行動を決する前に行ふべき協議を援助する任務を委託された、理事會は支那代表が同意するならば極東の情勢檢討のため聯盟事務總長に對し即時廿三ヶ國諮問委員會の招集を要請するであらう、支那政府の八月卅日附並に九月十二日附聲明は聯盟各國及び右委員會構成各國に移譲したが十五日の總會に於ける支那代表の演説並に本日の議事録も以上各國に通告するであらう

と述べ支那の提訴を廿三國委員會へ移譲すべきことを提言した、顧代表は不滿の色を示したが支那政府の提訴がいづれ理事會に懸けられると諒解し議長の提言を受諾する然し支那政府は必要ある場合理事會が先行行動することを要求する一切の權利を留保する

と述べ結局廿三國委員會附託を承認した

ジュネーヴ(六) 聯盟理事會は十六日午後四時半スペイン首相ホアン・ネグリン博士司會の下に非公開會議を開會支那政府の提訴を上程審議の結果右提訴を廿三國諮問委員會に移譲するに決定したが

理事會は同日午後五時非公開會議終了後理事會の議事を詳述せる左のコンミュニケを発表した

▲理事會コンミュニケ

議長ネグリン博士は本日支那政府の提訴を理事會に上程各理事國代表に對し審議手續の問題を討議する様要請した、次いで支那代表顧維鈞氏は支那政府は聯盟規約第十、第十一、第十七の各條に基づき日支紛争を提訴したと肩頭し「日本の武力侵略は支那の領土保全、政治的獨立を脅威し世界の平和擁護のため聯盟の聲明且つ有効な行動を必要ならしめて居る」と述べた

支那代表は更に「日本の侵略の性質及び程度その世界平和に對する危険並に之に對し聯盟のとるべき行動は支那代表の總會に於ける聲明並に理事會に提出した文書中に説明した通りで本日理事會に於ては以上を敷衍説明しない」と述べた、昨日の總會に於ける支那代表の聲明中手続問題に關して支那代表は三つの場合を擧げたが支那代表の目的は「理事會をして現在の狀況の下に於て最も有効な行動方法を自由に選ばせやうとするにある、従つて支那政府としては目的を達し得るのであれば手續上の考慮は從とし何れかの手續にも同意する用意ある」旨を明かにした、議長は支那代表が前日の演説を次の言葉で極端な事態を指摘した、即ち要するに極東の事變は最も重大たる、支那の速やかなる行動は必要とする、支那政府は規約第十條、第十一條第十七條を援用して理事會に正式に提訴した理事會が自ら審議し且つ行動するが若くは問題を總會に移譲するか又は一九三三年二月廿四日の總會によつて設置された日支紛争に關する諮問委員會に附託するかは今や理事會の決定すべきところである

次いで議長は本件を諮問委員会に附託す

るに根據となる條項に付き説明を加へた  
その條項は規約第三條第三項即ち「聯盟  
總會は聯盟の行動範圍に屬し又は世界の  
平和に影響する一切の事項を其の會議に  
於て處理す」といふ條項である、最初諮  
問委員会が設置された時の決議條項に依  
れば同委員会は事態の推移を注視し規約  
第三條第三項の下に於ける義務の遂行に  
付き總會を援助し且つ同一の目的を以て  
聯盟國相互間並に非聯盟國に對する行動  
及び態度につき聯盟國を援助することを  
任務として居る、以上の諸條項に鑑み議  
長は「支那代表の同意を條件に理事會は  
聯盟事務總長に對し近く諮問委員会を招  
請し支那代表の言及した事態を考究すべ  
きであると思ふ」と意見を述べた、議長は更  
に「八月卅日附並に九月十二日附の支那  
政府聲明書は何れも既に諮問委員会參加  
各國並に聯盟各國に通過せしめたが更に  
事務總長は諮問委員会參加各國に對し昨  
日聯盟總會に於ける支那代表の演說内容  
並に本日理事會の議事内容を通過する  
ことを適當と思惟する旨を述べた、茲に  
於て支那代表は「支那政府の提訴は先づ  
一九三三年の諮問委員会に移譲されるが  
支那政府としては必要なる場合理事會に  
對し規約第十一、第十七の各條に基づき行  
動することを要求する一切の權利を留保  
するとの諒解の下に議長の提案を受諾す  
る」旨を答へた、議長は「以上支那代表の  
聲明を承し且つ理事會が右提案を承認  
したものと思惟する」旨を宣し散會した

集中されてゐる、支那代表顧維鈞氏は目  
下躍起となつて英米佛ソヴェト各國代表  
に働きかけ極東政策につき各國が一致的  
行動をとるやう働きかけてゐるが米國が  
廿三ヶ國委員會に參加を拒否するか或は  
所期の成果を擧げ得ない場合には再び理  
事會に對し規約第十、第十一、第十七條  
各條の適用を要求する意向と見られる、  
然し乍ら聯盟の空氣は滿洲事件當時とは  
異り頗る冷淡で廿三ヶ國委員會の復活の  
如きも結局支那に或る程度の面子を保た  
せつゝ日支問題を理事會並びに總會の本  
筋から離れさせやうとする苦肉策と見ら  
れ支那代表部の失望と苦慮は掩ひ難い

廿三國委員會と米國の態度

ワシントン【九・二】 聯盟理事會が十六日  
日支問題を廿三ヶ國諮問委員会に移譲し  
た結果米國政府が滿洲事變當時の例に注  
つて同委員会に參加するか否かは頗る注目  
されてゐるが、米國務長官は十六日新  
聞記者團との定例會見に於て  
未だ聯盟からの招請に接してゐないが  
招請を受けた場合の處置に付ても慎重  
考慮を拂つてゐる次第だ

米國出席通告

ワシントン【九・二】 米國政府は廿日聯盟  
事務總長ジョーゼフ・アヴノール氏に對  
し廿三日諮問委員会にオブザーヴァーを  
出席させる旨通告したが通告文書旨は次  
の通り  
スイス駐米國公使は廿日聯盟事務總  
長に對し下記の通告を達達せり

簡惠慶の証告文配布

ワシントン【九・二】 支那代表部は廿日支  
那外交協會々長顧惠慶氏が上海から寄せ  
た日本証告の文書を各國代表に配布した  
文書要領次ぎの通り  
支那國民は傳統的に平和を愛好し一九  
三一年以來日本が侵略の擧に出ても常  
に平和を念慮して來た、支那は過去六  
年間日本との關係を平和的に解決しや  
うと努力して來たが日本は侵略の手を  
緩めず今や支那の國家としての存在は

支那聯盟に失望

ジュネーヴ【九・二】 支那事變に關する支  
那政府の提訴は廿三ヶ國諮問委員会に附  
託されることとなつたが果して米國が右  
委員会に參加するや否や問題は此の點に

優先つ

一 日支兩國代表を委員會に招請すべ  
きか否か

一 諮問委員會設置後聯盟を脱退した  
ドイツ政府を請招すべきか否か

一 協議を遂げる筈である、一番問題  
となつてゐる米國の參加については目下  
ワシントンとジュネーヴの間で交渉が進  
められてゐるが支那代表部では米國は妙  
くともオヴザヴァーとして委員會に協  
力するだらうと信じてゐる

米長官大統領と協議

ワシントン【九・二】 ハル國務長官は十八  
日午後國務次官補ヒュー・ウィルソン氏  
を帶同してルーズヴェルト大統領を訪問  
會談を遂げたが聯盟廿三ヶ國諮問委員会  
に對する米國政府參加問題につき協議し  
たと解される、米國政府は未だ聯盟から  
招請を受けた旨公表してゐないが右會談  
により米國の態度は決定したと見られる

米國出席通告

ワシントン【九・二】 米國政府は廿日聯盟  
事務總長ジョーゼフ・アヴノール氏に對  
し廿三日諮問委員会にオブザーヴァーを  
出席させる旨通告したが通告文書旨は次  
の通り  
スイス駐米國公使は廿日聯盟事務總  
長に對し下記の通告を達達せり

簡惠慶の証告文配布

ワシントン【九・二】 支那代表部は廿日支  
那外交協會々長顧惠慶氏が上海から寄せ  
た日本証告の文書を各國代表に配布した  
文書要領次ぎの通り  
支那國民は傳統的に平和を愛好し一九  
三一年以來日本が侵略の擧に出ても常  
に平和を念慮して來た、支那は過去六  
年間日本との關係を平和的に解決しや  
うと努力して來たが日本は侵略の手を  
緩めず今や支那の國家としての存在は

支那聯盟協會にも提訴

ジュネーヴ【九・三】 民間國際團體たる國  
際聯盟協會は日支紛争につき支那支部よ  
り提出の決議案を審議すべく十二日午前  
十一時協會本部に特別理事會を開會した  
が議長はベルギー人アンリ・ローラン氏  
を推し議事を進めた、先づ支那代表起つ  
て決議案提出理由を説明聯盟協會並に國  
際聯盟が起つて日本の侵略を阻止する強  
硬手段を採らぬ限り聯盟の權威並に世界  
平和は危殆に陥るであらうと論じた、次  
いで英國代表G・デーヴィス氏は支那支  
持の演說を行ひ英國協會がまだ充分に支  
那の爲め與論を喚起し得ない實情を説明  
した、茲に於て日本代表松根恒守克氏起  
今回の事變が支那の内政混亂及び南京政  
府の政策的組織的排日運動の結果である  
旨を指摘更に事實に基づいて論證せんとす  
るや支那代表は突如自席に起ち上り「本  
會は日本の政策宣傳場に非ず、聯盟精神  
の擁護場所だ」と怒聲し爲に議場は混亂  
に陥つた、議長ローラン氏を制し「日  
本の主張は頗る興味あり靜聽乞ふ」と注  
意し松根代表は續いて詳細に實情を説明  
聯盟協會が問題を慎重に検討し世界平和  
の爲め事件の根本原因の認識を得んこ  
とを希望して降壇午後一時卅分一旦休會

る政策上の主要決定に従ひ且つ之を基  
礎として創設せられたることを想起す  
るものにして米國政府の諒解する所  
にあれば右諮問委員會は聯盟の勸奨する  
政策遂行のため聯盟各國並に非聯盟國  
に於ける共同動作並に態度決定に資す  
るため創設せられたり、但し米國政府  
は聯盟が右委員會に賦與すべき機能に  
つき通告を受くる迄は米國政府が如何  
なる程度迄有効に協力し得るか目下の  
所言明し能はざる所とす、米國政府の  
立場に關し誤解なからしめ更に右の不  
明確より生ずる混亂並に運籌を回避す  
る爲め米國政府は聯盟國たるの事實  
より各聯盟國に對し生ずべき各種の責  
任は之を負擔し能はざる旨言明せざる  
を得ずと思惟す、米國政府の見解によ  
れば各聯盟國がその政策並に執るべき  
方途につき共同決定を行ふ場合には聯  
盟の通常手續によるものと思惟す、米  
國政府は國際紛争を平和的に解決せん  
と努めつゝある諸國間に協調の原則が  
存することを確信し國際聯盟が米國政  
府に提出することあるべき成案に對し  
て慎重考慮を拂ふ用意を有す、但し假  
定の原案の條件を以て提示される方策  
乃至提案に對しては右方策乃至提案に  
關する米國政府の態度を言明すべき用  
意を有せず

重大脅威を受けるに至つた、支那政府  
並に國民は自國の領土を保全し政治的  
獨立を維持するために抗爭する他は  
全く如何なる犠牲を拂つても侵略者に  
抵抗するだらう、日本の好戰的活動は  
東亞を不安に陥れるのみならず世界の  
剩餘の部分に對しても由々しい影響を  
與へやう、この際聯盟は日本の侵略を  
阻止し世界平和並に極東の集團的安全  
保障體制を擁護するため聯盟規約に従  
ひ即時有効なる措置を執る様を請する

した  
聯盟協會特別理事會は午後三時再開夫々

支那、オランダ、フランス、米國代表の演説あり結局支那案の修正委員として英米、支、和、佛、白、チリ、七ヶ國代表を選び決議案に修正を加へた後表決に附した、出席國廿國の中九ヶ國は棄権し残り十一ヶ國の中支、英、佛、白、和、ポ、ランド、スイス、スエーデン、チェコスロヴァキア、リニクサンブルの十國は賛成、日本は反対投票した、決議の要旨左の通り

日本の今回の軍事行動は一九三三年に始まつた支那侵略の繼續なり、聯盟は財政的及び其他の方法により日本の行動を阻止すべし

特別理事會は右決議案採擇後午後七時散會した

▲日本朝鮮決議に不満(二) ジュネーヴに於ける國際聯盟協會(民間國際聯盟協力團體)理事會に於ては日本代表の反對あるに拘らず「日本今回の軍事行動は一九三三年に始つた支那侵略の繼續であるから聯盟は財政的及びその他の方法により日本の行動を阻止すべし」との意味の決議を爲したことに關し日本朝鮮は今次事變が全く支那側の政策的抗日排日運動と無反省とに依るものであると聯盟協會本部が日本の眞意を解せず今次事變の原因を慎重に検討せずしてかゝる決議を爲したることを遺憾とし今後は國際協會も本部に協力し得なくなるであらうとしてゐる

支那提訴と各紙論調

◆英 國

▲テレグラフ論調 ロンドン【二】保守黨系デリーテレグラフ紙は十四日の

紙上に於て支那の聯盟提訴に論及左の如く述べてゐる  
國民政府は遂に日支問題を聯盟に提訴したが世界情勢現下の現實を認識すれば何人も聯盟が集團的行動により支那に平和を招來出来るとは信じまい、第一提訴者自身かゝる結果を期待してゐる模様はなく非聯盟國政府は聯盟に對してのみならず非聯盟國政府は聯盟に對して呼びかけてゐるのだ、事實國民政府の目標は世界輿論を自國に有利に導かうといふにある、現在の機轉上聯盟は執行機關たり得ないが國際問題に付き世界各國に正常な判斷の機會を與へる一種の輿論機關としての價值迄無視することは短見と云はねばならぬ

▲ガーデアン論調 ロンドン【二】マシオン紙は「聯盟と米國」と題する社説を掲げ左の如く述べてた  
日支紛争に對する米國の政策は實に曖昧不確定を極め國務長官の既に公表した二つの聲明からも事實上何等の意義も掴み得ない、ハル長官は宣言布告がないとの理由で中立法を實施せず却つて支那に留米國人に引揚を勧告しルースウエルト大統領も亦米國政府所有船舶の日支兩國向け軍需品輸送を禁止し民間船舶は自身の危険に於て輸送する旨闡明した以上大統領の措置は實際上海日本に對して認められた他ならず日本政府を喜ばせてゐる、國際問題に對する米國の協力が人類の歴史に及ぼす影響は測り知れないが歐洲がエチオピア問題取扱に失敗したのに恐れをなした米國は自國の利益の爲でなければ考へるべきことである、然し米國の聯盟機關に對する協力は如何に生温い透巡勝ちなものでも極めて重要な意義を持つ、米國が聯盟との協力を此際日

◆佛 國

支那問題諮問委員會から始めれば米國自身の爲にも支那及び歐洲にとつて結構な事である

▲パリ各紙論調 パリ【二】十一日のパリ各紙はニヨン會議問題及び縣會議員選舉の切迫を初め國內問題で忙忙を極め支那事變のニユースは隅の方へ押やられた形だが共産黨機關ユマニテ紙が大見出しで蔣介石夫人宋美齡女史の同紙特派員就任を報道して注目を惹き、左翼系ワグネル紙のタイプ女史は「ドイツは對ソ策の立場から支那事變を使曠した」と例によつてドイツを攻撃してゐる、一方右翼系レニユブリク紙のゼラース氏は支那の聯盟提訴を論評し次の如く述べてゐる  
支那は聯盟規約第十六條の對日制裁を要求するらしいがその無効力なことは百も承知の上だ、支那の此の企てには何か曰くがありさうだ、諸般の事情を併せ考へて見ると結局日本の支那沿岸航行封鎖及び上海攻撃により大打撃を受けた英國が日本にこの兩方を止めさせやうと考へその切札として日本の最も鋭が經濟封鎖の語を持出したのではない

◆瑞 西

が傾いて居り一向熱がない、又論説は數も少く内容の見るべきもの既に今迄いふべきことは大體いひ盡したといふ感じを與へてゐる

▲スイス各紙論調 ジュネーヴ【二】支那政府の聯盟提訴に付きスイス各紙は次の如く論じて居る  
△ジユルナル・ド・ワグネル紙 支那が聯盟規約第十條、第十一條及び第十七條を援用して先づ理事會に提訴した事はその新締約國たるソヴェト聯邦の理事會に於ける勢力を利用し明かに親支政策を執るに躊躇する傾向有る列國を誘導せんとするにあり、又米國を引き込まんが爲め今次事變を一九三一年以來の日本の侵略行爲の繼續として十九國委員會に附託しようとする云ふ意圖だらう、然し支那が滿洲國成立以來日本と既成事實を承認する如き諸種の協定を結んだことは注意に値する、支那政府の聲明は殊更に米國の輿論を刺戟する様な言辭を用ひてゐるが米國は支那問題に對し華府會議當時の熱心を持合せせて居らず本事變のためその不干渉政策を放棄するとは考へられない、結局規約の適用はあつてもその適用は漠然且つ主として將來を考慮したものである

◆米 國

日公表された支那政府聲明の全文を掲げてゐる他例の如く「日本の支那侵略」といふ標題下に支那通信社提供の戦況ニユースを掲げてゐる

▲ローザンヌ紙論調 ジュネーヴ【二】支那の聯盟提訴に對しては列國は滿洲國當時のやうな熱意を示さず寧ろ腫物に觸るやうな態度を示してゐるがガゼット・ド・ローザンヌ紙は第三者のなまじつかの策動は事態を益々悪化せしむるに過ぎない旨を強調左の如く論じてゐる  
今次の聯盟總會に於て各國代表は「沈黙は金なり」との原則を守り演説希望者も無い状態だが平和主義者は例の通り外部から自覺しい運動を起してゐる、世界平和協會は其の決議文中に日本の支那侵略に對し制裁を主張してゐるが日本は河相情報部長の言明によつて明かな通り聯盟の招請に應ず事變に關し第三者の介入を許さずとの確乎たる決意を有してゐるからなまじつかの策動は事態を二層紛糾せしむるに過ぎない、一體平和協會は平和擾亂を希望してゐるのだらうか、いづれにしても我々は平和協會の策動の如きはこれを駁殺するに如かない

▲支那提訴に佛紙冷淡 パリ【二】最近パリ各新聞の注意は地中海會議に集中され支那事變の關係ニユースは共産黨機關ユマニテ紙が例によつて大仰に書き立てゝゐる他は單に情報に申譯的に掲載してゐるに過ぎなかつたが支那が聯盟に提訴してから態度を變へ十五日夕刊以後各新聞は支那代表の總會に於ける演説をはじめジュネーヴ電報に多大の紙面を割いてゐる、然し一般には支那の提訴は厄介千萬で聯盟としては當らず觸らずの腫物扱ひにする他はないだらうといふに見方

△ガゼット・ド・ワグネル紙 聯盟は今次事變につき滿洲事變以上の措置に出るとは思はれず又規約第十六條の制裁規定適用の如きは一九三五年の失敗に顧み不可能と見られる、規約第十七條の措置の不明瞭なるは萬人の認むる所結局支那の叫びは太平洋に消滅すべく若しジュネーヴにまで到達しても皆聞かない振りをするだらう

▲タイムズ紙論調 ニューヨーク【二】ニユーヨーク・タイムズ紙は十八日の紙上に「聯盟の招待」と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる  
聯盟は支那の苦情を附託する爲め廿三ヶ國委員會を復活することゝなつたが米國としては聯盟の招請を受諾しオアザーヴァー位は派遣せねばなるまい、この委員會はどうせ大した事は出来なから委員復活は支那の要請を有耶無耶に終らせたいと希望してゐるジュネーヴ外交界の歡迎を受けてゐる位だが

支那政府は却て聯盟の執る第一歩の措置として満足してゐるのだから米國が参加しなければ非常に士氣を沮喪せしめる事になる、今度の事變で米國が一九三二年の時の様にお先手を擡ぐとは誰も思つてゐないがお附合に委員會の決定に投票しないメンバーに参加せねばならぬ、

聯盟總會

資格審査報告

ジュネーヴ(九・二) 第十八回聯盟總會は十三日午前十一時廿五分から選舉會場に於て五十四ヶ國の代表出席の下に開會された、但しイタリアとエチオピアの代表は缺席した、傍聴理事會議長スペイン共和國首相ホアン・ネグリン氏登壇し

聯盟規約の最も神聖なる原則が相繼いで蹂躪されるに至つたことは遺憾に堪へない、規約を改正した所で規約の圓滿な運用は期待出來ず聯盟を構成する各國に規約を尊重する意思があつて初めて期待出來やう

と述べ列國の政治家が義務の履行を躊躇してゐるのは歐洲不安の根本原因だと喝破した後アレキサンデルロツタ問題、パルスタナ問題、原料資源問題等聯盟の本年度諸事業を列擧し結論として規約の原則を發動し各聯盟國が必要だと重ねて強調して實施することが必要だと重ねて強調した、次いでオランダ代表リッングル氏は資格審査委員會の報告を朗讀したがエチオピア代表に關しては何等言及しなかつた、右報告は滿場一致承認されたがエチオピアは形式上依然聯盟國としての存在を保つこととなつた譯である、斯くて總會は議長選舉を敢行し爲め午後五時一旦散會した

議長副議長選舉

ジュネーヴ(九・三) 聯盟總會は十三日午後五時半選舉會館で再開議長選舉を舉行した結果印度代表アガ・カン氏が當選した、スキス代表モツタ氏は名譽議長に、

又英、佛、ポランド、ソヴェト、トルコ、アイルランド自由國の各首席代表は副議長に當選した、アガ・カン氏は滿場の拍手に迎へられて登壇先づ議長當選に感謝の意を表明した後聯盟の直面する重大危局を指摘して左の如く述べた

國際協力が今日程必要な時機はない、今や暴風雨は西に東に吹き荒れ平和と吾人の理想は大打擊を蒙つた、然し乍ら吾人は聯盟がアレキサンデルロツタ問題の解決其他幾多の事業に感動を収めた事實を忘れてはならぬ、又エチアトが聯盟國として吾人の仲間入りしたことは特筆すべきことで余は回教徒として聯盟が未だ嘗て今日程普遍化したことのないことを欣快とする、最後に余は聯盟が最大の困難を克服して此の重大危機を切抜けることを切望して已まな

委員會構成  
ジュネーヴ(九・三) 聯盟總會は十三日午後五時開會に於て左の五委員會の構成を決定した

- 第一委員會 法律問題 委員長ギリシヤ代表ボリチス氏
- 第二委員會 經濟財政、交通、保健問題 委員長チエツコスロヴァキア代表オスキスキー氏
- 第四委員會 聯盟預算及び財政問題 委員長ウルクワイ代表グアニ氏
- 第五委員會 社會問題、阿片及び麻藥類 委員長ハンガリー代表アボン伯

第六委員會

政治問題、學藝協力 委員長コロムビア代表サントス氏

チリ代表規約改正を提唱

ジュネーヴ(九・三) 第十八回聯盟總會第二日は十四日午前十時卅五分開會議長印度代表アガ・カン博士司會の下に日程討論に入つたが聯盟規約改正委員會委員長チリ代表アグスチン・エドワーズ氏は聯盟の普遍化を提唱して次の如く述べた

聯盟の諸技術委員會が今日まで成功を収めて来たたとすれば之は専ら技術委員會の持つ普遍性に基き他に他ならぬ、余は聯盟に時代の現實に則した普遍性を與へるため聯盟規約を適當に改正すべきことを強く提唱する

右エドワーズ代表の演説終るやアガ・カン議長は前チエツコスロヴァキア大統領トーマス・マサリツク博士の逝去に弔意を表し次の如く述べた

聯盟總會は聯盟主義者にして人類の誇り得る最大の智識の一人たりし故トーマス・マサリツク博士の逝去に深き哀悼の意を表しチエツコスロヴァキア國民と共に悲しみを頌つてであらう

終つて余代表は終端な面持で起立一分間の黙禱を捧げた、終つてチエツコスロヴァキア代表クロフタ外相は本國政府を代表して鄭重に謝辭を述べた後散會した

佛外相聯盟主義強調

ジュネーヴ(九・三) 國際聯盟總會は十八日午前再開フランス外相イヴァン・デルボスは歐洲並に極東の危機を指摘聯盟主義を強調して左の如く演説した

あつて聯盟規約は平和維持の爲の最善の機關と確信してゐる、現在聯盟には何等の危機も存在しない危機に直面してゐるのは世界平和である、フランス政府は各國の平和宣言の眞摯性を決して疑ふものではないが熱意の足りないのは遺憾である、問題は言葉に非ず實行である、英佛兩國政府はスペイン内亂に對しては不干渉主義を提唱したが不干渉主義は各國がスペインに送つた義勇軍を忠實に徵收することによつてのみ維持されやう然るに事實はこれに反しスペイン内亂をめぐり容易ならぬ危機が發生してゐる、歐洲に於ける勢力均衡の破壊が即ちこれである、一方極東に於て最近新なる危機が發生してゐる、現在の如き軍備擴張競争が續行されるならばそれはやがて全世界の破壊を意味することとなりう然しながら他國が軍備擴張に熱狂してゐる際一國だけが軍備縮小の出來ないことは云ふまでもないフランスも亦その獨立を確保する爲に多くの犠牲を拂つてゐる、聯盟は過去に於て屢々侵略を豫防し又は阻止すべき十分の手段を持ちながら微力にして之を爲し得なかつたが我々が力を回復するには今からでも遅くはないフランスは實に此の精神を以て規約の改正を企圖してゐる、平和を確保する最善の手段は各國が各々其の公約と文明の基礎そのものを尊重する事である、フランス政府は各々の政體の如何に關せず列國が協力して行くことは可能なりと確信する彼のニヨン會議は其の好例であつて同會議の結果は余をして各國が平和防衛の爲め協力し得るとの希望を抱かせる

常任理事國改選  
ジュネーヴ(九・三) 聯盟總會は廿日午後四時五十二ヶ國代表出席の下に開會非常

任理事國の改選を行つた結果トルコ並にチリーの後任としてイラン、ペルー兩國を理事國に選出した

イラン 四十八票  
ペルー 四十六票

繼いで各代表の演説に移つたが先づメキシコ代表アルファロ・フアペロ博士起つて

聯盟は日支兩國の戰行爲を即時停止する適當の處置を講ぜねばならぬと述べた後スペイン問題に轉じ聯盟はスペイン共和國政府に精神的物質的の援助を與ふべきであると説き續いて起つたパナマ代表バルメディオ・アリアス氏は現在の非聯盟國が聯盟に加入出来る機聯盟規約を改正すべきだと主張した、ポルトガル代表ダ・マツタ氏はポルトガルがスペイン革命軍を支持してゐるとの非難に一矢を酬ひソヴェト聯邦のヴァレンシア政權援助を攻撃した、最後に總會はスペイン問題に關するアヴノール事務局長の報告書をスペイン共和國政府の要請に基き第六委員會に附託するに決定して午後六時十分散會した

ジュネーヴ(九・三) 聯盟總會は廿日インド代表アガ・カン議長司會の下に開會スペイン、チリ、トルコ三非常任理事國の任務了に伴ふ改選問題を討論した

スペイン政府並びにトルコ政府はさきに理事會に對し再選を要求立候補したが廿日の總會に於ては再選に必要な四十七票中三分の二の卅二票の規定得票數を確保することが出來ず、スペインは出三票、トルコは廿五票で何れも落選した

英外相平和主義強調

ジュネーヴ(九・三) 英國外相アンソニー・イーデン氏は廿日聯盟總會席上平和主義を強調して左の如く述べた

英國政府は本國並に英帝國を防衛する

ため凡ゆる必要な努力を拂つてゐるが一方如何なる軍備縮小協定にも参加する用意は常に有してゐる、全世界は今や不安の空氣に包まれ現に世界の二つの部分では激烈な闘争が展開されてゐる、斯る事態が發生せざるは各國共戦争が戰勝國、敗戦國の何れにも利益を齎すものではないとの原則を未だ承認するに至らないからに他ならぬ、スペイン内亂不干渉政策はフランス政府の平和愛好的意圖によつて發議されたが右不干渉政策により各國政府はスペイン内亂を局地化するに成功した、若し不干渉政策にして放棄されるならば歐洲の情勢は遙かに險惡を加へるであらう、地中海の不安防止を目的とするニヨン會議が成功を収めたことは各國政府の平和に關する協力の證左であるがイタリア政府が未だ協定に協力するに至らないことは遺憾に堪へない

次いでイーデン外相は現下の經濟情勢に言及自給自足經濟政策の廢棄を要請して次の如く述べた

英國政府が保護政策を堅持してゐるとの非難を聞くが英國政府こそは原料資源問題を聯盟の討議に附する機率先提唱した國ではない、尤も原料資源問題は植民地問題ではない、蓋し植民地で生産する原料は全原料の僅か三パーセントに過ぎない、英國政府は自國植民地の關稅制度を改正するため關係各國政府と商議を開始する用意があるが單なる關稅制度の改正で問題を解決することでは出来まい、問題は原料獲得の困難ではなく支拂制度の不合理にある支拂問題を解決するには先づ爲管理辦法並に割當制の廢棄が條件である、英國政府は通商貿易の自由回復に協力する用意がある、自由通商こそは世界平和維持の最善の方法であると思惟する

ため凡ゆる必要な努力を拂つてゐるが一方如何なる軍備縮小協定にも参加する用意は常に有してゐる、全世界は今や不安の空氣に包まれ現に世界の二つの部分では激烈な闘争が展開されてゐる、斯る事態が發生せざるは各國共戦争が戰勝國、敗戦國の何れにも利益を齎すものではないとの原則を未だ承認するに至らないからに他ならぬ、スペイン内亂不干渉政策はフランス政府の平和愛好的意圖によつて發議されたが右不干渉政策により各國政府はスペイン内亂を局地化するに成功した、若し不干渉政策にして放棄されるならば歐洲の情勢は遙かに險惡を加へるであらう、地中海の不安防止を目的とするニヨン會議が成功を収めたことは各國政府の平和に關する協力の證左であるがイタリア政府が未だ協定に協力するに至らないことは遺憾に堪へない

◇ ◇ ◇

工チオピア不出席

ジュネーヴ(六) 工チオピア皇帝ハイレ・セラシエ一世は十三日アヴォール聯盟事務總長に電報を寄せ「今次聯盟總會には工チオピア問題が上程されてゐないから特に代表は出席させないが總會の議事進行状況を皇帝に報告する爲聯盟常駐代表を總會々期中ジュネーヴに留置せしめる」旨通告して來た

革命政權代表參府

ジュネーヴ(六) スペイン革命政權は聯盟總會開會に當り元外相アルベロ公を主席代表とシルカ侯、王黨派機關ABCの所有者エナ及び元スイス駐在總領事テイシドル氏の四名より成る非公式代表團をジュネーヴへ派遣した、代表團は十三日聯盟總會資格審査會に文書を以てヴァレンシア政權代表の資格否認を要求したが同委員會は考慮の餘地ないとして拒絶した

▲革命政權代表反駁通牒

ジュネーヴ(六) スペイン革命政權は聯盟總會開會に當り元スイス外相アルベロ公を主席代表とする非公式代表團をジュネーヴに派遣したがアルベロ公は廿日聯盟事務總長ジョセフ・アヴォール氏に對しスペイン政府代表ネグリン首相の理事會に於ける演説を反駁した左の通牒を手交した

一 革命政權はヴァレンシア政權が外國から軍需品並に義勇兵の供給を受ける様になつて初めて自ら外國義勇兵の援助を求めたに過ぎない

一 革命政權はスペイン國土の一部たりとも外國に割讓することを許容することには出来ない

理事會開會

ジュネーヴ(六) 第九十八回聯盟理事會は十日午前十時から聯盟新會館に於てスペイン共和國首相ホアン・ネグリン博士の司會の下に開會された

パレスチナ問題討議

ジュネーヴ(六) 聯盟理事會は十四日午後スペイン共和國首相ホアン・ネグリン氏司會の下に開會支那の提訴上程を決定した後聯盟常設委任統治委員會の報告に基き英國政府の提案に基きパレスチナ分離統治案の審議に入つた、劈頭英國代表イーデン外相はパレスチナ分離統治案に關する英國政府の眞意を披瀝し「英國政府も原案の不備を認め更に再調査する用意ある」旨を言明左の如く述べた

英國政府の提議するパレスチナ分離統治の原則には聯盟委任統治委員會も賛意を表明して居るがその實施方法につき其後種々の困難が發生した、仍て英國政府は新代表團をパレスチナに派遣シユダヤ人、アラビヤ人双方の言分をよく聞いた上で分離統治に關する詳細な提案を改めて聯盟に提出することにしたい、エルサレム、ベスレヘム、ナザレ三聖部の統治に付ては聯盟の保護に委ねる意圖で聯盟から更に第三國政府に三聖部の統治を委任することにすればよい譯である

フランス代表デルボス外相は起つてイーデン外相の言明に賛成を表明したが結局理事會はラトヴィア、ルーマニア、スウェーデン三國代表から成る起草委員會を任命英國政府の再調査の結果に基き新統治案により出来るだけ早く報告書を作成する議案討議會した

スペイン問題討議

ジュネーヴ(六) 聯盟理事會は十六日午後五時公開會議を開催ネグリン首相は代つてエカアドル代表タウヴェド氏が臨時議長となり直にスペイン政府の提訴に基き地中海不安問題の討議に入つた、劈頭スペイン代表ホアン・ネグリン首相は起つて地中海に於ける「海賊」潜水艦の不法行為を論難左の如く述べた

地中海に於ける「海賊」潜水艦の襲撃は爲世界平和を脅威するに至つた、スペイン政府所屬飛行機がドイツ袖珍戰艦ドイッチランド號から砲撃を受け大爲已む無く艦機を投下したに拘らずドイツ軍艦が報復手段としてアルメリア要港を砲撃したことは驚くべき犯罪行為と言はねばならぬ各國政府が斯る不法行為に對し依然消極的態度を保持するにおいては將來必ずこれら「海賊」行為が合法化される時が來やう、地中海關係各國政府は聯盟と別個にニヨン會議を開催地中海に於ける不安除去業に付き協議を遂げたがスペイン政府が會議に招聘されなかつたことに對しては嚴重抗議せざるを得ない、スペイン政府は地中海不安の最初の犠牲ではなかつたが、然し地中海會議が不干渉委員會に比し幾多の成功を収めたことは疑ひ無くスペイン政府に於ても警備協定が嚴重に實行される限り地中海安全の再建に助力するに資でない、吾人は現實を再視せねばならぬ、假令八人目迄は欺まることが出来ても九人目を僞贖することには出来ない、地中海に於ける商船襲撃の責任者は他ならぬイタリア政府なのだ、スペイン政府は既に明白な證據を所持してをり八月廿一日襲撃事實を列擧した通牒を聯盟宛通達した、これらの事實を考慮に入れることなくしては襲撃阻止に關する満足な手段を講ずることが出来ない、スペイン政府は理事會がニヨン會議の決定を擴充する見地から水上艦の襲撃阻止

海外日本人

門野重九郎氏動靜

▲カナダ實業家と會談 オッタワ(六) 經濟使節團長の大任を果し歸國の途に在る門野重九郎氏は十一日オッタワに於てカナダの有力實業家と會見し日加兩國間の通商經濟問題に關し種々懇談を遂げた上同夜ニューヨークへ向つた、同氏は來る十四日サンフランシスコ出帆の秩父丸で一路歸國の途に就く豫定である

▲日米通商審議會送別會 ニューヨーク(六) 門野重九郎氏は目下ニューヨークに滞在して居るが近きサンフランシスコ經由歸國するので日米通商審議會では十七日インディア・ハウスに於て送別午餐會を開催會長ユージン・トーマス氏外多數有力實業家が出席した、席上ユージン・トーマス氏は經濟提携を通過して日米兩國親善を力説左の如く述べた

貴下を歓迎すること米國に勝る國なく貴下の理解を感謝すること米國實業家に如くはないと考へる、余は茲に現在極東の紛糾を云々するつもりはない、たゞ神が相降つて置き給ふ日支兩國國民が相提携することこそその運命であり且つ自己の利益である所以を適當な方法によつて發見することが我々全部の希望である、次に我々が確固且つ相互

聯盟理事會

に満足な商業的基盤の基礎の建設維持に不断的努力を續けてゐる旨を東京の友人諸君にお傳へ願ひ度し、商業的紐帶こそ兩國間の經濟的安寧に密與するところ最も多きものである

右に對し門野重九郎氏は起つて深く米國實業界の好意を謝すると共に一九三九年の萬國商業會議所會議並に一九四〇年のオリンピック大會には是非揃つて東京を訪問されたい旨を述べ和氣鐵々裡に散會した

世界一周視察團米國着

ニューヨーク【二】木下乙市氏を團長とする日本貿易振興會世界一周視察團一行は歐洲各地の視察を終へ十四日アキタニア號でニューヨークに到着した、視察團一行は米國各地を歴訪見學の上十月七日サンフランシスコ出帆の大津丸乃至十四日出帆の秩父丸に便乗、歸國の途に就く

獨逸で日本兒童美術展

ベルリン【二】日獨文化協會主催の日本小學兒童美術展覽會が十五日午前ベルリンで開會された、同展覽會は會期二週間廿九日に閉幕されるが重心から進しり出た日本風景、風俗紹介の美しい水彩畫バステル畫は參觀者から多大の好評を博してゐる

聖増昇氏ベルリンで演奏

ベルリン【二】目下ドイツに於て音楽修業中のピアニスト武藏野音樂學校講師聖増昇氏は十月一日ベルリン・ベートーヴェン・ホールに於て演奏會を開催主としてパツハの曲を演奏する

邦人殺害者に判決

ダヴァオ【二】比島カラガン高地で去る七月卅日沖繩縣人久保田鶴介氏一家三名を殺害したモノボ族番人二名に關する判決は十日ダヴァオ地方法院に於て開廷

裁判長は今回の如き外國人に對する兇惡犯行は許すべからざるものとして被告二名に對し四十九年二月月の懲役を宣告した、右はダヴァオ始つて以來の長期徒刑である



訃

▲ダヴァオ親日知事逝去  
ダヴァオ【二】親日家として知られるダヴァオ知事セバスチアン・ヘネロ氏は八月末マニラの客舎で急逝したが遺骸はダヴァオに運ばれ十一日盛大な葬儀が執行された

▲マサリツク前大統領逝去

ブラハ【二】チエツコスロヴァキア建國の父と仰がれた前大統領トマス・マサリツク博士は遂てブラハ西北ルニイの自宅に於て病臥中の處十二日朝來肺炎を併發危篤状態を續けてゐたが十四日午前三時廿九分遂に永眠した、享年八十七マサリツク博士は一八五〇年三月モラヴィアのホドリーニンの御者の子に生る、ウイーン及びライプチヒ大學に哲學を收め名著「近代文明の自己破滅」で一躍名聲を博し一八八二年ブラハ大學教授となる、チエツクの獨立を策し一八九一年オーストリア議會に選ばれチエツク黨の首領として活躍す、一九一六年大戦勃發と共に英國に亡命次いでパリに潛入チエツク國民議會準備委員長となり、ロシアの混亂に乗じ義勇軍を組織して自ら司令官としてロシアの各地に奮戦し浦鮮より日本經由で米國に渡り、一九一八年十一月國民議會に依つてチエツク共和国初代大統領に選舉されて歸國新興國の内治外交を指導し一九三五年隱退して爾來悠々自適してゐたものである

◎百年後の英國

【ロンドン發同盟郵便】人口漸減の趨勢は現在英國の當面する最も憂ふべき社會問題の一つとされてゐるが、先般フライトンで行はれた國民衛生専門家會々議席上議長サー・レオナルド・ヒル博士は「それにも増して關心すべきは百年後に英國は老人ばかりとなることだ」と数字的根拠を示して出席者の注意を喚起した

▲ヒル博士の所論に從へば、現在英國では百人中十五歳以下の者は廿三名なのであるが、これが卅年後になると前者は十人に減少するのに反して、後者は卅四人に増加する

▲六十年後には前者僅か四人、後者が四十五人になるといふのである、「かゝるが故に百年後の状態は凡そ想像が付かう、少年の遊戯と笑ひ青年の魅力に代る老衰が充滿した世界はどんなに憂鬱なものか今にして適當な手段を講ぜざるべからず」といふのがヒル博士の結論である

◎女性の國米國

【ロンドン發同盟郵便】A.P.カイランド氏は最近デイリー・スケッチ紙上で「女性に統治せんとする米國」と題する論説を掲げ多大の注目を浴びた、曰く  
世界の未だ嘗て経験したことのない大變革、歐洲大戦よりもポルシエイスム、フアンズムよりも一層重大な性質を帯びる變革が、今や米國で起らんとしてゐる、即ち世界第一の富有國米國の富が急速に女性の手に移られつゝある現象がこれである、現在米國私有財産の七十%がアメリカ女性の名義となつてゐるばかりか、年々故人によつて殘される遺産の三分二及

び、保險會社の支拂ふ生命保險の八十%は女性の手に入つてゐる、米國の女性世界の如何なる國の女性より遙かに大きな特權を享受してゐることは既に定説であるが男性が血と汗とを以て獲得した財實が次々に女性の掌中に入る結果遠からずして米國には、世界の如何なるフェミニストさへ夢想でもないやうな大變革が齎されるであらうことは想像に難くない、不成功には終つたが米國の禁酒も女性の力によつて行はれた、文化並びに社會問題に於て、米國の女性は今や絶對的權力を握つてゐる、米國の偉大なる財布の紐を握るアメリカ女性は間もなく米國の運命さへ決定するであらう

◎ドイツの新巨人旅客機  
【デュッセルドルフ發同盟郵便】ドイツのユッカー飛行機會社デュッセルドルフ工場は、この程旅客機四十名を收容し得る巨人旅客機「ユッカー」の建造を完了した、同機の客室は長さ十米、巾三米といふ廣さで、新製作の防音装置は客室内の談話を自由ならしめる、最大時速は四百十料で、航空ドイツの誇る素晴らしい旅客機である

◎漂流する無聲艦  
【モスクワ發同盟郵便】シエミツト博士を隊長とするソヴェト北極飛行探險隊は、去る五月廿一日美事北極に到達、極を去る西方廿料、ルドルフ島を通る予午線上の氷山に無聲艦を建設し、バベニン氏以下四名の越冬班員はこの氷山に居残りつて熱心に科學観測に従事してゐるが、この氷山は毎日徐々に、一定の方向に向つて漂流を續けてゐる  
越冬班員の計測に依ると、氷山は大體西南の方向へ、毎日平均六料の速度で漂流して居り、五月廿一日から八月廿日までの三ヶ月間に、約五百

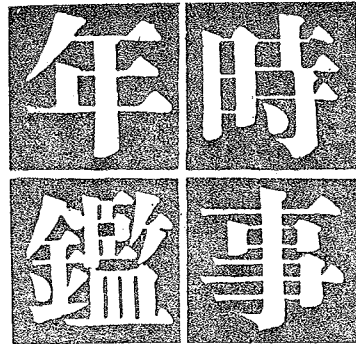
卅料も漂流したことが判つた  
漂流の方向はグリーンランド海方面で現在の位置はグリーンランド海を去る六百料の所である  
◎ムツソリーに倣へ  
【ローマ發同盟郵便】最近イタリアで新生活運動の「スロガ」我等のムツソリーに倣へ」が盛んに唱はれてゐる、新生活運動の模範と仰がれるムツソリーは一體如何なる日常を送つてゐるか、左は彼の或る一日である  
六時起床、暫時乗馬、朝食  
七時自働車でリツトリオ飛行場  
七時卅分、變機を操縦、飛行場出發  
八時五十分フロレンスの（レトラ飛行場着  
九時一十九時四十五分フロレンス飛行協會、少年少女夏期野營及びカラビニエリ校訪問  
九時四十五分ヒサ飛行場着、新型爆撃機と滑空機の改良状態視察  
十時四十五分ヒサから自働車でヒサ港へ、沿線で收穫状態を視察しつゝ車を進めマリナ・デー・ヒサ飛行機製作所訪問  
十一時三十分ヒサアルツチオ海浴場へ水泳  
午後零時半ヒサを離れ、飛行場三時迄休息  
三時卅分ヒサから、映畫スタヂオを訪ひヒサ港に歸還  
六時七時空路ローマに歸着、午後七時着  
七時半ヒサホテルで夕食  
八時トロッロニア別荘で夕食  
九時半ヒサホテルで夕食  
十一時半トロッロニア別荘に歸還就寢

【ローマ發同盟郵便】最近イタリアで新生活運動の「スロガ」我等のムツソリーに倣へ」が盛んに唱はれてゐる、新生活運動の模範と仰がれるムツソリーは一體如何なる日常を送つてゐるか、左は彼の或る一日である  
六時起床、暫時乗馬、朝食  
七時自働車でリツトリオ飛行場  
七時卅分、變機を操縦、飛行場出發  
八時五十分フロレンスの（レトラ飛行場着  
九時一十九時四十五分フロレンス飛行協會、少年少女夏期野營及びカラビニエリ校訪問  
九時四十五分ヒサ飛行場着、新型爆撃機と滑空機の改良状態視察  
十時四十五分ヒサから自働車でヒサ港へ、沿線で收穫状態を視察しつゝ車を進めマリナ・デー・ヒサ飛行機製作所訪問  
十一時三十分ヒサアルツチオ海浴場へ水泳  
午後零時半ヒサを離れ、飛行場三時迄休息  
三時卅分ヒサから、映畫スタヂオを訪ひヒサ港に歸還  
六時七時空路ローマに歸着、午後七時着  
七時半ヒサホテルで夕食  
八時トロッロニア別荘で夕食  
九時半ヒサホテルで夕食  
十一時半トロッロニア別荘に歸還就寢



!! 鑑年たし新一目面承繼に盟同

社団法人 同盟通信社編纂



[版年三十和昭]

判倍六四

頁餘〇〇八

錢拾五圓貳價定

同盟に繼承されて

愈々完璧を期した

昭和十三年版は

九月下旬出来

御申込は

同盟通信社「出版部」へ!!

◇最優越の誇り——政治、經濟、外交、軍事、勞働、統計、人名、教育、工業、演藝の諸年鑑

が一丸となつて渾和されて居る。如何なる年鑑と雖どもこれ以上多方面に亘り、精細且つ懇切に集録記述した年鑑はないといふ誇りを持つております。

□どの頁を開いても取材の嶄新、精確、親切な年鑑!

□趣味と實益とを兼ね誰にも判り易い重寶な年鑑!

□他の年鑑に比べて最大の内容を有する年鑑!

□どんな疑問でも之さへあればすぐ水解する年鑑!

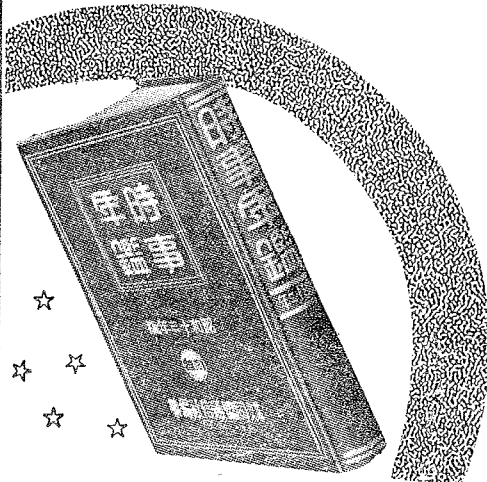
□まだ御利用のない方は是非一度御覽下さい。

【内容見本進呈】

年鑑は選擇が第一

★信用ある時事年鑑

★實用的な時事年鑑



同盟旬報

(毎月三回發行)

定 一 部 卅 五 錢 (送料一部)  
 一ヶ月分前納 壹圓 壹錢五厘  
 半年分同 五圓五十錢 (國內長期)  
 壹年分同 拾 圓 (契約は當社)  
 價

編輯發行 大川幸之助

兼印刷人 東京市神田區神保町一ノ五六番地  
 印刷所 濱中製版所

發行所 東京市京橋區銀座西七丁目一番地  
 社団法人 同盟通信社

讀者へ御願

同盟旬報其他本社出版部刊行物の御申込は、なるべく振替貯金によつて戴きたいのであります。が、葉書または電話で御申込み下されば、後日集金郵便を差上げることにして、早速御送本申上げます。

營業所

東京市京橋區銀座西八ノ九

社団法人 同盟通信社出版部

振替貯金口座東京八五〇〇番

營業所用

電話銀座(57)一三五一

電話東京(新橋)編輯用

電話銀座(57)四八七〇

同盟旬報編輯用

電話銀座(57)四九九六

國際經濟週報

本社に入電した外電、國內經濟「ニュース」を編輯し、之に時事關係記事を盛つた週刊經濟雜誌。每週木曜日發行。一部金貳拾五錢。一ケ年金拾圓。

經濟小冊子

毎年四、五回發行する世界經濟問題の解説。四六版八十頁内外。定價金五拾錢。最新刊「大英帝國の經濟」「世界は何處へ」「金の悲喜劇」

同盟パンフレット

時事問題解説書。四六版七、八十頁内外。隨時發行定價金貳拾錢。最新刊「増稅調整は國民にどう響くか」「世相から見た新時代のソ聯邦」

ジャパン・トレード・ガイド

日本商品を全世界に紹介する目的で發行する英文貿易年鑑我生産品數百を網羅して解説す。四六倍判八百頁定價金貳拾五圓。

國際寫眞新聞

本社の世界「ニュース」網から集る内外寫眞を中心とした寫眞畫報。毎月二回發行。全アト菊倍判五十二頁。一部金五拾錢。一ケ年金九圓。

新聞寫眞年鑑

(ジャパン・フォト・アルマナック)全國各新聞社寫眞班の手になるニュース寫眞中心の寫眞年鑑。毎年一回十一月發行。菊倍判總アト二百頁。定價金五圓。

人絹年鑑

レイヨン、ステープル、フワイバー、バルブに關する綜合辭典で企業家は素より全商業家の好伴侶を以て任ずる。毎年一回四月發行。菊判千五百餘頁總布表紙。定價金五圓。

◎御申込は振替口座東京八五〇〇〇番又は本社各地支社局御利用を!

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市京橋區銀座西七丁目一番地

社団法人同盟通信社

電話銀座代表番(二二二番) 振替貯金口座東京八五〇〇〇番

國 際 經 濟 週 報

第十八卷卅八號  
九月廿三日出來

『同盟』の世界的通信網による經濟雜誌・豊富新鮮なる内外政治經濟資料統計

戰時經濟への主要立法

臨時資金調整法——爲替管理法の改正——輸出入品等臨時措置法——臨時船舶管理法——米穀應急措置法——臨時肥料配給統制法

米國の武器禁輸聲明

米國市場の變調

米國の低金利政策進展

ニユーテイールと重商主義

フランの落潮再開

獨逸の鐵、麥類自給強化策

見本進呈

購讀御希望の方に  
は郵券三錢封入御  
申越次第バック・ナンバー贈呈します

- ▲每週木曜日發行
- ▲定價一部廿五錢
- ▲一ケ月一圓
- ▲一ケ年十圓(前納)

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

社団法人同盟通信出版部

振替口座東京八五〇〇〇番 電話銀座座銀